

[保健福祉事業]

医薬品による重篤かつ希少な健康被害者に係る
Q O L 向上等のための調査研究事業報告書

【平成29事業年度報告書】

平成31年3月

独立行政法人 医薬品医療機器総合機構

はじめに

独立行政法人医薬品医療機器総合機構の保健福祉事業の一環として、平成17年度に実施した医薬品の副作用による健康被害実態調査の結果を踏まえ、障害者のための一般施策では必ずしも支援が十分でないと考えられる重篤かつ希少な健康被害者のQOLの向上策及び必要なサービス提供の在り方等を検討するための資料を得るため、健康被害を受けられた方々の日常生活の様々な取り組み状況を報告していただく調査研究事業を実施するにあたり、有識者の方からご意見をいただくために平成18年4月に「医薬品による重篤かつ希少な健康被害者に係るQOL向上等のための調査研究班」を設置しました。

本報告書は、平成29年4月から平成30年3月までの日常生活の状況等について調査を実施してその結果をとりまとめたものです。

日常生活の状況等の調査の実施に当たっては、健康被害を受けた方や家族の方々のご協力をいただき心から感謝を申し上げます。

[医薬品による重篤かつ希少な健康被害者に
係るQOL向上等のための調査研究班]

小澤	温	筑波大学大学院・人間総合科学研究科 教授（生涯発達専攻）
高橋	孝雄	慶應義塾大学医学部教授（小児科学）
坪田	一男	慶應義塾大学医学部教授（眼科学）
松永	千恵子	国際医療福祉大学医療福祉学部教授

目 次

I 医薬品による重篤かつ希少な健康被害者に係るQOL向上等のための調査 研究事業の実施概要	1
II 生活状況調査結果のとりまとめについて	
1. 回答状況	3
2. 基本情報	3
3. 調査結果の概要	
(1) A票(福祉サービスの利用状況についての調査)からみた生活状況の概要	
○ 使用している点眼液について	4
○ 福祉サービスの利用状況について	6
○ 障害者総合支援法に基づく福祉サービスの利用状況について	8
○ 介護保険制度に基づく福祉サービスの利用状況	11
(2) B票(社会活動を中心とした調査)からみた生活状況の概要	
① 外出の頻度	17
② 外出に当たって困ること・不満に思うことの有無	21
③ 社会参加・社会活動等の状況	32
④ 屋内での生活における工夫の有無	39
⑤ 日常生活について	50
⑥ 主たる介護者の状況について	72
主たる介護者の健康状態	73
⑦ 介護をしていく中で困ったことの有無	78
⑧ 主たる介護者を支えるものの有無	89
⑨ 介護者の社会参加・社会活動等の状況	92
⑩ 新しい発見や気分転換などの有無	99
(3) C票(過去1年間の日常生活状況調査)からみた生活状況の概要	
○ 治療状況	103
○ 過去1年間の日常生活について	110
○ 福祉サービスについて	126
○ 必要な情報について	127
III むすび	129

IV	参考資料	130
V	用語の解説	169
VI	保健福祉事業の一環として実施する調査研究報告書(生活状況調査票)	173
VII	健康状態報告書(診断書様式)	238

**I 医薬品による重篤かつ希少な健康被害者に係る
QOL向上等のための調査研究事業の実施概要**

医薬品による重篤かつ希少な健康被害に係る QOL向上等のための調査研究事業の実施概要

1. 目的

独立行政法人医薬品医療機器総合機構の保健福祉事業の一環として、平成17年度に実施した医薬品の副作用による健康被害実態調査の結果を踏まえ、障害者のための一般施策では必ずしも支援が十分でないと考えられる重篤かつ希少な健康被害者のQOLの向上策及び必要なサービス提供の在り方等を検討するための資料を得ることを目的として、調査研究事業を実施した。

2. 事業内容

健康被害を受けられた方々の日常生活の様々な取り組み状況等について、調査票等により報告していただき、その内容について集計と解析・評価を行う。

(1) 事業実施時期

平成29年4月1日から平成30年3月31日

(2) 調査研究対象者

医薬品の副作用により重篤(障害年金受給相当)かつ希少な健康被害(ライ症候群及び重度のSJS)を受けた者

(3) 調査票の種別

ア. 生活状況調査票(本人記入用)

A票(福祉サービスの利用状況についての調査)

B票(社会活動を中心とした調査)

C票(1年間取り組んできたサービス等の満足度を中心とした調査)

イ. 健康状態報告書(医師記入用)

D票(調査研究事業用診断書)

①医薬品副作用被害救済制度における障害年金等受給者は、現況届に添付する診断書の写しを健康状態報告書として取り扱う。

②医薬品副作用被害救済制度の障害年金等受給者以外の者はD票(本

調査研究事業用診断書)を提出する。

(4) 調査票の記入時期及び提出時期

調査票	記入時期	提出時期
A票	毎月の状況を末日に記入する。	3ヶ月分まとめて 7月、10月、1月、4月の各月の10日までに提出
B票	3ヶ月間の状況を四半期毎の(6月、9月、12月、3月)末日に記入する。	7月、10月、1月、4月の各月の10日までに提出
C票	1年間の状況を年1回3月末日に記入する。	4月10日までに提出
D票	年1回12月の健康状態を医師が記入する。	1月10日までに本人が提出

II 生活状況調査結果のとりまとめについて

生活状況調査結果のとりまとめについて

1. 回答状況（各四半期共通）

各四半期における調査への回答状況（回収率等）は、

第1・四半期：72名中56名（回収率77.8%）うちライ症候群：7名、SJS：49名

第2・四半期：72名中53名（回収率73.6%）うちライ症候群：6名、SJS：47名

第3・四半期：72名中53名（回収率73.6%）うちライ症候群：5名、SJS：48名

第4・四半期：72名中52名（回収率72.2%）うちライ症候群：5名、SJS：47名

である。以下、特段の記載がない限り、各四半期の集計に当たっての母数は上記のとおり。

また、割合等の集計結果は端数処理（四捨五入）の関係で合計が一致しない場合がある。

2. 基本情報

表－1 男女・年代別（人数）

	10代以下	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	合計
男	0	2	2	1	6	6	3	4	2	26
女	0	2	0	2	7	4	9	4	2	30
合計	0	4	2	3	13	10	12	8	4	56

表－2 男女・疾病別（人数）

	ライ症候群	SJS	合計
男	4	22	26
女	3	27	30
合計	7	49	56

表－3 疾病・年代別（人数）

	10代以下	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	合計
ライ症候群	0	4	1	2	0	0	0	0	0	7
SJS	0	0	1	1	13	10	12	8	4	49
合計	0	4	2	3	13	10	12	8	4	56

3. 調査結果の概要

(1) A 票（福祉サービスの利用状況についての調査）からみた生活状況の概要

■ 使用している点眼液について（SJS の健康被害者の方のみに質問）

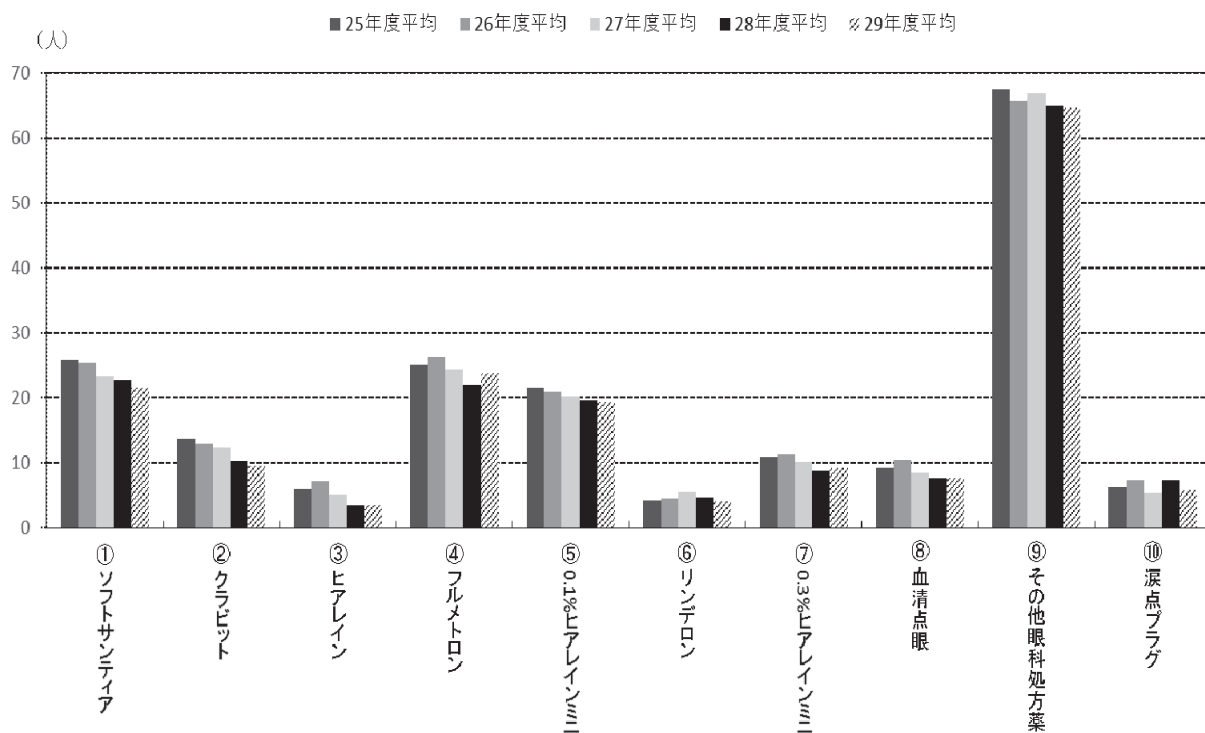
○SJS の健康被害者が現在使用している点眼液は、表 1-1 のとおり。なお、各月の延べの使用人数を示している。

表 1-1 現在使用している点眼液

点眼液	投与	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
① ソフトサンティア	両眼	20	20	20	19	19	19	20	20	20	18	18	18	19.3
	右眼	1	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0.5
	左眼	2	2	2	1	1	1	2	2	2	2	2	2	1.8
	合計	23	23	23	20	20	20	22	22	22	21	21	21	21.5
② クラビット	両眼	9	9	8	10	9	8	9	9	9	9	8	8	8.8
	右眼	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0.3
	左眼	1	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0.4
	合計	10	10	10	11	10	9	9	9	9	10	9	8	9.5
③ ヒアレイン	両眼	4	4	4	2	2	2	5	5	5	3	3	2	3.4
	右眼	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	左眼	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	合計	4	4	4	2	2	2	5	5	5	3	3	2	3.4
④ フルメトロン	両眼	22	22	22	22	22	21	19	20	19	21	21	21	21.0
	右眼	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1.8
	左眼	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1.0
	合計	25	25	25	25	25	24	22	23	22	23	23	23	23.8
⑤ 0.1%ヒアレインミニ	両眼	19	18	18	16	17	17	17	16	17	19	19	19	17.7
	右眼	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	左眼	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1.8
	合計	20	19	19	18	19	19	19	18	19	21	21	21	19.4
⑥ リンデロン	両眼	3	3	3	4	4	5	5	5	5	3	3	2	3.8
	右眼	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	左眼	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0.3
	合計	4	4	4	5	4	5	5	5	5	3	3	2	4.1
⑦ 0.3%ヒアレインミニ	両眼	10	9	10	10	10	10	9	10	9	8	8	8	9.3
	右眼	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	左眼	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	合計	10	9	10	10	10	10	9	10	9	8	8	8	9.3
⑧ 血清点眼	両眼	8	7	7	7	7	7	8	8	8	7	7	8	7.4
	右眼	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	左眼	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0.2
	合計	8	7	7	7	7	7	8	8	8	8	8	8	7.6
⑨ その他眼科処方薬	両眼	57	55	59	47	45	45	53	51	52	55	54	54	52.3
	右眼	3	3	3	4	5	6	5	5	5	4	4	5	4.3
	左眼	5	6	5	9	9	8	10	9	10	8	9	9	8.1
	合計	65	64	67	60	59	59	68	65	67	67	67	68	64.7
⑩ 涙点プラグ	両眼	4	4	4	5	5	5	5	5	5	5	4	5	4.7
	右眼	1	1	1	1	1	1	0	0	0	1	1	1	0.8
	左眼	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	1	0.3
	合計	5	5	5	6	6	6	6	6	6	6	5	7	5.8
SJS回答者数		49	49	49	47	47	47	48	48	48	47	47	47	—
点眼液投与患者数		46	46	46	43	43	43	45	45	45	44	44	44	—

□点眼液を使用している平均延べ人数では、フルメトロンが 23.8 人、ソフトサンティアが 21.5 人、0.1%ヒアレインミニが 19.4 人、クラビットが 9.5 人となっている

点眼液	25年度平均	26年度平均	27年度平均	28年度平均	29年度平均
① ソフトサンティア	25.8	25.5	23.3	22.6	21.5
② クラビット	13.7	13	12.4	10.3	9.5
③ ヒアレイン	5.9	7.2	5.2	3.4	3.4
④ フルメトロン	25.2	26.2	24.4	22.1	23.8
⑤ 0.1%ヒアレインミニ	21.5	21	20.1	19.7	19.4
⑥ リンデロン	4.3	4.5	5.5	4.7	4.1
⑦ 0.3%ヒアレインミニ	11	11.2	10.1	8.7	9.3
⑧ 血清点眼	9.3	10.4	8.4	7.6	7.6
⑨ その他眼科処方薬	67.5	65.8	66.9	65	64.7
⑩ 涙点プラグ	6.2	7.3	5.3	7.3	5.8



■ 福祉サービスの利用状況について（SJS の健康被害者の方のみに質問）

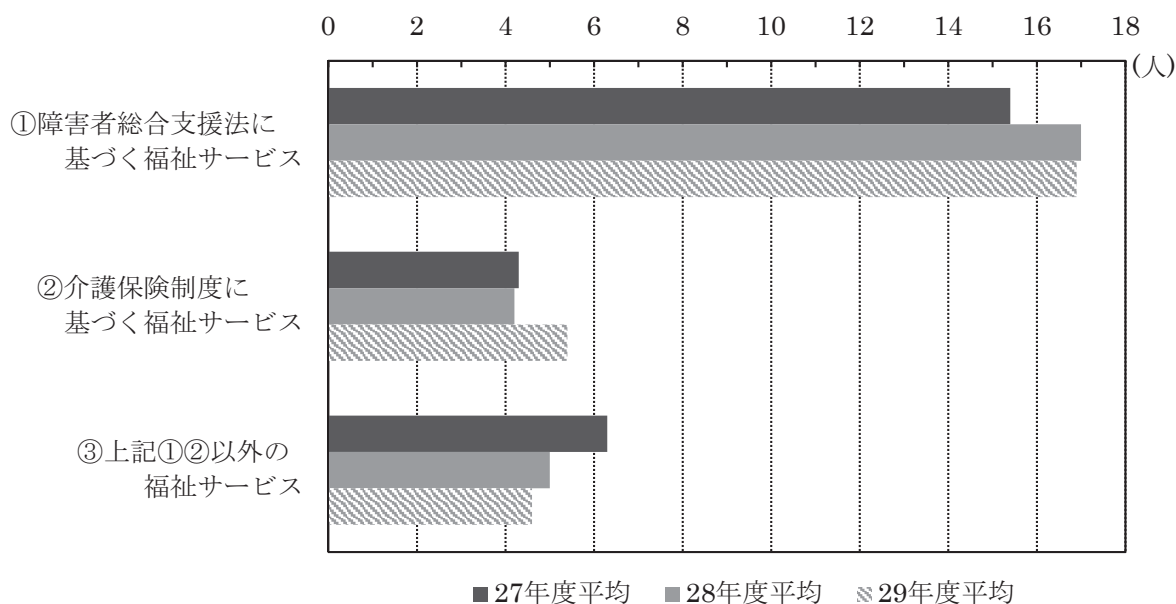
○ 福祉サービスの利用状況は、以下のとおり。

表 1-2 福祉サービスの月別の利用状況

利用状況(人)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
①障害者総合支援法に基づく福祉サービス	17	18	16	17	18	18	16	17	16	17	17	16	16.9
②介護保険制度に基づく福祉サービス	5	5	5	5	6	6	5	5	5	6	6	6	5.4
③上記①②以外の福祉サービス	6	6	6	5	4	5	6	4	4	3	3	3	4.6

□ 利用者数は「①障害者総合支援法に基づく福祉サービス」は延べ 203 人で、平均では毎月 16.9 人が、「②介護保険制度に基づく福祉サービス」は延べ 65 人で、平均では毎月 5.4 人が、「③上記①②以外の福祉サービス」は延べ 55 人で、平均では毎月 4.6 人が利用している

利用状況(人)	27年度平均	28年度平均	29年度平均
①障害者総合支援法に基づく福祉サービス	15.4	17	16.9
②介護保険制度に基づく福祉サービス	4.3	4.2	5.4
③上記①②以外の福祉サービス	6.3	5	4.6



- 「③上記①②以外の福祉サービス」の主な具体的内容は、以下のとおりとなっている
(自由記載、順不同、複数記載)。

◇交通、宿泊

- ・ 遠距離の眼科に通う時の宿泊施設の利用
- ・ タクシーチケット
- ・ 地方公共団体の福祉タクシーチケット 480 円×24 (年間)
- ・ 地方公共団体の福祉特別乗車券の一部個人負担での支給

◇点字、読み上げ

- ・ 音声ボランティア
- ・ ボランティアによる点字指導

◇リハビリ、介護

- ・ 歩行訓練
- ・ 地方公共団体の緊急介護人制度

◇趣味

- ・ 公共の図書
- ・ 料理、フラワー、陶芸、言語教室
- ・ スマホ教室受講

◇その他

- ・ 福祉開発研究センター
- ・ 在宅訪問によるパソコンサポート

■ 障害者総合支援法に基づく福祉サービスの利用状況について（SJS の健康被害者の方のみに質問）

○ 障害者総合支援法に基づく福祉サービスの利用状況は、以下のとおり。

○ なお、満足度の点数は、「不満」～「満足」を以下の4段階で評価しており、

- ・ 満足： 4点
- ・ やや満足： 3点
- ・ やや不満： 2点
- ・ 不満： 1点

の点数となっている。

① 同行援護

○ 障害者総合支援法に基づく福祉サービスのうち、同行援護の利用状況は、表1-3のとおり。

表1-3 同行援護の月別の利用状況

同行援護	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
利用者数（人）	12	11	12	12	12	12	14	13	12	12	12	13	12.3
平均利用日数（日）	6.9	7.4	7.0	6.3	6.5	6.3	6.5	6.7	7.4	7.1	7.0	6.8	6.8
満足度平均（4点満点）	3.3	3.3	3.4	3.3	3.4	3.4	3.4	3.4	3.2	3.4	3.4	3.5	3.4

□ 利用者数は延べ147人で、平均では毎月12.3人が利用している

□ 平均利用日数は月に6.8日となっている

□ サービスに対する満足度は平均すると3.4点となっている

□ 満足度が高い理由としては「行動範囲が広がった」などをあげている

② 就労移行支援

○ 障害者総合支援法に基づく福祉サービスのうち、就労移行支援の利用状況は、表1-4のとおり。

表1-4 就労移行支援の月別利用状況

就労移行支援	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
利用者数（人）	0	1	0	1	1	0	0	0	0	1	0	1	0.4
平均利用日数（日）	-	-	-	2.0	2.0	-	-	-	-	2.0	-	2.0	2.0
満足度平均（4点満点）	-	3.0	-	-	-	-	-	-	-	1.0	-	1.0	1.7

□ 利用者数は延べ5人で、1人が利用している

□ 平均利用日数は月に2.0日となっている

□ サービスに対する満足度は平均1.7点となっている

③ 就労継続支援 A 型

○ 障害者総合支援法に基づく福祉サービスのうち、就労継続支援 A 型の利用状況は、表 1-5 のとおり。

表 1-5 就労継続支援 A 型の月別の利用状況

就労継続支援A型	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
利用者数（人）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
平均利用日数（日）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
満足度平均（4点満点）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

本年度の利用者はなかった

④ 就労継続支援 B 型

○ 障害者総合支援法に基づく福祉サービスのうち、就労継続支援 B 型の利用状況は、表 1-6 のとおり。

表 1-6 就労継続支援 B 型の月別の利用状況

就労継続支援B型	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
利用者数（人）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
平均利用日数（日）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
満足度平均（4点満点）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

本年度の利用者はなかった

⑤ 上記以外のサービス

○ 上記①～④以外の障害者総合支援法に基づく福祉サービスの利用状況は、表 1-7 のとおり。

表 1-7 上記以外のサービスの月別の利用状況

上記以外のサービス	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
利用者数（人）	7	7	9	9	8	8	8	8	8	10	10	10	8.5
平均利用回数（回）	4.6	4.3	4.0	4.1	3.9	5.8	3.6	3.5	4.1	3.9	3.9	3.6	4.1
満足度平均（4点満点）	3.4	3.6	3.2	3.4	3.6	3.4	3.6	3.4	3.5	3.7	3.6	3.4	3.5

利用者数は延べ 102 人で、平均では毎月 8.5 人が利用している

平均利用日数は月に 4.1 日となっている

サービスに対する満足度は平均すると 3.5 点となっている

満足度が高い理由としては「家事、おそうじ、買い物とても助かっている」などをあげている

○具体的な「⑤上記以外のサービス」の内容は、以下のとおりとなっている
(自由記載、順不同、複数記載)。

◇読み上げ、代筆

- ・ 音訳サービス
- ・ 対面朗読
- ・ 郵便物の読み書き
- ・ 朗読 CD 貸し出しサービス

◇生活面サポート

- ・ 家事援助サービス
- ・ 料理
- ・ 水回りの掃除
- ・ 粗大ゴミ出し
- ・ 買い物家事サービス
- ・ 居宅サービス
- ・ 在宅訪問によるパソコンサポート

◇趣味

- ・ CD 貸し出しサービス
- ・ デイジー図書
- ・ 陶芸教室
- ・ フラワー教室
- ・ 言語教室

◇介護

- ・ 通院等介助
- ・ 訪問介護サービス
- ・ ホームヘルパー

■ 介護保険制度に基づく福祉サービスの利用状況について

○介護保険制度に基づく福祉サービスの利用状況は、以下のとおり。

○なお、満足度の点数は、「不満」～「満足」を以下の4段階で評価しており、

- ・満足： 4点
- ・やや満足： 3点
- ・やや不満： 2点
- ・不満： 1点

の点数となっている。

○併せて、平成25年度～平成28年度の平均値も示してある。

① 訪問介護

○介護保険制度に基づく福祉サービスのうち、訪問介護の利用状況および介護内容は、表1-8、表1-9のとおり。（介護内容の平成27年度平均についてはSJSの健康被害者の方のみに選択質問）

表1-8 訪問介護の月別の利用状況

訪問介護	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	28 平均	27 平均	26 平均	25 平均
利用者数(人)	4	3	3	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3.3	2.6	4.2	8.7	9.0
平均利用日数(日)	19.8	25.0	25.0	21.7	22.0	21.3	20.8	20.1	20.8	24.3	23.0	24.7	22.4	24.9	17.1	12.6	14.1
満足度平均(4点満点)	3.5	3.7	3.7	3.5	3.5	3.7	4.0	4.0	4.0	3.7	3.7	3.7	3.7	3.8	3.5	3.5	3.5

表1-9 介護内容の月別の状況

介護内容(人)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	28 平均	27 平均
身体介護中心型	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2.3	2.4	2.0
生活援助中心型	2	1	1	2	2	2	1	1	1	2	3	2	1.7	1.8	2.1
通院等乗降介助	0	0	0	1	1	0	2	1	1	1	1	1	0.8	0.1	0.8
その他	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0.1	0.0	0.0

□利用者数は延べ39人で、平均では毎月3.3人が利用している

□平均利用日数は月に22.4日となっている

□サービスに対する満足度は平均すると3.7点となっている

□満足度が高い理由としては「安心してまかせられるので」などをあげている

② 訪問入浴介護

○介護保険制度に基づく福祉サービスのうち、訪問入浴介護の利用状況は、表 1-10 のとおり。

表 1-10 訪問入浴介護の月別利用状況

訪問入浴介護	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	28 平均	27 平均	26 平均	25 平均
利用者数(人)	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2.8	3.0	2.6	3.1	3.5
平均利用日数(日)	19.7	20.7	20.0	18.7	17.3	19.7	18.3	17.8	18.8	15.5	15.5	17.0	18.3	17.3	20.0	16.5	14.8
満足度平均(4点満点)	3.3	3.7	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	4.0	4.0	4.0	3.5	3.4	3.4	3.4	3.5

- 利用者数は延べ 33 人で、平均では毎月 2.8 人が利用している
- 平均利用日数は月に 18.3 日となっている
- サービスに対する満足度は平均すると 3.5 点となっている
- 満足度が高い理由としては「ヘルパーさんが慣れている」などをあげている

③ 訪問看護

○介護保険制度に基づく福祉サービスのうち、訪問看護の利用状況は、表 1-11 のとおり。

表 1-11 訪問看護の月別の利用状況

訪問看護	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	28 平均	27 平均	26 平均	25 平均
利用者数(人)	3	3	3	2	3	3	3	3	3	3	3	3	2.9	1.8	2.1	3.5	2.7
平均利用日数(日)	6.0	5.3	5.7	6.0	5.3	4.7	6.0	6.0	5.7	5.7	5.7	6.3	5.7	5.8	4.2	3.8	4.9
満足度平均(4点満点)	3.0	3.0	3.0	3.5	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	4.0	3.7	4.0	3.4	3.8	3.4	3.1	3.2

- 利用者数は延べ 35 人で、平均では毎月 2.9 人が利用している
- 平均利用日数は月に 5.7 日となっている
- サービスに対する満足度は平均すると 3.4 点となっている
- 満足度が高い理由としては「きっちりしてもらい満足」などをあげている

④ 訪問リハビリテーション

○介護保険制度に基づく福祉サービスのうち、訪問リハビリテーションの利用状況は、表 1-12 のとおり。

表 1-12 訪問リハビリテーションの月別の利用状況

訪問リハビリテーション	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	28 平均	27 平均	26 平均	25 平均
利用者数(人)	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4	4	4	4.8	4.4	3.0	3.5	5.4
平均利用日数(日)	7.2	7.2	7.2	6.6	7.0	7.2	7.4	7.5	7.5	5.0	5.0	5.8	6.7	7.4	7.4	4.7	4.2
満足度平均(4点満点)	3.2	3.3	3.2	3.2	3.0	3.0	3.0	3.2	3.2	3.3	3.3	3.3	3.2	3.3	3.1	3.2	3.3

- 利用者数は延べ 57 人で、平均では毎月 4.8 人が利用している
- 平均利用日数は月に 6.7 日となっている
- サービスに対する満足度は平均すると 3.2 点となっている
- 満足度が高い理由としては「体が少し楽になる」などをあげている

⑤ 居宅療養管理指導

○介護保険制度に基づく福祉サービスのうち、居宅療養管理指導の利用状況は、表 1-13 のとおり。

表 1-13 居宅療養管理指導の月別の利用状況

居宅療養管理指導	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	28 平均	27 平均	26 平均	25 平均
利用者数(人)	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3.0	2.4	1.7	3.2	3.4
平均利用回数(回)	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.4	1.6	1.3	1.3
満足度平均(4点満点)	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7	3.5	3.7	3.7	3.7	3.7	3.5	3.4

- 利用者数は延べ 36 人で、平均では毎月 3.0 人が利用している
- 平均利用回数は月に 1.3 回となっている
- サービスに対する満足度は平均すると 3.7 点となっている
- 満足度が高い理由としては「本人の話をよく聞いてくれる」などをあげている

⑥ 通所介護

○介護保険制度に基づく福祉サービスのうち、通所介護の利用状況は、表 1-14 のとおり。

表 1-14 通所介護の月別の利用状況

通所介護	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	28 平均	27 平均	26 平均	25 平均
利用者数(人)	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2.0	1.5	1.0	2.4	4.6
平均利用回数(回)	10.0	12.0	10.5	14.5	15.0	15.0	17.5	14.8	15.3	10.0	9.0	10.5	12.8	10.1	8.6	12.4	14.6
満足度平均(4点満点)	4.0	4.0	4.0	3.0	3.0	3.0	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.9	4.0	3.8	3.8

- 利用者数は延べ 24 人で、平均では毎月 2.0 人が利用している
- 平均利用回数は月に 12.8 回となっている
- サービスに対する満足度は平均すると 3.5 点となっている
- 満足度が高い理由としては「お風呂が大好きなので、気持ちよく入っていて満足している」などをあげている

⑦ 通所リハビリテーション

○介護保険制度に基づく福祉サービスのうち、通所リハビリテーションの利用状況は、表 1-15 のとおり。

表 1-15 通所リハビリテーションの月別の利用状況

通所リハビリテーション	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	28 平均	27 平均	26 平均	25 平均
利用者数(人)	4	4	4	4	4	3	3	3	4	5	5	5	4.0	3.3	3.8	5.1	5.5
平均利用回数(回)	5.5	5.8	7.3	4.3	5.5	5.3	5.7	5.3	5.5	5.8	7.0	7.2	5.8	6.3	6.7	6.4	6.6
満足度平均(4点満点)	3.0	3.0	3.0	3.5	3.0	3.3	3.7	3.7	3.8	3.4	3.6	3.8	3.4	3.6	3.2	3.2	3.3

- 利用者数は延べ 48 人で、平均では毎月 4.0 人が利用している
- 平均利用回数は 5.8 回となっている
- サービスに対する満足度は平均すると 3.4 点となっている
- 満足度が高い理由としては「体のことをよくわかってくれている」などをあげている

⑧ 短期入所

○介護保険制度に基づく福祉サービスのうち、短期入所の利用状況および入所内容は、表 1-16、表 1-17 のとおり。（入所内容の平成 27 年度平均については SJS の健康被害者の方のみに選択質問）

表 1-16 短期入所の月別の利用状況

短期入所	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	28 平均	27 平均	26 平均	25 平均
利用者数（人）	2	1	3	1	2	1	0	1	0	1	0	1	1.1	1.5	0.8	1.4	1.3
平均利用回数（回）	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	-	1.0	-	1.0	-	1.0	1.0	1.1	1.3	2.8	2.9
満足度平均（4点満点）	2.0	2.0	2.0	3.0	3.0	3.0	-	3.0	-	3.0	-	3.0	2.7	2.5	2.1	3.3	3.6

表 1-17 入所内容の月別の利用状況

入所内容（人）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	28 平均	27 平均
短期入所療養介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0
短期入所生活介護 （ショートステイ）	2	1	3	1	2	1	0	1	0	1	0	1	1.1	0.0	0.0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0

- 利用者数は延べ 13 人で、平均では毎月 1.1 人が利用している
- 平均利用回数は 1.0 回となっている
- サービスに対する満足度は平均すると 2.7 点となっている
- SJS の健康被害者の入所はなかった

⑨ 送迎サービス

○介護保険制度に基づく福祉サービスのうち、送迎サービスの利用状況は、表 1-18 のとおり。

表 1-18 送迎サービスの月別の利用状況

送迎サービス	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	28 平均	27 平均	26 平均	25 平均
利用者数（人）	6	5	4	5	5	5	7	7	6	6	6	5	5.6	5.0	5.2	7.2	7.8
平均利用回数（回）	7.3	5.7	4.4	4.9	4.9	5.1	8.4	8.1	7.3	4.6	5.4	5.5	6.0	8.3	7.5	7.8	8.1
満足度平均（4点満点）	3.0	3.0	3.3	3.2	3.2	3.2	3.5	3.6	3.5	3.6	3.7	3.5	3.4	3.4	3.5	3.4	3.4

- 利用者数は延べ 67 人で、平均では毎月 5.6 人が利用している
- 平均利用回数は月に 6.0 回となっている
- サービスに対する満足度は平均すると 3.4 点となっている
- 満足度が高い理由としては「天候を気にしなくてよい」などをあげている

⑩ その他の福祉サービス

○ 上記①～⑨以外の介護保険制度に基づく福祉サービスの利用状況は、表 1-19 のとおり。

表 1-19 その他の福祉サービスの月別の利用状況

その他の福祉サービス	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	28 平均	27 平均	26 平均	25 平均
利用者数（人）	5	6	4	4	4	5	4	4	3	3	3	3	4.0	4.7	5.8	11.3	9.0
平均利用回数（回）	14.5	8.3	11.0	12.0	12.0	11.1	8.2	5.0	7.5	5.0	6.5	7.5	9.0	8.8	6.0	5.3	4.5
満足度平均（4点満点）	3.2	3.2	2.5	3.3	3.3	3.4	3.3	3.5	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	3.2	3.2	3.3

- 利用者数は延べ 48 人で、平均では毎月 4.0 人が利用している
- 平均利用回数は月に 9.0 回となっている
- サービスに対する満足度は平均すると 3.3 点となっている
- 具体的なサービス内容としては「デイサービス」や「居宅移動支援」などをあげている
- 満足度が高い理由としては「スタッフさんが良くなれているから」などをあげている

⑪ 福祉サービスの年間利用状況

○ 上記①～⑩に示した各福祉サービスの年間の平均利用状況（日数または回数）及び満足度の平均点数をとりまとめると、図 1-1 のとおり。

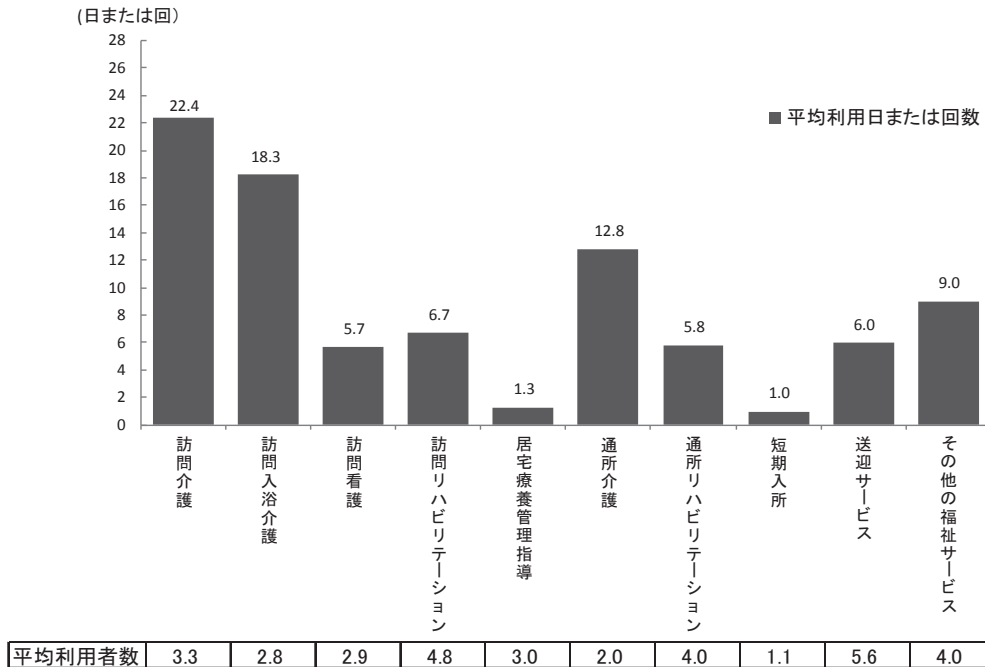


図 1-1 福祉サービスの年間利用状況

□ 1年間、福祉サービスを利用して満足度が高かったサービスは、「訪問介護」と「居宅療養管理指導」の 3.7 点、つづいて「訪問入浴介護」と「通所介護」が 3.5 点となっている

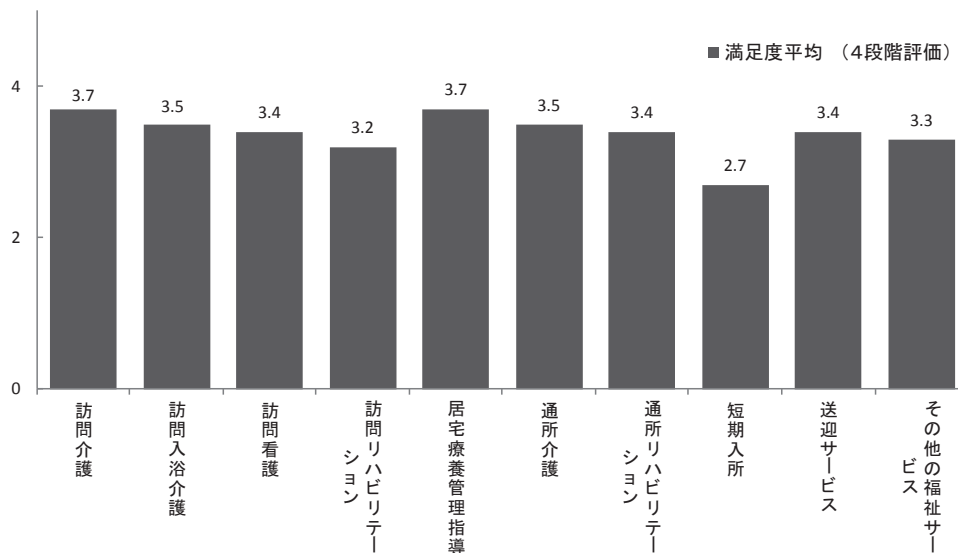


図 1-2 福祉サービスの満足度平均

(2) B票（社会活動を中心とした調査）からみた生活状況の概要

■ 健康被害者の外出について

① 外出の頻度

ア 第1・四半期（回答者 55人）

- 第1・四半期における健康被害者の外出頻度については、表2-1及び図2-1のとおり。
- ほぼ毎日が23.6%、週に4~5回が25.5%、週に2~3回が25.5%となっている
- 一方、月に2~3回が20.0%、まったく外出していないが5.5%となっている

イ 第2・四半期（回答者 52人）

- 第2・四半期における健康被害者の外出頻度については、表2-1及び図2-1のとおり。
- ほぼ毎日が25.0%、週に4~5回が21.2%、週に2~3回が23.1%となっている
- 一方、月に2~3回が25.0%、まったく外出していないが5.8%となっている

ウ 第3・四半期（回答者 51人）

- 第3・四半期における健康被害者の外出頻度については、表2-1及び図2-1のとおり。
- ほぼ毎日が29.4%、週に4~5回が21.6%、週に2~3回が23.5%となっている
- 一方、月に2~3回が23.5%、まったく外出していないが2.0%となっている

エ 第4・四半期（回答者 52人）

- 第4・四半期における健康被害者の外出頻度については、表2-1及び図2-1のとおり。
- ほぼ毎日が21.2%、週に4~5回が21.2%、週に2~3回が26.9%となっている
- 一方、月に2~3回が28.8%、まったく外出していないが1.9%となっている

オ 四半期ごとの推移

- 第1・四半期から第4・四半期までの推移をみると、表2-1及び図2-1のとおり。
- 年間の平均では、ほぼ毎日外出している人が24.8%、週に4~5回外出している人が22.4%、週に2~3回外出している人が24.8%、月に2~3回外出している人が24.3%となっている

表 2-1 健康被害者の外出頻度の推移

	ほぼ毎日	週に4から5回	週に2から3回	月に2から3回	まったく外出していない	回答なし	合計
第1・四半期	13	14	14	11	3	1	55
	23.6%	25.5%	25.5%	20.0%	5.5%	—	100.0%
第2・四半期	13	11	12	13	3	1	52
	25.0%	21.2%	23.1%	25.0%	5.8%	—	100.0%
第3・四半期	15	11	12	12	1	2	51
	29.4%	21.6%	23.5%	23.5%	2.0%	—	100.0%
第4・四半期	11	11	14	15	1	0	52
	21.2%	21.2%	26.9%	28.8%	1.9%	—	100.0%
年間単純平均	13.0	11.8	13.0	12.8	2.0	1.0	52.5
	24.8%	22.4%	24.8%	24.3%	3.8%	—	100.0%
28年度平均	13.8	12.0	12.8	14.0	2.8	0.8	55.3
	24.9%	21.7%	23.1%	25.3%	5.0%	—	100.0%
27年度平均	13.3	12.0	13.5	15.0	2.3	0.5	56.0
	23.7%	21.4%	24.1%	26.8%	4.0%	—	100.0%
26年度平均	16.3	13.8	15.3	14.8	2.8	2.3	62.8
	25.9%	21.9%	24.3%	23.5%	4.4%	—	100.0%
25年度平均	15.8	13.5	18.5	17.0	2.0	1.8	66.8
	23.6%	20.2%	27.7%	25.5%	3.0%	—	100.0%

注：上段は人数、下段は割合

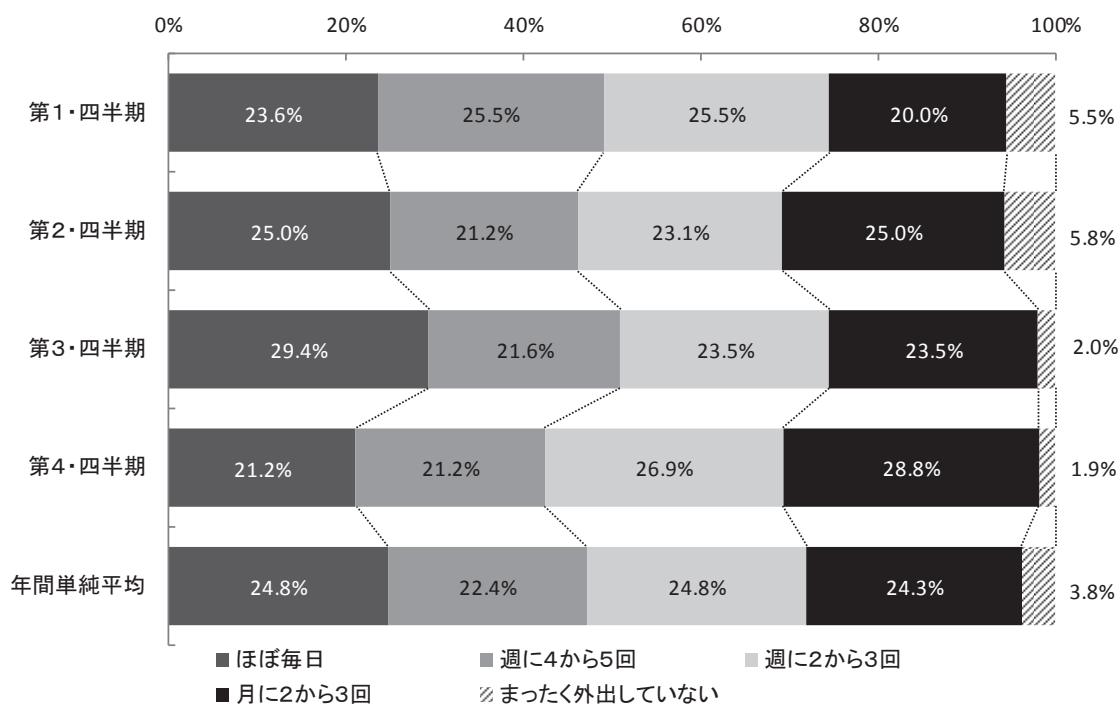


図 2-1 健康被害者の外出頻度の推移

①-1 外出に当たっての介助者

ア 第1・四半期（回答者 52人）

- 外出したとする人に回答を求めた（以下、同じ）。第1・四半期における健康被害者の外出時の主たる介助者については、表2-2及び図2-2のとおり（複数回答）。
- 主たる介助者は「配偶者」が46.2%、「親」と「子供」が23.1%、「ホーム（ガイド）ヘルパー」が17.3%となっている
- 「介助なし」で外出している健康被害者は40.4%となっている
- その他の外出時の介助者としては、「ガイドヘルパー」「病棟職員」などをあげている

イ 第2・四半期（回答者 49人）

- 第2・四半期における健康被害者の外出時の主たる介助者については、表2-2及び図2-2のとおり（複数回答）。
- 主たる介助者は「配偶者」が42.9%、「親」が28.6%、「子供」と「ホーム（ガイド）ヘルパー」が26.5%となっている
- 「介助なし」で外出している健康被害者は38.8%となっている
- その他の外出時の介助者としては、「デイサービススタッフ」「盲導犬」などをあげている

ウ 第3・四半期（回答者 50人）

- 第3・四半期における健康被害者の外出時の主たる介助者については、表2-2及び図2-2のとおり（複数回答）。
- 主たる介助者は「配偶者」が44.0%、「子供」が32.0%、「親」が28.0%、「ホーム（ガイド）ヘルパー」が26.0%となっている
- 「介助なし」で外出している健康被害者は34.0%となっている
- その他の外出時の介助者としては、「ガイドヘルパー」「友人」などをあげている

エ 第4・四半期（回答者 50人）

- 第4・四半期における健康被害者の外出時の主たる介助者については、表2-2及び図2-2のとおり（複数回答）。
- 主たる介助者は「配偶者」が48.0%、「親」が30.0%「子供」が26.0%、「ホーム（ガイド）ヘルパー」が22.0%、となっている
- 「介助なし」で外出している健康被害者は40.0%となっている
- その他の外出時の介助者としては、「デイサービススタッフ」「盲導犬」などをあげている

オ 四半期ごとの推移

○ 第1・四半期から第4・四半期までの推移をみると、表2-2及び図2-2のとおり（複数回答）。

- 外出時の主な介助者の年間の平均では「配偶者」が45.3%、「親」が27.4%、「子供」が26.9%、「ホーム（ガイド）ヘルパー」が22.9%となっている
- 一方、「介助なし」で外出している人は38.3%となっている

表2-2 健康被害者の外出時の主たる介助者の推移

	介助なし	配偶者	親	子供	その他の家族	親戚	ホーム(ガイド)ヘルパー	隣人・知人	雇人	ボランティア	その他	回答なし	回答者数
第1・四半期	21	24	12	12	5	3	9	8	1	3	9	0	52
第2・四半期	19	21	14	13	4	4	13	8	1	3	7	0	49
第3・四半期	17	22	14	16	5	3	13	8	1	3	7	0	50
第4・四半期	20	24	15	13	4	3	11	6	0	3	7	1	50
年間単純平均	19.3	22.8	13.8	13.5	4.5	3.3	11.5	7.5	0.8	3.0	7.5	0.3	50.3
28年度平均	17.8	24.5	13.5	15.0	5.5	3.8	11.8	7.8	1.5	1.5	6.5	0.3	52.3
27年度平均	19.5	25.5	14.0	13.8	4.8	3.8	13.5	9.3	3.0	2.8	3.8	0.0	53.8
26年度平均	21.8	26.5	17.0	13.0	5.5	3.5	15.5	9.3	1.3	2.8	5.3	0.0	53.0
25年度平均	20.8	27.0	19.8	12.8	3.3	4.3	16.5	10.0	1.5	3.3	6.5	0.0	64.5
	32.2%	41.9%	30.6%	19.8%	5.0%	6.6%	25.6%	15.5%	2.3%	5.0%	10.1%	—	—

注：上段は人数、下段は割合

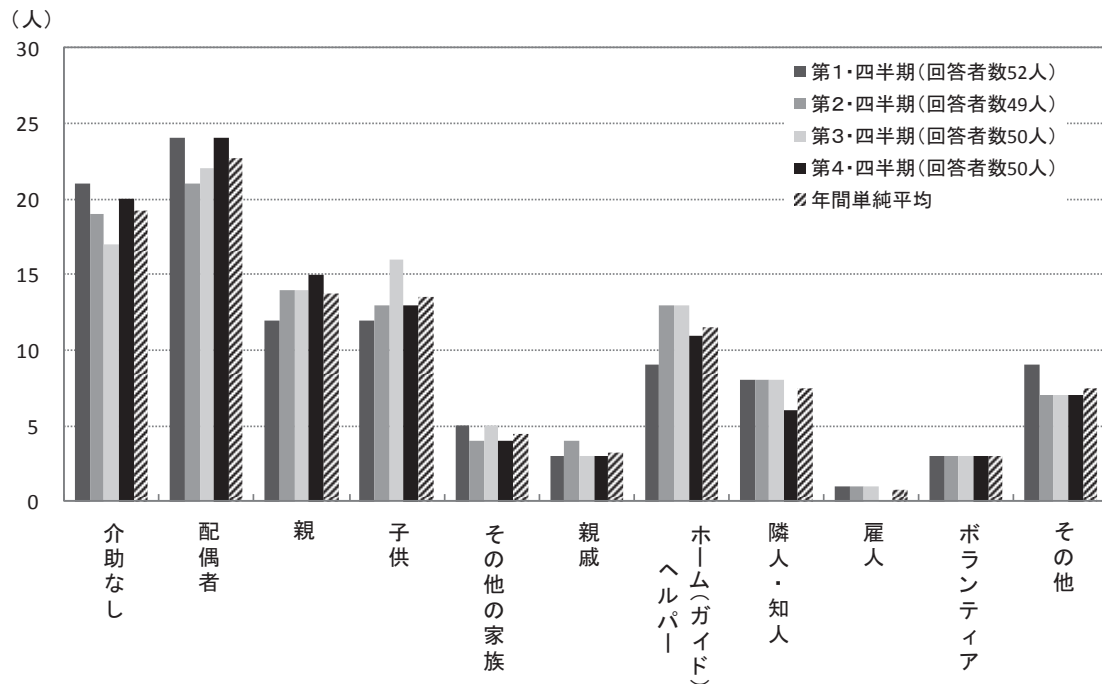


図2-2 健康被害者の外出時の主たる介助者の推移

■ 外出に当たって困ること・不満に思うことについて

② 外出に当たって困ること・不満に思うことの有無

ア 第1・四半期（回答者 54人）

○ 第1・四半期において、健康被害者が外出する場合に困ることや不満に思うことの有無については、表2-3及び図2-3のとおり。

□ 94.4%の人が外出する場合に困ることや不満に思うことがあると回答している

イ 第2・四半期（回答者 53人）

○ 第2・四半期において、健康被害者が外出する場合に困ることや不満に思うことの有無については、表2-3及び図2-3のとおり。

□ 90.6%の人が外出する場合に困ることや不満に思うことがあると回答している

ウ 第3・四半期（回答者 53人）

○ 第3・四半期において、健康被害者が外出する場合に困ることや不満に思うことの有無については、表2-3及び図2-3のとおり。

□ 84.9%の人が外出する場合に困ることや不満に思うことがあると回答している

エ 第4・四半期（回答者 50人）

○ 第4・四半期において、健康被害者が外出する場合に困ることや不満に思うことの有無については、表2-3及び図2-3のとおり。

□ 92.0%の人が外出する場合に困ることや不満に思うことがあると回答している

オ 四半期ごとの推移

○ 第1・四半期から第4・四半期までの推移をみると、表2-3及び図2-3のとおり。

□ 外出時に困ることや不満に思うことがあると回答した人は、年間の平均では、90.5%となっている

表 2-3 外出時の困難・不満の有無の推移

	困ることや 不満に思う ことがある	困ることや 不満に思う ことがない	回答なし	合 計
第1・四半期	51	3	2	54
	94.4%	5.6%	—	100.0%
第2・四半期	48	5	0	53
	90.6%	9.4%	—	100.0%
第3・四半期	45	8	0	53
	84.9%	15.1%	—	100.0%
第4・四半期	46	4	2	50
	92.0%	8.0%	—	100.0%
年間単純平均	47.5	5.0	1.0	52.5
	90.5%	9.5%	—	100.0%
28年度平均	47.8	6.3	2.0	54.0
	88.4%	11.6%	—	100.0%
27年度平均	47.5	6.5	2.5	54.0
	88.0%	12.0%	—	100.0%
26年度平均	51.8	9.5	3.8	61.3
	84.5%	15.5%	—	100.0%
25年度平均	61.0	5.8	1.8	66.8
	91.4%	8.6%	—	100.0%

注：上段は人数、下段は割合

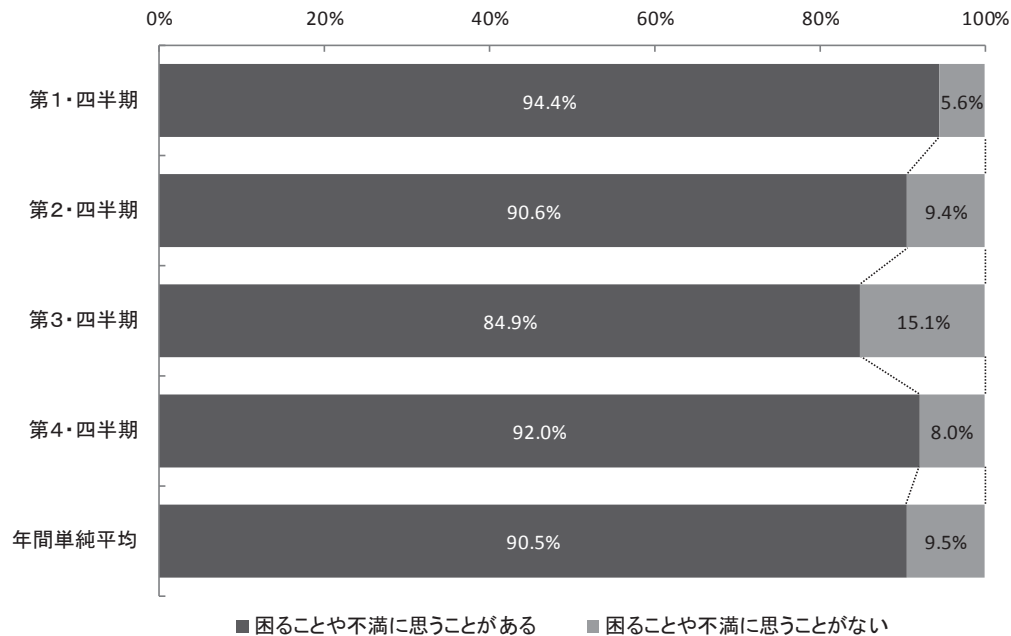


図 2-3 外出時の困難・不満の有無の推移

②-1 外出に当たって困ること・不満に思うこと

ア 第1・四半期（回答者 51 人）

- 外出に当たって困ること・不満に思うことがあると答えた人に回答を求めた（以下、同じ）。第1・四半期における健康被害者の外出に当たって困ること・不満に思うことの具体的な内容については、表2-4及び図2-4のとおり（複数回答）。
- 「人の混雑や車に身の危険を感じる」が70.6%、「利用する建物の設備の利用が不便」が62.7%、「電車・バス・タクシーなどの乗物の利用が不便」が49.0%ととなっている
- その他としては、「光がまぶしい」「点字ブロックの上に物・人がいる」などをあげている

イ 第2・四半期（回答者 48 人）

- 第2・四半期における健康被害者の外出に当たって困ること・不満に思うことの具体的な内容については、表2-4及び図2-4のとおり（複数回答）。
- 「人の混雑や車に身の危険を感じる」が64.6%、「利用する建物の設備の利用が不便」が60.4%、「電車・バス・タクシーなどの乗物の利用が不便」が47.9%ととなっている
- その他としては、「悪天候の時の外出が困る」「対人恐怖症」などをあげている

ウ 第3・四半期（回答者 45 人）

- 第3・四半期における健康被害者の外出に当たって困ること・不満に思うことの具体的な内容については、表2-4及び図2-4のとおり（複数回答）。
- 「人の混雑や車に身の危険を感じる」が73.3%、「利用する建物の設備の利用が不便」が64.4%、「電車・バス・タクシーなどの乗物の利用が不便」が57.8%ととなっている
- その他としては、「車イスマークの駐車場に健常者が止めている」「スマホしながら歩く人、カートを持って歩行している人」などをあげている

エ 第4・四半期（回答者 46 人）

- 第4・四半期における健康被害者の外出に当たって困ること・不満に思うことの具体的な内容については、表2-4及び図2-4のとおり（複数回答）。
- 「人の混雑や車に身の危険を感じる」が73.9%、「利用する建物の設備の利用が不便」と「電車・バス・タクシーなどの乗物の利用が不便」が56.5%ととなっている
- その他としては、「階段が見辛く不安」などをあげている

オ 四半期ごとの推移

- 第1・四半期から第4・四半期までの推移をみると、表2-4及び図2-4のとおり（複数回答）。
- 「人の混雑や車に身の危険を感じる」が70.5%、「利用する建物の設備の利用が不便」が61.1%、「電車・バス・タクシーなどの乗物の利用が不便」が52.6%ととなっている

表2-4 外出に当たって困ること・不満に思うことの推移

	介護者がいない	経費がかかる	人の目が気にかかる	人と話をすることが困難	外出に必要な情報が得られない	電車・バス・タクシーなどの乗物の利用が不便	道路や駅などの公共の場所の利用が不便	利用する建物の設備の利用が不便	人の混雑や車に身の危険を感じる	駅などにおける人間関係のトラブル	その他	回答者数
第1・四半期	5	14	9	8	12	25	20	32	36	2	10	51
	9.8%	27.5%	17.6%	15.7%	23.5%	49.0%	39.2%	62.7%	70.6%	3.9%	19.6%	—
第2・四半期	7	15	12	9	10	23	21	29	31	2	12	48
	14.6%	31.3%	25.0%	18.8%	20.8%	47.9%	43.8%	60.4%	64.6%	4.2%	25.0%	—
第3・四半期	5	15	9	8	9	26	24	29	33	3	5	45
	11.1%	33.3%	20.0%	17.8%	20.0%	57.8%	53.3%	64.4%	73.3%	6.7%	11.1%	—
第4・四半期	10	14	11	7	10	26	22	26	34	2	9	46
	21.7%	30.4%	23.9%	15.2%	21.7%	56.5%	47.8%	56.5%	73.9%	4.3%	19.6%	—
年間単純平均	6.8	14.5	10.3	8.0	10.3	25.0	21.8	29.0	33.5	2.3	9.0	47.5
	14.2%	30.5%	21.6%	16.8%	21.6%	52.6%	45.8%	61.1%	70.5%	4.7%	18.9%	—
28年度平均	4.8	12.8	9.8	8.8	10.0	25.0	25.0	28.3	32.8	3.8	15.0	47.5
	9.9%	26.7%	20.4%	18.3%	20.9%	52.4%	52.4%	59.2%	68.6%	7.9%	31.4%	—
27年度平均	7.5	13.8	9.8	8.0	9.5	25.5	24.0	30.5	33.3	3.3	10.0	47.5
	15.8%	28.9%	20.5%	16.8%	20.0%	53.7%	50.5%	64.2%	70.0%	6.8%	21.1%	—
26年度平均	5.8	16.5	11.3	9.3	11.3	30.0	26.5	31.5	34.0	5.0	7.5	47.5
	12.1%	34.7%	23.7%	19.5%	23.7%	63.2%	55.8%	66.3%	71.6%	10.5%	15.8%	—
25年度平均	8.0	17.3	12.0	10.3	12.5	35.5	28.5	33.5	37.0	4.3	12.3	61.0
	13.1%	28.3%	19.7%	16.8%	20.5%	58.2%	46.7%	54.9%	60.7%	7.0%	20.1%	—

注：上段は人数、下段は割合

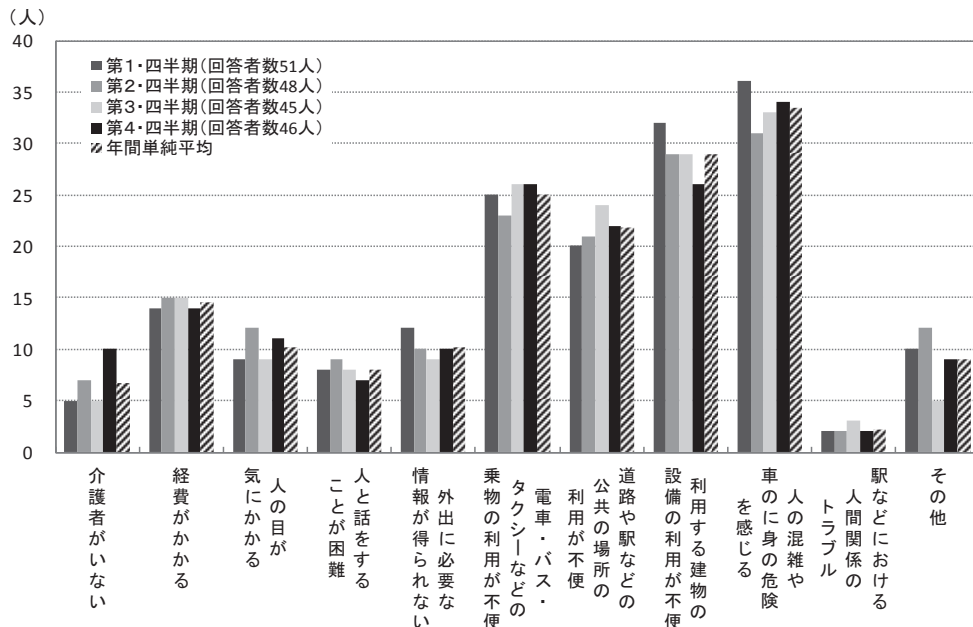


図2-4 外出に当たって困ること・不満に思うことの推移

②-2 外出する上で工夫したこと【外出前の準備】（SJSの健康被害者の方のみに質問）

ア 第1・四半期（回答者43人）

○第1・四半期における健康被害者の外出する上で工夫した「外出前の準備」の具体的な内容については、表2-5及び図2-5のとおり（複数回答）。

- 「予め、交通機関や経路について調べておく」が81.4%、「コースを事前に決めておく」が51.2%、「介助者を依頼する」が30.2%となっている
- その他としては、「混雑をさける」「子供や孫に予め頼んでおく」などをあげている

イ 第2・四半期（回答者39人）

○第2・四半期における健康被害者の外出する上で工夫した「外出前の準備」の具体的な内容については、表2-5及び図2-5のとおり（複数回答）。

- 「予め、交通機関や経路について調べておく」が76.9%、「コースを事前に決めておく」が59.0%、「介助者を依頼する」が35.9%となっている
- その他としては、「娘達の登下校時に合せて行動する」「白杖を持っていく」などをあげている

ウ 第3・四半期（回答者41人）

○第3・四半期における健康被害者の外出する上で工夫した「外出前の準備」の具体的な内容については、表2-5及び図2-5のとおり（複数回答）。

- 「予め、交通機関や経路について調べておく」が75.6%、「コースを事前に決めておく」が58.5%、「介助者を依頼する」が53.7%となっている
- その他としては、「人混をさける」などをあげている

エ 第4・四半期（回答者40人）

○第4・四半期における健康被害者の外出する上で工夫した「外出前の準備」の具体的な内容については、表2-5及び図2-5のとおり（複数回答）。

- 「予め、交通機関や経路について調べておく」が77.5%、「コースを事前に決めておく」が57.5%、「介助者を依頼する」が35.0%となっている
- その他としては、「盲導犬を利用」「家族の予定に合わせて外出や通院する」などをあげている

オ 四半期ごとの推移

○ 第1・四半期から第4・四半期までの推移をみると、表2-5及び図2-5のとおり（複数回答）。

□ 外出する上で工夫した「外出前の準備」の年間の平均では「予め、交通機関や経路について調べておく」が77.9%、「コースを事前に決めておく」が56.4%、「介助者を依頼する」が38.7%となっている

表2-5 外出する上で工夫したこと【外出前の準備】の推移

	予め、 交通機関や 経路について 調べておく	介助者を 依頼する	コースを 事前に 決めておく	その他	回答なし	回答者数
第1・四半期	35	13	22	2	6	43
	81.4%	30.2%	51.2%	4.7%	—	—
第2・四半期	30	14	23	5	8	39
	76.9%	35.9%	59.0%	12.8%	—	—
第3・四半期	31	22	24	4	7	41
	75.6%	53.7%	58.5%	9.8%	—	—
第4・四半期	31	14	23	3	7	40
	77.5%	35.0%	57.5%	7.5%	—	—
年間単純平均	31.8	15.8	23.0	3.5	7.0	40.8
	77.9%	38.7%	56.4%	8.6%	—	—
28年度平均	31.8	17.3	21.0	2.8	8.5	39.3
	80.9%	43.9%	53.5%	7.0%	—	—
27年度平均	29.3	17.8	22.8	3.3	9.3	41.0
	71.3%	43.3%	55.5%	7.9%	—	—

注：上段は人数、下段は割合

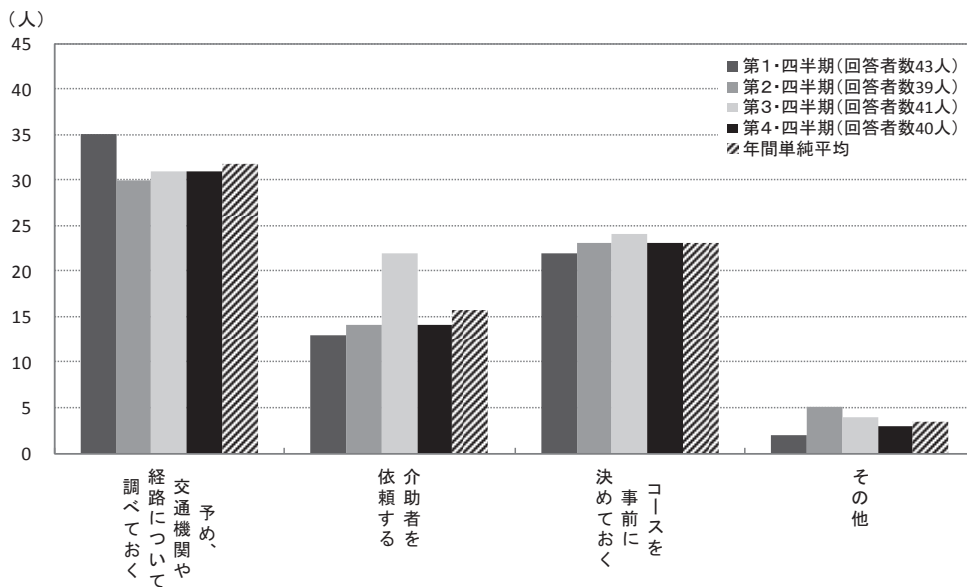


図2-5 外出する上で工夫したこと【外出前の準備】の推移

②-2 外出する上で工夫したこと【服装・持ち物】（SJSの健康被害者の方のみに質問）

ア 第1・四半期（回答者48人）

○第1・四半期における健康被害者の外出する上で工夫した「服装・持ち物」の具体的な内容については、表2-6及び図2-6のとおり（複数回答）

- 「目の保護のためサングラス、帽子を着用」が83.3%、「白杖の使用」が58.3%、
「両手が使えるよう、リュックサックを使用」が54.2%となっている
- その他としては、「盲導犬使用」「ループを持つ」などをあげている

イ 第2・四半期（回答者41人）

○第2・四半期における健康被害者の外出する上で工夫した「服装・持ち物」の具体的な内容については、表2-6及び図2-6のとおり（複数回答）

- 「目の保護のためサングラス、帽子を着用」が82.9%、「白杖の使用」が68.3%、
「両手が使えるよう、リュックサックを使用」が53.7%となっている
- その他としては、「靴をローヒールにして、転倒を防止する」「日射しよけ・雨対策・頭の保護のために帽子を着用」などをあげている

ウ 第3・四半期（回答者42人）

○第3・四半期における健康被害者の外出する上で工夫した「服装・持ち物」の具体的な内容については、表2-6及び図2-6のとおり（複数回答）

- 「目の保護のためサングラス、帽子を着用」が85.7%、「白杖の使用」が73.8%、
「両手が使えるよう、リュックサックを使用」が69.0%となっている
- その他としては、「滑りにくく歩きやすい靴」「杖の使用」などをあげている

エ 第4・四半期（回答者43人）

○第4・四半期における健康被害者の外出する上で工夫した「服装・持ち物」の具体的な内容については、表2-6及び図2-6のとおり（複数回答）

- 「目の保護のためサングラス、帽子を着用」が79.1%、「白杖の使用」が69.8%、
「両手が使えるよう、リュックサックを使用」が53.5%となっている
- その他としては、「転んだ時の危険防止で帽子をかぶる」「杖の供用」などをあげている

オ 四半期ごとの推移

○ 第1・四半期から第4・四半期までの推移をみると、表2-6及び図2-6のとおり（複数回答）。

□ 外出する上で工夫した「服装・持ち物」の年間の平均では「目の保護のためサングラス、帽子を着用」が82.8%、「白杖の使用」が67.2%、「両手が使えるよう、リュックサックを使用」が57.5%、「目立つ服装」が31.6%となっている

表2-6 外出する上で工夫したこと【服装・持ち物】の推移

	目立つ服装	目の保護のためサングラス、帽子を着用	白杖の使用	両手が使えるよう、リュックサックを使用	その他	回答なし	回答者数
第1・四半期	13	40	28	26	8	1	48
	27.1%	83.3%	58.3%	54.2%	16.7%	—	—
第2・四半期	13	34	28	22	9	6	41
	31.7%	82.9%	68.3%	53.7%	22.0%	—	—
第3・四半期	15	36	31	29	8	6	42
	35.7%	85.7%	73.8%	69.0%	19.0%	—	—
第4・四半期	14	34	30	23	8	4	43
	32.6%	79.1%	69.8%	53.5%	18.6%	—	—
年間単純平均	13.8	36.0	29.3	25.0	8.3	4.3	43.5
	31.6%	82.8%	67.2%	57.5%	19.0%	—	—
28年度平均	11.5	36.5	29.5	23.0	7.5	4.8	43.0
	26.7%	84.9%	68.6%	53.5%	17.4%	—	—
27年度平均	8.3	37.3	30.3	21.5	9.0	3.3	47.0
	17.6%	79.3%	64.4%	45.7%	19.1%	—	—

注：上段は人数、下段は割合

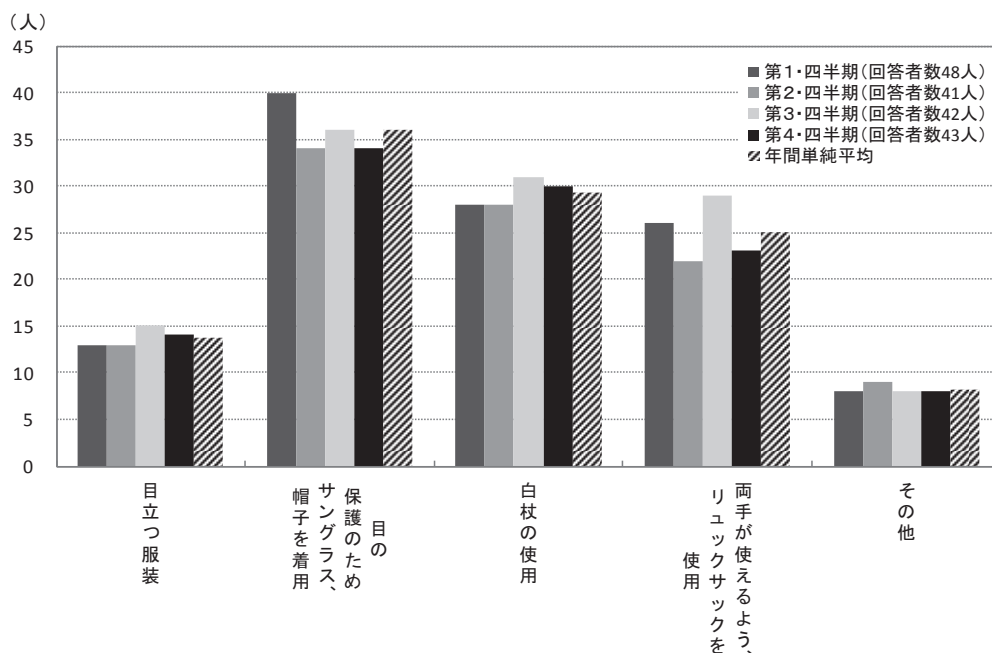


図2-6 外出する上で工夫したこと【服装・持ち物】の推移

②-2 外出する上で工夫したこと【移動手段】（SJSの健康被害者の方のみに質問）

ア 第1・四半期（回答者48人）

- 第1・四半期における健康被害者の外出する上で工夫した「移動手段」の具体的な内容については、表2-7及び図2-7のとおり（複数回答）
 - 「公共交通機関を利用」が75.0%、「自家用車を利用」が62.5%、「介護タクシーを利用」が12.5%となっている
 - その他としては、「タクシー」「徒歩」などをあげている

イ 第2・四半期（回答者45人）

- 第2・四半期における健康被害者の外出する上で工夫した「移動手段」の具体的な内容については、表2-7及び図2-7のとおり（複数回答）
 - 「公共交通機関を利用」が68.9%、「自家用車を利用」が62.2%、「介護タクシーを利用」が15.6%となっている
 - その他としては、「タクシー」「徒歩」などをあげている

ウ 第3・四半期（回答者45人）

- 第3・四半期における健康被害者の外出する上で工夫した「移動手段」の具体的な内容については、表2-7及び図2-7のとおり（複数回答）
 - 「公共交通機関を利用」が77.8%、「自家用車を利用」が64.4%、「介護タクシーを利用」が15.6%となっている
 - その他としては、「タクシー」「交通機関の駅員による誘導」などをあげている

エ 第4・四半期（回答者45人）

- 第4・四半期における健康被害者の外出する上で工夫した「移動手段」の具体的な内容については、表2-7及び図2-7のとおり（複数回答）
 - 「公共交通機関を利用」が71.1%、「自家用車を利用」が64.4%、「介護タクシーを利用」が6.7%となっている
 - その他としては、「タクシー」「徒歩」などをあげている

オ 四半期ごとの推移

- 第1・四半期から第4・四半期までの推移をみると、表2-7及び図2-7のとおり（複数回答）。
 - 外出する上で工夫した「移動手段」の年間の平均では「公共交通機関を利用」が73.2%、「自家用車を利用」が63.4%、「介護タクシーを利用」が12.6%となっている

表 2-7 外出する上で工夫したこと【移動手段】の推移

	自家用車 を利用	介護タクシー を利用	公共交通機関 を利用	その他	回答なし	回答者数
第1・四半期	30	6	36	8	1	48
	62.5%	12.5%	75.0%	16.7%	—	—
第2・四半期	28	7	31	8	2	45
	62.2%	15.6%	68.9%	17.8%	—	—
第3・四半期	29	7	35	6	3	45
	64.4%	15.6%	77.8%	13.3%	—	—
第4・四半期	29	3	32	7	2	45
	64.4%	6.7%	71.1%	15.6%	—	—
年間単純平均	29.0	5.8	33.5	7.3	2.0	45.8
	63.4%	12.6%	73.2%	15.8%	—	—
28年度平均	29.3	4.3	34.3	5.0	2.0	45.8
	63.9%	9.3%	74.9%	10.9%	—	—
27年度平均	31.3	2.8	33.5	5.8	2.5	47.8
	65.4%	5.8%	70.2%	12.0%	—	—

注：上段は人数、下段は割合

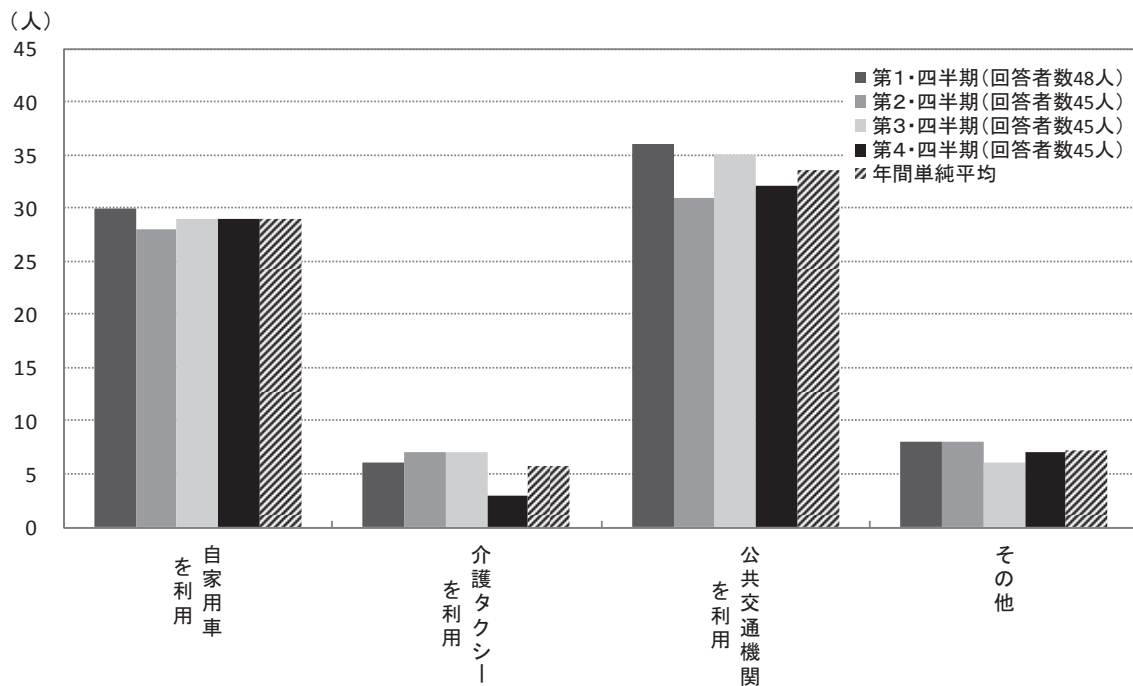


図 2-7 外出する上で工夫したこと【移動手段】の推移

②-2 外出する上で工夫したこと

○本人または介護者にたずねた外出する上で工夫したことの主な具体的内容は、以下のとおりとなっている（自由記載、順不同、複数記載）。

◇移動、歩行

- ・ 焦らず、慌てず、何事も時間を充分とることを心掛けているそうです
- ・ バスなど降りる時のブザーを確認する
- ・ 階段などは、声かけしながら上って行く
- ・ 左しか見えないので、右よりに歩く
- ・ 人出の少ない時間帯や曜日をえらぶ
- ・ 冬は、体調とこぼことを考えて、なるべく外は、歩かない。
- ・ 右側がみえにくいので左に手がかりを見る
- ・ 時によっては一般のタクシーを利用
- ・ 車の中でたいくつしないように、オモチャ、DVD など入れておく。
- ・ 車内で食事（流動食）が取れる様にした。吸引器を設置（車内に）

◇着衣

- ・ 背中があつくならないようにしている。
- ・ マスク使用する。
- ・ 帽子、傘は必需品（太陽光、紫外線、マブシイの軽減）
- ・ 日よけ、眼の保護の為帽子をかぶる
- ・ 体重も増え、大きくなってきた為、オムツ介助が大変なのでパッドを二重にしたりして出かけている。

◇その他

- ・ 眼科以外の病院は、なるべく薬を長期分出してもらい、通院を少なくする（費用がかかるから）
- ・ スマホを活用した
- ・ 新しい車イスでは少しの段差も上りにくく、車イスの介助者が踏む部分が無く車イスの前輪が上らない。旧車イスのその部分を取りあえず付けて行った。

■ 社会参加や社会活動について

③ 社会参加・社会活動等の状況

ア 第1・四半期（回答者 56 人）

○ 第1・四半期における健康被害者の余暇活動、趣味、学習、スポーツや社会活動などの実施（参加）状況については、表2-8及び図2-8のとおり。

□ 社会参加や社会活動などを行っている人が 76.8%、行っていない人が 23.2%となっている

イ 第2・四半期（回答者 53 人）

○ 第2・四半期における健康被害者の余暇活動、趣味、学習、スポーツや社会活動などの実施（参加）状況については、表2-8及び図2-8のとおり。

□ 社会参加や社会活動などを行っている人が 67.9%、行っていない人が 32.1%となっている

ウ 第3・四半期（回答者 53 人）

○ 第3・四半期における健康被害者の余暇活動、趣味、学習、スポーツや社会活動などの実施（参加）状況については、表2-8及び図2-8のとおり。

□ 社会参加や社会活動などを行っている人が 73.6%、行っていない人が 26.4%となっている

エ 第4・四半期（回答者 52 人）

○ 第4・四半期における健康被害者の余暇活動、趣味、学習、スポーツや社会活動などの実施（参加）状況については、表2-8及び図2-8のとおり。

□ 社会参加や社会活動などを行っている人が 67.3%、行っていない人が 32.7%となっている

オ 四半期ごとの推移

○ 第1・四半期から第4・四半期までの推移をみると、表2-8及び図2-8のとおり。

□ 社会参加や社会活動などを行っている人と行っていない人の割合は、年間の平均では、行っている人が 71.5%、行っていない人が 28.5%となっている

表 2-8 社会参加・社会活動等の状況の推移

	参加(活動)した	まったくしていない	回答なし	合計
第1・四半期	43	13	0	56
	76.8%	23.2%	—	100.0%
第2・四半期	36	17	0	53
	67.9%	32.1%	—	100.0%
第3・四半期	39	14	0	53
	73.6%	26.4%	—	100.0%
第4・四半期	35	17	0	52
	67.3%	32.7%	—	100.0%
年間単純平均	38.3	15.3	0.0	53.5
	71.5%	28.5%	—	100.0%
28年度平均	38.0	16.8	1.3	54.8
	69.4%	30.6%	—	100.0%
27年度平均	37.3	18.5	0.8	55.8
	66.8%	33.2%	—	100.0%
26年度平均	40.5	21.0	3.5	61.5
	65.9%	34.1%	—	100.0%
25年度平均	47.0	20.0	1.5	67.0
	70.1%	29.9%	—	100.0%

注：上段は人数、下段は割合

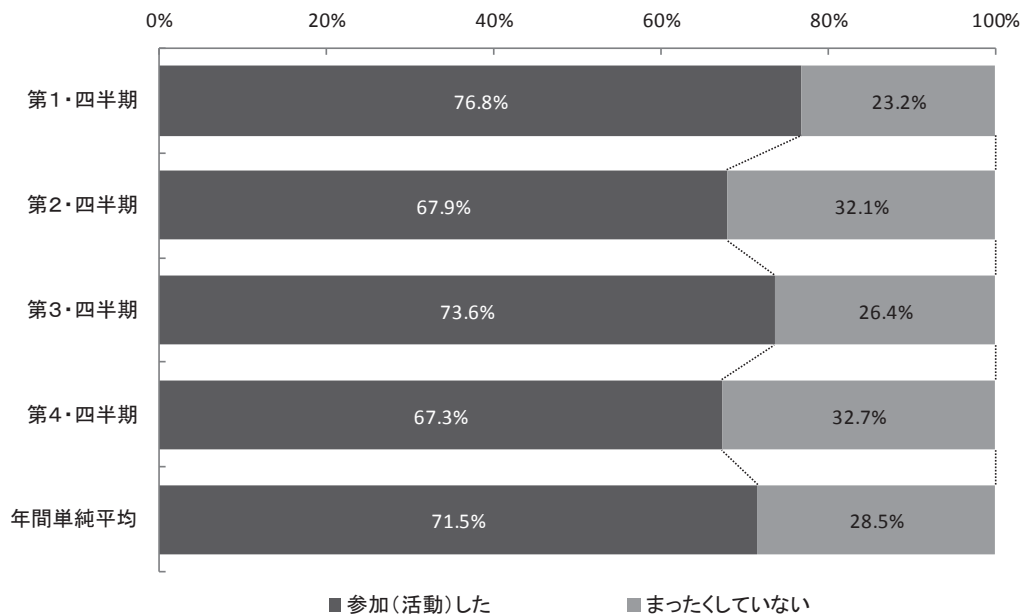


図 2-8 社会参加・社会活動等の状況の推移

③-1 社会参加・社会活動等をしなかった理由（SJSの健康被害者の方のみに質問）

ア 第1・四半期（回答者10人）

- 社会参加や社会活動などを行っていないと答えた人に回答を求めた（以下、同じ）。
第1・四半期において健康被害者が社会参加や社会活動などを行わなかった理由については、表2-9及び図2-9のとおり（複数回答）。
- 「体力的に余裕なし」が50.0%、「介助なし」が20.0%、「時間的・経済的余裕なし」が10.0%となっている

イ 第2・四半期（回答者10人）

- 第2・四半期において健康被害者が社会参加や社会活動などを行わなかった理由については、表2-9及び図2-9のとおり（複数回答）。
- 「体力的に余裕なし」が40.0%、「介助なし」が30.0%、「時間的・経済的余裕なし」が20.0%となっている
- その他としては、「参加しても楽しめない」などをあげている

ウ 第3・四半期（回答者15人）

- 第3・四半期において健康被害者が社会参加や社会活動などを行わなかった理由については、表2-9及び図2-9のとおり（複数回答）。
- 「体力的に余裕なし」が26.7%、「介助なし」が20.0%、「時間的・経済的余裕なし」が13.3%となっている

エ 第4・四半期（回答者12人）

- 第4・四半期において健康被害者が社会参加や社会活動などを行わなかった理由については、表2-9及び図2-9のとおり（複数回答）。
- 「時間的・経済的余裕なし」が25.0%、「介助なし」と「体力的に余裕なし」が16.7%となっている
- その他としては、「インフルエンザ流行の為、外出をひかえた」などをあげている

オ 四半期ごとの推移

- 第1・四半期から第4・四半期までの推移をみると、表2-9及び図2-9のとおり（複数回答）。
- 社会参加や社会活動などを行わなかった理由の年間の平均では「体力的に余裕なし」が31.9%、「介助なし」が21.3%、「時間的・経済的余裕なし」が17.0%となっている

表 2-9 社会参加・社会活動等をしなかった理由の推移

	介助なし	時間的・経済的 余裕なし	体力的に 余裕なし	その他	回答なし	回答者数
第1・四半期	2 20.0%	1 10.0%	5 50.0%	2 20.0%	2 —	10 —
第2・四半期	3 30.0%	2 20.0%	4 40.0%	4 40.0%	3 —	10 —
第3・四半期	3 20.0%	2 13.3%	4 26.7%	2 13.3%	2 —	15 —
第4・四半期	2 16.7%	3 25.0%	2 16.7%	4 33.3%	5 —	12 —
年間単純平均	2.5 21.3%	2.0 17.0%	3.8 31.9%	3.0 25.5%	3.0 —	11.8 —
28年度平均	1.3 10.6%	2.8 23.4%	2.0 17.0%	5.8 48.9%	2.8 —	11.8 —
27年度平均	2.0 15.4%	1.5 11.5%	5.0 38.5%	4.5 34.6%	3.5 —	13.0 —

注：上段は人数、下段は割合

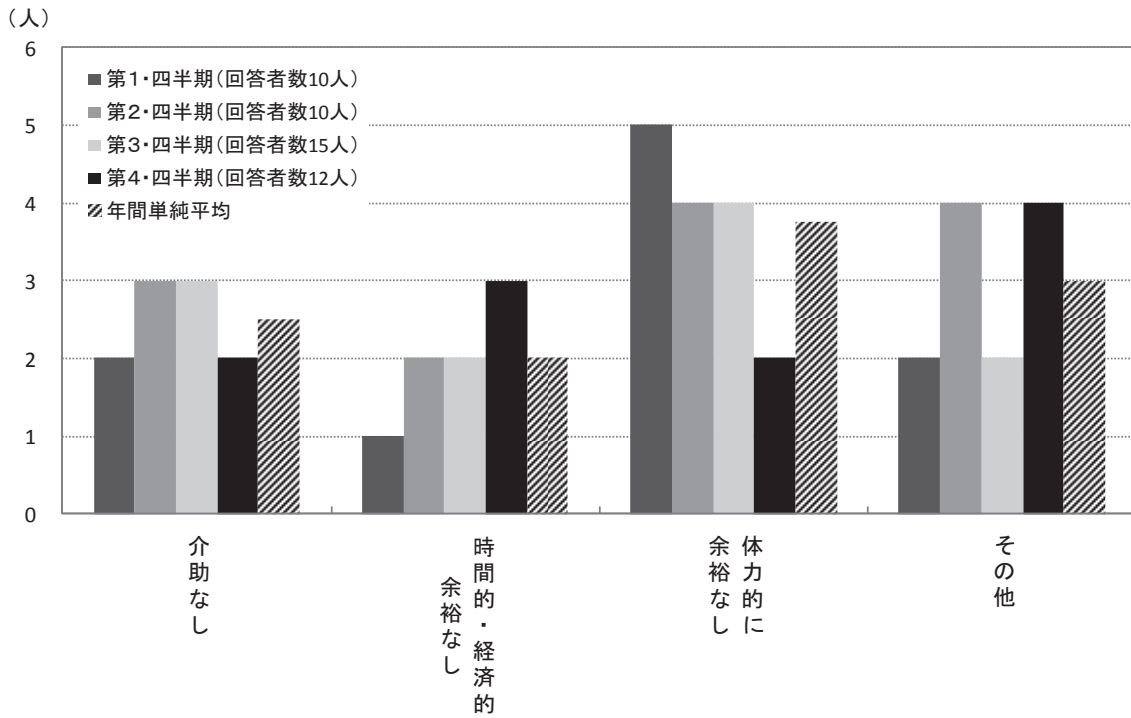


図 2-9 社会参加・社会活動等をしなかった理由の推移

③-2 社会参加・社会活動等のきっかけ（SJS の健康被害者の方のみに質問）

○ 本人または介護者にたずねた社会参加・社会活動等のきっかけの主な内容は、以下のとおりとなっている（自由記載、順不同、複数記載）。

1. 家族、親類
 - ・ 家族と温泉に行き、湯治を行った。
 - ・ 家族の勧め、誘いがあった
2. 友人、知人等
 - ・ 近所の方からの誘い
 - ・ 障害者になる前の仲間達が誘ってくれる。
3. 患者団体、同好会等
 - ・ 地域交流のため、健康のため
 - ・ 勉強会に参加したかったため
4. 情報誌や広告等
 - ・ 地元の広報誌
 - ・ メーリングリストやメールマガジン情報を見て参加した
5. 自発的な活動
 - ・ 恒例コンサート
 - ・ 散歩、買い物
 - ・ ジャズライブに行く機会があったので参加した。
 - ・ 好きなアーティストの公演があったから
 - ・ スポーツといっても軽い体操とウォーキング
 - ・ 体力をつけたいから
 - ・ 年間通じての継続活動
6. その他
 - ・ 時間的・体力的に余裕がある為。
 - ・ ストレス解消の為

③-3 社会参加・社会活動等の内容

ア 第1・四半期（回答者 43 人）

- 社会参加や社会活動などを行ったと答えた人に回答を求めた（以下、同じ）。第1・四半期において健康被害者が行った社会参加や社会活動などの内容については、表2-10及び図2-10のとおり（複数回答）。
- 「友達との遊び」が41.9%、「旅行・キャンプ・つりなどの活動」が37.2%、「障害者団体の活動」が34.9%となっている
- その他としては、「子供と孫とお参り」「室内・室外ウォーキング」などをあげている

イ 第2・四半期（回答者 36 人）

- 第2・四半期において健康被害者が行った社会参加や社会活動などの内容については、表2-10及び図2-10のとおり（複数回答）。
- 「コンサートや映画、スポーツなどの鑑賞・見学」が41.7%、「友達との遊び」が38.9%、「旅行・キャンプ・つりなどの活動」と「趣味の同好会活動」が36.1%となっている
- その他としては、「近隣の散歩、買物」「陶芸教室」などをあげている

ウ 第3・四半期（回答者 39 人）

- 第3・四半期において健康被害者が行った社会参加や社会活動などの内容については、表2-10及び図2-10のとおり（複数回答）。
- 「コンサートや映画、スポーツなどの鑑賞・見学」が41.0%、「旅行・キャンプ・つりなどの活動」と「友達との遊び」が38.5%となっている
- その他としては、「ヨガ」「遠足、みどり祭り」などをあげている

エ 第4・四半期（回答者 35 人）

- 第4・四半期において健康被害者が行った社会参加や社会活動などの内容については、表2-10及び図2-10のとおり（複数回答）。
- 「コンサートや映画、スポーツなどの鑑賞・見学」が42.9%、「友達との遊び」が37.1%、「旅行・キャンプ・つりなどの活動」が31.4%となっている
- その他としては、「市民センターでの体操」「散歩」などをあげている

オ 四半期ごとの推移

○ 第1・四半期から第4・四半期までの推移をみると、表2-10及び図2-10のとおり（複数回答）。

□ 社会参加・社会活動などの内容の年間の平均では「コンサートや映画、スポーツなどの鑑賞・見学」と「友達との遊び」が39.2%、「旅行・キャンプ・つりなどの活動」が35.9%となっている

□

表2-10 社会参加・社会活動等の内容の推移

	コンサートや映画、スポーツなどの鑑賞・見学	スポーツ教室、大会などへの参加	旅行・キャンプ・つりなどの活動	趣味の同好会活動	ボランティアなどの社会活動	障害者団体の活動	地域活動	パソコンを利用した社会参加	友達との遊び	その他	特になし	回答なし	回答者数
第1・四半期	14	7	16	11	3	15	5	10	18	8	—	0	43
	32.6%	16.3%	37.2%	25.6%	7.0%	34.9%	11.6%	23.3%	41.9%	18.6%	—	—	—
第2・四半期	15	6	13	13	4	9	4	8	14	5	—	0	36
	41.7%	16.7%	36.1%	36.1%	11.1%	25.0%	11.1%	22.2%	38.9%	13.9%	—	—	—
第3・四半期	16	6	15	14	4	13	5	8	15	5	—	0	39
	41.0%	15.4%	38.5%	35.9%	10.3%	33.3%	12.8%	20.5%	38.5%	12.8%	—	—	—
第4・四半期	15	8	11	10	3	10	4	9	13	6	—	0	35
	42.9%	22.9%	31.4%	28.6%	8.6%	28.6%	11.4%	25.7%	37.1%	17.1%	—	—	—
年間単純平均	15.0	6.8	13.8	12.0	3.5	11.8	4.5	8.8	15.0	6.0	—	0.0	38.3
	39.2%	17.6%	35.9%	31.4%	9.2%	30.7%	11.8%	22.9%	39.2%	15.7%	—	—	—
28年度平均	15.0	5.3	13.3	11.5	4.0	13.3	4.5	8.0	13.3	7.5	—	0.0	38.0
	39.5%	13.8%	34.9%	30.3%	10.5%	34.9%	11.8%	21.1%	34.9%	19.7%	—	—	—
27年度平均	15.3	7.3	14.0	10.0	4.3	12.3	3.0	8.0	0.8	7.3	0.0	0.0	37.3
	40.9%	19.5%	37.6%	26.8%	11.4%	32.9%	8.1%	21.5%	2.0%	19.5%	0.0%	—	—
26年度平均	14.3	7.3	15.3	9.8	4.3	12.5	2.0	9.0	1.3	6.0	0.0	0.3	40.3
	35.4%	18.0%	37.9%	24.2%	10.6%	31.1%	5.0%	22.4%	3.1%	14.9%	0.0%	—	—
25年度平均	18.0	6.0	16.3	9.3	3.8	15.8	3.3	12.3	1.3	10.5	0.8	0.5	46.5
	38.7%	12.9%	34.9%	19.9%	8.1%	33.9%	7.0%	26.3%	2.7%	22.6%	1.6%	—	—

注：上段は人数、下段は割合

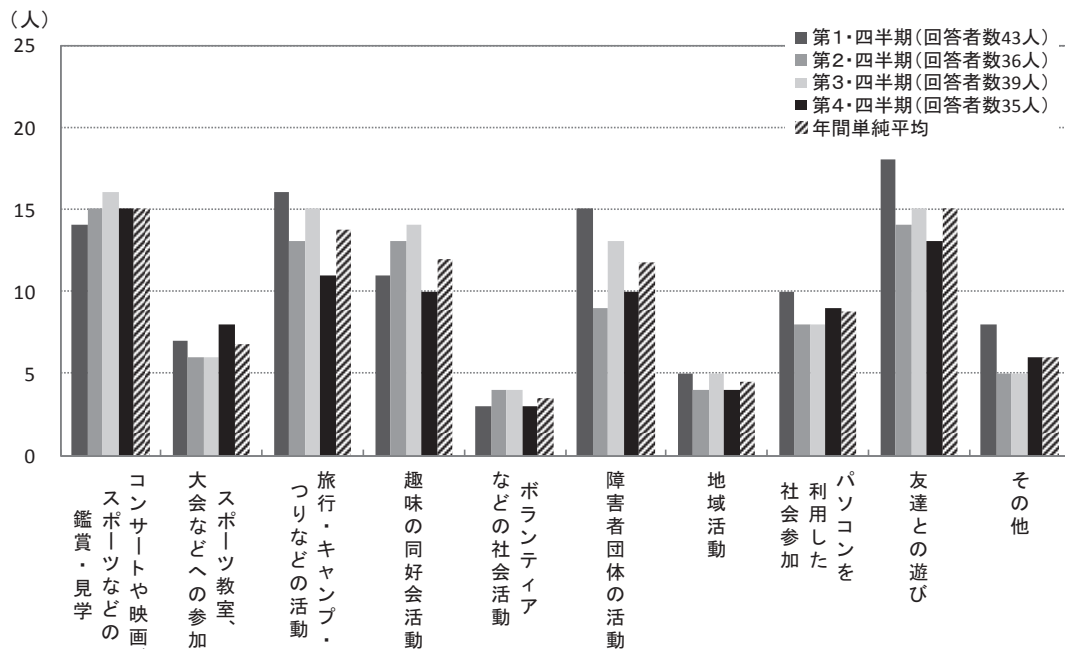


図2-10 社会参加・社会活動等の内容の推移

■ 屋内での生活における工夫について

④ 屋内での生活における工夫の有無（SJSの健康被害者の方のみに質問）

ア 第1・四半期（回答者48人）

○第1・四半期における屋内での生活の工夫の有無については、表2-11及び図2-11のとおり。

□屋内での生活に工夫がある人が95.8%、工夫がない人が4.2%となっている

イ 第2・四半期（回答者46）

○第2・四半期における屋内での生活の工夫の有無については、表2-11及び図2-11のとおり。

□屋内での生活に工夫がある人が95.7%、工夫がない人が4.3%となっている

ウ 第3・四半期（回答者47人）

○第3・四半期における屋内での生活の工夫の有無については、表2-11及び図2-11のとおり。

□屋内での生活に工夫がある人が95.7%、工夫がない人が4.3%となっている

エ 第4・四半期（回答者46人）

○第4・四半期における屋内での生活の工夫の有無については、表2-11及び図2-11のとおり。

□屋内での生活に工夫がある人が95.7%、工夫がない人が4.3%となっている

オ 四半期ごとの推移

○第1・四半期から第4・四半期までの推移をみると、表2-11及び図2-11のとおり。

□屋内での生活の工夫の有無の割合は、年間の平均では、工夫がある人が95.7%、ない人が4.3%となっている

表 2-11 屋内での生活における工夫の有無の推移

	ある	ない	回答なし	合計
第1・四半期	46	2	1	48
	95.8%	4.2%	—	100.0%
第2・四半期	44	2	1	46
	95.7%	4.3%	—	100.0%
第3・四半期	45	2	1	47
	95.7%	4.3%	—	100.0%
第4・四半期	44	2	1	46
	95.7%	4.3%	—	100.0%
年間単純平均	44.8	2.0	1.0	46.8
	95.7%	4.3%	—	100.0%
28年度平均	39.0	4.3	5.3	43.3
	90.2%	9.8%	—	100.0%
27年度平均	39.0	5.5	5.8	44.5
	87.6%	12.4%	—	100.0%

注：上段は人数、下段は割合

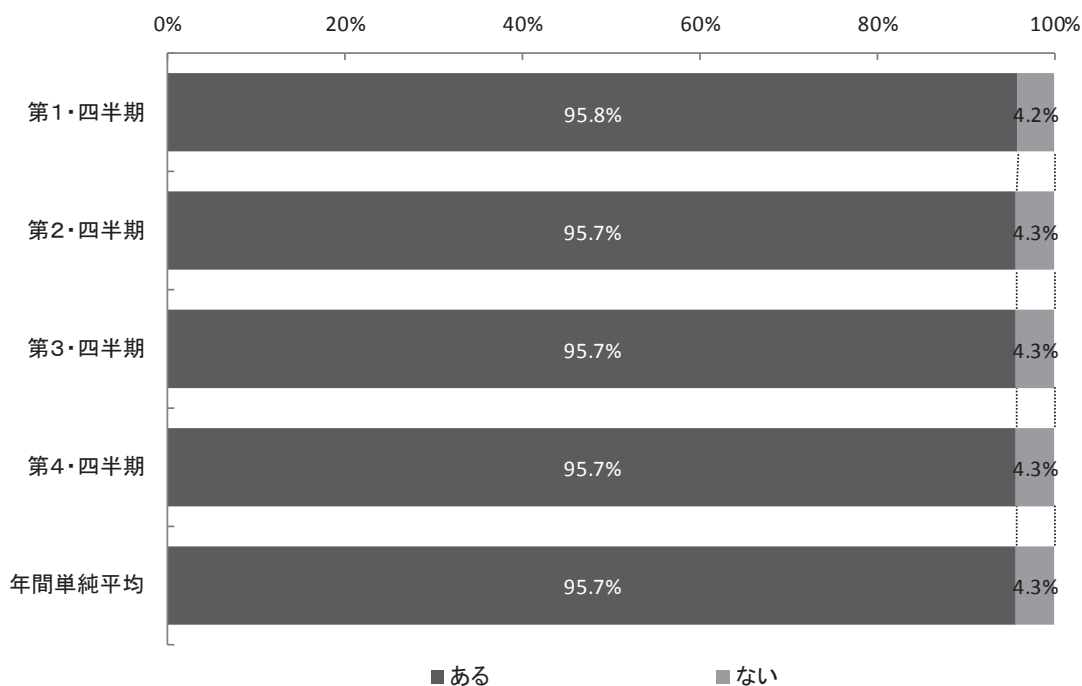


図 2-11 屋内での生活における工夫の有無の推移

④-1 屋内での生活における工夫【家のつくり等】（SJSの健康被害者の方のみに質問）

ア 第1・四半期（回答者45人）

○屋内での生活における工夫があると答えた人に回答を求めた（以下、同じ）。第1・四半期において、屋内での生活の工夫で「家のつくり等」に関する具体的な内容については、表2-12及び図2-12のとおり（複数回答）。

□「よく使う物は同じ場所に置く」が95.6%、「通路や床に物を置かない」が82.2%、「移動の妨げにならないよう部屋の扉は開けたまま」が40.0%、「段差がないように敷物などで調整」が31.1%となっている

□その他としては、「電化製品のコードにカバーを着けた」「なるべく家具や物を置かない」などをあげている

イ 第2・四半期（回答者42人）

○第2・四半期において、屋内での生活の工夫で「家のつくり等」に関する具体的な内容については、表2-12及び図2-12のとおり（複数回答）。

□「よく使う物は同じ場所に置く」が95.2%、「通路や床に物を置かない」が83.3%、「移動の妨げにならないよう部屋の扉は開けたまま」が45.2%、「段差がないように敷物などで調整」が14.3%となっている

□その他としては、「常に明るくしておく」「備品の位置を変えない」などをあげている

ウ 第3・四半期（回答者44人）

○第3・四半期において、屋内での生活の工夫で「家のつくり等」に関する具体的な内容については、表2-12及び図2-12のとおり（複数回答）。

□「よく使う物は同じ場所に置く」が95.5%、「通路や床に物を置かない」が81.8%、「移動の妨げにならないよう部屋の扉は開けたまま」が34.1%、「段差がないように敷物などで調整」が29.5%となっている

□その他としては、「扉は全て引き戸にしてある」「音声付機器を出来るだけ利用」などをあげている

エ 第4・四半期（回答者40人）

○第4・四半期において、屋内での生活の工夫で「家のつくり等」に関する具体的な内容については、表2-12及び図2-12のとおり（複数回答）。

□「よく使う物は同じ場所に置く」が95.0%、「通路や床に物を置かない」が72.5%、「移動の妨げにならないよう部屋の扉は開けたまま」が37.5%、「段差がないように敷物などで調整」が27.5%となっている

□その他としては、「手すりの追加取付」などをあげている

オ 四半期ごとの推移

○ 第1・四半期から第4・四半期までの推移をみると、表2-12及び図2-12のとおり（複数回答）。

屋内での生活の工夫で「家のつくり等」に関する具体的な内容の年間の平均では「よく使う物は同じ場所に置く」が95.3%、「通路や床に物を置かない」が80.1%、「移動の妨げにならないよう部屋の扉は開けたまま」が39.2%、「段差がないよう敷物などで調整」が25.7%となっている

表2-12 屋内での生活における工夫【家のつくり等】の推移

	通路や床に物を置かない	よく使う物は同じ場所に置く	段差がないように敷物などで調整	移動の妨げにならないよう部屋の扉は開けたまま	その他	回答なし	回答者数
第1・四半期	37	43	14	18	7	1	45
	82.2%	95.6%	31.1%	40.0%	15.6%	—	—
第2・四半期	35	40	6	19	6	2	42
	83.3%	95.2%	14.3%	45.2%	14.3%	—	—
第3・四半期	36	42	13	15	8	1	44
	81.8%	95.5%	29.5%	34.1%	18.2%	—	—
第4・四半期	29	38	11	15	5	4	40
	72.5%	95.0%	27.5%	37.5%	12.5%	—	—
年間単純平均	34.3	40.8	11.0	16.8	6.5	2.0	42.8
	80.1%	95.3%	25.7%	39.2%	15.2%	—	—
28年度平均	31.8	36.3	9.0	12.5	5.0	1.0	38.0
	83.6%	95.4%	23.7%	32.9%	13.2%	—	—
27年度平均	31.3	35.8	10.8	9.8	6.8	1.3	37.8
	82.8%	94.7%	28.5%	25.8%	17.9%	—	—

注：上段は人数、下段は割合

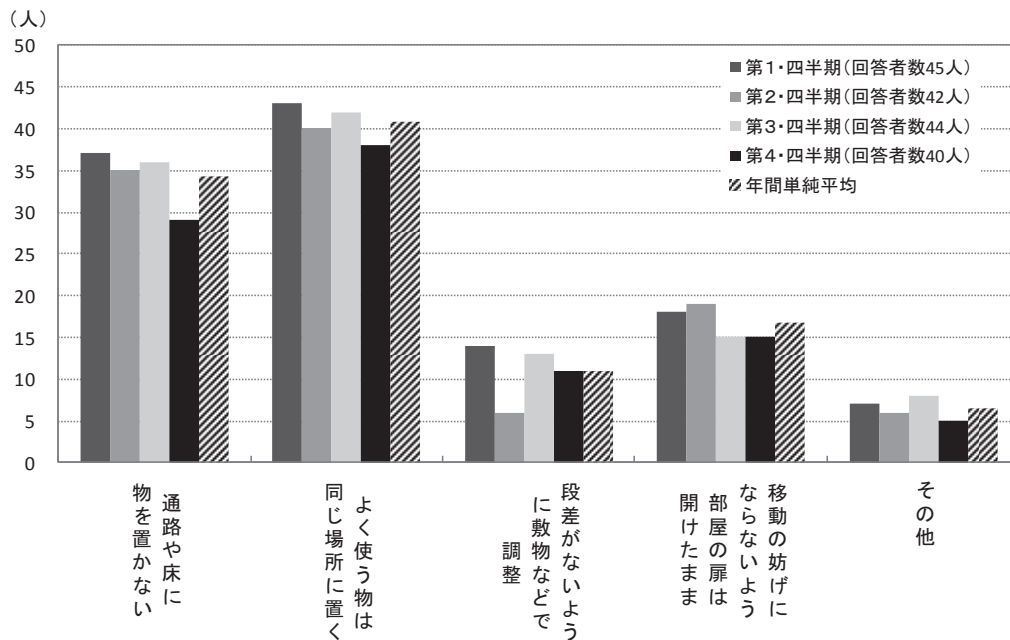


図2-12 屋内での生活における工夫【家のつくり等】の推移

④-1 屋内での生活における工夫【補助用具等】（SJS の健康被害者の方のみに質問）

ア 第1・四半期（回答者 42 人）

○屋内での生活における工夫があると答えた人に回答を求めた（以下、同じ）。第1・四半期において、屋内での生活の工夫で「補助用具等」に関する具体的な内容については、表2-13 及び図2-13 のとおり（複数回答）。

- 「音声ガイドや朗読サービスの活用」が 61.9%、「拡大読書器・ルーペの活用」が 54.8%となっている
- その他としては、「IC レコーダー」「音声パソコン」などをあげている

イ 第2・四半期（回答者 39 人）

○第2・四半期において、屋内での生活の工夫で「補助用具等」に関する具体的な内容については、表2-13 及び図2-13 のとおり（複数回答）。

- 「音声ガイドや朗読サービスの活用」が 59.0%、「拡大読書器・ルーペの活用」が 53.8%となっている
- その他としては、「音声の腕時計」「音声機能のある時計」などをあげている

ウ 第3・四半期（回答者 40 人）

○第3・四半期において、屋内での生活の工夫で「補助用具等」に関する具体的な内容については、表2-13 及び図2-13 のとおり（複数回答）。

- 「音声ガイドや朗読サービスの活用」が 62.5%、「拡大読書器・ルーペの活用」が 50.0%となっている
- その他としては、「読み上げソフト」「スマホ」などをあげている

エ 第4・四半期（回答者 39 人）

○第4・四半期において、屋内での生活の工夫で「補助用具等」に関する具体的な内容については、表2-13 及び図2-13 のとおり（複数回答）。

- 「音声ガイドや朗読サービスの活用」が 66.7%、「拡大読書器・ルーペの活用」が 53.8%となっている
- その他としては、「モバイル音声ソフト」「図書再生機」などをあげている

オ 四半期ごとの推移

○第1・四半期から第4・四半期までの推移をみると、表2-13及び図2-13のとおり（複数回答）。

屋内での生活の工夫で「補助用具等」に関する具体的な内容の年間の平均では「音声ガイドや朗読サービスの活用」が62.5%、「拡大読書器・ルーペの活用」が53.1%となっている

表2-13 屋内での生活における工夫【補助用具等】の推移

	拡大読書器・ ルーペの活用	音声ガイドや 朗読サービスの 活用	その他	回答なし	回答者数
第1・四半期	23	26	9	4	42
	54.8%	61.9%	21.4%	—	—
第2・四半期	21	23	10	5	39
	53.8%	59.0%	25.6%	—	—
第3・四半期	20	25	7	5	40
	50.0%	62.5%	17.5%	—	—
第4・四半期	21	26	9	5	39
	53.8%	66.7%	23.1%	—	—
年間単純平均	21.3	25.0	8.8	4.8	40.0
	53.1%	62.5%	21.9%	—	—
28年度平均	19.0	22.0	6.8	3.5	35.5
	53.5%	62.0%	19.0%	—	—
27年度平均	20.3	21.8	7.8	3.0	36.0
	56.3%	60.4%	21.5%	—	—

注：上段は人数、下段は割合

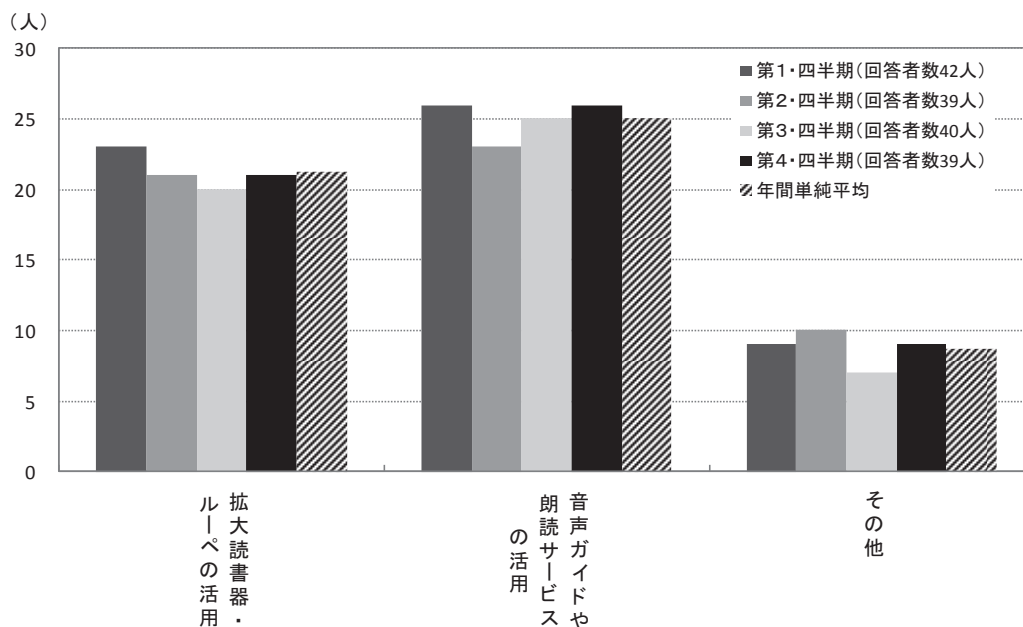


図2-13 屋内での生活における工夫【補助用具等】の推移

④-1 屋内での生活における工夫【衛生面等】（SJSの健康被害者の方のみに質問）

ア 第1・四半期（回答者34人）

○屋内での生活における工夫があると答えた人に回答を求めた（以下、同じ）。第1・四半期において、屋内での生活の工夫で「衛生面等」に関する具体的な内容については、表2-14及び図2-14のとおり（複数回答）。

- 「こまめな温度調節」が61.8%、「乾燥予防のため加湿器を利用」が50.0%、「ハウスダストの徹底した除去」が26.5%となっている
- その他としては、「保湿のためのクリーム塗布」「マスク着用」などをあげている

イ 第2・四半期（回答者30人）

○第2・四半期において、屋内での生活の工夫で「衛生面等」に関する具体的な内容については、表2-14及び図2-14のとおり（複数回答）。

- 「こまめな温度調節」が76.7%、「乾燥予防のため加湿器を利用」が50.0%、「ハウスダストの徹底した除去」が36.7%となっている
- その他としては、「うがいをよくする」などをあげている

ウ 第3・四半期（回答者34人）

○第3・四半期において、屋内での生活の工夫で「衛生面等」に関する具体的な内容については、表2-14及び図2-14のとおり（複数回答）。

- 「乾燥予防のため加湿器を利用」と「こまめな温度調節」が64.7%、「ハウスダストの徹底した除去」が26.5%となっている
- その他としては、「点眼、体保湿剤塗布、マスク着用、空気清浄機」などをあげている

エ 第4・四半期（回答者30人）

○第4・四半期において、屋内での生活の工夫で「衛生面等」に関する具体的な内容については、表2-14及び図2-14のとおり（複数回答）。

- 「乾燥予防のため加湿器を利用」が70.0%、「こまめな温度調節」が63.3%、「ハウスダストの徹底した除去」が33.3%となっている
- その他としては、「マ布団干し、布団乾燥」などをあげている

オ 四半期ごとの推移

○ 第1・四半期から第4・四半期までの推移をみると、表2-14及び図2-14のとおり（複数回答）。

屋内での生活の工夫で「衛生面等」に関する具体的な内容の年間の平均では「こまめな温度調節」が66.4%、「乾燥予防のため加湿器を利用」が58.6%、「ハウスダストの徹底した除去」が30.5%となっている

表2-14 屋内での生活における工夫【衛生面等】の推移

	乾燥予防のため加湿器を利用	こまめな温度調節	ハウスダストの徹底した除去	その他	回答なし	回答者数
第1・四半期	17	21	9	5	12	34
	50.0%	61.8%	26.5%	14.7%	—	—
第2・四半期	15	23	11	6	14	30
	50.0%	76.7%	36.7%	20.0%	—	—
第3・四半期	22	22	9	8	11	34
	64.7%	64.7%	26.5%	23.5%	—	—
第4・四半期	21	19	10	7	14	30
	70.0%	63.3%	33.3%	23.3%	—	—
年間単純平均	18.8	21.3	9.8	6.5	12.8	32.0
	58.6%	66.4%	30.5%	20.3%	—	—
28年度平均	17.8	18.3	9.3	4.5	9.8	29.3
	60.7%	62.4%	31.6%	15.4%	—	—
27年度平均	16.5	14.8	8.5	8.8	9.8	29.3
	56.4%	50.4%	29.1%	29.9%	—	—

注：上段は人数、下段は割合

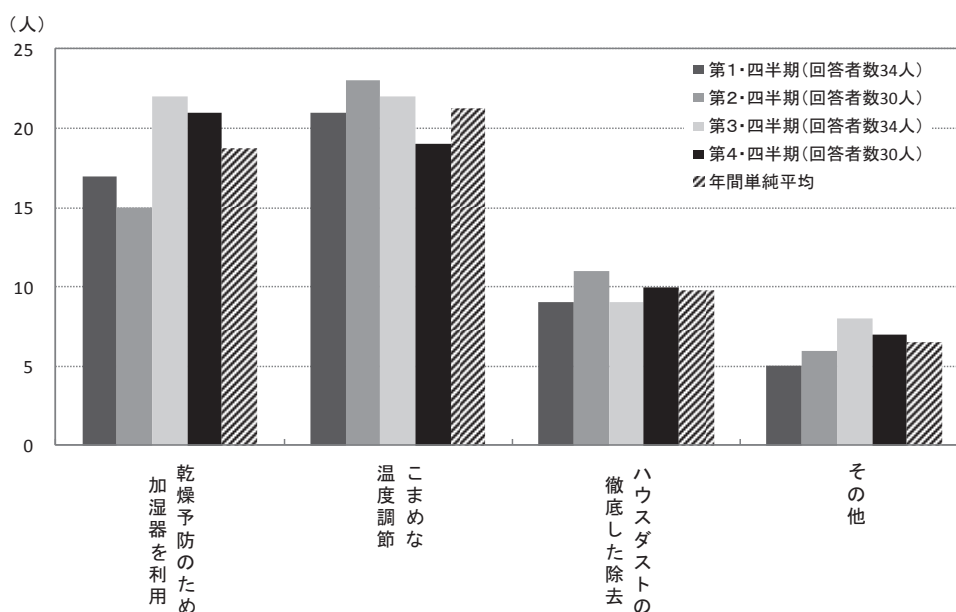


図2-14 屋内での生活における工夫【衛生面等】の推移

④-1 屋内での生活における工夫【区別方法】（SJSの健康被害者の方のみに質問）

ア 第1・四半期（回答者26人）

○屋内での生活における工夫があると答えた人に回答を求めた（以下、同じ）。第1・四半期において、屋内での生活の工夫で「区別方法」に関する具体的な内容については、表2-15及び図2-15のとおり（複数回答）。

- 「点字シールをつける」が38.5%、「カラーテープで目印」が34.6%、「室内の動線にカラーテープや蛍光塗料で目印」が19.2%となっている
- その他としては、「書類は、クリップの付け方で区別」「凹凸のしるしをつける」などをあげている

イ 第2・四半期（回答者28人）

○第2・四半期において、屋内での生活の工夫で「区別方法」に関する具体的な内容については、表2-15及び図2-15のとおり（複数回答）。

- 「点字シールをつける」が42.9%、「カラーテープで目印」が28.6%、「室内の動線にカラーテープや蛍光塗料で目印」が17.9%となっている
- その他としては、「シール重ねばりで区別」「紐で目印を付ける」などをあげている

ウ 第3・四半期（回答者25人）

○第3・四半期において、屋内での生活の工夫で「区別方法」に関する具体的な内容については、表2-15及び図2-15のとおり（複数回答）。

- 「点字シールをつける」が40.0%、「カラーテープで目印」が32.0%、「室内の動線にカラーテープや蛍光塗料で目印」が12.0%となっている
- その他としては、「クリップの付け方で区別」「音声で教えてくれる器具」などをあげている

エ 第4・四半期（回答者25人）

○第4・四半期において、屋内での生活の工夫で「区別方法」に関する具体的な内容については、表2-15及び図2-15のとおり（複数回答）。

- 「点字シールをつける」が44.0%、「カラーテープで目印」が32.0%、「室内の動線にカラーテープや蛍光塗料で目印」が16.0%となっている
- その他としては、「触ってわかるシール」「書類等は、クリップの付け方で区別」などをあげている

オ 四半期ごとの推移

○第1・四半期から第4・四半期までの推移をみると、表2-15及び図2-15のとおり（複数回答）。

屋内での生活の工夫で「区別方法」に関する具体的な内容の年間の平均では「点字シールをつける」が41.3%、「カラーテープで目印」が31.7%、「室内の動線にカラーテープや蛍光塗料で目印」が16.3%となっている

表2-15 屋内での生活における工夫【区別方法】の推移

	点字シールをつける	カラーテープで目印	室内の動線にカラーテープや蛍光塗料で目印	その他	回答なし	回答者数
第1・四半期	10	9	5	5	20	26
	38.5%	34.6%	19.2%	19.2%	—	—
第2・四半期	12	8	5	9	16	28
	42.9%	28.6%	17.9%	32.1%	—	—
第3・四半期	10	8	3	8	20	25
	40.0%	32.0%	12.0%	32.0%	—	—
第4・四半期	11	8	4	7	19	25
	44.0%	32.0%	16.0%	28.0%	—	—
年間単純平均	10.8	8.3	4.3	7.3	18.8	26.0
	41.3%	31.7%	16.3%	27.9%	—	—
28年度平均	10.5	9.8	4.3	4.0	14.3	24.8
	42.4%	39.4%	17.2%	16.2%	—	—
27年度平均	8.8	7.5	4.3	7.3	14.8	24.3
	36.1%	30.9%	17.5%	29.9%	—	—

注：上段は人数、下段は割合

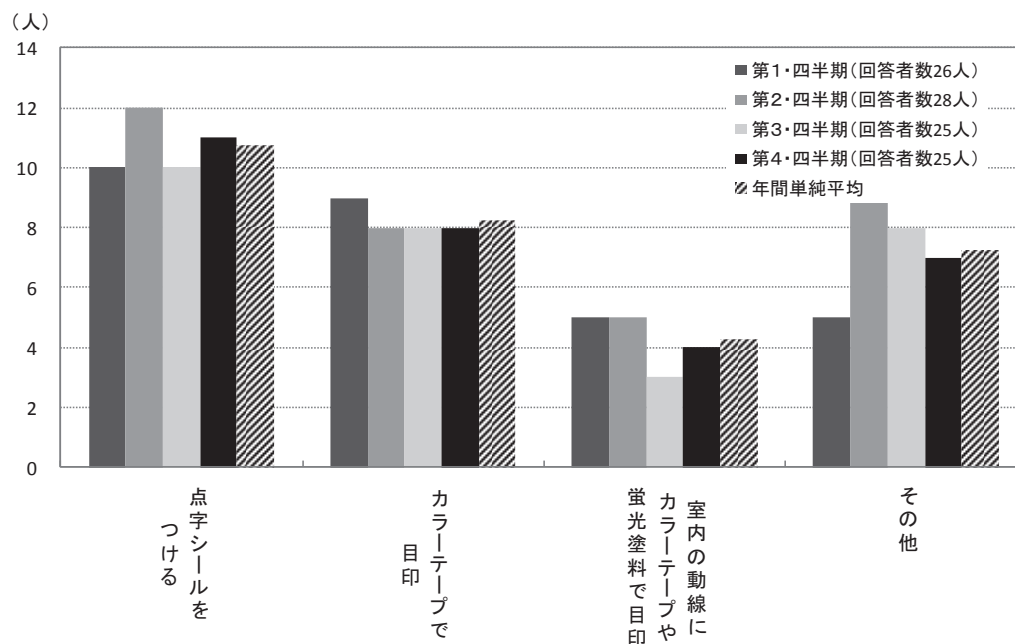


図2-15 屋内での生活における工夫【区別方法】の推移

④-2 屋内での生活における工夫

○本人または介護者にたずねた屋内での生活における工夫の主な具体的内容は、以下のとおりとなっている（自由記載、順不同、複数記載）。

◇着衣

- ・ 足裏の感覚利用の為、室内では靴下を履かない
- ・ すべり止めの付いているクツの使用

◇食事

- ・ 洗った食器置くカゴには、いつも使用する皿しか置かない
- ・ ガラス食器は見辛いので、使用後はすぐに片づける
- ・ グラス、カップ、湯飲み等、コースターを敷いている。
- ・ テーブルと食器の色のコントラストを考えて使用する
- ・ 食器などの整理整頓をしやすい棚の配置

◇屋内移動

- ・ 扉はすべて開けておく。
- ・ コードにカバーをして、つまづかないようにしている
- ・ 玄関、階段等は常に黄色のテープや塗料等で分かりやすくして、風呂等は手摺をつけています
- ・ 手すりを通路、玄関、浴室につけた。
- ・ 時折、ぶつかる時があるため、突起している物に保護テープ貼る。
- ・ 段差に対応出来ない。障害物、くぼみ、石、あらゆるものが転倒要因になる。
- ・ 備品を動かさない。
- ・ 物の位置を変えたら必ず伝える
- ・ 物を床におかない
- ・ 手の届くところに備品を置く。
- ・ 整理整頓を心がける

◇光の調整

- ・ 壁の色と扉の色はコントラストがはっきりした色使いにしている
- ・ 居室の照明可能な範囲で明るくする。
- ・ 採光、照明の調節
- ・ 眩しいのでカーテンで光をさける

◇その他

- ・ 寝たきりなので出来るだけ車イスに座らせる様考えている
- ・ 困ったときは大声で叫ぶ。
- ・ 掃除の時は、高い所に手を出さない。
- ・ 楽しい音楽やDVDを活用した。
- ・ なるべく広い場所をつくり、体操をしている。
- ・ より安定性のあるイスに交換
- ・ ラジオなど音の出る物を利用している。居場所がわかる様に。

■ 日常生活について（SJS の健康被害者の方のみに質問）

⑤日常生活について

⑤-1 新聞や本を読むことの不自由さについて

ア 第1・四半期（回答者43人）

○第1・四半期において、ものが見えにくいために、新聞や本を読むことがどの程度不自由であるかをたずねた結果は、表2-16及び図2-16のとおり。

□新聞や本を読むことについては「見えにくいのでやめた」が60.5%、「とても不自由」が34.9%となっている

イ 第2・四半期（回答者40人）

○第2・四半期において、ものが見えにくいために、新聞や本を読むことがどの程度不自由であるかをたずねた結果は、表2-16及び図2-16のとおり。

□新聞や本を読むことについては「見えにくいのでやめた」が62.5%、「とても不自由」が27.5%となっている

ウ 第3・四半期（回答者42人）

○第3・四半期において、ものが見えにくいために、新聞や本を読むことがどの程度不自由であるかをたずねた結果は、表2-16及び図2-16のとおり。

□新聞や本を読むことについては「見えにくいのでやめた」が64.3%、「とても不自由」が31.0%となっている

エ 第4・四半期（回答者43人）

○第4・四半期において、ものが見えにくいために、新聞や本を読むことがどの程度不自由であるかをたずねた結果は、表2-16及び図2-16のとおり。

□新聞や本を読むことについては「見えにくいのでやめた」が60.5%、「とても不自由」が32.6%となっている

オ 四半期ごとの推移

○第1・四半期から第4・四半期までの推移をみると、表2-16及び図2-16のとおり。

□ものが見えにくいため新聞や本を読むことの不自由さについては、年間の平均では「見えにくいのでやめた」が61.9%、「とても不自由」が31.5%となっている

表 2-16 新聞や本を読むことの不自由さの推移

	全く不自由 はない	あまり不自由 はない	とても不自由	見えにくいので やめた	回答なし	合 計
第1・四半期	1 2.3%	1 2.3%	15 34.9%	26 60.5%	6 —	43 100.0%
第2・四半期	1 2.5%	3 7.5%	11 27.5%	25 62.5%	7 —	40 100.0%
第3・四半期	1 2.4%	1 2.4%	13 31.0%	27 64.3%	6 —	42 100.0%
第4・四半期	0 0.0%	3 7.0%	14 32.6%	26 60.5%	4 —	43 100.0%
年間単純平均	0.8 1.8%	2.0 4.8%	13.3 31.5%	26.0 61.9%	5.8 —	42.0 100.0%
28年度平均	0.5 1.1%	0.8 1.7%	15.3 34.5%	27.8 62.7%	4.3 —	44.3 100.0%
27年度平均	0.0 0.0%	1.5 3.2%	16.8 35.4%	29.0 61.4%	3.0 —	47.3 100.0%
26年度平均	0.0 0.0%	1.8 3.6%	16.8 34.0%	30.8 62.4%	15.8 —	49.3 100.0%
25年度平均	0.0 0.0%	2.0 3.9%	16.5 31.9%	33.3 64.3%	5.0 —	51.8 100.0%

注：上段は人数、下段は割合

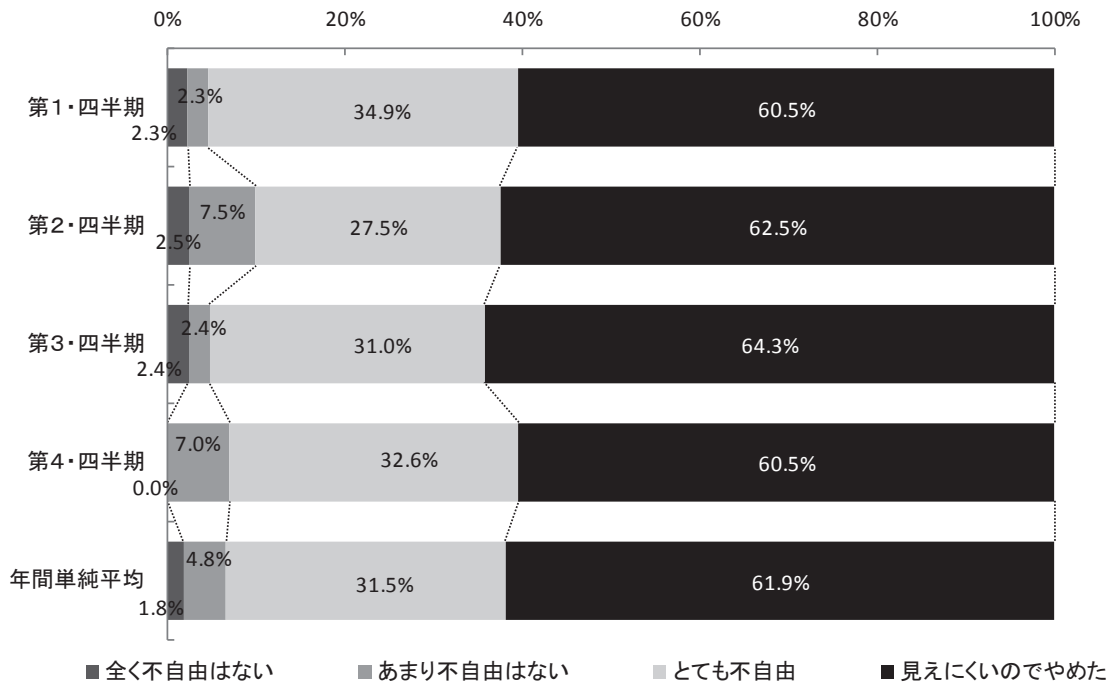


図 2-16 新聞や本を読むことの不自由さの推移

⑤-2 目や目のまわりの痛み・不快感の程度について

ア 第1・四半期（回答者46人）

○第1・四半期において、目や目のまわりの痛み・不快感の程度についてたずねた結果は、表2-17及び図2-17のとおり。

□目や目のまわりの痛みや不快感については「かなりある」が52.2%、「中くらいある」が26.1%となっている

イ 第2・四半期（回答者45人）

○第2・四半期において、目や目のまわりの痛み・不快感の程度についてたずねた結果は、表2-17及び図2-17のとおり。

□目や目のまわりの痛みや不快感については「かなりある」が46.7%、「中くらいある」が40.0%となっている

ウ 第3・四半期（回答者45人）

○第3・四半期において、目や目のまわりの痛み・不快感の程度についてたずねた結果は、表2-17及び図2-17のとおり。

□目や目のまわりの痛みや不快感については「かなりある」が53.3%、「中くらいある」が26.7%となっている

エ 第4・四半期（回答者45人）

○第4・四半期において、目や目のまわりの痛み・不快感の程度についてたずねた結果は、表2-17及び図2-17のとおり。

□目や目のまわりの痛みや不快感については「かなりある」が55.6%、「中くらいある」が26.7%となっている

オ 四半期ごとの推移

○第1・四半期から第4・四半期までの推移をみると、表2-17及び図2-17のとおり。

□目や目のまわりの痛み・不快感の程度については、年間の平均では「かなりある」が51.9%、「中くらいある」が29.8%となっている

表 2-17 目や目のまわりの痛み・不快感の程度の推移

	かなりある	中くらいある	かすかにある	まったくない	回答なし	合計
第1・四半期	24	12	10	0	3	46
	52.2%	26.1%	21.7%	0.0%	—	100.0%
第2・四半期	21	18	6	0	2	45
	46.7%	40.0%	13.3%	0.0%	—	100.0%
第3・四半期	24	12	9	0	3	45
	53.3%	26.7%	20.0%	0.0%	—	100.0%
第4・四半期	25	12	7	1	2	45
	55.6%	26.7%	15.6%	2.2%	—	100.0%
年間単純平均	23.5	13.5	8.0	0.3	2.5	45.3
	51.9%	29.8%	17.7%	0.6%	—	100.0%
28年度平均	26.3	13.0	7.8	0.0	1.5	47.0
	55.9%	27.7%	16.5%	0.0%	—	100.0%
27年度平均	27.0	15.3	7.3	0.0	0.8	49.5
	54.5%	30.8%	14.6%	0.0%	—	100.0%
26年度平均	30.3	12.8	8.8	0.0	13.3	51.8
	58.5%	24.6%	16.9%	0.0%	—	100.0%
25年度平均	27.5	18.0	8.5	0.3	2.5	54.3
	50.7%	33.2%	15.7%	0.5%	—	100.0%

注：上段は人数、下段は割合

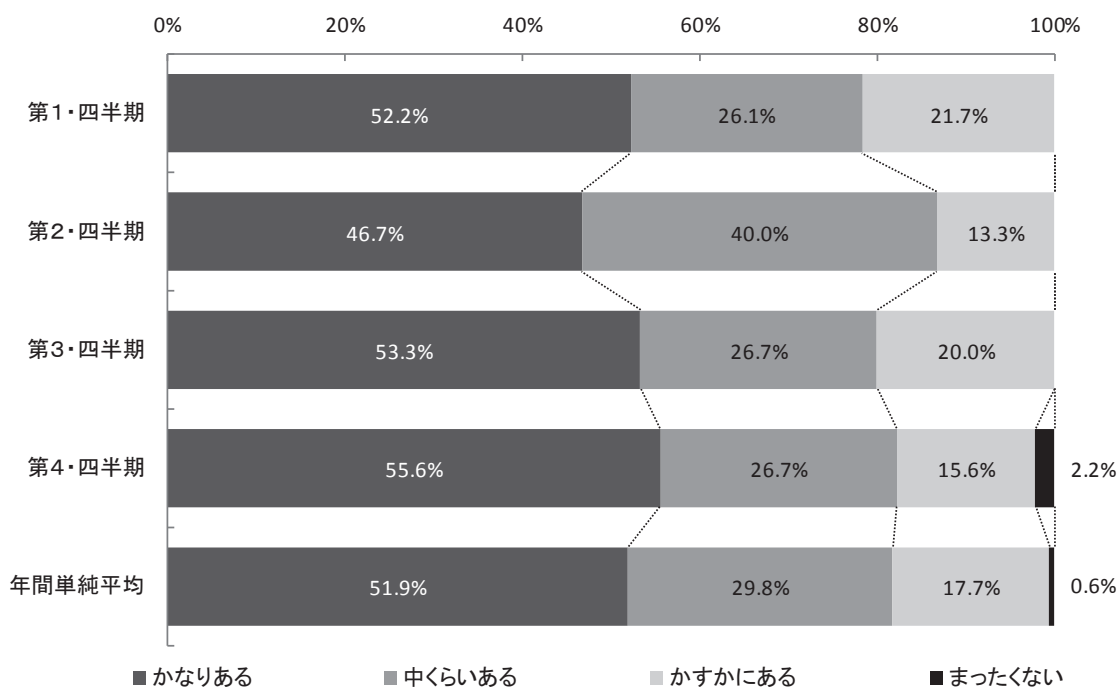


図 2-17 目や目のまわりの痛み・不快感の程度の推移

⑤-3 ものが見えにくいいため物事を思いどおりにやりとげられない場合

ア 第1・四半期（回答者47人）

- 第1・四半期において、ものが見えにくいために、物事を思いどおりにやりとげられないことがあるかについてたずねた結果は、表2-18及び図2-18のとおり。
- ものが見えにくいために、物事を思いどおりにやりとげられないことがあるかについては「ある」が89.4%、「ない」が10.6%となっている

イ 第2・四半期（回答者42人）

- 第2・四半期において、ものが見えにくいために、物事を思いどおりにやりとげられないことがあるかについてたずねた結果は、表2-18及び図2-18のとおり。
- ものが見えにくいために、物事を思いどおりにやりとげられないことがあるかについては「ある」が95.2%、「ない」が4.8%となっている

ウ 第3・四半期（回答者44人）

- 第3・四半期において、ものが見えにくいために、物事を思いどおりにやりとげられないことがあるかについてたずねた結果は、表2-18及び図2-18のとおり。
- ものが見えにくいために、物事を思いどおりにやりとげられないことがあるかについては「ある」が97.7%、「ない」が2.3%となっている

エ 第4・四半期（回答者45人）

- 第4・四半期において、ものが見えにくいために、物事を思いどおりにやりとげられないことがあるかについてたずねた結果は、表2-18及び図2-18のとおり。
- ものが見えにくいために、物事を思いどおりにやりとげられないことがあるかについては「ある」が93.3%、「ない」が6.7%となっている

オ 四半期ごとの推移

- 第1・四半期から第4・四半期までの推移をみると、表2-18及び図2-18のとおり。
- ものが見えにくいいため物事を思いどおりにやりとげられない場合については、年間の平均では「ある」が93.8%、「ない」が6.2%となっている

表 2-18 ものが見えにくいため物事を思いどおりにやりとげられない場合の推移

	かなりある	中くらいある	かすかにある	ある	ない	まったくない	回答なし	合計
第1・四半期	—	—	—	42	5	—	2	47
	—	—	—	89.4%	10.6%	—	—	100.0%
第2・四半期	—	—	—	40	2	—	5	42
	—	—	—	95.2%	4.8%	—	—	100.0%
第3・四半期	—	—	—	43	1	—	4	44
	—	—	—	97.7%	2.3%	—	—	100.0%
第4・四半期	—	—	—	42	3	—	2	45
	—	—	—	93.3%	6.7%	—	—	100.0%
年間単純平均	—	—	—	41.8	2.8	—	3.3	44.5
	—	—	—	93.8%	6.2%	—	—	100.0%
28年度平均	—	—	—	44.3	2.5	—	1.8	48.5
	—	—	—	94.7%	5.3%	—	—	100.0%
27年度平均	—	—	—	46.3	2.3	—	1.8	48.5
	—	—	—	95.4%	4.6%	—	—	100.0%
26年度平均	36.0	12.0	3.5	—	—	0.3	13.3	51.8
	69.6%	23.2%	6.8%	—	—	0.5%	—	100.0%
25年度平均	39.0	10.5	4.0	—	—	0.0	3.3	53.5
	72.9%	19.6%	7.5%	—	—	0.0%	—	100.0%

注：上段は人数、下段は割合

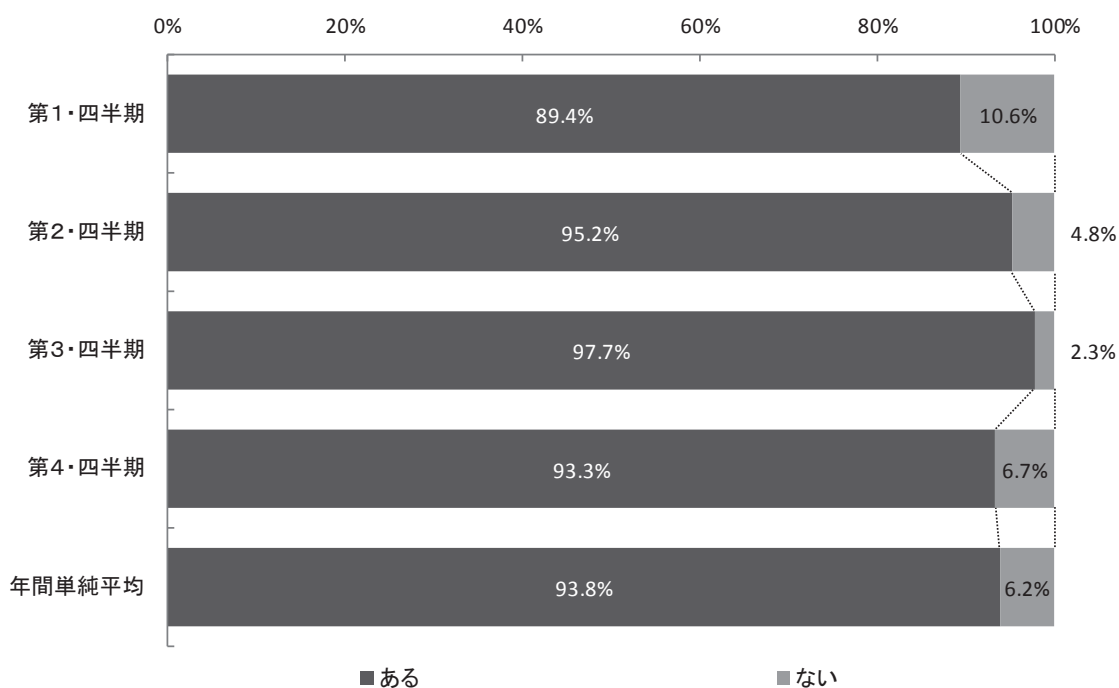


図 2-18 ものが見えにくいため物事を思いどおりにやりとげられない場合の推移

⑤-4 思いどおりにやりとげられないためイライラすることの有無

ア 第1・四半期（回答者46人）

- 第1・四半期において、物事を思いどおりにやりとげられないために、イライラすることがあるかについてたずねた結果は、表2-19及び図2-19のとおり。
- 物事を思いどおりにやりとげられないために、イライラすることがあるかについては「ある」が82.6%、「ない」が17.4%となっている

イ 第2・四半期（回答者43人）

- 第2・四半期において、物事を思いどおりにやりとげられないために、イライラすることがあるかについてたずねた結果は、表2-19及び図2-19のとおり。
- 物事を思いどおりにやりとげられないために、イライラすることがあるかについては「ある」が83.7%、「ない」が16.3%となっている

ウ 第3・四半期（回答者44人）

- 第3・四半期において、物事を思いどおりにやりとげられないために、イライラすることがあるかについてたずねた結果は、表2-19及び図2-19のとおり。
- 物事を思いどおりにやりとげられないために、イライラすることがあるかについては「ある」が81.8%、「ない」が18.2%となっている

エ 第4・四半期（回答者43人）

- 第4・四半期において、物事を思いどおりにやりとげられないために、イライラすることがあるかについてたずねた結果は、表2-19及び図2-19のとおり。
- 物事を思いどおりにやりとげられないために、イライラすることがあるかについては「ある」が86.0%、「ない」が14.0%となっている

オ 四半期ごとの推移

- 第1・四半期から第4・四半期までの推移をみると、表2-19及び図2-19のとおり。
- 物事を思いどおりにやりとげられないために、イライラすることの有無については、年間の平均では「ある」が83.5%、「ない」が16.5%となっている

表 2-19 思いどおりにやりとげられないためイライラすることの有無の推移

	かなりある	中くらいある	かすかにある	ある	ない	まったくない	回答なし	合計
第1・四半期	—	—	—	38	8	—	3	46
	—	—	—	82.6%	17.4%	—	—	100.0%
第2・四半期	—	—	—	36	7	—	4	43
	—	—	—	83.7%	16.3%	—	—	100.0%
第3・四半期	—	—	—	36	8	—	4	44
	—	—	—	81.8%	18.2%	—	—	100.0%
第4・四半期	—	—	—	37	6	—	4	43
	—	—	—	86.0%	14.0%	—	—	100.0%
年間単純平均	—	—	—	36.8	7.3	—	3.8	44.0
	—	—	—	83.5%	16.5%	—	—	100.0%
28年度平均	—	—	—	40.5	5.3	—	2.8	47.3
	—	—	—	88.5%	11.5%	—	—	100.0%
27年度平均	—	—	—	42.8	4.5	—	3.0	47.3
	—	—	—	90.5%	9.5%	—	—	100.0%
26年度平均	28.0	16.8	6.0	—	—	0.8	13.5	51.5
	54.4%	32.5%	11.7%	—	—	1.5%	—	100.0%
25年度平均	31.8	14.8	5.3	—	—	1.8	3.3	53.5
	59.3%	27.6%	9.8%	—	—	3.3%	—	100.0%

注：上段は人数、下段は割合

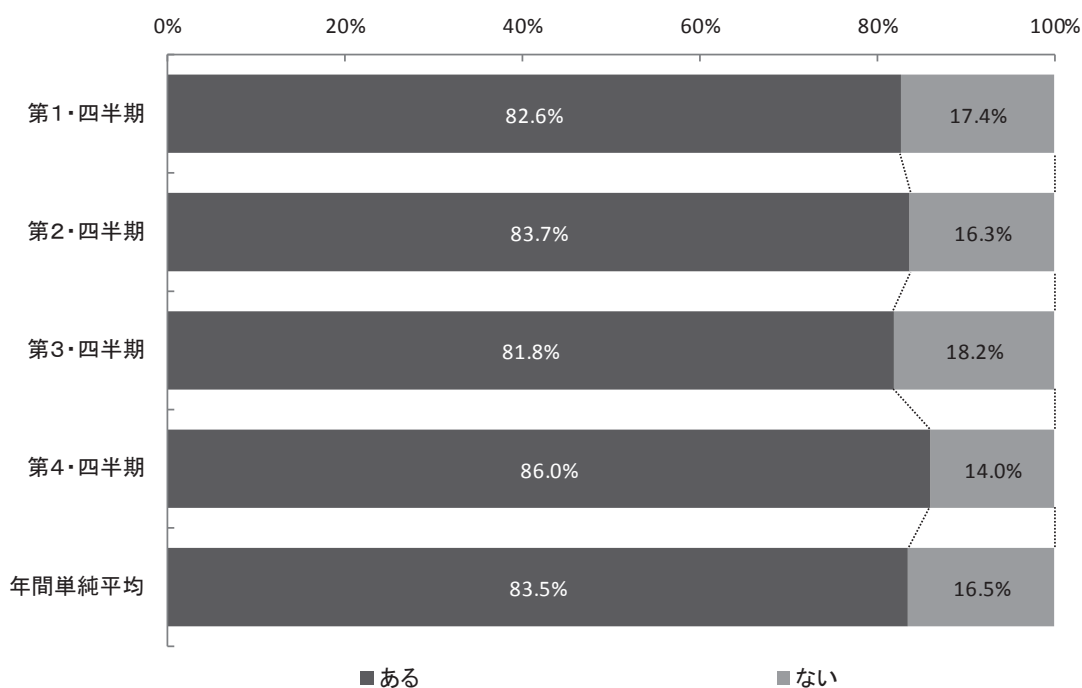


図 2-19 思いどおりにやりとげられないためイライラすることの有無の推移

⑤-5 視力以外の状況【皮膚や爪に関する症状】

ア 第1・四半期（回答者46人）

- 第1・四半期において、皮膚や爪に関する症状についてたずねた結果は、表2-20及び図2-20のとおり（複数回答）。
- 「皮膚のかゆみ、乾燥」と「爪の変更、剥離」が82.6%、「瘢痕が残る」が50.0%となっている
- その他としては、「薄くて弱い」などをあげている

イ 第2・四半期（回答者42人）

- 第2・四半期において、皮膚や爪に関する症状についてたずねた結果は、表2-20及び図2-20のとおり（複数回答）。
- 「爪の変更、剥離」が90.5%、「皮膚のかゆみ、乾燥」が78.6%、「瘢痕が残る」が52.4%となっている
- その他としては、「指がそって常に引っ掛けたりしている」などをあげている

ウ 第3・四半期（回答者42人）

- 第3・四半期において、皮膚や爪に関する症状についてたずねた結果は、表2-20及び図2-20のとおり（複数回答）。
- 「爪の変更、剥離」が85.7%、「皮膚のかゆみ、乾燥」が83.3%、「瘢痕が残る」が50.0%となっている
- その他としては、「喘息」「手足のあれ」などをあげている

エ 第4・四半期（回答者43人）

- 第4・四半期において、皮膚や爪に関する症状についてたずねた結果は、表2-20及び図2-20のとおり（複数回答）。
- 「爪の変更、剥離」が88.4%、「皮膚のかゆみ、乾燥」が79.1%、「瘢痕が残る」が48.8%となっている
- その他としては、「アトピー性皮膚炎」「瘢痕部がヒリヒリする」などをあげている

オ 四半期ごとの推移

- 第1・四半期から第4・四半期までの推移をみると、表2-20及び図2-20のとおり（複数回答）。
- 皮膚や爪に関する症状についてたずねた結果の年間の平均では「爪の変更、剥離」が86.7%、「皮膚のかゆみ、乾燥」が80.9%、「瘢痕が残る」が50.3%となっている

表 2-20 視力以外の状況【皮膚や爪に関する症状】の推移

	皮膚のかゆみ、乾燥	瘢痕が残る	爪の変更、剥離	その他	回答なし	回答者数
第1・四半期	38	23	38	2	3	46
	82.6%	50.0%	82.6%	4.3%	—	—
第2・四半期	33	22	38	2	5	42
	78.6%	52.4%	90.5%	4.8%	—	—
第3・四半期	35	21	36	4	6	42
	83.3%	50.0%	85.7%	9.5%	—	—
第4・四半期	34	21	38	2	4	43
	79.1%	48.8%	88.4%	4.7%	—	—
年間単純平均	35.0	21.8	37.5	2.5	4.5	43.3
	80.9%	50.3%	86.7%	5.8%	—	—
28年度平均	35.8	22.0	35.8	4.3	4.8	43.8
	81.7%	50.3%	81.7%	9.7%	—	—
27年度平均	33.0	21.8	34.8	4.5	6.3	44.0
	75.0%	49.4%	79.0%	10.2%	—	—

注：上段は人数、下段は割合

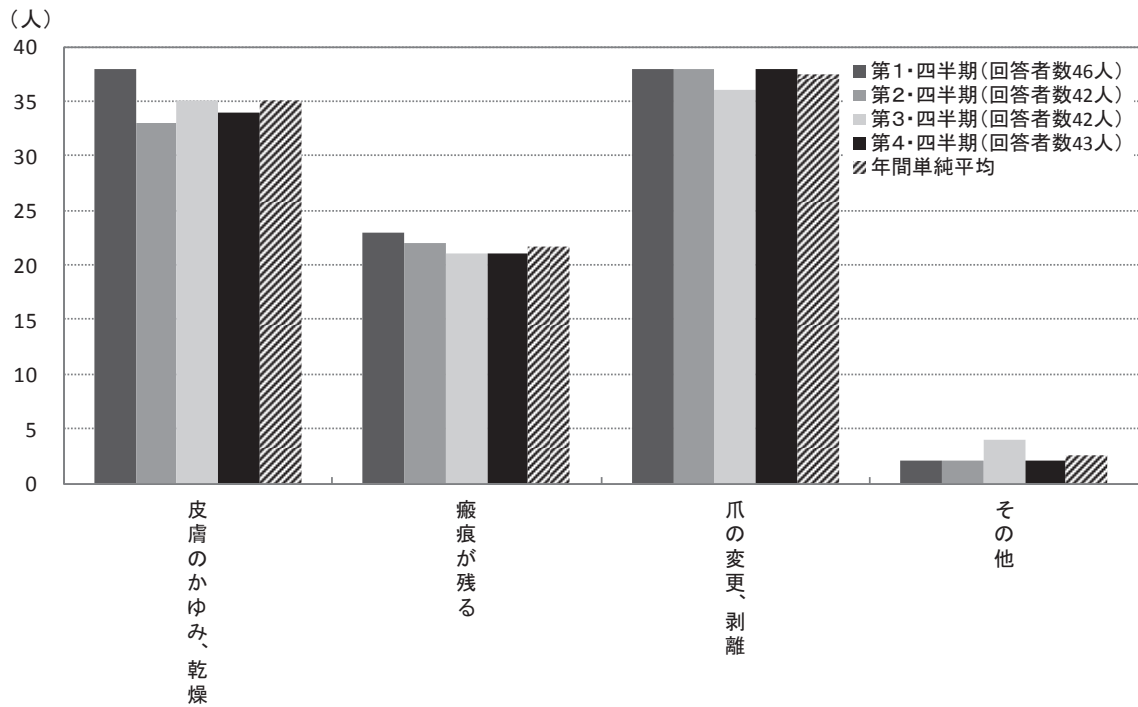


図 2-20 視力以外の状況【皮膚や爪に関する症状】の推移

⑤-5 視力以外の状況【内臓機能に関する症状】

ア 第1・四半期（回答者 27 人）

- 第1・四半期において、内臓機能に関する症状についてたずねた結果は、表 2-21 及び図 2-21 のとおり（複数回答）。
- 「高血圧」が 51.9%、「粘膜不全」が 48.1%、「心肺機能の低下・異常」と「肝機能の低下・異常」が 29.6%となっている
- その他としては、「貧血症」「逆流性食道炎」などをあげている

イ 第2・四半期（回答者 25 人）

- 第2・四半期において、内臓機能に関する症状についてたずねた結果は、表 2-21 及び図 2-21 のとおり（複数回答）。
- 「高血圧」が 56.0%、「粘膜不全」が 44.0%、「心肺機能の低下・異常」が 36.0%となっている
- その他としては、「アトピー性皮膚炎」「糖尿病」などをあげている

ウ 第3・四半期（回答者 24 人）

- 第3・四半期において、内臓機能に関する症状についてたずねた結果は、表 2-21 及び図 2-21 のとおり（複数回答）。
- 「高血圧」が 62.5%、「粘膜不全」が 45.8%、「心肺機能の低下・異常」と「肝機能の低下・異常」が 29.2%となっている
- その他としては、「血糖値が高い」「糖尿」などをあげている

エ 第4・四半期（回答者 26 人）

- 第4・四半期において、内臓機能に関する症状についてたずねた結果は、表 2-21 及び図 2-21 のとおり（複数回答）。
- 「高血圧」が 53.8%、「心肺機能の低下・異常」が 38.5%、「粘膜不全」が 30.8%となっている
- その他としては、「急性虫垂炎による腹膜炎」「息切れ」などをあげている

オ 四半期ごとの推移

- 第1・四半期から第4・四半期までの推移をみると、表 2-21 及び図 2-21 のとおり（複数回答）。
- 内臓機能に関する症状についてたずねた結果の年間の平均では「高血圧」が 55.9%、「粘膜不全」が 42.2%、「心肺機能の低下・異常」が 33.3%となっている

表 2-21 視力以外の状況【内臓機能に関する症状】の推移

	高血圧	粘膜不全	心肺機能の 低下・異常	肝機能の 低下・異常	腎機能の 低下・異常	その他	回答なし	回答者数
第1・四半期	14	13	8	8	2	7	22	27
	51.9%	48.1%	29.6%	29.6%	7.4%	25.9%	—	—
第2・四半期	14	11	9	5	4	5	22	25
	56.0%	44.0%	36.0%	20.0%	16.0%	20.0%	—	—
第3・四半期	15	11	7	7	5	3	24	24
	62.5%	45.8%	29.2%	29.2%	20.8%	12.5%	—	—
第4・四半期	14	8	10	7	3	3	21	26
	53.8%	30.8%	38.5%	26.9%	11.5%	11.5%	—	—
年間単純平均	14.3	10.8	8.5	6.8	3.5	4.5	22.3	25.5
	55.9%	42.2%	33.3%	26.5%	13.7%	17.6%	—	—
28年度平均	13.8	10.3	8.0	7.8	3.8	4.8	22.0	26.5
	51.9%	38.7%	30.2%	29.2%	14.2%	17.9%	—	—
27年度平均	14.0	10.5	11.0	6.3	2.0	7.3	20.3	30.0
	46.7%	35.0%	36.7%	20.8%	6.7%	24.2%	—	—

注：上段は人数、下段は割合

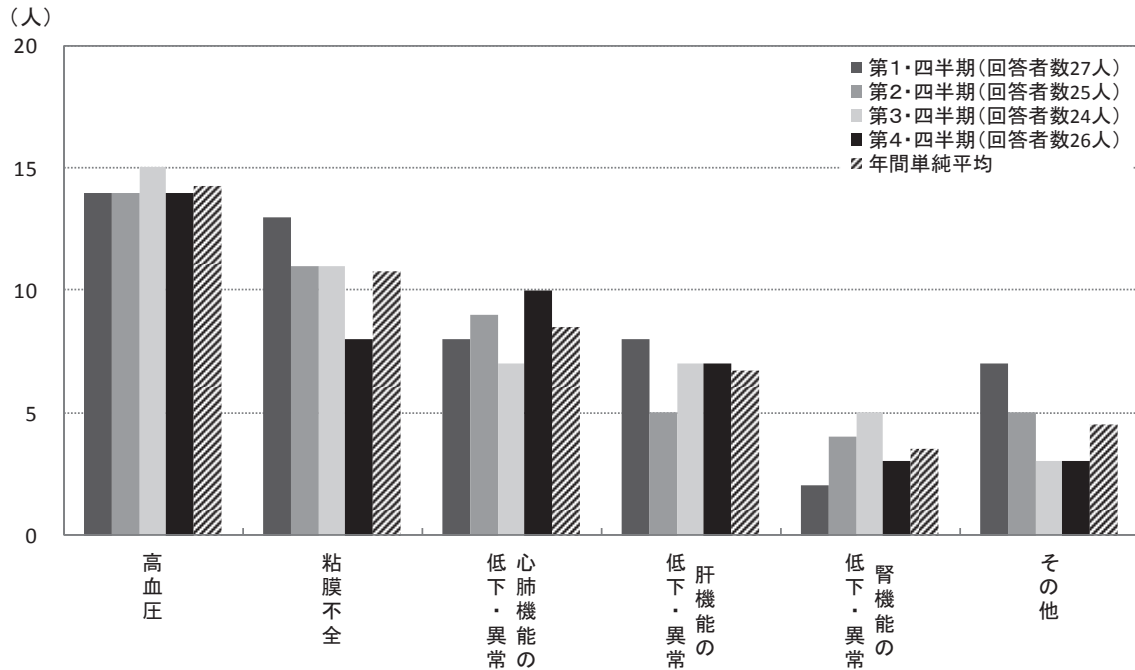


図 2-21 視力以外の状況【内臓機能に関する症状】の推移

⑤-5 視力以外の状況【聴覚・呼吸機能に関する症状】

ア 第1・四半期（回答者 34人）

- 第1・四半期において、聴覚・呼吸機能に関する症状についてたずねた結果は、表2-22及び図2-22のとおり（複数回答）。
- 「アレルギー性鼻炎」が70.6%、「気管支炎、ぜんそく」が50.0%、「音声聞き取りにくい」が38.2%となっている
- その他としては、「労作時呼吸困難」「耳鳴り」などをあげている

イ 第2・四半期（回答者 34人）

- 第2・四半期において、聴覚・呼吸機能に関する症状についてたずねた結果は、表2-22及び図2-22のとおり（複数回答）。
- 「アレルギー性鼻炎」が67.6%、「気管支炎、ぜんそく」が55.9%、「音声聞き取りにくい」が29.4%となっている
- その他としては、「鼓膜炎」「外耳炎」などをあげている

ウ 第3・四半期（回答者 33人）

- 第3・四半期において、聴覚・呼吸機能に関する症状についてたずねた結果は、表2-22及び図2-22のとおり（複数回答）。
- 「アレルギー性鼻炎」が60.6%、「気管支炎、ぜんそく」が54.5%、「音声聞き取りにくい」が33.3%となっている
- その他としては、「アトピー性皮膚炎」「痰が常にかからむ」などをあげている

エ 第4・四半期（回答者 34人）

- 第4・四半期において、聴覚・呼吸機能に関する症状についてたずねた結果は、表2-22及び図2-22のとおり（複数回答）。
- 「アレルギー性鼻炎」が67.6%、「気管支炎、ぜんそく」が55.9%、「音声聞き取りにくい」が38.2%となっている
- その他としては、「肺マック症」「肺アスペルギルス」などをあげている

オ 四半期ごとの推移

○ 第1・四半期から第4・四半期までの推移をみると、表2-22及び図2-22のとおり（複数回答）。

聴覚・呼吸機能に関する症状についてたずねた結果の年間の平均では「アレルギー性鼻炎」が66.7%、「気管支炎、ぜんそく」が54.1%、「音声が聞き取りにくい」が34.8%となっている

表2-22 視力以外の状況【聴覚・呼吸機能に関する症状】の推移

	音声が聞き取りにくい	気管支炎、ぜんそく	アレルギー性鼻炎	その他	回答なし	回答者数
第1・四半期	13	17	24	6	15	34
	38.2%	50.0%	70.6%	17.6%	—	—
第2・四半期	10	19	23	4	13	34
	29.4%	55.9%	67.6%	11.8%	—	—
第3・四半期	11	18	20	5	15	33
	33.3%	54.5%	60.6%	15.2%	—	—
第4・四半期	13	19	23	4	13	34
	38.2%	55.9%	67.6%	11.8%	—	—
年間単純平均	11.8	18.3	22.5	4.8	14.0	33.8
	34.8%	54.1%	66.7%	14.1%	—	—
28年度平均	14.3	16.0	21.8	8.0	14.3	34.3
	41.6%	46.7%	63.5%	23.4%	—	—
27年度平均	10.8	15.5	20.5	7.5	17.3	33.0
	32.6%	47.0%	62.1%	22.7%	—	—

注：上段は人数、下段は割合

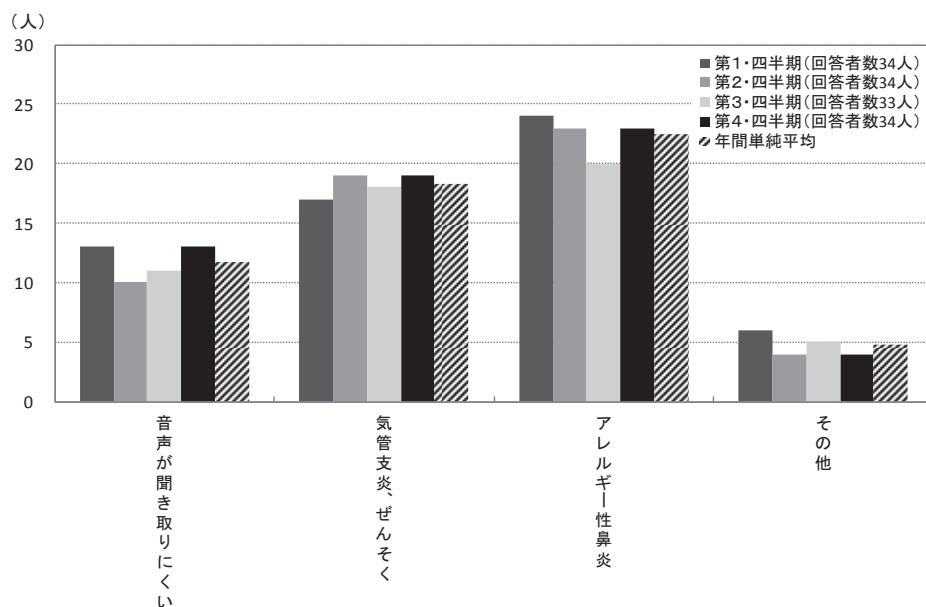


図2-22 視力以外の状況【聴覚・呼吸機能に関する症状】の推移

⑤-5 視力以外の状況【眼科領域（視力障害以外）に関する症状】

ア 第1・四半期（回答者47人）

- 第1・四半期において、眼科領域（視力障害以外）に関する症状についてたずねた結果は、表2-23及び図2-23のとおり（複数回答）。
- 「ドライアイ」が97.9%、「さかさまつげ」が91.5%、「角膜の炎症」が70.2%となっている
- その他としては、「涙のう炎」「視野障害」などをあげている

イ 第2・四半期（回答者46人）

- 第2・四半期において、眼科領域（視力障害以外）に関する症状についてたずねた結果は、表2-23及び図2-23のとおり（複数回答）。
- 「ドライアイ」が95.7%、「さかさまつげ」が89.1%、「角膜の炎症」が69.6%となっている
- その他としては、「瞼球癒着」「結膜炎」などをあげている

ウ 第3・四半期（回答者46人）

- 第3・四半期において、眼科領域（視力障害以外）に関する症状についてたずねた結果は、表2-23及び図2-23のとおり（複数回答）。
- 「ドライアイ」が97.8%、「さかさまつげ」が91.3%、「角膜の炎症」が76.1%となっている
- その他としては、「併発性白内障」「角膜のにごり」などをあげている

エ 第4・四半期（回答者46人）

- 第4・四半期において、眼科領域（視力障害以外）に関する症状についてたずねた結果は、表2-23及び図2-23のとおり（複数回答）。
- 「ドライアイ」が97.8%、「さかさまつげ」が87.0%、「角膜の炎症」が80.4%となっている
- その他としては、「眼球と瞼の癒着」「緑内障、白内障」などをあげている

オ 四半期ごとの推移

- 第1・四半期から第4・四半期までの推移をみると、表2-23及び図2-23のとおり（複数回答）。
- 眼科領域（視力障害以外）に関する症状についてたずねた結果の年間の平均では「ドライアイ」が97.3%、「さかさまつげ」が89.7%、「角膜の炎症」が74.1%となっている

表 2-23 視力以外の状況【眼科領域（視力障害以外）に関する症状】の推移

	さかさまつげ	ドライアイ	角膜の炎症	その他	回答なし	回答者数
第1・四半期	43	46	33	7	2	47
	91.5%	97.9%	70.2%	14.9%	—	—
第2・四半期	41	44	32	9	1	46
	89.1%	95.7%	69.6%	19.6%	—	—
第3・四半期	42	45	35	11	2	46
	91.3%	97.8%	76.1%	23.9%	—	—
第4・四半期	40	45	37	9	1	46
	87.0%	97.8%	80.4%	19.6%	—	—
年間単純平均	41.5	45.0	34.3	9.0	1.5	46.3
	89.7%	97.3%	74.1%	19.5%	—	—
28年度平均	42.5	46.0	32.5	8.3	0.3	48.3
	88.1%	95.3%	67.4%	17.1%	—	—
27年度平均	42.8	47.0	33.8	11.3	0.5	49.8
	85.9%	94.5%	67.8%	22.6%	—	—

注：上段は人数、下段は割合

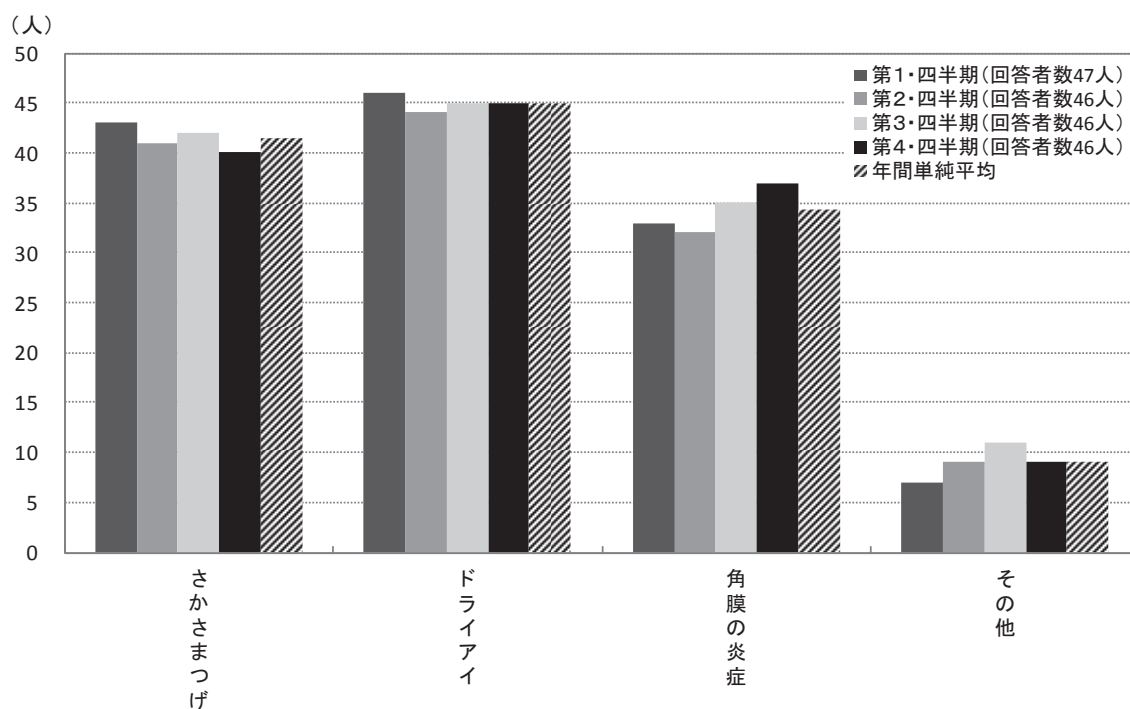


図 2-23 視力以外の状況【眼科領域（視力障害以外）に関する症状】の推移

⑤-5 視力以外の状況【口腔に関する症状】

ア 第1・四半期（回答者 36人）

- 第1・四半期において、口腔に関する症状についてたずねた結果は、表2-24及び図2-24のとおり（複数回答）。
- 「口の中が乾く」が83.3%、「口内炎」が41.7%、「味覚障害」が16.7%となっている
- その他としては、「口唇ヘルペス」「顎関節症」などをあげている

イ 第2・四半期（回答者 33人）

- 第2・四半期において、口腔に関する症状についてたずねた結果は、表2-24及び図2-24のとおり（複数回答）。
- 「口の中が乾く」が78.8%、「口内炎」が51.5%、「味覚障害」が18.2%となっている
- その他としては、「口唇ヘルペス」「舌が腫れている」などをあげている

ウ 第3・四半期（回答者 31人）

- 第3・四半期において、口腔に関する症状についてたずねた結果は、表2-24及び図2-24のとおり（複数回答）。
- 「口の中が乾く」が87.1%、「口内炎」が51.6%、「味覚障害」が19.4%となっている
- その他としては、「歯周病」「歯肉が落ち知覚過敏、口腔粘膜一部癒着」などをあげている

エ 第4・四半期（回答者 36人）

- 第4・四半期において、口腔に関する症状についてたずねた結果は、表2-24及び図2-24のとおり（複数回答）。
- 「口の中が乾く」が72.2%、「口内炎」が47.2%、「味覚障害」が19.4%となっている
- その他としては、「口唇ヘルペス」「歯周病」などをあげている

オ 四半期ごとの推移

- 第1・四半期から第4・四半期までの推移をみると、表2-24及び図2-24のとおり（複数回答）。
- 口腔に関する症状についてたずねた結果の年間の平均では「口の中が乾く」が80.1%、「口内炎」が47.8%、「味覚障害」が18.4%となっている

表 2-24 視力以外の状況【口腔に関する症状】の推移

	口内炎	味覚障害	口の中が乾く	その他	回答なし	回答者数
第1・四半期	15	6	30	6	13	36
	41.7%	16.7%	83.3%	16.7%	—	
第2・四半期	17	6	26	8	16	33
	51.5%	18.2%	78.8%	24.2%	—	
第3・四半期	16	6	27	8	18	31
	51.6%	19.4%	87.1%	25.8%	—	
第4・四半期	17	7	26	8	13	36
	47.2%	19.4%	72.2%	22.2%	—	
年間単純平均	16.3	6.3	27.3	7.5	15.0	34.0
	47.8%	18.4%	80.1%	22.1%	—	
28年度平均	18.0	5.5	27.3	5.0	15.0	35.0
	51.4%	15.7%	77.9%	14.3%	—	
27年度平均	14.0	5.3	24.5	7.8	19.3	32.8
	42.7%	16.0%	74.8%	23.7%	—	

注：上段は人数、下段は割合

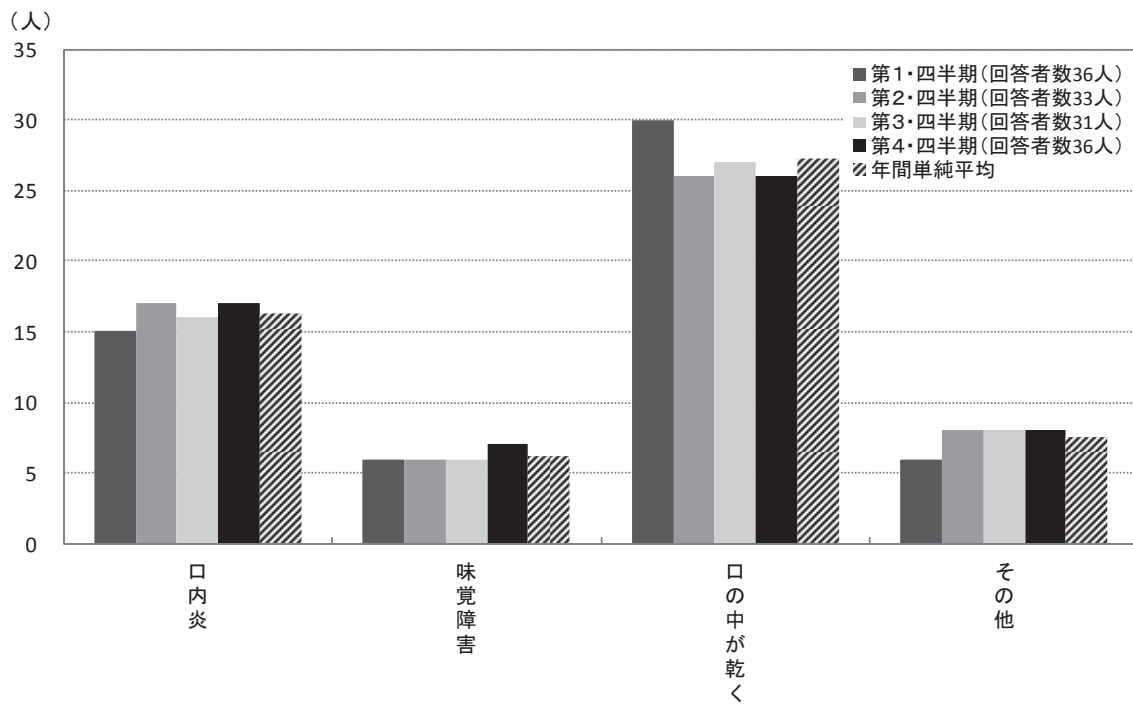


図 2-24 視力以外の状況【口腔に関する症状】の推移

⑤-5 視力以外の状況【精神的な症状】

ア 第1・四半期（回答者 20 人）

- 第1・四半期において、精神的な症状についてたずねた結果は、表 2-25 及び図 2-25 のとおり（複数回答）。
- 「不安障害」と「睡眠障害」が 65.0%、「うつ」が 35.0%となっている
- その他としては、「パニック障害」「うつ」などをあげている

イ 第2・四半期（回答者 22 人）

- 第2・四半期において、精神的な症状についてたずねた結果は、表 2-25 及び図 2-25 のとおり（複数回答）。
- 「不安障害」が 72.7%、「睡眠障害」が 63.6%、「うつ」が 18.2%となっている
- その他としては、「頭痛、頭重」「物わすれ」などをあげている

ウ 第3・四半期（回答者 20 人）

- 第3・四半期において、精神的な症状についてたずねた結果は、表 2-25 及び図 2-25 のとおり（複数回答）。
- 「不安障害」と「睡眠障害」が 65.0%、「うつ」が 20.0%となっている
- その他としては、「体の不調と目の痛みで強いストレス」などをあげている

エ 第4・四半期（回答者 23 人）

- 第4・四半期において、精神的な症状についてたずねた結果は、表 2-25 及び図 2-25 のとおり（複数回答）。
- 「睡眠障害」が 73.9%、「不安障害」が 69.6%、「うつ」が 17.4%となっている

オ 四半期ごとの推移

- 第1・四半期から第4・四半期までの推移をみると、表 2-25 及び図 2-25 のとおり（複数回答）。
- 精神的な症状についてたずねた結果の年間の平均では「不安障害」が 68.2%、「睡眠障害」が 67.1%、「うつ」が 22.4%となっている

表 2-25 視力以外の状況【精神的な症状】の推移

	不安障害	睡眠障害	うつ	その他	回答なし	回答者数
第1・四半期	13	13	7	3	29	20
	65.0%	65.0%	35.0%	15.0%	—	—
第2・四半期	16	14	4	4	25	22
	72.7%	63.6%	18.2%	18.2%	—	—
第3・四半期	13	13	4	2	28	20
	65.0%	65.0%	20.0%	10.0%	—	—
第4・四半期	16	17	4	1	24	23
	69.6%	73.9%	17.4%	4.3%	—	—
年間単純平均	14.5	14.3	4.8	2.5	26.5	21.3
	68.2%	67.1%	22.4%	11.8%	—	—
28年度平均	14.8	15.3	4.8	2.5	27.8	20.8
	71.1%	73.5%	22.9%	12.0%	—	—
27年度平均	14.5	14.8	4.5	3.3	29.5	20.8
	69.9%	71.1%	21.7%	15.7%	—	—

注：上段は人数、下段は割合

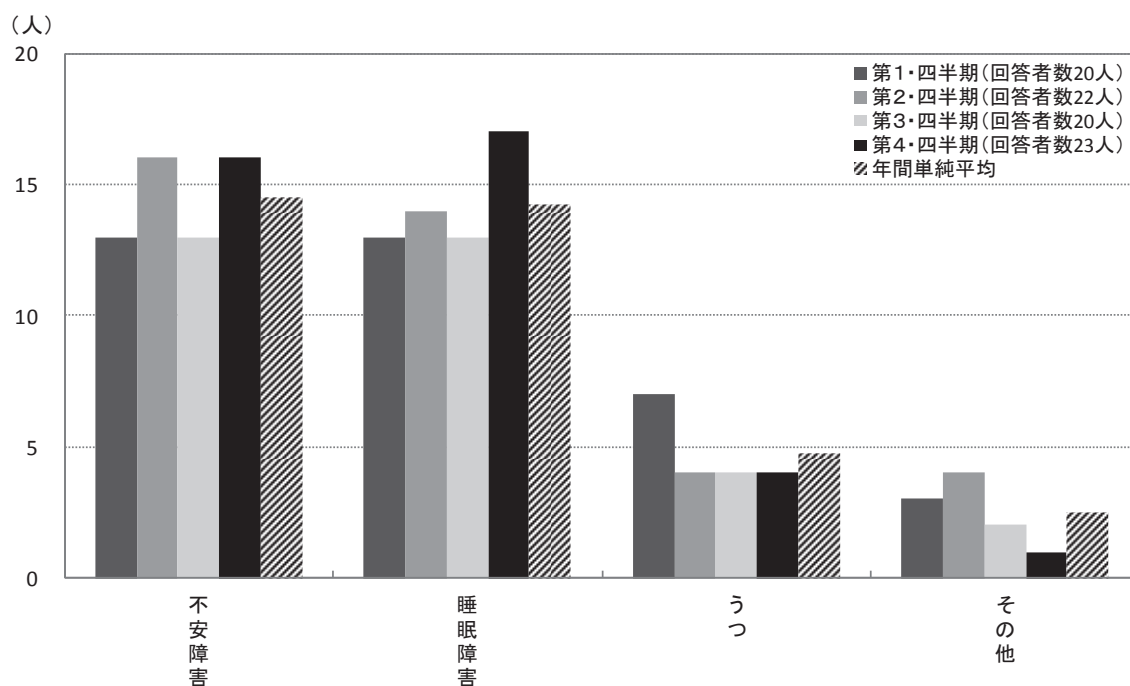


図 2-25 視力以外の状況【精神的な症状】の推移

⑤-5 視力以外の状況（その他の後遺症等）について

○本人または介護者にたずねた視力以外の状況などについて主な内容は、以下のとおりとなっている（自由記載、順不同、複数記載）。

◇眼科、皮膚、粘膜関連

- ・ 結膜炎でヤニが出る
- ・ アトピー性皮膚炎
- ・ 爪が不揃いなので、衣服、生活用品に引っかかり易く、細心の注意を要すること。
- ・ つめの変形（ささくれて生えてくる）
- ・ 過去にはドライアイの為、角膜の炎症をくり返し、痛み etc 苦しんだが、今は、角質化してしまい、痛みはない。もっとも角膜の角質化に伴って完全に失明した。
- ・ ドライアイの進行、病理変化
- ・ 涙が出ないので点眼剤をたえずささなければいけない。爪が生えないので物をつかむのに大変。
- ・ さかまつげがひどいので、眼科通院が大変です。
- ・ あまりにも涙のう炎が痛かったので11月に涙道の手術を全身麻酔下で受けた。
- ・ 爪があがってこないので物をつかむ事がむずかしい。
- ・ 爪が割れてそり返っている。皮膚が弱い
- ・ 腔粘膜癒着
- ・ 婦人科症状（粘膜障害）

◇精神的事項

- ・ 角膜移植眼瞼下すい等、口腔粘膜口蓋粘膜を採取した事により日常の食生活も刺激物等限定あり、視覚だけでなく味覚も楽しむ事が少なく、精神的にうつ症状である。

◇口腔及び呼吸器関連

- ・ 舌がしみる、味覚異常
- ・ 唾液がすくないからだと思いますが、虫菌が多い。
- ・ 体が疲れたり、いつもより、会話が多いと声がかれてくる。食べ物をよくかんで食べても、のどの通りがわるく、つまる時がある。
- ・ 食べ物を飲み込む時、うまく飲み込めない。又はつまる。カゼをひきやすい。薬が飲めないから早めに「葛根湯」を飲み、酷くならないようにする。体が疲れたりすると声がでにくくなる。
- ・ 気管支喘息
- ・ 労作時、呼吸困難。
- ・ 労作性の呼吸困難（歩行がづらい）
- ・ 唾液が出ないので、物を食べる時には気を付ける。
- ・ 舌がただれている。
- ・ 唾液が無いので水で流し込むようになり胃が痛む。歌を唄おうにも水がないと歌えない。
- ・ のどの粘膜が細くなっているのか、食べ物を飲み込むのに、よくかんで飲み込もうとしているのに、つまってしまう。

- ・ 発症後 26 年間、年中咳がでる。呼吸器内科耳鼻科を受診したが異常がないと言われた。26 年間咳がでる原因がわからない。
- ・ 肺マック症、肺アスペルギルス

◇泌尿器及び肛門関連

- ・ 肛門の出血治療
- ・ 便秘
- ・ 膀胱炎
- ・ 泌尿器の不調
- ・ 泌尿器の異常。全ての炎症が悪化している。発症して 53 年間炎症です。
- ・ 痔の治療

◇各種痛み

- ・ お腹の張り、痛みがある
- ・ 3 年程前自宅内階段で落ち第 7 頸椎骨折で 2 ヶ月余り入院したことがあり、その後遺症で重い荷物を持ったり、食事の仕度に台所に長時間立っていると腰が痛い。
- ・ ステロイドを多量に使用したので骨がもろく、骨粗しょうしょうで薬を飲んでいる。ちょっとした段差を何回もふみはずした為足首より下、慢性的にねんざ状態（足首より先が痛い）
- ・ 全身の関節痛。
- ・ 母指関節痛
- ・ 労作性呼吸困難原因不明の頭痛。肩こり、首の痛み。
- ・ 偏頭痛

◇その他

- ・ SJS とは無関係であるが高脂血症、境界型糖尿病の症状あり。
- ・ 動きが少ないのでどうしても太りやすくなります。週 2 回運動をしています。
- ・ 身体がゆれる感じがある。
- ・ 原因不明の免疫異常（全身の関節の痛み）線維筋痛症風邪を引きやすい。
- ・ 高血圧、アレルギー鼻炎
- ・ 食事箸やフォークでうまくいかない時は無理せず手で食べる様にしている。やしなっただげる。
- ・ 全身の疲労感（特に眼や呼吸器の調子が悪い時、何もできない）筋力の低下
- ・ てんかん。
- ・ 脳こうそく後遺症、
- ・ 本人の努力とまわりの方のサポートで、健康になりました。
- ・ 卵巣腫瘍の検査（半年に 1 回）裂痔（3 ヶ月に 1 回通院）

■ 主たる介護者の状況について

◎主たる介護者

○主たる介護者は以下のとおり。

□年間平均では、「主として介護をしている配偶者」が 50.3%、「主として介護をしている親」が 29.0%となっている

表 2-26 主たる介護者の推移

	主として介護 をしている配 偶者	主として介護 をしている親	主として介護 をしている兄 弟姉妹	その他	回答なし	合 計
第1・四半期	22 48.9%	14 31.1%	2 4.4%	7 15.6%	11 —	45 100.0%
第2・四半期	21 51.2%	12 29.3%	1 2.4%	7 17.1%	12 —	41 100.0%
第3・四半期	21 50.0%	12 28.6%	2 4.8%	7 16.7%	11 —	42 100.0%
第4・四半期	21 51.2%	11 26.8%	2 4.9%	7 17.1%	11 —	41 100.0%
年間単純平均	21.3 50.3%	12.3 29.0%	1.8 4.1%	7.0 16.6%	11.3 —	42.3 100.0%
28年度平均	22.0 51.2%	13.8 32.0%	1.3 2.9%	6.0 14.0%	13.0 —	43.0 100.0%
27年度平均	24.3 52.4%	12.5 27.0%	1.0 2.2%	8.5 18.4%	10.3 —	46.3 100.0%
26年度平均	25.3 48.3%	17.3 33.0%	1.8 3.3%	8.0 15.3%	12.8 —	52.3 100.0%
25年度平均	28.3 48.7%	21.5 37.1%	1.3 2.2%	7.0 12.1%	10.5 —	58.0 100.0%

注：上段は人数、下段は割合

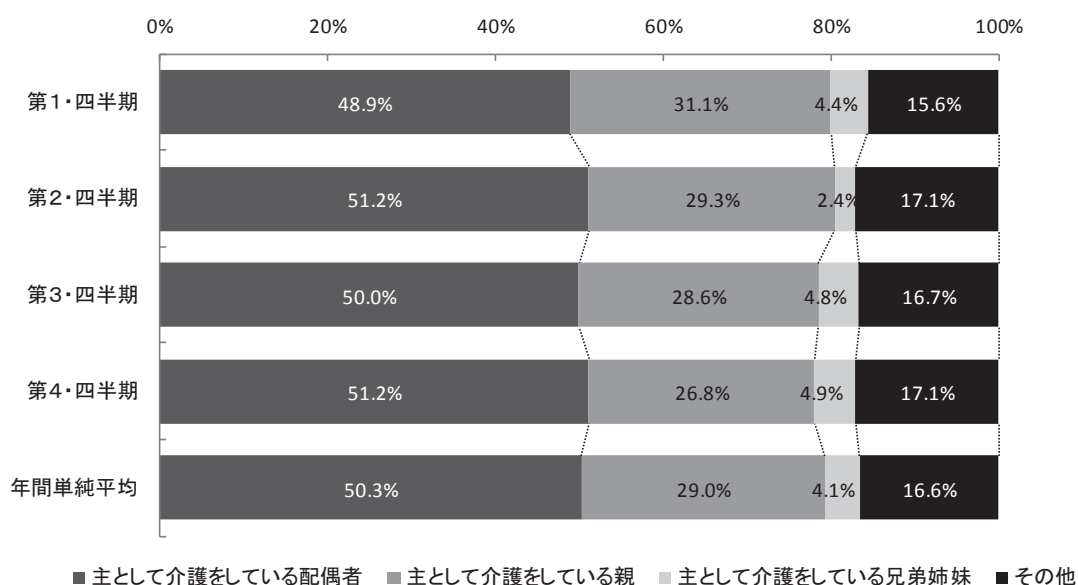
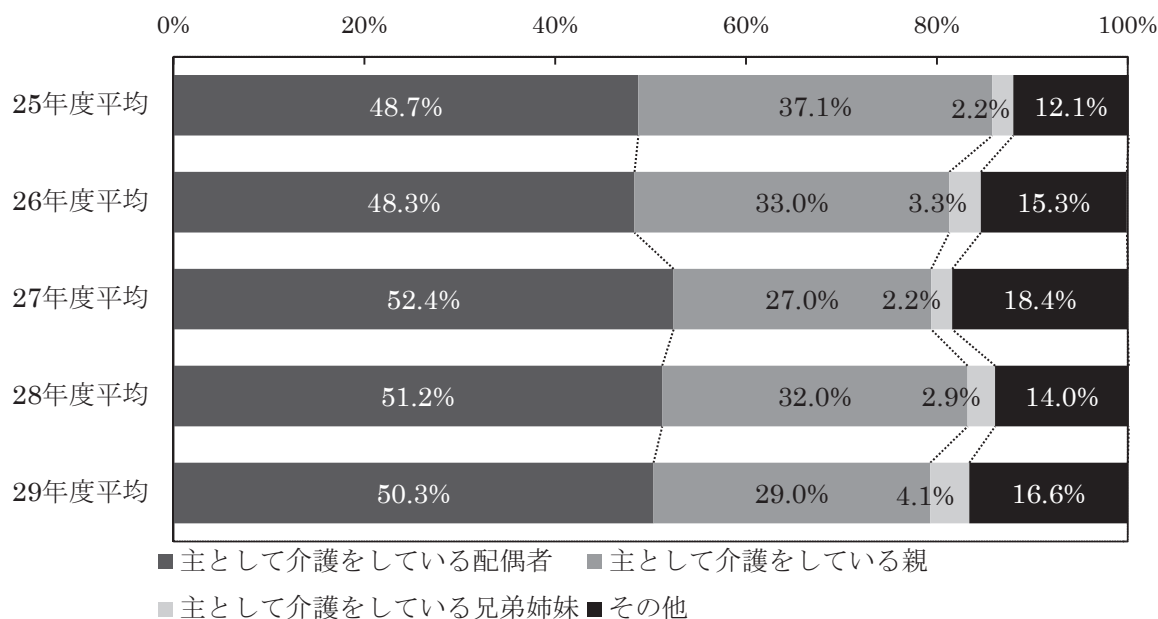


図 2-26 主たる介護者の推移

	主として介護をしている配偶者	主として介護をしている親	主として介護をしている兄弟姉妹	その他	合計
25年度平均	48.7%	37.1%	2.2%	12.1%	100.0%
26年度平均	48.3%	33.0%	3.3%	15.3%	100.0%
27年度平均	52.4%	27.0%	2.2%	18.4%	100.0%
28年度平均	51.2%	32.0%	2.9%	14.0%	100.0%
29年度平均	50.3%	29.0%	4.1%	16.6%	100.0%



⑥主たる介護者の健康状態

ア 第1・四半期（回答者43人）

○第1・四半期において、主な介護者の健康状態をたずねた結果は、表2-27及び図2-27のとおり。

- 健康状態が「たいへん良好」が2.3%、「まあ良好」が60.5%となっている
- 一方で、「たいへん悪い」が18.6%、「やや悪い」が18.6%である

イ 第2・四半期（回答者40人）

○第2・四半期において、主な介護者の健康状態をたずねた結果は、表2-27及び図2-27のとおり。

- 健康状態が「たいへん良好」が0.0%、「まあ良好」が55.0%となっている
- 一方で、「たいへん悪い」が20.0%、「やや悪い」が25.0%である

ウ 第3・四半期（回答者 40 人）

- 第3・四半期において、主な介護者の健康状態をたずねた結果は、表 2-27 及び図 2-27 のとおり。
- 健康状態が「たいへん良好」が 5.0%、「まあ良好」が 57.5%となっている
- 一方で、「たいへん悪い」が 10.0%、「やや悪い」が 27.5%である

エ 第3・四半期（回答者 39 人）

- 第3・四半期において、主な介護者の健康状態をたずねた結果は、表 2-27 及び図 2-27 のとおり。
- 健康状態が「たいへん良好」が 2.6%、「まあ良好」が 56.4%となっている
- 一方で、「たいへん悪い」が 12.8%、「やや悪い」が 28.2%である

オ 四半期ごとの推移

- 第1・四半期から第4・四半期までの推移をみると、表 2-27 及び図 2-27 のとおり。
- 主な介護者の健康状態については年間の平均では「たいへん良好」が 2.5%、「まあ良好」が 57.4%となっている
- 一方で、「たいへん悪い」が 15.4%、「やや悪い」が 24.7%である

表 2-27 主たる介護者の健康状態の推移

	たいへん良好	まあ良好	やや悪い	たいへん悪い	回答なし	合計
第1・四半期	1	26	8	8	13	43
	2.3%	60.5%	18.6%	18.6%	—	100.0%
第2・四半期	0	22	10	8	13	40
	0.0%	55.0%	25.0%	20.0%	—	100.0%
第3・四半期	2	23	11	4	13	40
	5.0%	57.5%	27.5%	10.0%	—	100.0%
第4・四半期	1	22	11	5	13	39
	2.6%	56.4%	28.2%	12.8%	—	100.0%
年間単純平均	1.0	23.3	10.0	6.3	13.0	40.5
	2.5%	57.4%	24.7%	15.4%	—	100.0%
28年度平均	1.3	22.0	12.0	6.8	14.0	42.0
	3.0%	52.4%	28.6%	16.1%	—	100.0%
27年度平均	2.0	24.5	13.5	3.3	13.3	43.3
	4.6%	56.6%	31.2%	7.5%	—	100.0%
26年度平均	2.0	28.8	14.3	5.3	14.8	50.3
	4.0%	57.2%	28.4%	10.4%	—	100.0%
25年度平均	1.5	31.3	17.3	6.3	12.3	56.3
	2.7%	55.6%	30.7%	11.1%	—	100.0%

注：上段は人数、下段は割合

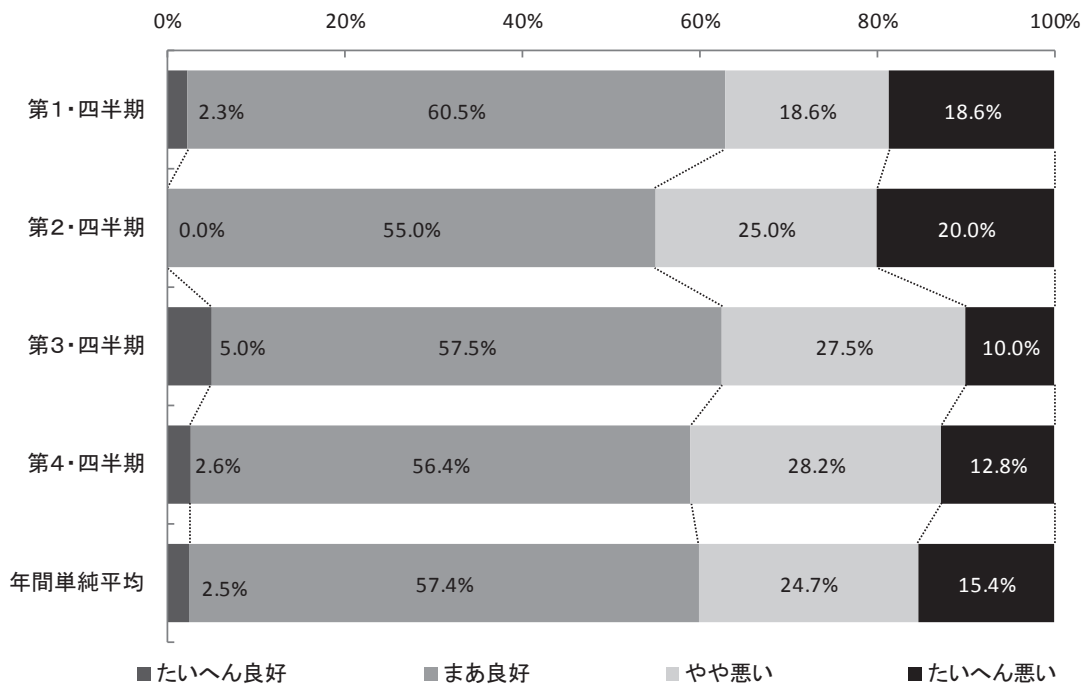


図 2-27 主たる介護者の健康状態の推移

⑥-1 主たる介護者の健康状態 詳細

○主たる介護者の健康状態についての主な具体的理由については、以下のとおりとなっている（自由記載、順不同、複数記載）。

◇多忙、仕事関連

- ・ 忙しく、休むヒマがない。
- ・ 介護と仕事の両立が難しい。
- ・ 仕事、孫の世話が忙しく、やや疲れ気味
- ・ 介護疲れ
- ・ 夫が要介護状態の所に弟の療養生活の世話
- ・ 休みの日も、妻の病院に付き添うため、過労ぎみ。
- ・ 常に介護が必要なため
- ・ 主人の他にも、介護を要する人が増えて。
- ・ 本人は1人で生活しているため、何かと不便だが、なかなか忙しく手伝ってあげられない

◇体調不良、怪我

- ・ 著しい視野狭窄
- ・ 足、ひざの痛みと肩こり
- ・ 足をけがしたため
- ・ 花粉のアレルギー為くしゃみがある
- ・ インフルエンザにかかった
- ・ 強度の肩こり、痛み。憩室炎を発症（治癒）
- ・ 腰や肩のいたみ、糖尿病
- ・ 視覚障害の進行
- ・ 体全体で痛み等はない。若干のメタボ
- ・ 歯肉炎があり歯医者さんに通っています。
- ・ 心筋梗塞、圧迫骨折
- ・ 持病の悪化、身体的に疲労、痛みなど
- ・ 私も入院した後、体調回復していません
- ・ 体調をくずしている。
- ・ 体温調整がしにくく、体がだるい
- ・ 認知症（薬を服用中）
- ・ 歯のブリッジが悪くなり、治療。気持ちも落ち込みました。
- ・ ひざが悪く歩く速度が違うので大変
- ・ 目の病気の悪化
- ・ めまいがあった。
- ・ 変形性膝関節症、0脚がひどくなり
- ・ 疲れやすくなった

- ・ 夏バテ

◇加齢、障害

- ・ 介護者も障害者
- ・ 自分も年で有り足が悪く歩けない
- ・ 加齢により、目の代りとなり、読んだり書いたりする事が困難になって来ている
- ・ 障害が進行した
- ・ 老令化
- ・ 視力低下により介護生活だから

◇状況改善、工夫事項

- ・ 介護が少し減った為
- ・ 介護が必要だが、慣れてきた
- ・ 薬を飲まずに生活出来ている
- ・ 協力者が増えたので、負担が軽減しました。
- ・ スポーツをしている
- ・ 寝こむことはなかったから
- ・ 手助けてくれる者がいるから。
- ・ 一人で抱えないから
- ・ 一人でやっているわけではなく、皆が手伝い、又本人も出来ることは全部自分でしている。
- ・ ヘルパーさんなど、任せるところは任せようにして、自分の時間をもつ
- ・ 病気がなかった。
- ・ 常に介護が必要ではないので
- ・ 規則正しい生活リズム、食事、アルバイトで精神的にストレス発散。
- ・ 更年期でもあり気持ちが落ち込む事があるが、無理しない様に生活している。
- ・ ほとんど介護が必要ないため。
- ・ 出来る事は時間がかかってもやってもらう
- ・ 食事、運動など気を付けている
- ・ 流動性食道炎や腰痛など、酷くならないよう注意しながら生活した。
- ・ 年令相応の機能低下あるも悩んでもどーしようもないし、前向きに考えている

◇その他

- ・ 種々症状はあるが生活に支障はない。
- ・ 妻が入院して、心配した。
- ・ ストレス
- ・ 実生活は普通に可能。
- ・ 各種生活習慣病症状があるが、日常生活に大きな支障はない。
- ・ 若いから
- ・ 悪いというわけでもないと思うため

⑦ 介護をしていく中で困ったことの有無

ア 第1・四半期（回答者43人）

○第1・四半期において、介護をしていく中で困ったことがあったかについてたずねた結果は、表2-28及び図2-28のとおり。

□困ったことが「増えた」と回答した人は32.6%、「減った」と回答した人は2.3%であった

□一方で14.0%の人は、困ったことは「ない」と回答している

イ 第2・四半期（回答者41人）

○第2・四半期において、介護をしていく中で困ったことがあったかについてたずねた結果は、表2-28及び図2-28のとおり。

□困ったことが「増えた」と回答した人は34.1%、「減った」と回答した人は2.4%であった

□一方で2.4%の人は、困ったことは「ない」と回答している

ウ 第3・四半期（回答者39人）

○第3・四半期において、介護をしていく中で困ったことがあったかについてたずねた結果は、表2-28及び図2-28のとおり。

□困ったことが「増えた」と回答した人は41.0%、「減った」と回答した人は5.1%であった

□一方で10.3%の人は、困ったことは「ない」と回答している

エ 第4・四半期（回答者38人）

○第4・四半期において、介護をしていく中で困ったことがあったかについてたずねた結果は、表2-28及び図2-28のとおり。

□困ったことが「増えた」と回答した人は26.3%、「減った」と回答した人は2.6%であった

□一方で10.5%の人は、困ったことは「ない」と回答している

オ 四半期ごとの推移

○第1・四半期から第4・四半期までの推移をみると、表2-28及び図2-28のとおり。

□困ったことが「増えた」と回答した人は33.5%、「減った」と回答した人は3.1%、「変わらない」と回答した人は54.0%である

□また、困ったことは「ない」と回答した人は9.3%である

表 2-28 介護をしていく中で困ったことの有無の推移

	困ったことが 増えた	困ったことが 減った	困ったことが 変わらない	困ったことは ない	回答なし	合 計
第1・四半期	14	1	22	6	13	43
	32.6%	2.3%	51.2%	14.0%	—	100.0%
第2・四半期	14	1	25	1	12	41
	34.1%	2.4%	61.0%	2.4%	—	100.0%
第3・四半期	16	2	17	4	14	39
	41.0%	5.1%	43.6%	10.3%	—	100.0%
第4・四半期	10	1	23	4	14	38
	26.3%	2.6%	60.5%	10.5%	—	100.0%
年間単純平均	13.5	1.3	21.8	3.8	13.3	40.3
	33.5%	3.1%	54.0%	9.3%	—	100.0%
28年度平均	13.8	1.5	17.8	8.3	14.8	41.3
	33.3%	3.6%	43.0%	20.0%	—	100.0%
27年度平均		21.8		17.8	17.0	39.5
		55.1%		44.9%	—	100.0%
26年度平均		27.3		19.3	18.5	46.5
		58.6%		41.4%	—	100.0%
25年度平均		28.3		23.8	16.5	52.0
		54.3%		45.7%	—	100.0%

注：上段は人数、下段は割合

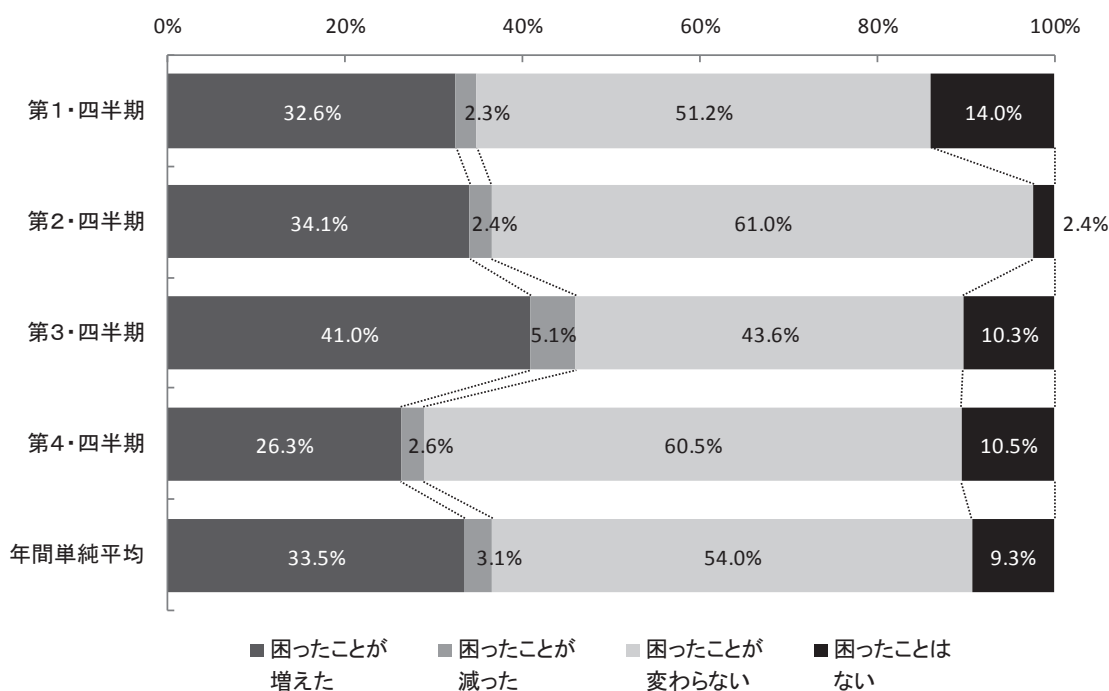


図 2-28 介護をしていく中で困ったことの有無の推移

⑦-1 介護をしていく中で困ったこと

- 「介護をしていく中で困ったことがある」と回答した方の具体的な内容は以下のとおりとなっている（自由記載、順不同、複数記載）。

◇通院、外出

- ・ 外出先でおむつを替える為の横になるベットがない
- ・ 通院に付き添うのが大変

◇体調不良、加齢

- ・ 自分の身体が年令とともに動きがニブクなり
- ・ 年々、高齢になるので、次々と病院に行かなければならない事がふえる。
- ・ 介護者体調不良にともない、健康被害者への介護が以前に比べると十分に出来ない事の不安等
- ・ 加齢による体力の衰え

◇仕事、多忙

- ・ 仕事と介護の両立ができない時がある
- ・ 急な用事の際、すぐに代わりの介護者が見つからなかった。
- ・ 家族の介護だけでも大変なのに、兄弟の介護も増え家事と通院の日々である

◇その他

- ・ 本人が障害を受けた時（8才）は細い小さい子であったのに、座る事も出来ぬ自分に気づいた娘は、当時自殺したい、死にたいとたえず云ったが、3年目位から無言となり、食べるだけは必死で食べるので、つい食べさせたせいか40年過ぎた今では身長も体重も異常に増加、今年からフロへ運ぶのに車椅子にのせ、座らせると苦しがり、白目をむいて母に助けを呼ぶ様になり、フロ中でも、母がしっかり後ろから抱きしめていなければならず、フロのあとは大運動会のあとの様に疲れ、本人も上半身と頭、顔が汗びっしょりとなり、2、3回衣服やシーツをかえねばならなくなった。
- ・ 介護者がみつからず、自宅にいる事が多い
- ・ 人間が生きていくうえでの必要なことは多いが、視力障害のタイヘンさを身近に体験している配偶者とともに生きていく、という困難の自覚。
- ・ 病棟介護職員が減ったので、なるべく私達（保護者等）がやらねばと思ひ面会日も増える。抑制をはずして自由になる時間が必要なので面会数も増える。
- ・ 抱えること、生活介護が大変。力もついて抵抗力も強くなってきている為ため。

⑦-2 困ったことがあった場合、誰かに相談したか

ア 第1・四半期（回答者 24 人）

- 介護をしていく中で困ったことがあったと答えた人に回答を求めた（以下、同じ）。
第1・四半期において、誰かに相談したかについてたずねた結果は、表2-29及び図2-29のとおり（複数回答）。
- 「子ども」が37.5%、「配偶者」が29.2%、「友人・知人」と「公的機関の職員等」が16.7%となっている
- 「相談する人はいない」は16.7%であった

イ 第2・四半期（回答者 22 人）

- 第2・四半期において、誰かに相談したかについてたずねた結果は、表2-29及び図2-29のとおり（複数回答）。
- 「配偶者」が40.9%、「子ども」が27.3%、「友人・知人」が13.6%となっている
- 「相談する人はいない」は18.2%であった

ウ 第3・四半期（回答者 19 人）

- 第3・四半期において、誰かに相談したかについてたずねた結果は、表2-29及び図2-29のとおり（複数回答）。
- 「子ども」が36.8%、「友人・知人」26.3%が、「配偶者」が15.8%となっている
- 「相談する人はいない」は26.3%となっている

エ 第4・四半期（回答者 23 人）

- 第4・四半期において、誰かに相談したかについてたずねた結果は、表2-29及び図2-29のとおり（複数回答）。
- 「配偶者」が26.1%、「子ども」が21.7%、「友人・知人」と「医師」が17.4%となっている
- 「相談する人はいない」は21.7%となっている

オ 四半期ごとの推移

- 第1・四半期から第4・四半期までの推移をみると、表2-29及び図2-29のとおり（複数回答）。
- 「子ども」が30.7%、「配偶者」が28.4%、「友人・知人」が18.2%となっている
- 「相談する人はいない」は20.5%となっている

表 2-29 困ったときの相談の有無の推移

	親	配偶者	子ども	兄弟姉妹	祖父母	友人・知人	会社の上司・同僚	幼稚園・保育園等の先生	学校の先生	医師	看護師・保健師	公的機関の職員等	PMDAの保健福祉相談窓口	障害者の団体	障害者相談支援センター	地域包括支援センター	その他	相談する人はいない	回答なし	回答者数
第1・四半期	2	7	9	1	0	4	0	—	1	2	1	4	0	3	0	0	2	4	13	24
	8.3%	29.2%	37.5%	4.2%	0.0%	16.7%	0.0%	—	4.2%	8.3%	4.2%	16.7%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%	8.3%	16.7%	—	—
第2・四半期	1	9	6	2	1	3	0	—	0	0	0	1	0	2	1	2	2	4	18	22
	4.5%	40.9%	27.3%	9.1%	4.5%	13.6%	0.0%	—	0.0%	0.0%	0.0%	4.5%	0.0%	9.1%	4.5%	9.1%	9.1%	18.2%	—	—
第3・四半期	2	3	7	2	1	5	0	—	0	2	1	2	0	2	0	1	1	5	16	19
	10.5%	15.8%	36.8%	10.5%	5.3%	26.3%	0.0%	—	0.0%	10.5%	5.3%	10.5%	0.0%	10.5%	0.0%	5.3%	5.3%	26.3%	—	—
第4・四半期	3	6	5	1	1	4	0	—	0	4	1	3	0	2	2	1	1	5	11	23
	13.0%	26.1%	21.7%	4.3%	4.3%	17.4%	0.0%	—	0.0%	17.4%	4.3%	13.0%	0.0%	8.7%	8.7%	4.3%	4.3%	21.7%	—	—
年間単純平均	2.0	6.3	6.8	1.5	0.8	4.0	0.0	—	0.3	2.0	0.8	2.5	0.0	2.3	0.8	1.0	1.5	4.5	14.5	22.0
	9.1%	28.4%	30.7%	6.8%	3.4%	18.2%	0.0%	—	1.1%	9.1%	3.4%	11.4%	0.0%	10.2%	3.4%	4.5%	6.8%	20.5%	—	—
28年度平均	2.0	6.8	8.0	1.8	0.8	4.5	0.0	—	2.3	2.8	1.8	2.3	0.5	1.8	1.8	1.0	1.5	5.8	10.0	23.0
	8.7%	29.3%	34.8%	7.6%	3.3%	19.6%	0.0%	—	9.8%	12.0%	7.6%	9.8%	2.2%	7.6%	7.6%	4.3%	6.5%	25.0%	—	—
27年度平均	1.3	4.5	6.5	1.3	0.5	4.3	0.0	0.0	1.0	0.8	0.5	1.8	—	2.0	—	—	2.0	4.5	2.5	19.3
	6.5%	23.4%	33.8%	6.5%	2.6%	22.1%	0.0%	0.0%	5.2%	3.9%	2.6%	9.1%	—	10.4%	—	—	10.4%	23.4%	—	—
26年度平均	1.5	5.3	8.8	2.3	1.0	4.5	0.3	0.3	3.0	3.5	2.0	1.8	—	2.0	—	—	3.5	4.8	1.8	25.5
	5.9%	20.6%	34.3%	8.8%	3.9%	17.6%	1.0%	1.0%	11.8%	13.7%	7.8%	6.9%	—	7.8%	—	—	13.7%	18.6%	—	—
25年度平均	2.8	7.5	9.0	2.0	0.8	3.5	0.0	0.0	2.5	2.5	2.3	1.3	—	1.5	—	—	2.8	4.0	1.3	27.0
	10.2%	27.8%	33.3%	7.4%	2.8%	13.0%	0.0%	0.0%	9.3%	9.3%	8.3%	4.6%	—	5.6%	—	—	10.2%	14.8%	—	—

注：上段は人数、下段は割合

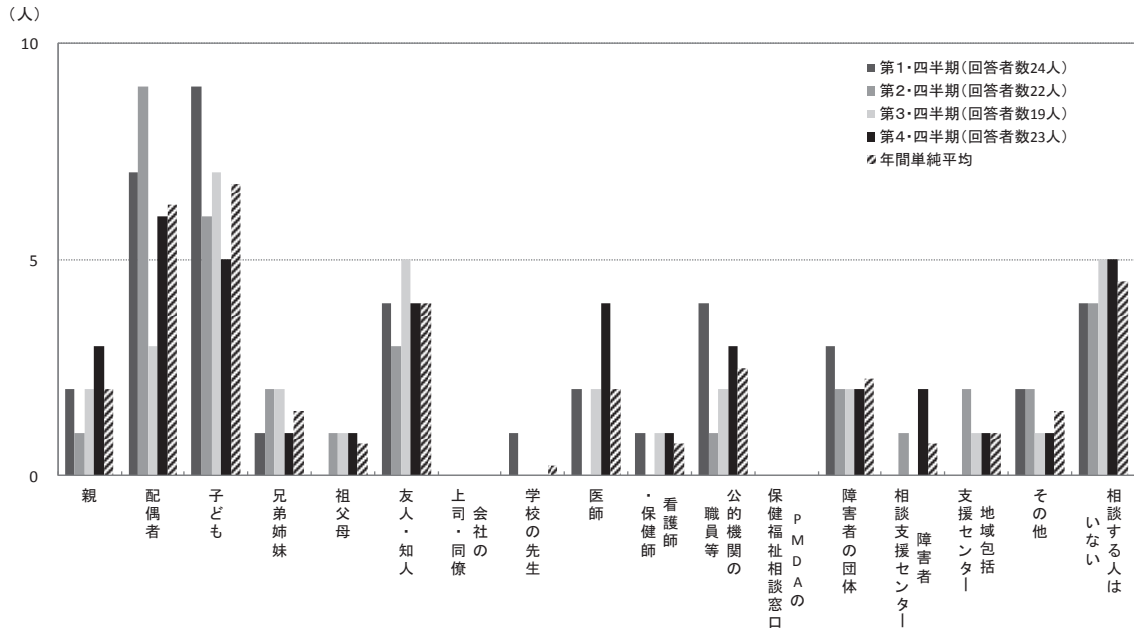
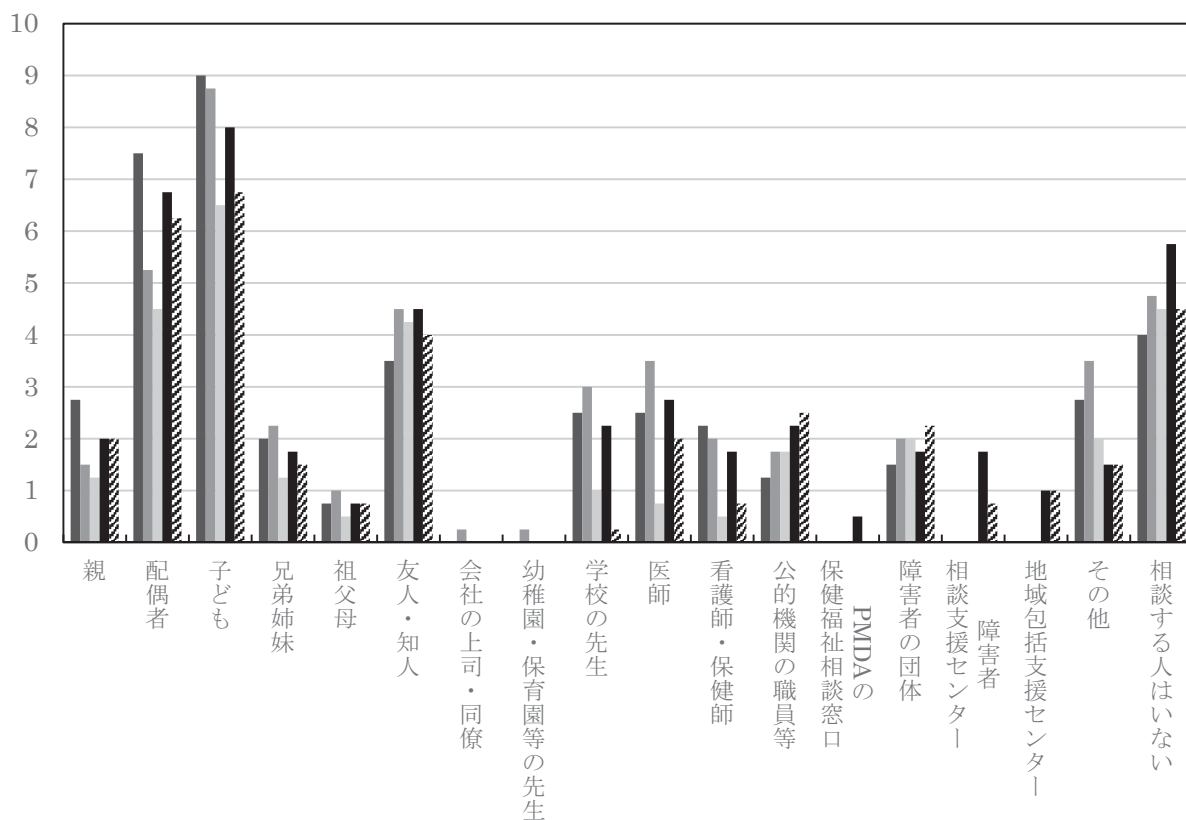


図 2-29 困ったときの相談の有無の推移

	親	配偶者	子ども	兄弟姉妹	祖父母	友人・知人	会社の上 司・同僚	幼稚園・ 保育園等 の先生	学校の先 生	医師	看護師・ 保健師	公的機関 の職員等	PMDAの 保健福祉 相談窓口	障害者の 団体	障害者 相談支援 センター	地域包括 支援セン ター	その他	相談する 人はいない
25年度平均	2.75	7.5	9	2	0.75	3.5	0	0	2.5	2.5	2.25	1.25	—	1.5	—	—	2.75	4
26年度平均	1.5	5.25	8.75	2.25	1	4.5	0.25	0.25	3	3.5	2	1.75	—	2	—	—	3.5	4.75
27年度平均	1.25	4.5	6.5	1.25	0.5	4.25	0	0	1	0.75	0.5	1.75	—	2	—	—	2	4.5
28年度平均	2	6.75	8	1.75	0.75	4.5	0	—	2.25	2.75	1.75	2.25	0.5	1.75	1.75	1	1.5	5.75
29年度平均	2	6.25	6.75	1.5	0.75	4	0	—	0.25	2	0.75	2.5	0	2.25	0.75	1	1.5	4.5

■ 25年度平均 ■ 26年度平均 ■ 27年度平均 ■ 28年度平均 ▨ 29年度平均



⑦-3 解決策の有無

ア 第1・四半期（回答者 20 人）

- 介護をしていく中で困ったことがあったと答えた人に回答を求めた（以下、同じ）。第1・四半期において、解決策の有無をたずねた結果は、表 2-30 及び図 2-30 のとおり。
- 「解決した」と回答した人は 40.0%、「解決していない」と回答した人は 60.0%であった

イ 第2・四半期（回答者 21 人）

- 第2・四半期において、解決策の有無をたずねた結果は、表 2-30 及び図 2-30 のとおり。
- 「解決した」と回答した人は 33.3%、「解決していない」と回答した人は 66.7%であった

ウ 第3・四半期（回答者 19 人）

- 第3・四半期において、解決策の有無をたずねた結果は、表 2-30 及び図 2-30 のとおり。
- 「解決した」と回答した人は 31.6%、「解決していない」と回答した人は 68.4%であった

エ 第4・四半期（回答者 18 人）

- 第4・四半期において、解決策の有無をたずねた結果は、表 2-30 及び図 2-30 のとおり。
- 「解決した」と回答した人は 27.8%、「解決していない」と回答した人は 72.2%であった

オ 四半期ごとの推移

- 第1・四半期から第4・四半期までの推移をみると、表 2-30 及び図 2-30 のとおり。
- 「解決した」と回答した人は 33.3%、「解決していない」と回答した人は 66.7%であった

表 2-30 解決策の有無の推移

	解決した	解決していない	回答なし	合計
第1・四半期	8	12	17	20
	40.0%	60.0%	—	100.0%
第2・四半期	7	14	19	21
	33.3%	66.7%	—	100.0%
第3・四半期	6	13	16	19
	31.6%	68.4%	—	100.0%
第4・四半期	5	13	16	18
	27.8%	72.2%	—	100.0%
年間単純平均	6.5	13.0	17.0	19.5
	33.3%	66.7%	—	100.0%
28年度平均	5.5	15.3	12.3	20.8
	26.5%	73.5%	—	100.0%
27年度平均	9.3	9.8	2.8	19.0
	48.7%	51.3%	—	100.0%
26年度平均	11.0	14.5	1.8	25.5
	43.1%	56.9%	—	100.0%
25年度平均	8.5	17.8	2.0	26.3
	32.4%	67.6%	—	100.0%

注：上段は人数、下段は割合

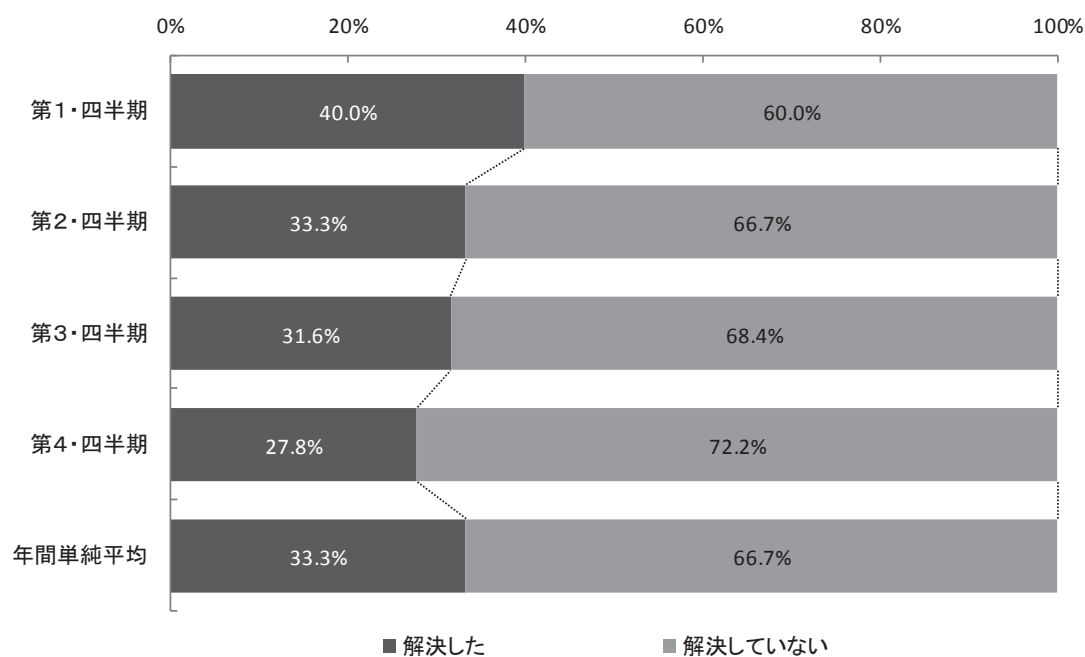


図 2-30 解決策の有無の推移

⑦-4 困ったことの解決策

○介護をしていく中での主な具体的解決策については、以下のとおりとなっている（自由記載、順不同、複数記載）。

困ったこと	解決策（公的機関等の対応を含むもの）
急な用事の際、すぐに代わりの介護者が見つからなかった	身内の者に頼んだり、公的な介護制度を利用した

困ったこと	解決策（家族等の対応）
本人が大きくなり、体重がふえた。	夕ごはんを少なめにし、食事を調整するようにした
身体のあちこちで病院へ通う事が多くなった。	具体的ではないが、気持ちが楽になった
地区のお祭り当番の時にショートを考えたが、送迎に2時間かかるので時間がうまく調整できない。	身体看護と自費と併用して（家で）1日をすごせる
どこへ行くのも2個1で動くので疲労がある	精神的に楽になった
年々、体力がなくなり病気になりやすくなっている	話を聞いてもらおうと落ち着く
急に予定していない用事を母から言われる事	私以外の人が対応してくれた
年々、高齢になるので、次々と病院に行かなければならない事がふえる。	みんなで力をかりて、病院などはまわりました。
耳が聞こえなくなっているのか、話が通じない事が出て来ました。	まわりの方々にたすけていただきました。
病院に行く回数が増えて、私の体力がしんどくなりました。	かわりに行ってくれています
仕事と介護の両立ができない時がある	介護を娘に代わってもらった
時間がない（娘）	障害をもつ娘が子供の方に時間を合わせる

⑦-5 困ったことの解決方法

○主たる介護者にたずねた、困ったことの主な具体的解決方法については、以下のとおりとなっている（自由記載、順不同、複数記載）。

困ったこと	解決方法（公的機関等の対応を含むもの）
通院に付き添うのが大変	ガイドヘルパーに頼む。
緊急時に受診できる病院が見つからない。	専門の医師が見つからない。
外出先でおむつを替える為の横になるベットがない	身障者トイレに横になれるベット（いす等）が置かれていると助かる。ベビーベットでは無理なので。
かかえること、生活介護が大変。力もついて抵抗力も強くなってきている為ため。	ヘルパーを入れることで軽減できるだろうか。
病棟介護職員が減ったので、なるべく私達（保護者等）がやらねばと思い面会日も増える。抑制をはずして自由になる時間が必要なので面会数も増える。	職員を増やして、負担を軽くする
介護をしていた父が亡くなり、母が一人、家で生活することになったため心配。	同居又は、ヘルパーの助け
いつも夫がやっていたこと、買物など布団干し、片づけそうじ全て1人ですようになり本当に大変。	週に2、3回のホームヘルパー

困ったこと	解決方法（家族等の対応）
障害が悪化し出来る事が難しくなり体調が安定しない	健康被害者の視力の回復
介護者の体調不良にともない、健康被害者への介護が以前に比べると十分に出来ない事不安等	視力回復はもちろんの事、他の症状の回復
高齢になるため	現在のところわからない
医師との信頼関係がうまく築けない。	良くわかりません。
年とともに物忘れが多くなり、物を置いた場所がわからない。（全盲なので）自分の位置のカンカクがにぶり、部屋の中でも方向がわからなくなる。	わからない

体重が増え、力が強くなり抵抗が激しくなり介助がむずかしくなってきたため。	わからない
加齢による体力の衰え	解らない
自分の体調が悪くても看護しなくてはいけない	インフルエンザにかかっている時は、ヘルパーさんも訪看さんも移ると悪いので、家に来てもらえないから、自分で看護するしかない。
料理するのが増々おっくうになった	出来あいのを増やす。
体がだんだん衰えるのを感じる	年齢的なものだから、どうしようもない？
気持ちがだんだんついていけず、何事もおっくうです。	まだ、なんとか出来そうです
眼圧が上って下らない	わからない
病気が目薬をさしたりがんばっているのに、よくなる事はなく、治療していく事が大変に思うと感ずるため。	今の目の状態と医学では無理なのではないかと思う
目が不快状態でイライラするし、そのイライラをどこへ持っていくかとよけいに本人が大変となる	ストレスが解消できる事ができればひとときでもイライラは忘れる事ができる
介護者がみつからず、自宅にいる事が多い	ストレスをはっさんするために外出と考えるが、友人等、用事が増えて、家族以外で外出の機会がへった。
お互いにイライラする	目（視力）がよくなるような方向に進んでくれればよいと思う
認知症もあり、色々な物忘れや体力の低下	分からない（薬は飲んでる）

⑧ 主たる介護者を支えるものの有無

ア 第1・四半期（回答者31人）

○第1・四半期において、主たる介護者を支えるものがあるかについてたずねた結果は、表2-31及び図2-31のとおり。

□「あった」と回答した人は64.5%、「なかった」と回答した人は35.5%であった

イ 第2・四半期（回答者27人）

○第2・四半期において、主たる介護者を支えるものがあるかについてたずねた結果は、表2-31及び図2-31のとおり。

□「あった」と回答した人は55.6%、「なかった」と回答した人は44.4%であった

ウ 第3・四半期（回答者28人）

○第3・四半期において、主たる介護者を支えるものがあるかについてたずねた結果は、表2-31及び図2-31のとおり。

□「あった」と回答した人は57.1%、「なかった」と回答した人は42.9%であった

エ 第4・四半期（回答者25人）

○第4・四半期において、主たる介護者を支えるものがあるかについてたずねた結果は、表2-31及び図2-31のとおり。

□「あった」と回答した人は52.0%、「なかった」と回答した人は48.0%であった

オ 四半期ごとの推移

○第1・四半期から第4・四半期までの推移をみると、表2-31及び図2-31のとおり。

□「あった」と回答した人は57.7%、「なかった」と回答した人は42.3%であった

表 2-31 主たる介護者を支えるものの有無の推移

	あった	なかった	回答なし	合 計
第1・四半期	20	11	25	31
	64.5%	35.5%	—	100.0%
第2・四半期	15	12	26	27
	55.6%	44.4%	—	100.0%
第3・四半期	16	12	25	28
	57.1%	42.9%	—	100.0%
第4・四半期	13	12	27	25
	52.0%	48.0%	—	100.0%
年間単純平均	16.0	11.8	25.8	27.8
	57.7%	42.3%	—	100.0%
28年度平均	16.5	13.0	26.5	29.5
	55.9%	44.1%	—	100.0%
27年度平均	18.0	16.0	22.5	34.0
	52.9%	47.1%	—	100.0%
26年度平均	22.0	19.5	23.5	41.5
	53.0%	47.0%	—	100.0%
25年度平均	22.5	22.0	24.0	44.5
	50.6%	49.4%	—	100.0%

注：上段は人数、下段は割合

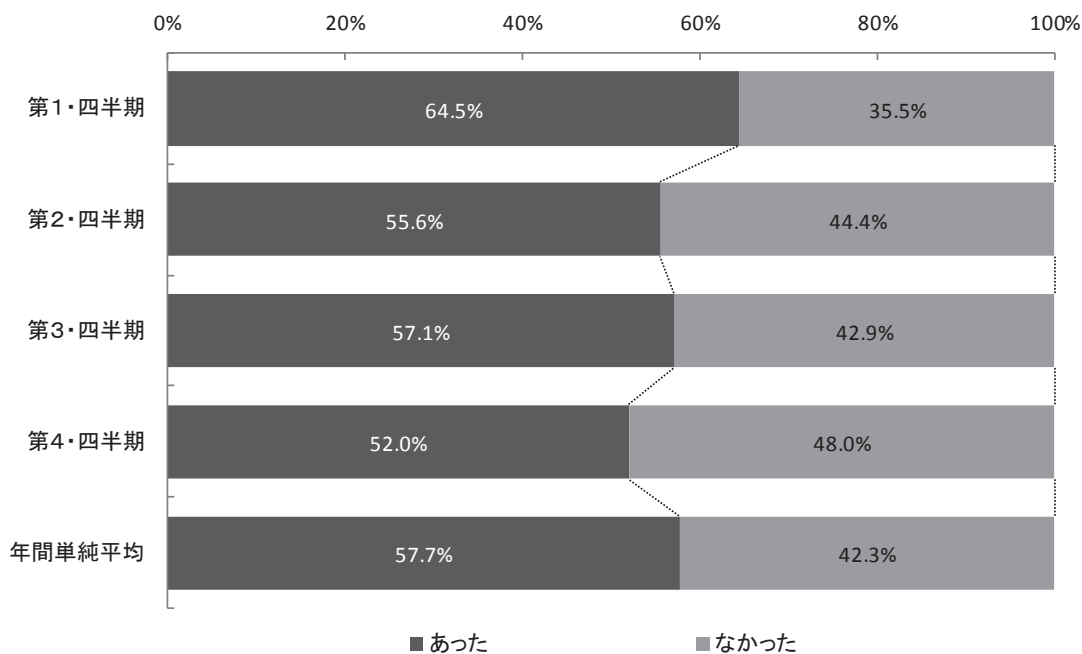


図 2-31 主たる介護者を支えるものの有無の推移

⑧-1 介護者を支えるもの 具体的内容

○主たる介護者を支える主な具体的内容については、以下のとおりとなっている（自由記載、順不同、複数記載）。

1. 家族

- ・ 夫に手伝ってもらう。
- ・ 家族内で支え合っている
- ・ 子供、兄弟
- ・ 息子、娘に来てもらう

2. 知人・友人

- ・ 友人・知人との会話
- ・ 友人達と旅行に出掛けた
- ・ 友人と食事に行った

3. ヘルパー・デイサービス

- ・ ホームヘルパーさん、デイサービスの職員さん
- ・ ショートステイやデイサービス
- ・ デイサービスを増やした

4. 患者会

- ・ 介護者を含め皆で旅行や食事に行く
- ・ 患者の会で病院や介護施設の情報交換をした
- ・ 障害者を持つ親同士

5. 公的な機関・制度

- ・ 区の緊急介護人制度や同行援護の利用で、時間的自由度が増えている
- ・ 公的制度による金銭的援助

6. 趣味・外出など

- ・ 演奏会の出場
- ・ 散歩、買い物
- ・ ファンクラブコンサートへの旅行
- ・ プチ菜園
- ・ プチ旅行

⑨ 介護者の社会参加・社会活動等の状況

ア 第1・四半期（回答者44人）

- 第1・四半期における介護者の余暇活動、趣味、学習、スポーツや社会活動などの実施（参加）状況については、表2-32及び図2-32のとおり。
- 社会参加や社会活動などを行っている人が70.5%、行っていない人が29.5%となっている

イ 第2・四半期（回答者39人）

- 第2・四半期における介護者の余暇活動、趣味、学習、スポーツや社会活動などの実施（参加）状況については、表2-32及び図2-32のとおり。
- 社会参加や社会活動などを行っている人が69.2%、行っていない人が30.8%となっている

ウ 第3・四半期（回答者39人）

- 第3・四半期における介護者の余暇活動、趣味、学習、スポーツや社会活動などの実施（参加）状況については、表2-32及び図2-32のとおり。
- 社会参加や社会活動などを行っている人が69.2%、行っていない人が30.8%となっている

エ 第4・四半期（回答者39人）

- 第4・四半期における介護者の余暇活動、趣味、学習、スポーツや社会活動などの実施（参加）状況については、表2-32及び図2-32のとおり。
- 社会参加や社会活動などを行っている人が69.2%、行っていない人が30.8%となっている

オ 四半期ごとの推移

- 第1・四半期から第4・四半期までの推移をみると、表2-32及び図2-32のとおり。
- 社会参加や社会活動などを行っている人と行っていない人の割合は、年間平均では、行っている人が69.6%、行っていない人が30.4%となっている

表 2-32 介護者の社会参加・社会活動等の実施状況の推移

	参加(活動)した	まったくしていない	回答なし	合計
第1・四半期	31	13	12	44
	70.5%	29.5%	—	100.0%
第2・四半期	27	12	14	39
	69.2%	30.8%	—	100.0%
第3・四半期	27	12	14	39
	69.2%	30.8%	—	100.0%
第4・四半期	27	12	13	39
	69.2%	30.8%	—	100.0%
年間単純平均	28.0	12.3	13.3	40.3
	69.6%	30.4%	—	100.0%
28年度平均	28.5	12.3	15.3	40.8
	69.9%	30.1%	—	100.0%
27年度平均	31.0	12.5	13.0	43.5
	71.3%	28.7%	—	100.0%
26年度平均	32.8	14.3	18.0	47.0
	69.7%	30.3%	—	100.0%
25年度平均	37.3	17.0	14.3	54.3
	68.7%	31.3%	—	100.0%

注：上段は人数、下段は割合

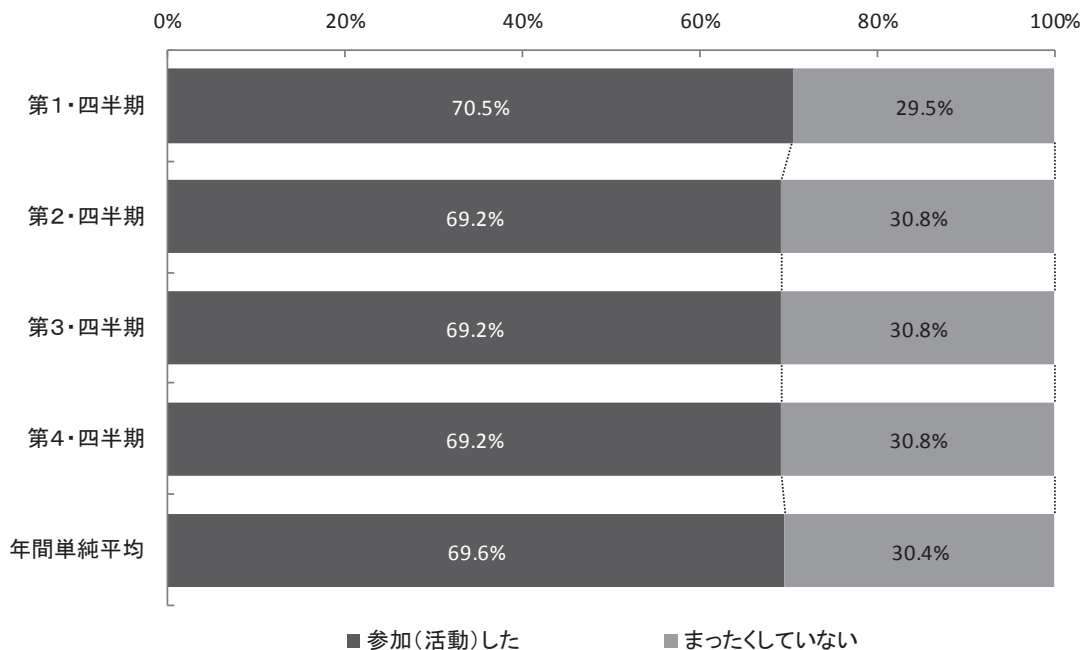


図 2-32 介護者の社会参加・社会活動等の実施状況の推移

⑨-1 介護者の社会参加・社会活動等をしなかった理由（SJSの健康被害者の方のみに質問）

ア 第1・四半期（回答者8人）

- 社会参加や社会活動などを行わなかったと答えた人にその理由を求めた（以下、同じ）。第1・四半期において介護者が社会参加や社会活動などを行わなかった理由については、表2-33及び図2-33のとおり。
 - 「時間的・経済的に余裕なし」と「体力的に余裕なし」が50.0%となっている
 - その他としては、「当事者の介護はして頂いても、介護者の付添はしてもらえない」などをあげている

イ 第2・四半期（回答者11人）

- 第2・四半期において介護者が社会参加や社会活動などを行わなかった理由については、表2-33及び図2-33のとおり。
 - 「時間的・経済的に余裕なし」が45.5%、「体力的に余裕なし」が27.3%となっている

ウ 第3・四半期（回答者6人）

- 第3・四半期において介護者が社会参加や社会活動などを行わなかった理由については、表2-33及び図2-33のとおり。
 - 「時間的・経済的に余裕なし」と「体力的に余裕なし」が66.7%となっている

エ 第4・四半期（回答者12人）

- 第4・四半期において介護者が社会参加や社会活動などを行わなかった理由については、表2-33及び図2-33のとおり。
 - 「時間的・経済的に余裕なし」が25.0%、「体力的に余裕なし」が16.7%となっている
 - その他としては、「時間的になかった」などをあげている

オ 四半期ごとの推移

- 第1・四半期から第4・四半期までの推移をみると、表2-33及び図2-33のとおり。
 - 社会参加・社会活動などを行わなかった理由の年間平均では、「時間的・経済的に余裕なし」が43.2%、「体力的に余裕なし」が35.1%となっている

表 2-33 介護者の社会参加・社会活動等をしなかった理由の推移

	時間的・経済的に余裕なし	体力的に余裕なし	その他	回答なし	合計
第1・四半期	4	4	3	1	8
	50.0%	50.0%	37.5%	—	100.0%
第2・四半期	5	3	1	3	11
	45.5%	27.3%	9.1%	—	100.0%
第3・四半期	4	4	0	3	6
	66.7%	66.7%	0.0%	—	100.0%
第4・四半期	3	2	2	5	12
	25.0%	16.7%	16.7%	—	100.0%
年間単純平均	4.0	3.3	1.5	3.0	9.3
	43.2%	35.1%	16.2%	—	100.0%
28年度平均	3.0	2.0	4.3	1.3	9.3
	32.4%	21.6%	45.9%	—	100.0%
27年度平均	1.8	3.8	4.0	1.3	9.5
	18.4%	39.5%	42.1%	—	100.0%

注：上段は人数、下段は割合

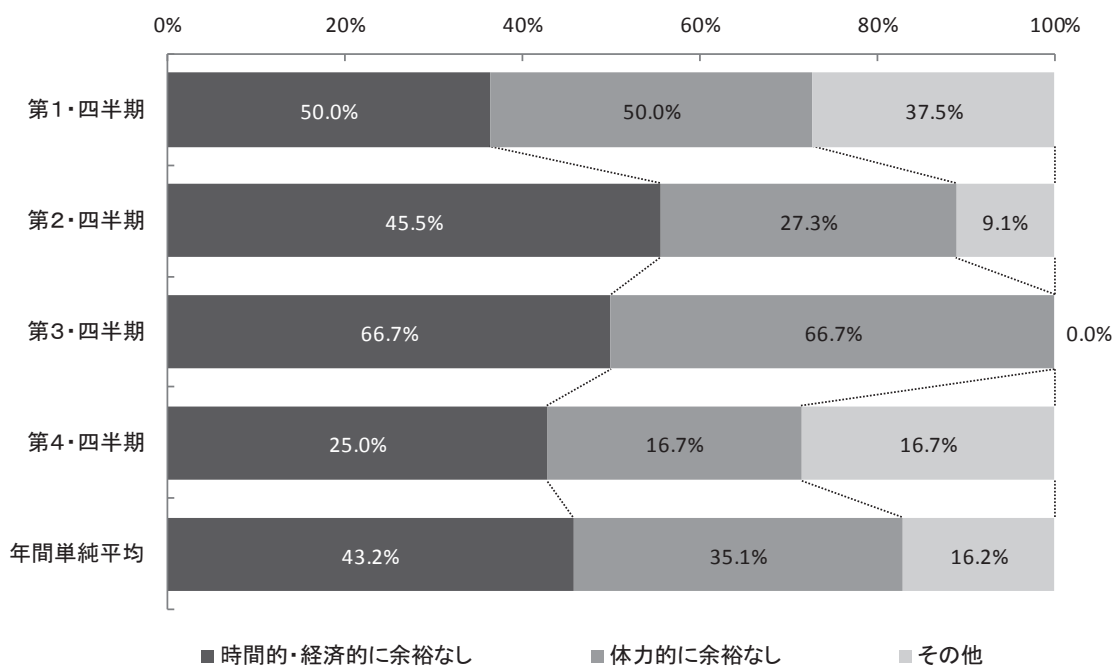


図 2-33 介護者の社会参加・社会活動等をしなかった理由の推移

⑨-2 介護者の社会参加・社会活動のきっかけ（SJSの健康被害者の方のみに質問）

○主たる介護者の社会参加・社会活動の主なきっかけについては、以下のとおりとなっている（自由記載、順不同、複数記載）。

◇買い物

- ・ 買物、散歩
- ・ 近所の散歩、買い物

◇体力的又は時間的余裕

- ・ 体力的に余裕があったため。
- ・ 定年（詳しくは現役時代の延長）
- ・ 夏休み
- ・ 時間的、経済的、体力的、余裕があるから。
- ・ 自分の時間を作る余裕ができた

◇気分転換

- ・ 気分転換の為
- ・ 心のゆとりを求めて。
- ・ 介護の制約ある中で、自分の人生を満足できるようにしたいから。

◇過去からの継続

- ・ 発病 25 年、前から
- ・ 余暇活動（家庭菜園）2. 趣味活動（文学教室）3 地域活動（墓地委員）いずれも十年選手

◇家族、友人、地域

- ・ クラブ活動の先生のすすめ、友人の誘い
- ・ 家族、友人に誘われて
- ・ 地域の小学校で卓球を楽しむ会に参加。

◇旅行

- ・ GW に妻と温泉に行った。
- ・ 家族旅行
- ・ 2 人で旅行が…せいぜい
- ・ 妻の希望で旅行に行ったが、知らない場所ではすごく疲れる。

◇運動

- ・ スポーツ（知人の勧め）
- ・ もともとスポーツジムに通っていたため
- ・ 運動は大変大切だと気づきました

◇その他

- ・ 本人の自覚

⑨-3 介護者の社会参加・社会活動等の内容

ア 第1・四半期（回答者 31人）

- 社会参加や社会活動などを行ったと答えた人に回答を求めた（以下、同じ）。第1・四半期において介護者が行った社会参加や社会活動などの内容については、表2-34及び図2-34のとおり（複数回答）。
- 「コンサートや映画、スポーツなどの鑑賞・見学」と「旅行・キャンプ・つりなどの活動」が41.9%、「友達との遊び」が32.3%となっている
- その他としては、「散歩」「アルバイト、法要の手伝い」などをあげている

イ 第2・四半期（回答者 27人）

- 第2・四半期において介護者が行った社会参加や社会活動などの内容については、表2-34及び図2-34のとおり（複数回答）。
- 「コンサートや映画、スポーツなどの鑑賞・見学」が40.7%、「友達との遊び」が37.0%、「旅行・キャンプ・つりなどの活動」と「地域活動」が33.3%となっている
- その他としては、「散歩、買物」などをあげている

ウ 第3・四半期（回答者 27人）

- 第3・四半期において介護者が行った社会参加や社会活動などの内容については、表2-34及び図2-34のとおり（複数回答）。
- 「旅行・キャンプ・つりなどの活動」が51.9%、「コンサートや映画、スポーツなどの鑑賞・見学」が33.3%、「趣味の同好会活動」と「地域活動」が29.6%となっている
- その他としては、「散歩、買物」などをあげている

エ 第4・四半期（回答者 27人）

- 第4・四半期において介護者が行った社会参加や社会活動などの内容については、表2-34及び図2-34のとおり（複数回答）。
- 「コンサートや映画、スポーツなどの鑑賞・見学」が40.7%、「友達との遊び」が37.0%、「旅行・キャンプ・つりなどの活動」と「趣味の同好会活動」が29.6%となっている
- その他としては、「散歩」「友人との食事会」などをあげている

オ 四半期ごとの推移

○第1・四半期から第4・四半期までの推移をみると、表2-34及び図2-34のとおり（複数回答）。

□「コンサートや映画、スポーツなどの鑑賞・見学」と「旅行・キャンプ・つりなどの活動」が39.3%、「友達との遊び」が33.0%、となっている

表2-34 社会参加・社会活動等の内容の推移

	コンサートや映画、スポーツなどの鑑賞・見学	スポーツ教室、大会などへの参加	旅行・キャンプ・つりなどの活動	趣味の同好会活動	ボランティアなどの社会活動	障害者団体の活動	地域活動	パソコンを利用した社会参加	友達との遊び	その他	特になし	回答なし	回答者数
第1・四半期	13	4	13	9	4	3	9	4	10	5	—	0	31
	41.9%	12.9%	41.9%	29.0%	12.9%	9.7%	29.0%	12.9%	32.3%	16.1%	—	—	—
第2・四半期	11	7	9	7	6	4	9	4	10	2	—	0	27
	40.7%	25.9%	33.3%	25.9%	22.2%	14.8%	33.3%	14.8%	37.0%	7.4%	—	—	—
第3・四半期	9	5	14	8	5	6	8	5	7	1	—	0	27
	33.3%	18.5%	51.9%	29.6%	18.5%	22.2%	29.6%	18.5%	25.9%	3.7%	—	—	—
第4・四半期	11	7	8	8	6	2	6	3	10	2	—	0	27
	40.7%	25.9%	29.6%	29.6%	22.2%	7.4%	22.2%	11.1%	37.0%	7.4%	—	—	—
年間単純平均	11.0	5.8	11.0	8.0	5.3	3.8	8.0	4.0	9.3	2.5	—	0.0	28.0
	39.3%	20.5%	39.3%	28.6%	18.8%	13.4%	28.6%	14.3%	33.0%	8.9%	—	—	—
28年度平均	12.3	8.5	12.5	7.5	4.0	2.5	8.5	3.5	9.8	4.8	—	0.3	28.3
	43.4%	30.1%	44.2%	26.5%	14.2%	8.8%	30.1%	12.4%	34.5%	16.8%	—	—	—
27年度平均	13.3	7.5	14.3	8.8	4.3	4.0	3.0	2.5	—	6.0	0.0	0.5	30.5
	43.4%	24.6%	46.7%	28.7%	13.9%	13.1%	9.8%	8.2%	—	19.7%	0.0%	—	—
26年度平均	13.0	7.5	12.3	7.0	3.8	4.0	8.0	3.0	—	8.5	0.3	0.0	31.0
	41.9%	24.2%	39.5%	22.6%	12.1%	12.9%	25.8%	9.7%	—	27.4%	0.8%	—	—
25年度平均	13.5	6.8	15.5	7.3	1.8	6.5	4.5	3.8	—	9.5	0.0	0.0	37.3
	36.2%	18.1%	41.6%	19.5%	4.7%	17.4%	12.1%	10.1%	—	25.5%	0.0%	—	—

注：上段は人数、下段は割合

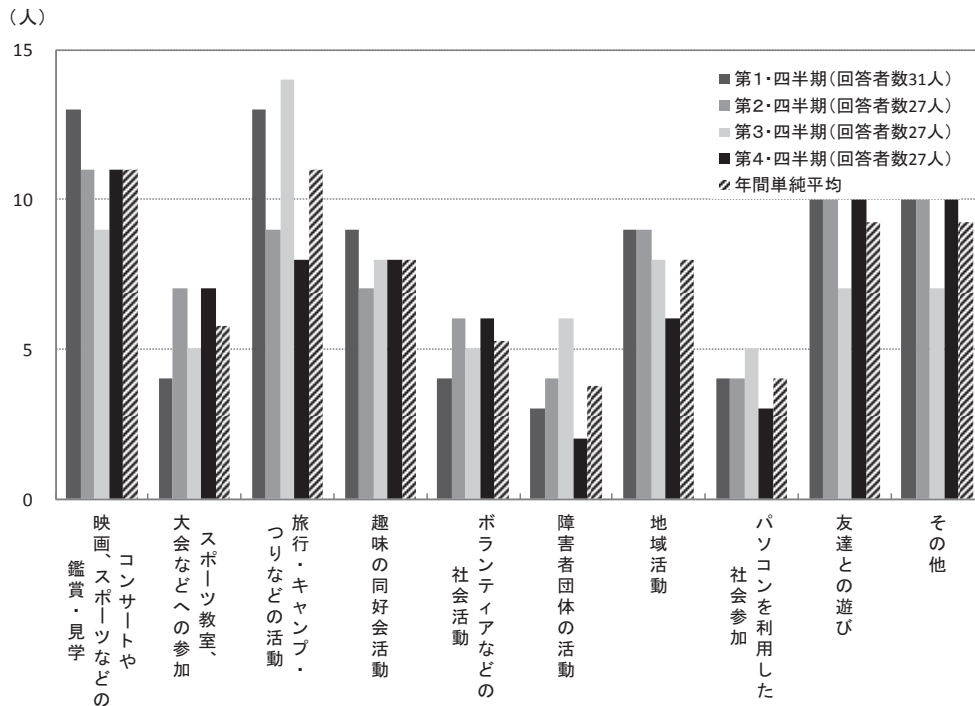


図2-34 社会参加・社会活動等の内容の推移

⑩ 新しい発見や気分転換などの有無

ア 第1・四半期（回答者 35 人）

○第1・四半期において、介護をしていく中で新しい発見や気分転換などがはかれたかについてたずねた結果は、表2-35及び図2-35のとおり。

□「あった」と回答した人は42.9%、「なかった」と回答した人は57.1%であった

イ 第2・四半期（回答者 31 人）

○第2・四半期において、介護をしていく中で新しい発見や気分転換などがはかれたかについてたずねた結果は、表2-35及び図2-35のとおり。

□「あった」と回答した人は32.3%、「なかった」と回答した人は67.7%であった

ウ 第3・四半期（回答者 31 人）

○第3・四半期において、介護をしていく中で新しい発見や気分転換などがはかれたかについてたずねた結果は、表2-35及び図2-35のとおり。

□「あった」と回答した人は41.9%、「なかった」と回答した人は58.1%であった

エ 第4・四半期（回答者 33 人）

○第4・四半期において、介護をしていく中で新しい発見や気分転換などがはかれたかについてたずねた結果は、表2-35及び図2-35のとおり。

□「あった」と回答した人は45.5%、「なかった」と回答した人は54.5%であった

オ 四半期ごとの推移

○第1・四半期から第4・四半期までの推移をみると、表2-35及び図2-35のとおり。

□介護をしていく中で新しい発見や気分転換などの有無については、年間の平均では「あった」が40.8%、「なかった」が59.2%であった

表 2-35 介護をしていく中で新しい発見や気分転換の有無の推移

	あった	なかった	回答なし	合計
第1・四半期	15	20	21	35
	42.9%	57.1%	—	100.0%
第2・四半期	10	21	22	31
	32.3%	67.7%	—	100.0%
第3・四半期	13	18	22	31
	41.9%	58.1%	—	100.0%
第4・四半期	15	18	19	33
	45.5%	54.5%	—	100.0%
年間単純平均	13.3	19.3	21.0	32.5
	40.8%	59.2%	—	100.0%
28年度平均	13.8	21.5	20.8	35.3
	39.0%	61.0%	—	100.0%
27年度平均	14.5	21.8	20.3	36.3
	40.0%	60.0%	—	100.0%
26年度平均	14.5	27.8	22.8	42.3
	34.3%	65.7%	—	100.0%
25年度平均	20.0	27.3	21.3	47.3
	42.3%	57.7%	—	100.0%

注：上段は人数、下段は割合

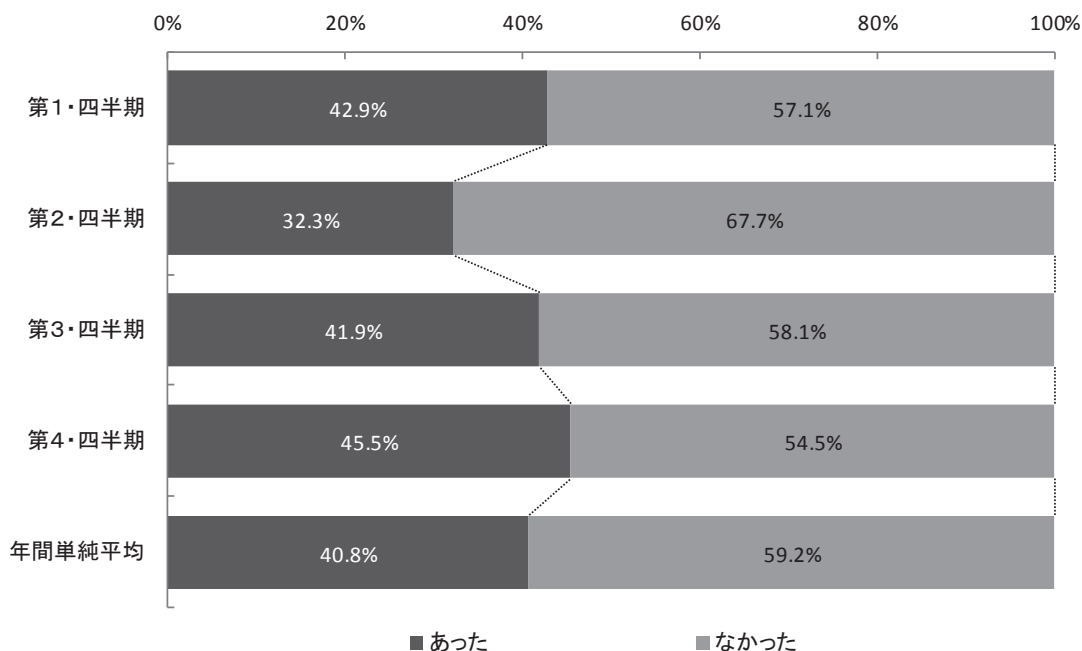


図 2-35 介護をしていく中で新しい発見や気分転換の有無の推移

⑩-1 新しい発見や気分転換について

○⑩で「あった」と回答した本人または介護者にたずねた主な具体的内容は、以下のとおりとなっている（自由記載、順不同、複数記載）。

○新しい発見

- ・ 母親の主導権が80%位だったのが自分に移っている。
- ・ お寺を継ぐ為大学の仏教の講義を通して学べるものがある。

○気分転換（家族・友人・地域との交流）

- ・ いずれの活動においても、人と接し話をしたり、一緒にスポーツや趣味を楽しむことが生きがいになっている。
- ・ 同じ環境の方々と話すとき共感しあえる
- ・ 家族で笑える時間が少しでもある時
- ・ 学校の保護者との交流
- ・ 感謝されお礼を言われた時
- ・ コンサートを通して地方のお友達が来自宅に泊まりっこもしている。
- ・ 下の子のサッカーの応援が楽しませてもらう。
- ・ 情報交換など会話がはずみ励まされました。
- ・ 外に出る機会が増え、他の当事者からの情報が得られてよかったです。
- ・ それぞれ病気を抱えている方達との交流
- ・ 大学生になり、新しい友人が出来たことで会話の内容がふえた
- ・ 久しぶり友人と外出で気分転換となる
- ・ 友人達とお茶会や食事会で相談もできる
- ・ 友達とランチ、運動、おしゃべり等でストレスハッサン出来る。

○気分転換（趣味、コンサート・スポーツ・旅行等への参加）

- ・ 音声ガイドの映画を一緒に見て感動した。
- ・ 一緒に食事や旅行に行き楽しむ
- ・ 季節ごとの草花を見て季節を感じられることが、気分転換になっている
- ・ 健康被害者と一緒に近所を散歩
- ・ 好きなアーティストのコンサートに行けた
- ・ 地域活動で体操教室に行ってます。汗をかいてすっきりしてるから。健康面の話もきいて少しでも取りくんでるので。
- ・ 天気の良い日の散歩に出かけた時
- ・ 庭の花の手入れ
- ・ 友人達と家内同伴で海外旅行し、友人達の協力もあって夫婦とも enjoy できた。

○気分転換（その他）

- ・ 新しい盲導犬が貸与され、楽しみが増えた。
- ・ 柴犬がとっても寄りそってくれる。とっても可愛いですよ。笑顔でいる事です。
- ・ 通院した帰りに外食をたまにはと思っした事
- ・ パンフレット「生きる知恵袋」15部をパソコンで作成、友人に配布、それなりの反響を得た。

(3) C票（過去1年間の日常生活状況調査）からみた生活状況の概要

■ 治療状況

① 健康被害を受けた方の治療状況

○健康被害を受けた方の治療状況については表3-1及び図3-1のとおり。

□入院中が2.2%、通院中が97.8%となっている

表3-1 治療状況

入院中	通院中 (往診含む)	回答なし	合計
1	45	6	46
2.2%	97.8%	—	100.0%

注：上段は人数、下段は割合

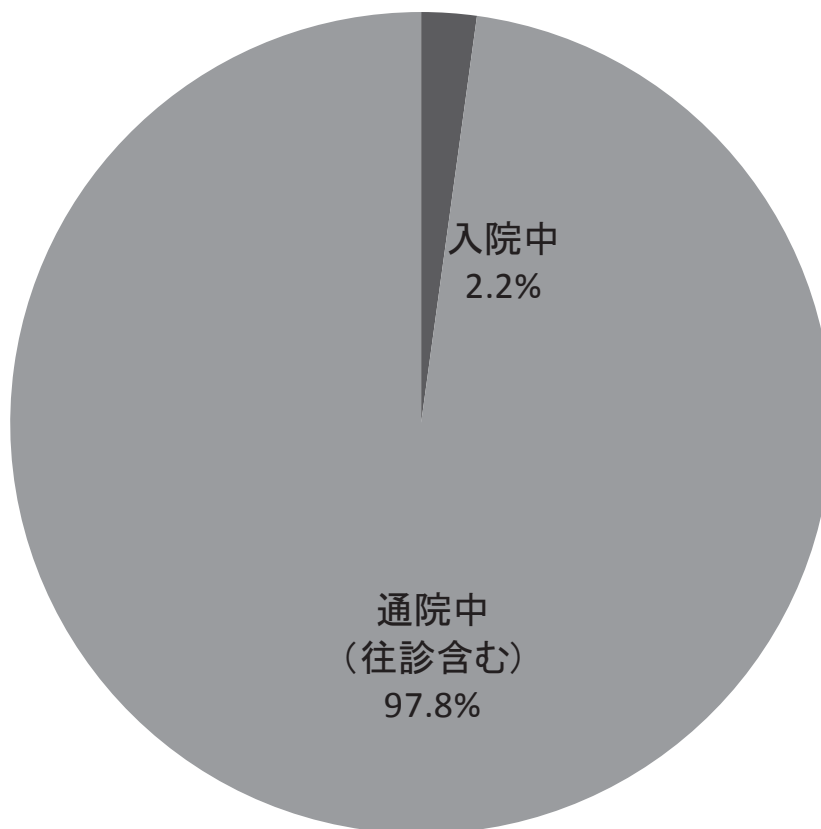


図3-1 治療状況

② 副作用の疾患以外で治療を受けるときに注意していること

②-1 通院時に注意している点

○ 通院時に注意をしている点についてたずねた結果は、表3-2及び図3-2のとおり(複数回答)。

□ 「家族などによる送迎」が63.6%、「事前に交通機関やルートを確認」が54.5%、「ヘルパー等に同行を依頼」が20.5%となっている

表3-2 通院時に注意している点

事前に交通機関やルートを確認	ヘルパー等に同行を依頼	家族などによる送迎	介護タクシーの利用	その他	回答なし	回答者数
24	9	28	1	5	8	44
54.5%	20.5%	63.6%	2.3%	11.4%	—	—

注：上段は人数、下段は割合

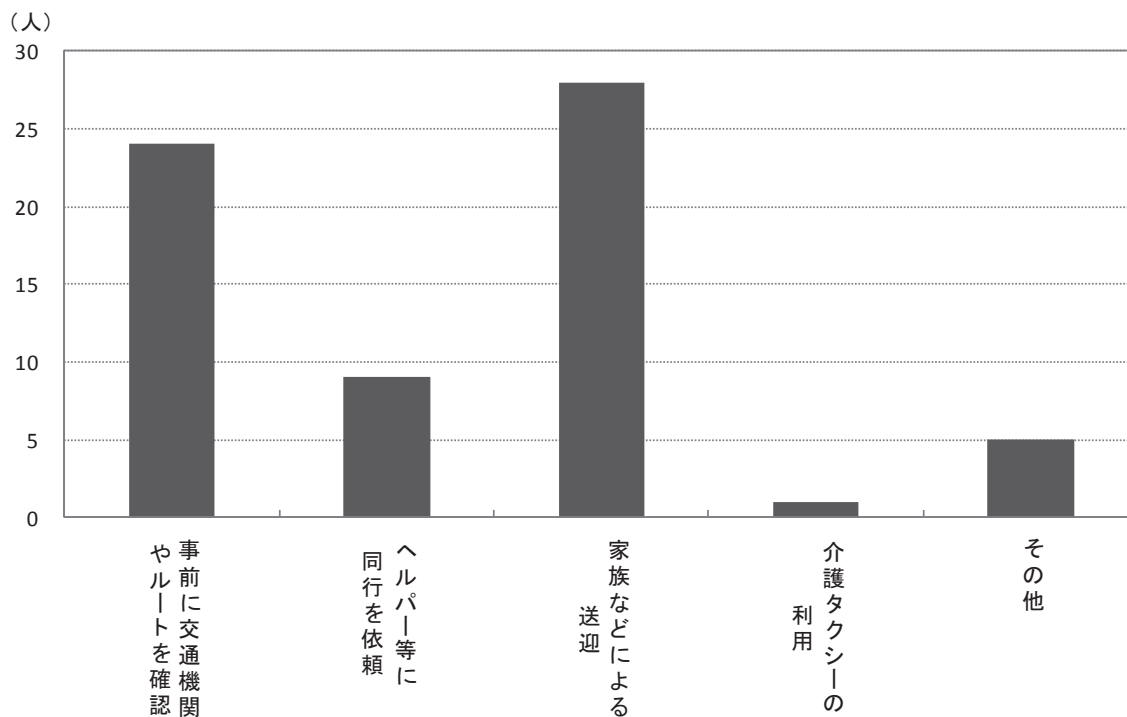


図3-2 通院時に注意している点

○具体的な「その他」の主な内容は、以下のとおりとなっている（自由記載、順不同、複数記載）。

- ・ 夫の車を利用
- ・ 通院時には親同行交通タクシー利用公共交通使用
- ・ 朝は駅まで主人に送ってもらい、長女と終点駅まで来て、長女は大学にその後母親である私が駅まで迎えに行って病院に入る。
- ・ 盲導犬同伴
- ・ 一般のタクシーを利用する

②-2 治療を受けるときに注意している点

○治療を受けるときに注意をしている点についてたずねた結果は、表 3-3 及び図 3-3 のとおり（複数回答）。

□「既往歴を告げる」が 78.6%、「お薬手帳を持参」が 73.8%、「受けている医療について分からないことは医療スタッフに聞く」が 71.4%となっている

表 3-3 治療を受けるときに注意している点

既往歴を告げる	お薬手帳を持参	受けている医療について分からないことは医療スタッフに聞く	その他	回答なし	回答者数
33	31	30	2	10	42
78.6%	73.8%	71.4%	4.8%	—	—

注：上段は人数、下段は割合

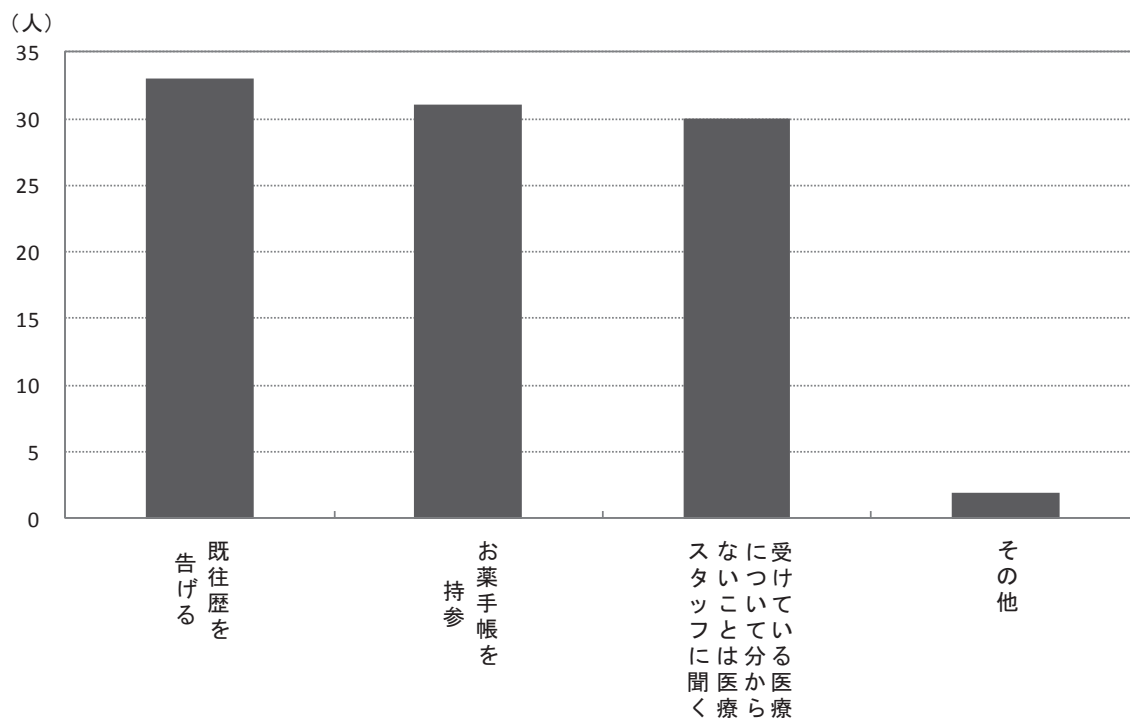


図 3-3 治療を受けるときに注意している点

○具体的な「その他」の主な内容は、以下のとおりとなっている（自由記載、順不同、複数記載）。

- ・ 私はペニシリンによる副作用なので同剤にあたる薬は使用しないでもらう。注射や投薬のとき何の薬剤か、目的は何か必ず聞く
- ・ PMDA が発行しているカードを見せる
- ・ 新しいのみ薬はなるべく、のまない。（副作用のんでみないと出るかどうかわからないと医者に言われた。）

②-3 治療を受けるときに困ったこと（SJSの健康被害者の方のみに質問）

○治療を受けるときに困ったことについてたずねた結果は、表3-4及び図3-4のとおり（複数回答）。

□「SJSについて医師が理解していない」が60.0%、「SJSであることを告げたら診療を拒まれた」が20.0%となっている

表3-4 治療を受けるときに困ったこと

SJSについて 医師が理解し ていない	SJSであることを 告げたら診 療を拒まれた	その他	回答なし	回答者数
15	5	9	27	25
60.0%	20.0%	36.0%	—	—

注：上段は人数、下段は割合

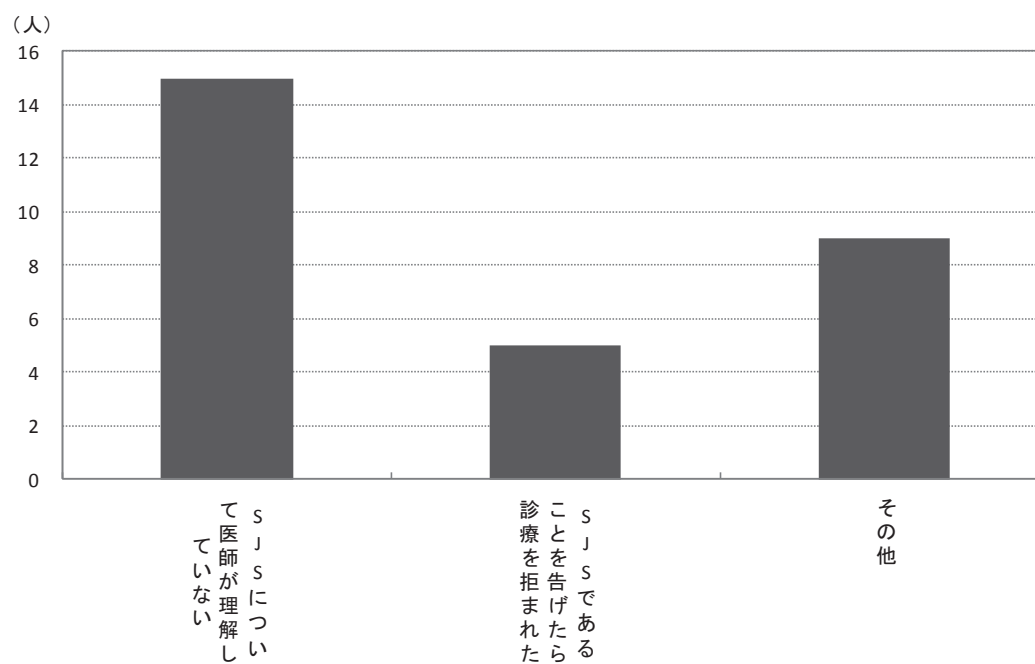
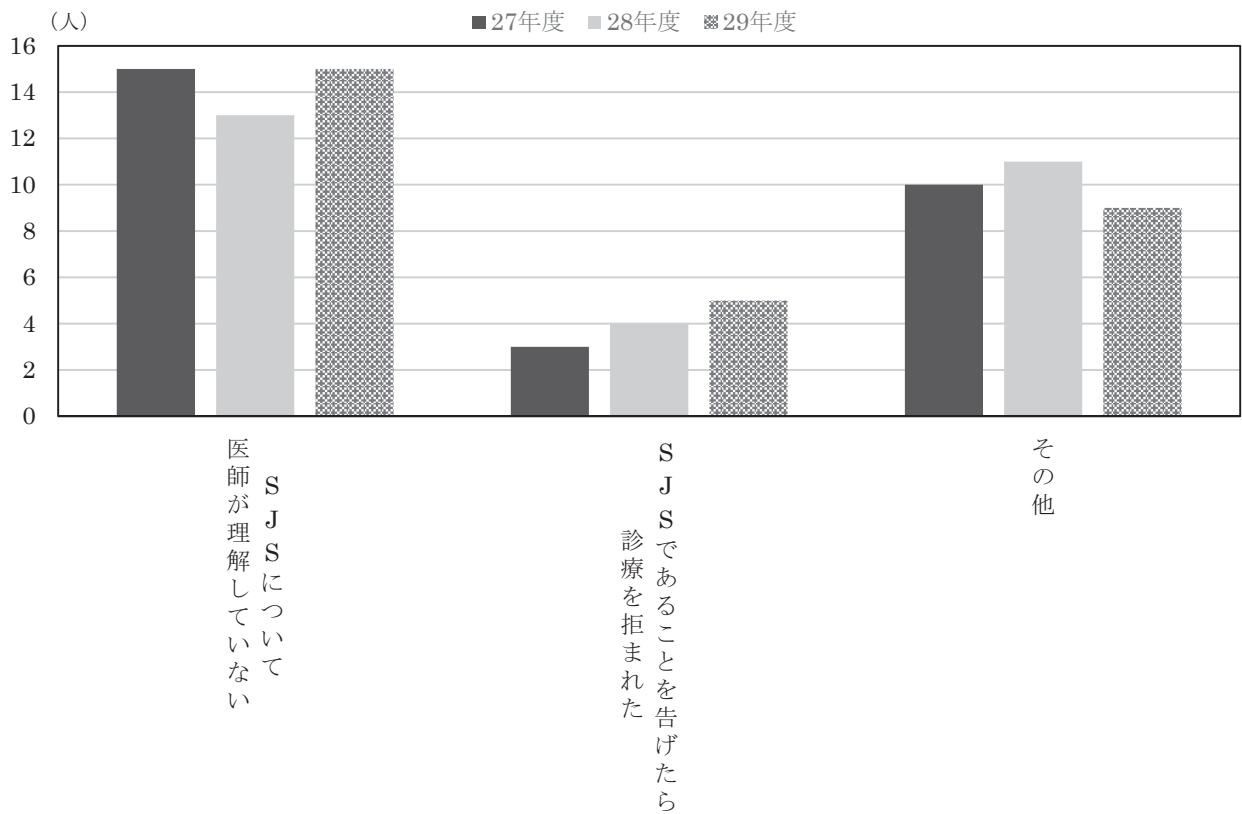


図3-4 治療を受けるときに困ったこと

	SJSについて 医師が理解していない	SJSであることを告げたら 診療を拒まれた	その他
27年度	15	3	10
28年度	13	4	11
29年度	15	5	9

単位：人



○具体的な「その他」の主な内容は、以下のとおりとなっている（自由記載、順不同、複数記載）。

◇他院紹介

- ・ 診療は拒まれないものの、他の専門院へ紹介される。（希望していないが）

◇処方や治療がない

- ・ 投薬に際し、多くの医師が過度に安全サイドのスタンスをとりがちである。
- ・ 診療を拒まれることはないのが、何も薬を出してもらえなかったことがある（例：インフルエンザ等）
- ・ 弱い薬しか処方してくれない。（あまり効かない）
- ・ 治療方法が無いとお聞きしており、同じことを何度も念押しして聞くことは失礼に当り聞き難い。

◇医療機関の知識不足

- ・ 以前はSJSを知らない医師もいたが（初診時）最近はないように思う
- ・ SJSを説明するのに大変です。又、副作用の年金認定されていないのに「心配ないですね（経済的）」と言われ…
- ・ 副作用飲んでみないと出るかどうかわからないと医者に言われた。

◇その他

- ・ 回復が見こめないこと。

②-4 その他注意している点の主な内容は以下のとおりとなっている（自由記載、順不同、複数記載）。

◇処方薬への慎重対応

- ・ 薬を飲んだ後に副作用の兆候がないか常に注意している。
- ・ 使用してはいけないクスリは必ず伝える。

◇その他

- ・ 肌が弱いので首周りに直接当るようなセーターや肌着は避ける
- ・ 入院しなければならない時は、視力障害、常にせきが出ること、つめがないので細かいことができない（時間がかかる）等、看護師さんや、同室の患者さんに理解してもらえず困った。1人部屋は高いのでつらいです。
- ・ 症状が悪化して戻らない
- ・ 昭和53年障害者になって、家に帰ってきてから、一度も医療を受けた事なく、この40年余り元気でよく食べている。

■ 過去1年間の日常生活について

③ 困ったことの有無

○過去1年間における困ったことの有無については、表3-5及び図3-5のとおり。

□困ったことが「増えた」28.3%、「減った」が2.2%、「変わらない」が69.6%であった。一方、困ったことは「ない」とする人は0.0%となっている

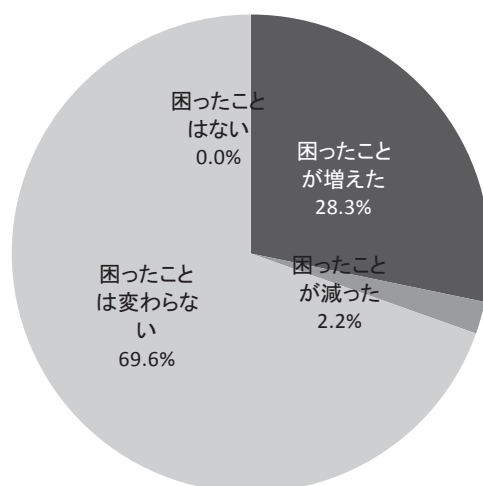


図3-5 困ったことの有無

表3-5 困ったことの有無

困ったことが増えた	困ったことが減った	困ったことは変わらない	困ったことはない	回答なし	合計
13	1	32	0	6	46
28.3%	2.2%	69.6%	0.0%	—	100.0%

注：上段は人数、下段は割合

③-1 困ったことについて

○過去に困ったことがあったと回答した本人または介護者にたずねた「困ったこと」主な具体的内容は、以下のとおりとなっている（自由記載、順不同、複数記載）。

◇眼科症状

- ・ 視力低下、眼圧が上がってきて下がりません
- ・ 目の痛みが増えた、生活の不安
- ・ 視力が低下したため、仕事、日常生活に影響が出ている
- ・ 視力の混濁が進行しているように思える。
- ・ 目の痛みと息苦しさで、日常生活がづらい。

◇呼吸器、消化器症状

- ・ 胃のチューブが抜けてしまった。
- ・ 呼吸器機能の低下でADLが下がった。

◇外出

- ・ 地元のコンビニ来店時に、客扱いされなかった。
- ・ バギーに長い時間乗っていると具合が悪くなる時がある
- ・ 一人での外出が困難
- ・ 夫不在の時、行動が制約される。健康維持の為の運動がしたいが、適当な施設が判らなかった。

◇介護者の状況

- ・ 体力的に衰え
- ・ 常に介護が必要なため。
- ・ 日常生活において、自分でできないことは、それぞれ適所に相談し、サポートして頂きました。
- ・ 母の老化と、障害者が体重増え、介護大変。母より先に死なせるには、どうすればよいか、楽に死なせてやりたい。

◇その他

- ・ 悪くなっているのを実感しているみたい。
- ・ 65歳から重度障害者は、後期高齢者になるとのこと、保険料や、介護費用等、又、仕事もできなくなってきたので、不安だし、困っている
- ・ 体調悪い時、公的機関からの手紙 etc
- ・ 発症以来大学病院で複数の科で診てもらっているが、安定してきたことで診察を打ち切られる。
(初診料が高い)
- ・ 発作の薬を合わすのが大変

③-2 困ったことがあった場合、誰に相談したか

○過去に困ったことがあったと答えた人に回答を求めた。誰かに相談したかについてたずねた結果は、表3-6及び図3-6のとおり（複数回答）。

- 「医師」が37.0%、「配偶者」が33.3%、「友人・知人」が25.9%、「子ども」が14.8%となっている
- 「相談する人はいない」は9.7%であった

表3-6 困ったときの相談の有無

親	配偶者	子ども	兄弟姉妹	祖父母	友人・知人	会社の上司・同僚	学校の先生	医師	
3	9	4	1	0	7	0	0	10	
11.1%	33.3%	14.8%	3.7%	0.0%	25.9%	0.0%	0.0%	37.0%	
看護師・保健師	公的機関の職員等	PMDAの保健福祉相談窓口	障害者の団体	障害者相談支援センター	地域包括支援センター	その他	相談する人はいない	回答なし	回答者数
1	3	0	2	3	1	0	3	19	27
3.7%	11.1%	0.0%	7.4%	11.1%	3.7%	0.0%	11.1%	—	—

注：上段は人数、下段は割合

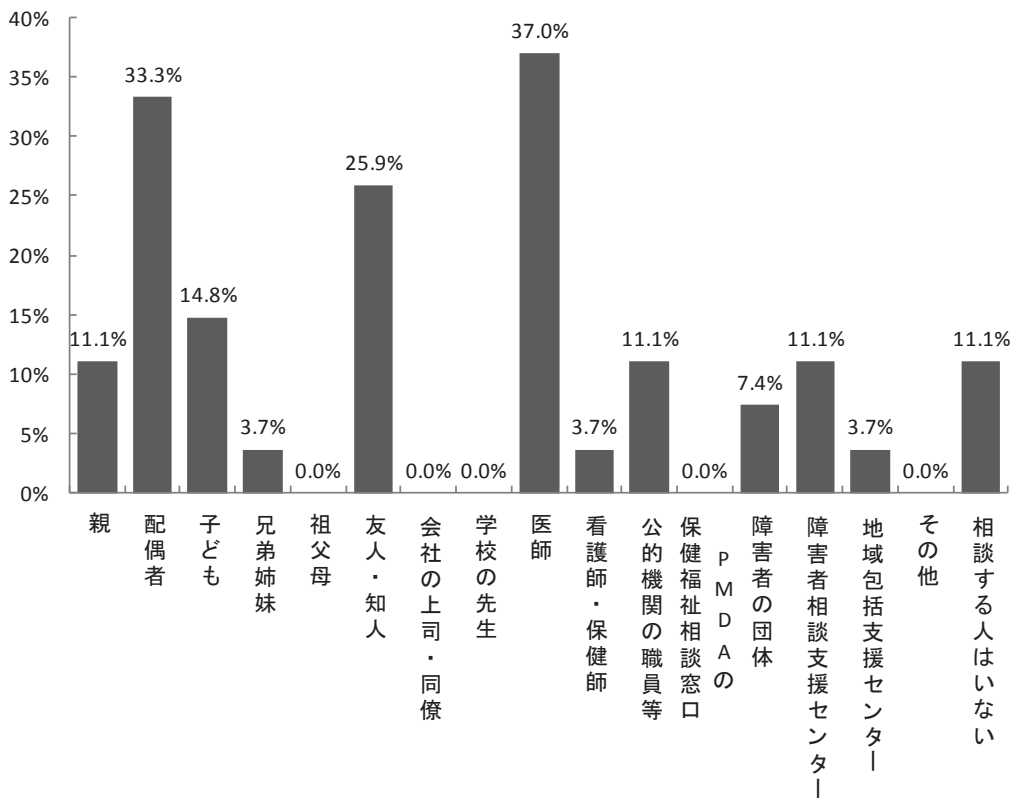


図3-6 困ったときの相談の有無

③-3 解決策の有無

○困ったことがあったとする人に、解決策の有無についてたずねた結果は、表 3-7 及び図 3-7 のとおり。

□困ったことに対して解決したと回答した人は 37.5%、一方、解決していないと回答した人は 62.5%であった

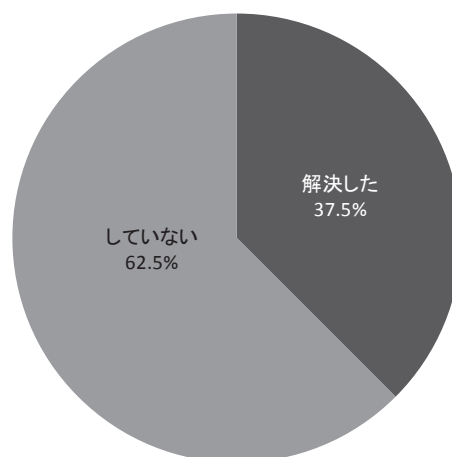


表 3-7 解決策の有無

解決した	していない	回答なし	合計
9	15	28	24
37.5%	62.5%	—	100.0%

注：上段は人数、下段は割合

図 3-7 解決策の有無

③-4 解決策について

○③-3で「解決した」と回答した本人または介護者の困ったことと解決策の主な内容は、以下のとおりである（自由記載、順不同、複数記載）。

困ったこと	解決策（公的機関、医療機関対応）
夫が不在の時、行動が制約される。健康維持の為の運動がしたいが、適当な施設が判らなかった。	ケアマネジャーの紹介で、介護予防に適した運動の出来る施設に通所出来るようになった。
体調悪い時、公的機関からの手紙 etc	ホームヘルパーにたのむ
日常生活において、自分でできないことは、それぞれ、適所に相談し、サポートして頂きました。	日常生活において、自分でできないことは、それぞれ、適所に相談し、サポートして頂きました。
発症以来大学病院で複数の科で診てもらっているが、安定してきたことで診察を打ち切られる。（初診料が高い）	たまたま主治医が自宅近くの病院に来られることになり、引き続きその病院で診てもらえることになった。
胃のチューブが抜けてしまった。	病院で主治医が処置。

困ったこと	解決策（家族、ご自身で対応）
発作の薬を合わすのが大変	気持ちのゆとり
バギーに長い時間乗っていると具合が悪くなる時がある	バギーの頭を下げる（フラットにする）
一人での外出が困難	家族の協力で解決した。

③-5 解決方法について

○③-3で「解決していない」と回答した本人または介護者に、どのような方法で解決できると思うか解決方法をたずねた。主な内容は以下のとおりとなっている（自由記載、順不同、複数記載）。

困ったこと	解決方法（無いという回答）
視力が低下したため、仕事、日常生活に影響が出ている	解決策が思い当たらない
体力的におとろえた	ないと思う
65歳から重度障害者は、後期高齢者になるとのこと、保険料や、介護費用等、又、仕事もできなくなってきたので、不安だし、困っている	ムリ

困ったこと	解決方法（医学の進歩）
目の痛みと息苦しさで、日常生活が辛い。	新しい治療法の開発。
悪くなっているのを実感しているみたい。	医学の進歩

困ったこと	解決方法（その他）
地元のコンビニ来店時に、客扱いされなかった。	来店拒否したコンビニ店員が働いている時間の来店を避ける
目の痛みが増えた。生活の不安。	視力の回復、眼の不快感の軽減
視力低下。眼圧が上がってきて下がりません。	不明
母の老化と、障害者が体重増え、介護大変。母より先に死なせるには、どうすればよいか、楽に死なせてやりたい。	このような重度障害者は、楽に死なせてあげる、法律を作ってもらおう事。きれい事をうわの空で説いてもらっても仕方ない。母より先に楽に死なせてやる方法を考えている。（施設等は信用出来ない。入れられるのが、不ピンである。）
視力の混濁が進行しているように思える。	視力低下が止まること、すこしでも見えること、よくなること、どんどん低下しているのではないか
呼吸器機能の低下でADLが下がった。	※記載なし

④ 日常生活の満足度

○過去1年間の日常生活における満足度についてたずねた結果は、表3-8及び図3-8のとおり。

- 「不満」が34.9%、「やや不満」が25.6%となっている
- 「不満」を1点、「満足」を4点とすると平均は2.1点である

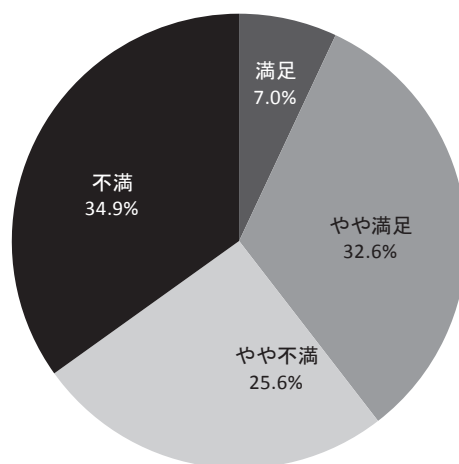


図3-8 日常生活の満足度

表3-8 日常生活の満足度

満足	やや満足	やや不満	不満	回答なし	合計
3	14	11	15	9	43
7.0%	32.6%	25.6%	34.9%	—	100.0%

注：上段は人数、下段は割合

④-1 満足度の理由について

○④の回答に至った具体的な理由の満足度別の主な内容は、以下のとおりとなっている（自由記載、順不同、複数記載）。

1. 満足

- ・ 体調が安定しているから

2. やや満足

- ・ 家族が助けてくれる。
- ・ 子供達の成長と近所の友人の他に入院時に知り合った同じSJSの皆様と意見交換が出来る様になったこと
- ・ 困った時に相談するところが定まったので以前に比べ、生活の心配が減った。
- ・ 自分で出来る事が減ったため
- ・ 日常生活において特に変化がみられないため。
- ・ 福祉制度が充実してきた。
- ・ 身内に迷惑をかけずに生活する事が出来る（経済的）
- ・ 眼の症状が悪いながらも大きな変化がなく、おちついている。
- ・ 旅行も出来たし、趣味の活動も出来たし、現状の能力に応じたレベルの生活を楽しめた。

3. やや不満

- ・ 一昨年より視力が低下しているため
- ・ 加齢とともに炎症などが治りにくくなった。
- ・ 一人での外出が不安
- ・ 余暇活動で始めてスポーツ観戦ができて良かったが、仕事が無く生活に困窮している。
- ・ 外出する際、周囲に対して不安感や不便さを感じることもあるが、そのほかは特に不便さを感じずに過ごせたため

4. 不満

- ・ 相手の表情の理解がむずかしい事
- ・ 著しい生活制限があり、やりたいと思う事が出来ない。
- ・ 行動範囲が病状により制限されているため。
- ・ 先行の不安、副作用なのに認定されていないこと、目の痛みや体の不調
- ・ 生活する上で、365日、24時間、人の手を借りなければ生活ができないから。
- ・ 年を重ねるので、だんだん不安が大きくなる。
- ・ 不安定な眼の状態
- ・ 見えない事がくやしい

B票(社会活動を中心とした調査)及びC票(1年間取り組んできたサービス等の満足度を中心とした調査) からみた生活状況の概要

日常生活の満足度と外出の頻度(第4・四半期)との関係(人数)

	ほぼ毎日	週に4から 5回	週に2から 3回	月に2から 3回	全く外出し ていない	回答なし	合計
満足	0	2	1	0	0	0	3
やや満足	4	3	6	1	0	0	14
やや不満	3	1	3	4	0	0	11
不満	3	2	2	8	0	0	15
回答なし	1	3	2	2	1	0	9
合計	11	11	14	15	1	0	52

日常生活の満足度と現在行っている社会参加・社会活動等(第4・四半期)との関係(人数)

	コンサートや 映画、ス ポーツな どの 鑑賞・見学	スポーツ教 室、大会 などへの参加	旅行・ キャンプ・ つりな どの活 動	趣味の 同好会活 動	ボラン ティア な どの社 会活 動	障害者 団体 の活 動	地域活 動	パソ コン を 利 用 し た 社 会 参 加	友 達 と の 遊 び	その他	回答者数
満足	1	1	1	1	0	1	0	2	1	0	3
やや満足	7	2	5	4	1	2	2	2	6	3	14
やや不満	2	2	2	1	1	3	1	1	2	1	11
不満	3	1	3	3	1	2	1	3	1	1	15
回答なし	2	2	0	1	1	3	0	1	2	1	9
合計	15	8	11	10	4	11	4	9	12	6	52

⑤ 日常生活を満足にするために一番やりたいことについて

○ 日常生活を満足にするために一番やりたいことについてたずねた結果は、表 3-9 及び図 3-9 のとおり（複数回答）。

□ 「旅行・外出」が 41.9%、「趣味」が 25.6%、「コンサートや映画鑑賞、スポーツ観戦」が 20.9%となっている

表 3-9 日常生活を満足にするために一番やりたいこと

コンサートや映画鑑賞、スポーツ観戦	旅行・外出	趣味	社会活動・団体活動	その他	回答なし	回答者数
9	18	11	2	10	9	43
20.9%	41.9%	25.6%	4.7%	23.3%	—	—

注：上段は人数、下段は割合

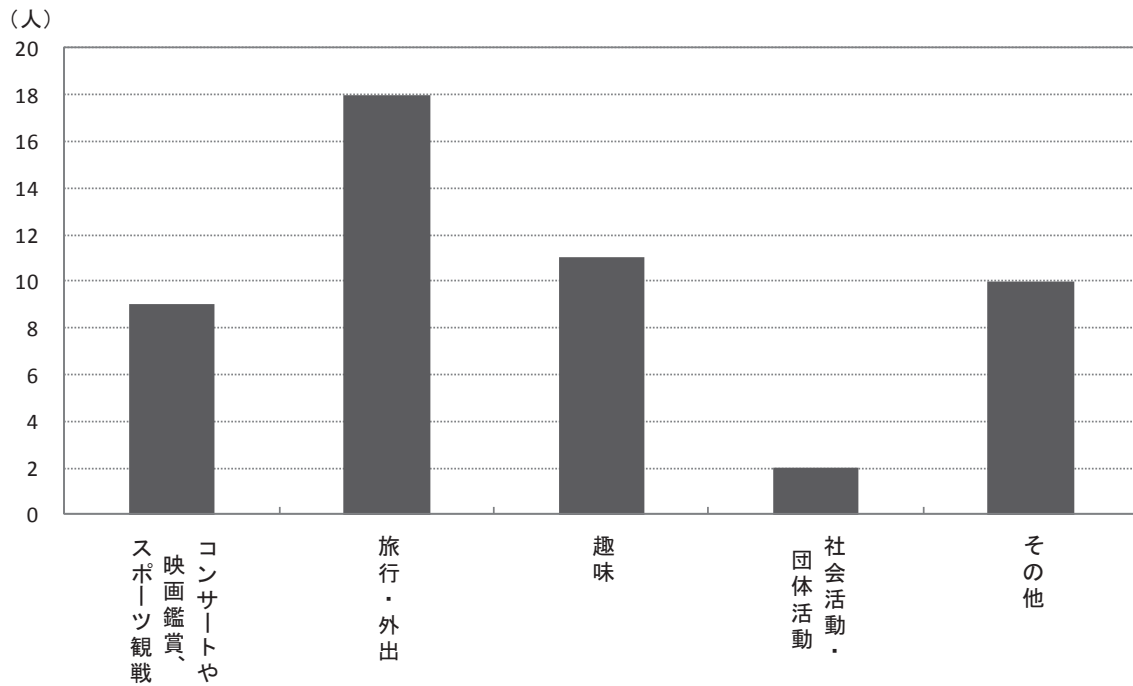


図 3-9 日常生活を満足にするために一番やりたいこと

○ 具体的な「その他」の主な内容は、以下のとおりとなっている（自由記載、順不同、複数記載）。

◇食事、休暇

- ・ レストラン等に食事を食べに行きたい
- ・ 温泉旅行でのんびり、おいしい食事

◇仕事

- ・ 就職又は起業

◇家族

- ・ 子供たちの成長した姿を見たい

◇その他

- ・ 良い病院に行けること、副作用認定の制度（規定）が進化すること
- ・ 人との対話をいかに上手に出来る様になる為幅広い知識（雑学もよし）を得るべく努力しているそうです。
- ・ 居宅の周囲をぐるぐるが、精一杯です。
- ・ 自律した生活。できれば、誰かの（何かの）役に立ちたい
- ・ 抑制（両腕）頭部されている（24時間）

⑤-1 実現可能性

○日常生活に満足するために一番やりたいことの実現可能性についてたずねた結果は、表3-10及び図3-10のとおり。

- 「出来ると思う」が17.5%、「やや出来ると思う」が30.0%となっている
- 一方、「出来ないと思う」が22.5%、「あまり出来ないと思う」が30.0%となっている

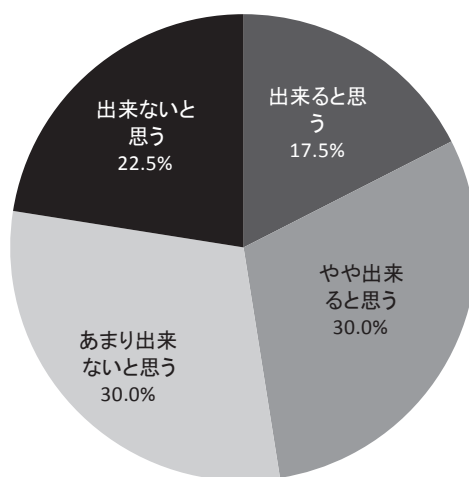


図3-10 実現可能性

表3-10 実現可能性

出来ると思う	やや出来ると思う	あまり出来ないと思う	出来ないと思う	回答なし	合計
7	12	12	9	12	40
17.5%	30.0%	30.0%	22.5%	—	100.0%

注：上段は人数、下段は割合

⑤-2 実現可能性の理由について

○⑤-1 の日常生活に満足するために一番やりたいことの実現可能性及びその理由の主な具体的内容は、以下のとおりとなっている（自由記載、順不同、複数記載）。

◇実現が可能な理由

- ・ 一緒に出かけてくれる友人や姉妹がいるから
- ・ 移動時の交通機関利用時にサポートしてくれる友人等の気を許せる人の同伴
- ・ 家族や友人のサポートがあるから。
- ・ 患者会の活動を通して行なう為。
- ・ 通所施設でつれてってくれる
- ・ 点字教室の仲間が刺激となる。
- ・ 母親が同行できるので
- ・ 人は言葉を使って自分を表現出来ると思っているから
- ・ 日々の体調管理をしっかり行う。
- ・ 周りの人達（家族）が協力してくれるから。
- ・ 状態が落ちついているから
- ・ 活動中
- ・ 年に2回は行く計画している。

◇実現が難しい理由

- ・ 家は馴れているので安心できるのです。一步でも出ると外はわからない世界が拡って不安です。危くて、とても行動出来ません。
- ・ 今現在、視力回復は難しいから・経済的に難しい（障害年金のみ）。体力的に就労も難しい
- ・ 介護者がいないと外出出来ないため
- ・ 介護保険のヘルパーでは対応できない
- ・ 外出は不安だから。
- ・ 気分がのらなくなった為
- ・ 経費がかかる、交通の便が悪い
- ・ 時間、金銭的な問題
- ・ 視力が戻らないから
- ・ 就職活動の成果が見られず、起業するにも必要な人手、資金、場所と地域理解が得られない。
- ・ もし実現できたとしても、あまり見えないために十分に楽しむことができない気がする。
- ・ 他に方法がない
- ・ 入院手続きに2ヶ月掛かる。
- ・ 団体で活動するのは、障害が様々なので難しい。
- ・ 古い制度を用いていること、病院等の情報が少ないこと
- ・ よく見えないため

⑥ 日常生活における工夫点

○ 日常の生活で工夫していることの主な具体的内容は、以下のとおりとなっている（自由記載、順不同、複数記載）。

◇移動に係る工夫

- ・ 新しい盲導犬が来て、活動の質をあげるよう努力したい。
- ・ 家で段差のあるところに目印をつけておく。
- ・ コードにカバーをかける
- ・ 階段の数をかぞえながらのぼりおりをする。

◇食事に係る工夫

- ・ 危ないので、軽い食器を使うようにしている。
- ・ 音声の出る電子レンジに変えた
- ・ 食事は出来るだけ添加物を使わない。購入する際には、食品表示はチェックする。
- ・ 食品の賞味期限のチェックをホームヘルパー訪問時にしてもらっている。電子レンジや電磁調理器は点字表示のあるものを使用している。

◇会話、読字に係る工夫

- ・ コミュニケーション、笑える話のネタ集め
- ・ 他人の話を自分の尺度で判断しないを心掛けています

◇その他

- ・ 今までと同じ
- ・ 不安からのがれるように、家事に気持ちを向ける。体はつらいけど仕事をがんばる
- ・ 室内ダンス、自己流で踊る。

⑦ 今後やってみたい余暇活動、趣味、学習、スポーツや社会活動について（複数回答）

○健康被害者が今後やってみたい余暇活動、趣味、学習、スポーツや社会活動の内容については、表3-11及び図3-11のとおり（複数回答）。

- 「旅行・キャンプ・つりなどの活動」が46.7%、「コンサートや映画、スポーツなどの鑑賞・見学」が42.2%、「趣味の同好会活動」が28.9%、「スポーツ教室、大会などへの参加」が20.0%となっている
- その他としては「家族との食事会」などをあげている

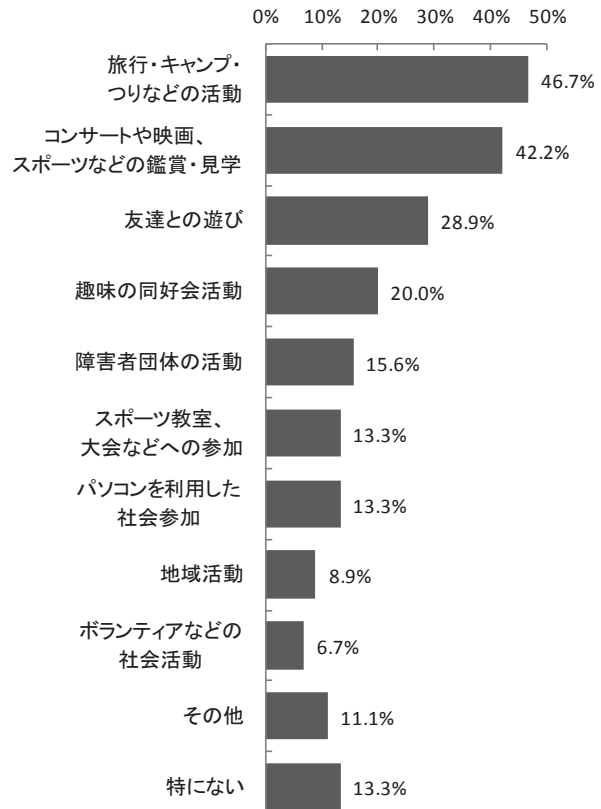


図3-11 今後やってみたい活動等について

表3-11 今後やってみたい活動等について

旅行・キャンプ・つりなどの活動	コンサートや映画、スポーツなどの鑑賞・見学	友達との遊び	趣味の同好会活動	障害者団体の活動	スポーツ教室、大会などへの参加	パソコンを利用した社会参加	地域活動	ボランティアなどの社会活動	その他	特にない	回答なし	回答者数
21	19	13	9	7	6	6	4	3	5	6	10	45
46.7%	42.2%	28.9%	20.0%	15.6%	13.3%	13.3%	8.9%	6.7%	11.1%	13.3%	—	—

注：上段は人数、下段は割合

⑦-1 今後やってみたい活動についての情報取得元（複数回答）

○健康被害者が今後やってみたい活動の情報について、どこから情報を得るかをたずねた結果は、表3-12及び図3-12のとおり（複数回答）。

- 「家族友人」が56.8%、「テレビ」と「インターネット・情報サイト」が40.5%、「ラジオ」が37.8%となっている
- その他としては「市役所、ヘルパーさん」などをあげている

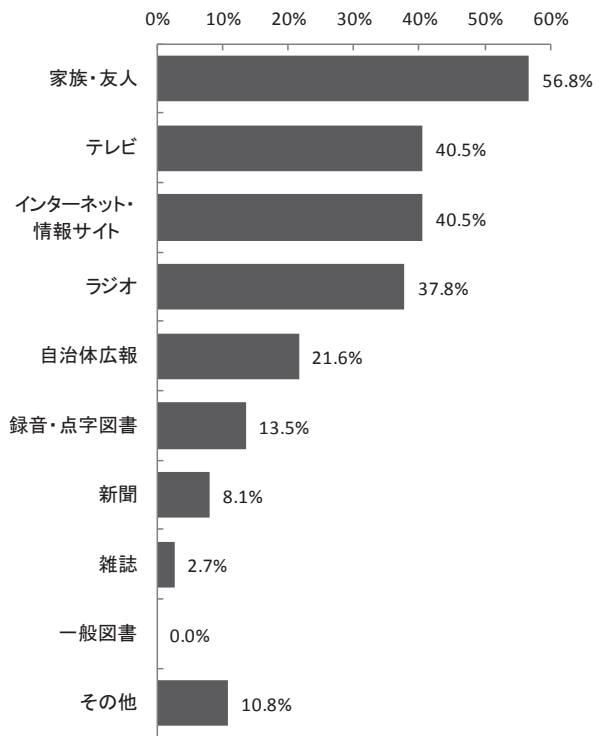


図3-12 今後やってみたい活動等についての情報取得元

表3-12 今後やってみたい活動等についての情報取得元

家族・友人	テレビ	インターネット・情報サイト	ラジオ	自治体広報	録音・点字図書	新聞	雑誌	一般図書	その他	回答なし	回答者数
21	15	15	14	8	5	3	1	0	4	2	37
56.8%	40.5%	40.5%	37.8%	21.6%	13.5%	8.1%	2.7%	0.0%	10.8%	—	—

注：上段は人数、下段は割合

■ 福祉サービスについて

⑧ 必要な福祉サービスについて（複数回答）

○ 必要な福祉サービスについての主な具体的内容は、以下のとおりとなっている（自由記載、順不同、複数記載）。

◇移動に係るサービス

- ・ 介護タクシー情報
- ・ 地元自治体にある視覚障害者協会に白杖相談で出掛けたのだが（自家用車）自宅からは（約数十 km）あまりにも遠い。ぐったり疲れる。
- ・ 公共交通機関が不十分なので車での移動支援もお願いしたいです。

◇金銭的負担軽減に係るサービス

- ・ サービスを受ける為の料金が高い。
- ・ 自己負担なくサービスを利用できたら良い。
- ・ 自治体による格差が多くなっている。現在の自治体では医療費の負担が多くなってきている

◇家事援助、介護、看護に係るサービス

- ・ 親が行っている事を、親で出来なくなった時に代行してくれる人物があると良いと思う。
- ・ 親が調子の悪い時に緊急に家へ来てくれるサービス
- ・ 家事援助の利用回数を増やしたい。
- ・ 専任の看護師さんが欲しい。（1日間で良いので）
- ・ 配食サービス
- ・ ガイドヘルパーの数が不足している為、急に家族不在の折など利用が困難な場合がかなりある。
- ・ 自宅以外の実家においてもサポートを受けられるヘルパー制度を設置してほしい。
- ・ ショートステイの人数制限があるので、急に預ける事ができない
- ・ もう少し（仕事ができなくなった時）年を老いたら、一般の介護のように、国民年金だけでも、入所できるホームがあるといい。
- ・ 地元の図書館、福祉センターでの代読・代筆サービスが受けられる機会を作ってほしい。

◇その他

- ・ 今のところ姉妹や子供達、友人に助けられているので福祉サービスは受けなくても大丈夫だと思う。
- ・ こちらから調べてたずねると色々な活動や情報を教えて下さるが、福祉側から直接的には教えてくれないので、もっと、情報を提供してもらいたいと思います。
- ・ 症状の悪化、日内変化、日による変化、福祉・医療の連携、新しい技術に期待
- ・ 福祉サービスを受けるための書類の書き方が分かりにくい。
- ・ 当報告書もメール解答できるようにしてほしい。
- ・ 病状によって、入院した場合、目が見えないので、トイレがついた個室等医療の関係にお願いしたい。

■ 必要な情報について

⑨ 必要な情報について（複数回答）

○ 現在必要な情報についてたずねた結果は、表 3-13 及び図 3-13 のとおり（複数回答）。

□ 「福祉サービス」と「医療」が 50.0%、「趣味・娯楽」が 20.5%、「年金」と「健康づくり」が 15.9%となっている

□ その他の必要な情報としては「副作用後遺症（SJS・TEN）化学的研究」などをあげている

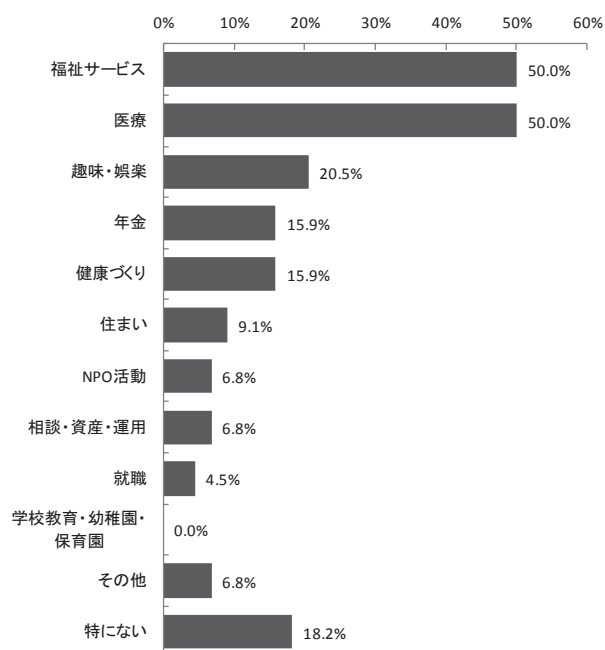


図 3-13 必要な情報について

表 3-13 必要な情報について

福祉サービス	医療	趣味・娯楽	年金	健康づくり	住まい	NPO活動	相談・資産・運用	就職	学校教育・幼稚園・保育園	その他	特にない	回答なし	回答者数
22	22	9	7	7	4	3	3	2	0	3	8	11	44
50.0%	50.0%	20.5%	15.9%	15.9%	9.1%	6.8%	6.8%	4.5%	0.0%	6.8%	18.2%	—	—

注：上段は人数、下段は割合

○ 具体的に知りたいことの主な内容は、以下のとおりとなっている（自由記載、順不同、複数記載）。

- ・ 加入出来る保険等を知りたい
- ・ 眼科と呼吸器科の情報。
- ・ 健康づくりの食事、運動など
- ・ 救済処置がどのようになっているのか？
- ・ 現在無職で、これから起業しようとしているので、NPOの立ち上げや運営に関すること。
- ・ SJSの目の治療について知りたい。救済制度の見直し等あるのかないのか知りたい。
- ・ IPS細胞での治療
- ・ 治療に関する情報が知りたい。

- ・ 福祉サービスの内容が知りたい
- ・ わたしの老後はどうなるのでしょうか<失明の恐怖>
- ・ 最先端の医療
- ・ 入所施設がほとんどなく、グループホームもなかなか増えない。親亡きあと、どうなるか心配。
- ・ 小児科を卒業してからの通院

⑨-1 今必要な情報についての情報取得元（複数回答）

○今必要としている情報について、どこから情報を得るかをたずねた結果は、表 3-14 及び図 3-14 のとおり（複数回答）。

- 「家族・友人」が 58.3%、「インターネット・情報サイト」が 41.7%、「ラジオ」が 36.1%、「テレビ」が 33.3%、「自治体広報」が 25.0% となっている
- その他としては「患者会」「医療・介護スタッフ・議員」「ケアマネ、施設の職員」などをあげている

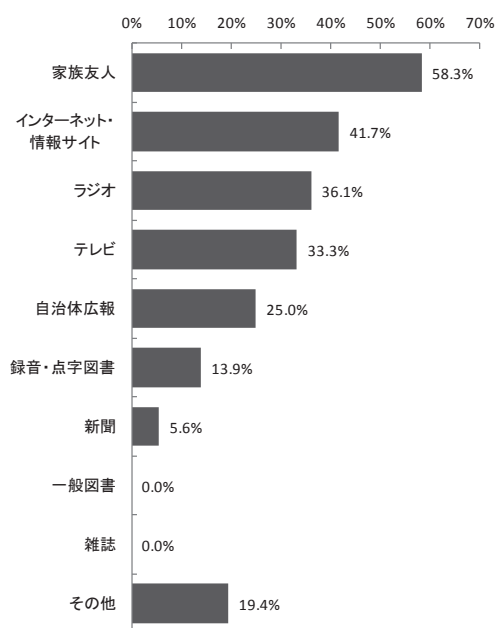


図 3-14 必要な情報についての情報取得元

表 3-14 必要な情報についての情報取得元

家族友人	インターネット・情報サイト	ラジオ	テレビ	自治体広報	録音・点字図書	新聞	一般図書	雑誌	その他	回答なし	回答者数
21	15	13	12	9	5	2	0	0	7	0	36
58.3%	41.7%	36.1%	33.3%	25.0%	13.9%	5.6%	0.0%	0.0%	19.4%	—	—

注：上段は人数、下段は割合

Ⅲ む す び

むすび

本報告書は、平成17年度に実施した医薬品の副作用による健康被害実態調査の結果を踏まえ、障害者のための一般施策では必ずしも支援が十分でないと考えられる重篤かつ希少な健康被害者のQOLの向上策及び必要なサービス提供のあり方等を検討するための資料を得るため、平成29年4月1日から平成30年3月31日までの1年間に健康被害を受けられた方々の日常生活の様々な取り組み状況等を調査集計したものです。

日常生活の具体的な工夫事例等については、国際生活機能分類に基づいたライフサイクル（生活環境）ごとにとりまとめています。

今回を含め、12回に亘り調査を実施してきたところですが、本報告書では、医薬品の副作用による健康被害を受けられた調査研究対象者の方々における、日常生活の様々な工夫の実態が明らかとなっております。

その一方で、スティーブンス・ジョンソン症候群（SJS）の方にあっては、視機能障害に対するケアが、ライ症候群の方にあっては、四肢機能改善、拘縮予防目的のリハビリのほか、全介助を必要とする場合は、介助を行うご家族の高齢化も懸念されており、患者家族の肉体的、精神的負担に対する医療的な介入が必要となっている状況が覗えます。

これらの健康被害を受けられた調査研究対象者及び介助を行うご家族のQOL向上の実現のためには、日常生活における工夫だけではなく、更なる医療的な介入、肉体面・精神面でのケアも必要です。

今後もさらに、実態を把握するために、現在の調査項目については、継続して調査を実施することとしております。

IV 參考資料

A票(福祉サービスの利用状況についての調査)からみた生活状況の概要
男女別・年代別の「2 現在、受けている①②以外の福祉サービス」

参考1

内 容	性別	年代
世田谷区緊急介護制度	女	70代
世田谷区緊急介護人サービス	女	70代
福祉サービスは受けていない。	女	60代
①ガイドヘルパー、ホームヘルパー、音訳サービス	男	40代
ガイドヘルパー、ホームヘルパー、音訳サービス	男	40代
サピエ図書	女	60代
サピエ図書、福祉タクシーチケット480円×24(年間)旭川市	女	60代
サピエ	女	60代
横浜市福祉特別乗車券の有料支給	女	50代
ボランティアによる点字指導	男	60代
点字ボランティアによる点字指導	男	60代
料理、言語、陶芸、フラワー教室	女	60代
料理、陶芸、フラワー、言語教室	女	60代
料理、フラワー、陶芸、言語教室	女	60代
世田谷区緊急介護人制度	女	70代
音声ボランティア、在宅訪問によるパソコンサポート、スマホ教室受講	男	40代
遠距離の眼科に通う時の宿泊施設の利用	男	40代
横浜市福祉特別乗車券の一部個人負担での支給	女	50代
①視力障害者用料理教室、フラワー、陶芸、言語の教室②リハビリ体操、マッサージ	女	60代
①視力障害者用料理教室、フラワー、陶芸、言語訓練等の教室②パワーリハビリ、体操、マッサージ	女	60代
①視力障害者用料理教室、フラワー、言語訓練の教室②パワーリハビリ、体操、マッサージ	女	60代
サピエ、タクシーチケット	女	60代
横浜市福祉特別乗車券の一部本人負担での支給	女	50代
社協・福祉開発研究センター	女	70代
歩行訓練	女	40代
ホームヘルパー、同行支援	男	40代

注)内容につきましては、調査の趣旨に沿って要約または修正を行っています。

A票(福祉サービスの利用状況についての調査)からみたら生活状況の概要
男女別・年代別の「3 障害者総合支援法に基づく福祉サービスで①～⑤以外のサービス名」

内容	性別	年代
居宅介護	男	60代
ホームヘルパー	女	40代
生活援助	男	50代
情報	女	60代
居宅支援サービス	女	40代
デイジー図書	女	80代
居宅支援	男	40代
生活支援(ホームヘルパー8～9)	男	40代
居宅支援サービス(ホームヘルパー)	男	40代
①対面朗読 ②居宅サービス ③買物代行	女	60代
音訳サービス	男	40代
居宅支援、音訳	男	40代
デイジー図書	女	80代
社会福祉協議会	女	60代

注)内容につきましては、調査の趣旨に沿って要約または修正を行っています。

A票(福祉サービスの利用状況についての調査)からみただ生活状況の概要
男女別・年代別の「4 介護保険制度に基づく福祉サービスで①～⑩以外のサービス名」

内 容	性別	年代
居宅介護、移動支援	男	20代
居宅支援事業、移動支援	男	20代
児童デイサービス	女	10代
東京小児療育病院入所	男	30代
一時ケア、デイサービス	男	10代
移動支援、ヘルパー	男	20代
デイサービス、一時ケア	男	10代
ホームヘルパー(家事援助)	男	40代
音訳	男	40代
なし	男	70代
居宅移動支援ヘルパー	男	20代
居宅移動支援	-	-
東京小児療育病院	-	-

注)内容につきましては、調査の趣旨に沿って要約または修正を行っています。

B票(福祉サービスの利用状況についての調査)からみた生活状況の概要
男女別・年代別の「②-2 外出するうえで工夫したこと」

参考4

内 容	性別	年代
混雑をさける	男	50代
子供や、孫に預めたのんでおく	女	60代
家族に調子の悪い時のみ依頼する	男	50代
サンダラス、ぼうし	女	80代
車に乗せてもらえるか子供に聞いておく、ムリときはタクシー予約	女	60代
娘達の登下校時に合せて行動する	女	40代
白杖を持っていく	男	70代
安全な場所ですぐ	男	70代
人混をさける	男	50代
予め、子供や孫に同行をたのんでおく。なるべく車で行く。	女	60代
車移動の為あまり工夫しない	女	30代
盲導犬を利用	女	70代
家族の予定に合わせて外出や通院する	女	60代
近所のおつかい以外はいつもどなたかと一緒に娘姉母がついて行く	女	40代

注)内容につきましては、調査の趣旨に沿って要約または修正を行っています。

B票(社会活動を中心とした調査)からみられた生活状況の概要
 男女別・年代別の「③-2 社会参加・社会活動等のきっかけ」

(1. 家族、親類 2. 友人、知人等 3. 患者団体、同好会等 4. 情報誌や広告等 5. テレビ、ラジオ 6. インターネット 7. 自発的な活動 8. その他)

区分	内 容	性別	年代
1	家族と温泉に行き、湯治を行った。	女	40代
1	父の日に子供が落語に行こうと誘ってくれたから。	男	60代
1	結婚記念日	女	40代
1	家族の勧めがあった	男	60代
1	家族で旅行。	女	40代
2	障害者になる前の仲間達が誘ってくれる。	男	60代
2	夏休み	女	40代
2	友人のすすめ	女	60代
2	知人に誘われた。	男	50代
2	障害になる前の友人達(同級生等)がさそってくれる。	男	60代
2	さそわれた事	男	50代
2	友人にさそわれて	男	60代
2	友人や、視覚障害者の仲間	男	60代
2	知人からのメールマガジンによる案内	男	40代
2	近所の方からの誘い	女	70代
2	知人からの勧めがあった	男	60代
3	地域交流のため、健康のため	女	70代
3	勉強会に参加したかったため	男	60代
4	メールマガジンやメールマガジン情報を見て参加した(ホームページ情報)	男	40代
4	地元の広報誌	女	50代
7	時間的余裕があったから。	女	60代
7	近所へ散歩、買い物	男	50代
7	ずっと続けている。	女	60代
7	年間通じての継続活動	男	60代
7	時間的・体力的に余裕がある為。	女	60代
7	ジャズライブに行く機会があったので参加した。	男	50代
7	スポーツといっても軽い体操とウォーキング	女	70代
7	ストレス解消の為	男	50代
7	(参加というよりは)散歩、買い物	男	50代
7	スポーツ	男	40代
7	時間あるから	女	60代
7	体力をつけたいから	女	60代
7	恒例コンサート	女	70代
7	好きなアーティストの公演があったから	男	50代
7	時間に余裕があるから。	女	60代

区分	内 容	性別	年代
7	買い物、散歩	男	50代
7	やりたかったから。	男	50代
1,2	友人、子供達、親、姉の誘い	女	40代
1,2	家族や知人からの勧めがあった	男	60代
	ない	男	20代

注)内容につきましては、調査の趣旨に沿って要約または修正を行っています。

B票(社会活動を中心とした調査)からみられた生活状況の概要
男女別・年代別の「④-2 屋内での生活における工夫」

参考6

内容	性別	年代
手すりを通路、玄関、浴室につけた。(転倒して骨折したので、それを防ぐため)	女	70代
グラス、カップ、湯飲み等、コースターを敷いている。(テーブルに置いてある位置を安全にわかる様にした)→テーブル上で手をすべらせる様に探れば入れ物(カップ等)を、倒す危険を回避できる。→熱い飲み物で火傷をしない様に。壊れた食器で怪我をする心配が減る。(万が一の場合を考え、ガラス製品は使用しない。)	男	60代
特にありません。	女	40代
特になし	女	60代
ぶつかゆりそな所を保護する。	女	80代
食器などの整理整頓をしやすい棚の配置	女	60代
物の配置には気をつける	男	50代
まぶしいのでカーテンで光をさける	女	60代
足裏の感覚を利用しているそう、室内では靴下の着用なし	女	40代
ガラス食器は見辛いので、使用後はすぐに片づける	女	50代
特にありません	男	60代
1(困ったときは)大声で叫ぶ。	女	70代
採光、照明の調節	女	50代
より安定性のあるイスに交換	女	60代
出来るだけ車イスに座らせる様にしている。	女	30代
DVDなどで退屈しないようにした	男	20代
グラス、コップ、湯飲みなどの下にコースターを敷き、テーブルに置いてある位置を探れる様にした。(熱い飲み物で火傷をしない様に)お酒のびんに定量をそぐグッズを使っている。(自分でカップにそそげる様に)	男	60代
同じ所にもをおく	女	70代
その他はなし	女	60代
時折、ぶつかる時があるため、突起している物に保護テープ貼る。	女	80代
食器などの整理整頓をしやすい棚の配置。・扉はすべて開けておく。	女	60代
整理整頓を心がける	男	50代
コードにカバーをして、つまづかないようにしている	男	50代
そうじの時は、高い所に手を出さない。(カーテンを付けていて落ちたことがある)フロそうじは、カビの付いているのがわからないので、全部カビ洗剤をスプレー。	女	60代
足裏の感覚利用の為、室内では靴下を履かない	女	40代
透明ガラス食器は使用後すぐに片付ける	女	50代
玄関、階段等は常に黄色のテープや塗料等で分かりやすくして、風呂等はタテ、横テスリをつけています。	女	70代
1.手の届くところに備品(ドライアイア・帽子・生活用品)を置く。(高くてもダメ、低くてもダメ)2.段差に対処出来ない。障害物、くぼみ、石、あらゆるものが転倒要因になる。(僅かな凍結で骨折転倒となった。(昨冬))	女	70代
なし	男	20代
スリッパははかず、素足で過ごす(つまづきが減る)	男	60代
すべり止めの付いているクツの使用	女	60代

内 容	性別	年代
特にないです	男	10代
できるだけ車イスに座らせる様にしている(寝たきりなので)	女	30代
DVD、パソコンなどの映像を見て時間をすごす。	男	20代
ラジオなど音の出る物を利用している。居場所がわかる様に。	男	70代
ヘルプマークを常に外出する時はリュックなどにつける。白杖だけでは、あまり気づいてもらえない。	男	50代
家電のコードにカバーをつけている。	男	50代
食の時むせやすいのでそばにティッシュ、水を用意	女	60代
物を床におかない	男	40代
かべの色と扉の色はコントラストがはっきりしている色使いにしている	女	60代
足裏の感覚利用の為靴下をはかない	女	40代
透明のガラスの食器は、使用后、すぐに洗って収納する。(透明で見辛いため、当たって割らないよう)	女	50代
前回までと変わらず。	男	60代
ぶつかりそうな所保護テープ巻く	女	80代
輪ゴムで区別	女	80代
食器などの整理整頓をしやすい棚の配置	女	60代
ホームヘルパーの訪問時に食品の賞味期限をチェックしてもらう	男	40代
どんだん低下する視力に対応する(1)転倒の防止、雪道で転倒して骨折事故を起こした教訓を生かすこと(2)明るい部屋、暗いところがまったく見えない。段差、障害物(3)クッションフロアを白く、汚れをとり除く、物を置かない(4)家はバリアフリーとなっている(5)が、とにかく勾配、下がり階段が危険、勝手口、玄関、飛び石、せまい家(平屋)にも危険がいっぱい、工夫に工夫を重ねている。(5)高齢化(70代)という危険とたたかち。	女	70代
スリッパのかわりにルームシューズ	女	60代
寝たきりなので出来るだけ車イスに座らせる様考えている	女	30代
好きなDVDを見たり、音楽をきいたりできる環境をとのえた	男	20代
今期になって改めて工夫したものはない	男	60代
上記以外なし。	女	60代
洗った食器置くカゴには、いつも使用する皿しか置かない。コンセントは入れれないので電気ポットetc.は、本体さしこみから抜く	女	80代
食器などの整理整頓をしやすい棚の配置。扉はすべて開けておく	女	60代
食品の賞味期限の点検をヘルパー訪問時にしてもらう	男	40代
物の位置をかえたら必ず伝える	男	50代
ドアを開けておく	男	50代
なるべく広い場所をつくり、体そうをしている。	女	60代
手すり	男	40代
声をかけること(例)「○○ここに置くからね」「○○はテーブルの上にあるよ」	男	40代
透明なガラス食器は使用后すぐに仕舞う	女	50代
居室の照明可能な範囲で明るくする。備品を動かさない。暗いところはモノをおかない。頭で考えて行動している(視力がないから)屋内といえども障害となるもの(備品)をおかない。	女	70代
テーブルと食器の色のコントラストを考えて使用する	男	60代
楽しい音楽やDVDを活用した。	-	-

内 容	性別	年代
<p>寝たきりなのでお天気の良い日は、日照りの良い部屋で車イスに座らせる様に心掛けています。</p> <p>注)内容につきましては、調査の趣旨に沿って要約または修正を行っています。</p>	-	-

B票(社会活動を中心とした調査)からみた生活状況の概要
男女別・年代別の「⑤-5 視力以外の状況」

参考7

内 容	性別	年代
つめの変形(ささくれて生えてくる)	男	60代
原因不明の免疫異常。(全身の関節の痛み)線維筋痛症。風邪を引きやすい。	女	40代
肛門の出血、薬治療中	女	60代
身体がゆれる感じがある。	女	80代
てんかん、偏頭痛	男	50代
泌尿器の異常。全ての炎症が悪化している。発症して53年間炎症です。	女	60代
特にないです。	男	60代
舌がしみる、味覚異常	女	70代
膿粘膜癒着	女	50代
全身の関節痛。労作時、呼吸困難。	女	40代
肛門の出血治療	女	60代
てんかん・偏頭痛	男	50代
全身の疲労感(特に眼や呼吸器の調子が悪い時、何もできない)筋力の低下	女	60代
母指関節痛	女	50代
1.唾液がすくなくないからだと思いますが、虫歯が多い。2.爪が不揃いなので、衣服、生活用品にひっかかり易く、細心の注意を要するこなし	男	20代
てんかん 片頭痛	男	50代
脳こうそく後遺症、泌尿器の不調、ガンの検診等思うように行けず心配。これだけの症状や予後が良くないのに認定に及ばないのはおかしい。SJS、TENの色々な数に入っていないという事は、本当の数とはいえない。薬を作り研究している人たちは、これらのことを考え、数に対する正当をあげているのか？副作用救済と謳っているが本音は、薬品会社、国を救済しているのではとも思っている。現在生きている者を見捨てるような制度は、見直してほしいと思う。本当の福祉とは、皆、平等に人間らしく認め、向上するところはないでしょうか。今は、ゲノムや医学的見聞研究により、証明していきけるのではないかと、思うのです。日本の福祉の1番悪いところは数合わせで、それがウソで、次の悪いことを予知できないこと、ぜひ本当の福祉と救済を考えてみてください。	女	60代
ドライアイの進行、病理変化	男	40代
あまりにも涙のう炎が痛かったので11月に涙道の手術を全身麻酔下で受けた。労作性の呼吸困難(歩行がつからい)	女	40代
卵巣腫瘍の検査(半年に1回)・裂痔(3ヶ月に1回通院)	女	60代
お腹の張り、痛みがある	女	80代
気管支喘息	男	40代
婦人科症状(粘膜障害)	女	70代
膿癒着	女	50代
労作性呼吸困難・原因不明の頭痛。肩こり、首の痛み。	女	40代
痔の治療・高血圧・アレルギー・鼻炎	女	60代
気管支喘息・アトピー性皮膚炎・爪の変形	男	40代
排泄部分の炎症、常にせきが出る	女	60代
唾液が無いので水で流し込むようになり胃が痛む。歌を唄おうにも水がなないと歌えない。	女	70代
腔粘膜癒着	女	50代

内 容	性別	年代
家電のコードにカバーをつけている。	男	50代
食の時むせやすいのでそばにティッシュ、水を用意	女	60代
物を床におかない	男	40代
かべの色と扉の色はコントラストがはっきりしている色使いにしている	女	60代
足裏の感覚利用の靴下をはかない	女	40代
透明のガラスの食器は、使用后、すぐに洗って収納する。(透明で見辛い為、当たって割らないよう)	女	50代
前回までと変わらず。	男	60代
ぶつかりそうな所保護テープ巻く	女	80代
輪ゴムで区別	女	80代
食器などの整理整頓をしやすい棚の配置	女	60代
ホームヘルパーの訪問時に食品の賞味期限をチェックしてもらう	男	40代
どんだん低下する視力に対応する(1)転倒の防止、雪道で転倒して骨折事故を起こした教訓を生かすこと(2)明るい部屋、暗いところが多いため見えにくい。段差、障害物(3)クッションフロアを白く、汚れをとり除く、物を置かない(4)家はバリアフリーとなっている	女	70代
スリッパのかわりにルームシューズ	女	60代
寝たきりなので出来るだけ車イスに座らせる様考えている	女	30代
好きなDVDを見たり、音楽をきいたりできる環境をとのえた	男	20代
今期になって改めて工夫したものはない	男	60代
上記以外なし。	女	60代
洗った食器置くカゴには、いつも使用する皿しか置かない。コンセントは入れれないので電気ポットetc.は、本体さしこみから抜く	女	80代
食器などの整理整頓をしやすい棚の配置。扉はすべて開けておく	女	60代
食品の賞味期限の点検をヘルパー訪問時にしてもらう	男	40代
物の位置をかえたら必ず伝える	男	50代
ドアを開けておく	男	50代
なるべく広い場所をつくり、体そうをしている。	女	60代
手すり	男	40代
声をかけること(例)「〇〇ここに置くからね」「〇〇はテーブルの上にあるよ」	男	40代
透明なガラス食器は使用后すぐに仕舞う	女	50代
居室の照明可能な範囲で明るくする。備品を動かさない。暗いところはモノをおかない。頭で考へて行動しているので(視力がないから)屋内といえども障害となるもの(備品)をおかない。	女	70代
テーブルと食器の色のコントラストを考えて使用する	男	60代
楽しい音楽やDVDを活用した。	-	-
寝たきりなのでお天気の良い日は、日照りの良い部屋で車イスに座らせる様に心掛けています。	-	-

注)内容につきましては、調査の趣旨に沿って要約または修正を行っています。

日票(社会活動を中心とした調査)からみた生活状況の概要
男女別・年代別の「⑥-1 主たる介助者の健康状態 詳細」

(1. 良好、概ね良好 2. 介護の負担減少 3. 生活の工夫に関するもの 4. 四肢に関するもの 5. 内臓機能に関するもの 6. 聴覚・呼吸機能に関するもの
7. 眼科領域に関するもの 8. 精神面に関するもの 9. 年齢面に関するもの 10. その他)

区分	内 容	性別	年代
1	やや悪いという理由でもないと思ったため	男	50代
1	体全体で痛み等はない。若干のメタボ	女	60代
1	介護が必要だが、慣れてきた	男	50代
1	ヘルパーさんなど、任せるところは任せるようにして、自分の時間をもつ	男	10代
1	寝込むことはなかったから	女	10代
1	薬を飲まずに生活出来ている	男	30代
1	年令相応の機能低下あるものの、実生活は普通に可能。	女	70代
1	悪いというわけでもないと思うから	男	50代
1	病気がなかった。	男	40代
1	悪いというわけでもないと思うため	男	50代
1	悪いという理由でもないため	男	50代
1	本年満七十六歳、喜寿の栄に浴したが、妻の症状が思わしくなく(回復不可能)なので一日でも長くがんばろうと心がけている せいなのかどうか、種々症状はあるが生活に支障はない。	女	70代
2	一人でやっているわけではなく、皆が手伝い、又本人も出来ることは全部自分でしている。	女	60代
2	ほとんど介護が必要ないため。	男	60代
2	協力がが増えたので、負担が軽減しました。	男	40代
2	あまり介護を必要としないため	男	60代
2	介護が少し減った為	男	50代
2	ヘルパーさんたちが子供をみてくれている間に仕事やランチなど気分転換をしているから	男	10代
2	寝こむことはなかったから	女	10代
2	まわりの方のサポートのおかげです。	男	40代
2	手助けしてくれる者がいるから。	女	60代
2	特に介護をする必要がないため	男	60代
2	任せるところは完全に任せているから、気分転換になる	男	10代
2	特に介護が必要ないため	男	60代
2	常に介護が必要ではないので	男	50代
3	食事、運動など気を付けている	女	60代
3	食事・運動・休養に気を付けている	女	30代
3	食事と運動などに気を付けている。	女	60代
3	スポーツ(散歩、ヨガ)している。	男	70代
3	食事、運動に気を付けている。	女	60代
3	スポーツをしている	男	70代
3	食事と運動など気をつけている	女	30代
4	強度の肩こり、痛み。憩室炎を発症(治癒)	女	70代

区分	内 容	性別	年代
4	変形性ひざ関節症、O脚がひどくなり	男	50代
4	持病の関節痛や更年期前の症状がある	男	20代
4	足、ひざの痛みと肩こり	男	50代
4	ひざの持病、体力がない	男	20代
4	膝痛、各種生活習慣病症状があるが、日常生活に大きな支障はない。	女	70代
4	足をけがしたため	男	70代
4	持病やひざ痛が治らない	男	20代
4	ひざが悪く歩く速度が速うので大変	-	-
5	心筋梗塞、圧迫骨折	男	40代
5	歯のブリッジが悪くなり、治療。胃腸の調子が悪くなり、ブリッジも除去し奥歯も抜歯。気持ちも落ち込みました。	男	20代
5	流動性食道炎や腰痛など、ひどくならないよう注意しながら生活した。	男	30代
7	著しい視野狭窄	男	40代
7	目の症状が悪化し、更に見えにくい状態	男	40代
7	視覚障害の進行	男	40代
7	目が見えないので自分で歩く事が出来なくなった	女	70代
7	視力低下により介護生活だから	女	70代
7	目の病気の悪化	男	40代
8	ストレスだと思われる	男	60代
8	よく言えば介護者の自覚、本音は夢多く生きたい。	女	70代
8	ストレス	男	60代
8	規則正しい生活リズム、食事、アルバイトで精神的にストレス発散か？	女	60代
8	悩んでもどーしようもないし、前向きに考えている	女	60代
8	特別なことはしていないが、ひらきなお、イライラしないこと。	女	60代
9	母の老化。80才の時心臓にステンスを入れ、血圧の薬をのむようになってから10年。母の動作がスロースローとにぶくなり24時間時間が足りなく、食事の世話も魚の小骨もとったり、ミカンのウス皮もむいたり、時間が次々と大入り、いくらあっても時間がほしいのに、一寸力の加えかたが急ぐと、関節が痛み、サッサと仕事で運ばず、他人に頼むと又やり直さねばならず、重度障害で死にたくても自分で死ねない本人はもとより、老化は悲しいものである。然し、自分の事は何も出来ないが、このあわれな娘を世老れい。	女	40代
9	更年期でもあり気持ちが落ち込む事があるが、無理しない様に生活している。	男	90代
9	年令的なもの	男	20代
9	若いからと言っておりませ。	女	30代
9	母の老化	女	40代
9	老れい	女	40代
9	若いから	男	90代
9	母の老化(90才を過ぎると本当に目も耳も体力も、足もダメになるものです)	女	40代
9	老齢による体力の低下	女	30代

区分	内 容	性別	年代
9	年令相応の老化症状があるが、実生活に大きな障害はない。	女	70代
9	加令により、目の代りとなり、読んだり書いたりする事が困難になって来ている	男	40代
9	21才と19才で若いから	女	40代
9	母の老化、体力低下	女	40代
9	自分も年でも有り足が悪く歩けない	男	70代
9	更年期障害あり	男	20代
9	老令化	-	-
10	介護と仕事の両立が難しい。	女	40代
10	6月入院	女	80代
10	常に介護が必要なため	女	60代
10	常に介護が介助が必要なため	男	70代
10	介護者も障害者、障害が進み通院中	男	50代
10	6月に肺炎のため10日間自宅療養していた	男	60代
10	年々体が大変になってきた	女	10代
10	持病の悪化、身体的に疲労、痛みなど	男	10代
10	介護疲れ	女	40代
10	夏バテ	女	70代
10	退院した所で、自分の病院に行かなくてはならないし、体調はまだまだもどっていないです。	女	80代
10	介護1の夫、介護2の弟を介護2の母親が視覚障害の息子も介助している	男	40代
10	介護者も障害者、体調が悪化し等級が変更になった。障害基礎年金(謝金)だけの生活なので今後の生活の不安	男	50代
10	ひとりがかえれないから	女	60代
10	介護者の注文が多く、介護の難しさを朝から晩まで自覚させられるケースが多岐にわたっており、全力投球を要求されている	女	70代
10	歯肉炎があり歯医者さんに通っています。	男	20代
10	孫の世話で肩や腰が痛い	男	60代
10	週3回の面会(散歩したり、散髪したり、布切りボランティアをしたり等)その他にも用事(孫や義母の)があり忙しい。休むヒマがな	男	30代
10	障害が進行した	男	50代
10	妻が入院して、心配した。	女	40代
10	私も入院した後、体調回ふくしていません	女	80代
10	夫が要介護状態の所に弟の療養生活の世話	男	40代
10	認知症(薬を服用中)	女	60代
10	仕事、孫の世話が忙しく、やや疲れ気味	男	60代
10	主人の他にも、介護を要する人が増えて。	男	60代
10	休みの日も、妻の病院に付き添うため、過労ぎみ。	女	40代
10	体温調整がしにくく、体がだるい	女	80代
10	体調をくずしている。(常に介護が必要なため)	男	70代
10	介護者も障害者	男	50代
10	めまいがあった。	男	40代
10	出来る事は時間がかかってもやってみよう	女	60代

区分	内 容	性別	年代
10	本人は1人で生活しているため、何かと不便だが、なかなか忙しく手伝ってあげられない	女	70代
10	仕事や孫の世話もあり疲れ気味	男	60代
10	インフルエンザにかかった	-	-
10	つかれやすくなった	-	-
200	花粉のアレルギーがひどくしやみがある	男	70代
4,5	腰や肩のいたみ、糖尿病、更年期障害	男	10代

注)内容につきましては、調査の趣旨に沿って要約または修正を行っています。

Ｂ票(社会活動を中心とした調査)からみた生活状況の概要
 男女別・年代別の「⑦-1 介護をしていく中で、困ったこと」
 (1. 精神面に関するもの 2. 肉体的面に関するもの 3. 生活面に関するもの 4. 経済面に関するもの 5. その他)

参考9

区分	内容	性別	年代
1	ストレスだと思われる	男	60代
1	よく言えば介護者の自覚、本音は夢多く生きたい。	女	70代
1	急に予定していない用事を母から言われる事	女	80代
1	お互いにイライラする	男	50代
1	気持ちだんだんつぶれていけず、何事もおっくうです。	女	60代
1	人間が生きていくうえでの必要なことは多いが、視力障害のタイヘンさを身近に体験している配偶者とともに生きていく、という困難の自覚。	女	70代
1	特別なことはしていないが、ひらきなおり、イライラしないこと。	女	60代
2	強度の肩こり、痛み。憩室炎を発症(治療)	女	70代
2	変形性ひざ関節症、O脚がひどくなり	男	50代
2	心筋梗塞、圧迫骨折	男	40代
2	著しい視野狭窄	男	40代
2	母の老化。80才の時心臓にステンスを入れ、血圧の薬をのむようになってから10年。母の動作がスロースローとにぶくなり24時間間時間が足りなく、食事の世話も魚の小骨もとったり、ミカンのウス皮もむいたり、時間が次々と大入り、いくらあっても時間がほしいのに、一寸力の加えかたが急ぐと、関節が痛み、サッサと仕事が運ばず、他人に頼むと又やり直さねばならず、重度障害で死にたくても自分で死ねない本人は悲しいものである。然し、自分の事は何も出来ないが、このあわれな娘を世老れい。	女	40代
2	介護する親が高齢(81才)ひざ関節症など、いろいろとする事に時間がいる	男	90代
2	高齢になるため	男	50代
2	介護者自身、障害が進行し不安	男	70代
2	障害の本人が障害を受けた時は小さい細い子で、ダッコやオンプで母も若く、苦にならなかったが、全身動けないのに40年の間に医師の世話になった事はないが、体が不思議に大きくなり、体重と身長が増加、座位も出来ないののでベッドは危険で置れる時も後ろで抱き支えるのであるが、背がまがってしまっていて、洗うのに支えただけで時間と力がかかり、フロの入れあげが大変になった。大マラソンのあのように疲れる。	男	50代
2	本人が大きくなり、体重がふえた。	女	40代
2	介護時の体力が落ちて来た。	男	10代
2	体重が増え、力が強くなり抵抗が激しくなり介助がむずかしくなってきたため。	女	30代
2	通院に付き添うのが大変	男	10代
2	自分の身体が年令とともに動きがニブクなり	女	40代
2	年々、高齢になるので、次々と病院に行かなければならぬ事がある。	男	50代
2	年をとってきたため	女	80代
2		男	70代

区分	内容	性別	年代
2	本人が障害を受けた時(8才)は細い小さい子であったのに、座る事も出来ぬ自分に気づいた娘は、当時自殺したい、死にたいとたえず云ったが、3年目位から無言となり、喰べるだけは必死で喰べるので、つい喰べさせたせいかわ40年過ぎた今では身長も体重も異常に増加、今年からフロへ運ぶのに車椅子にのせ、座らせると苦しがり、白目をむいて母に助けを呼ぶ様になり、フロ中でも、母がしつかり後ろから抱きしめていなければならず、フロのあとは大運動会のあとの様に疲れ、本人も上半身と頭、顔が汗びっしょりになり、2、3回衣服やシーツをかえねばならなくなった。	女	40代
2	体がだんだん衰えるのを感じる	女	60代
2	加齢による体力の衰え	女	30代
2	親の体力の低下	男	20代
2	かかえること、生活介護が大変。力もついて抵抗力も強くなってきているため。	男	10代
2	8才で障害をうけてから40年、当時、私は東大で行くのと男の子より、私だけ級で一人100点だったと嬉々としていたのが、その3ヶ月後、ウィークデーでも風邪がはやっている故休んでもよいとの事で、IQ等久しぶりに検査でもと病院へ行った(走って)その子が、「検査する必要はない、今年のカゼは熱ないカゼだから、折角だから、点滴などとしてあげよう」とそれをうけたのが、途中から意識なくなり、この有様になり、1ヶ月後気がついた時(こんな生活の生きている事にならへん自殺したいと泣きじゃくり、その3年後、どこへ連れてでも、医師は黙認、それから、言葉も失い座位が出来ぬ故、テーブルにもたせても、体がまがり、今は背がまがったまま大きくなり、フロもトイレも困っている。	女	40代
2	高齢になり自分元気がだと思っても足が弱り(身体が頭が)	男	50代
2	耳が聞こえなくなっているのか、話を通じない事が出て来ました。	女	80代
2	認知症もあり、色々な物忘れや体力の低下	女	60代
2	病気が目薬をさしたりがんにばっているのに、よくなる事はなく、治療していく事が大変に思うと感ずるため。	男	50代
2	母は、夫を亡くしたため、1人暮らしになったため、手紙やハガキなど文章を読んだりいつも夫がやっていたこと、買物など布団干し、片づけそうじ全て1人ですするように本当に大変。	女	70代
2	体力の衰え	女	30代
2	年々、体力がなくなり病気になるやすくなる	男	20代
2	親(私)高令の為変形ヒザ関節症とO脚の為痛みがあり階段など出来ない為	男	50代
2	病院に行く回数が増えて、私の体力がしんどくなりました。	女	80代
2	今まで出来た事がむずかしくなってきた。気持ちに余裕がなくなってきた。	男	70代
2	障害が悪化し出来る事が難しくなり体調が安定しない	男	50代
2	目が不快状態でイライラするし、そのイライラをどこへ持っていかよとよけいに本人が大変となる	男	50代
2	眼圧が上って下らない	女	30代
2	身体のあるところで病院へ通う事が多くなった。	-	-
2	自分の体調が悪くても看護しなくてはいけない	-	-
2	車イスとかベッドでの移動が大変になってきた。	-	-
2	持病やひどい痛が治らない	男	20代
2	流動性食道炎や腰痛など、ひどくならないよう注意しながら生活した。	男	30代
2	年令相応の老化症状があるが、実生活に大きな障害はない。	女	70代
2	主人の他にも、介護を要する人が増えて	男	60代
2	休みの日も、妻の病院に付き添うため、過労ぎみ。	女	40代
2	体温調整がしにくく、体がだるい	女	80代

区分	内 容	性別	年代
2	加令により、目の代りとなり、読んだり書いたりする事が困難になって来ている	男	40代
2	体調をくずしている。(常に介護が必要なため)	男	70代
2	介護者も障害者	男	50代
2	めまいがあった。	男	40代
2	21才と19才で若いから	女	40代
2	目の病気の悪化	男	40代
2	母の老化、体力低下	女	40代
2	花粉のアレルギー為くしゃみやみがある	男	70代
2	自分も年で有り足が悪く歩けない	男	70代
2	更年期障害あり	男	20代
2	仕事や孫の世話もあり疲れ気味	男	60代
2	ひざが悪く歩く速度が違うので大変	-	-
2	インフルエンザにかかった	-	-
2	老化	-	-
2	つかれやすくなった	-	-
3	介護と仕事の両立が難しい。	女	40代
3	食事、運動など気を付けている	女	60代
3	常に介護が必要なため	女	60代
3	常に介護が介助が必要なため	男	70代
3	一人でやっているわけではなく、皆が手伝い、又本人も出来ることは全部自分でしている。	女	60代
3	ほとんど介護が必要ないため。	男	60代
3	更年期でもあり気持ち落ち込む事があるが、無理しない様に生活している。	男	20代
3	食事・運動・休養に気をつけている	女	30代
3	急な用事の際、すぐに代わりの介護者が見つからなかった	女	60代
3	時間がない(娘)	女	40代
3	介護をしていた父が亡くなり、母が一人で家で生活することになったため心配。	女	70代
3	仕事のため充分な介助ができない	男	60代
3	どこへ行くのも2個1で動くので疲労がある	男	20代
3	地区のお祭り当番の時にシャートを考えたが、送迎に2時間かかるので時間がうまく調整できない。	女	10代
3	急な用事の際、すぐに代わりの介護者が見つからなかった。	女	60代
3	家族の介護だけでも大変なのに、兄弟の介護も増え家事と通院の日々である	男	40代
3	仕事と介護の両立ができない時がある	男	60代
3	年とともに物忘れが多くなり、物を置いた場所がわからなくなり、部屋の位置のカンカクがにぶり、部屋の中でも方向がわからなくなる。	男	60代
3	仕事などの都合で本人の希望に答えられないことがある	男	60代
3	料理するのが増々おっくうになった	女	60代

区分	内容	性別	年代
3	昭和53年2月、嬉々として、学校から帰ってきた娘は「お母やん、突然試験があつて、私だけ100点だった。男の子が、女に負けたと叱られてたよ。私は東大にゆくよ」と云っていたのが、ウィークデーに学校が休みになったので、久しぶりにIQの検査でもしてもらおうかと病院小児科外来へつれて行つたのが魔のはじまり、そこでうけた点滴から気を失い入院、あげく、座位も出来ぬ体となり、気がついた時、「こんなの生きてる事にならへん、自殺したい」と云う。そこから、言葉を失い、座位も出来ず、自分で死ぬ事も出来ず、只喰べるだけで、体重が増加、今ではフロ入れも4人で大変である。	女	40代
3	仕事の都合で介助できない時があつた	男	60代
3	薬がわからない。タイマーが動いているかどうか、わからない。	女	60代
3	出来る事は時間がかかってもやってもらう	女	60代
3	本人は1人で生活しているため、何かと不便だが、なかなか忙しく手伝えてあげられない	女	70代
3	本年満七十六歳、喜寿の栄に浴したが、妻の症状が思わしくなく(回復不可能)なので一日でも長くがんばろうと心がけているせいなのかどうか、種々症状はあるが生活に支障はない。	女	70代
4	・自身、障害が進行したため、出来る事が減った・経済的不安	男	50代
5	6月入院	女	80代
5	介護者も障害者、障害が進み通院中	男	50代
5	やや悪いという理由でもないと思つたため	男	50代
5	6月に肺炎のため10日間自宅療養していた	男	60代
5	緊急時に受診できる病院が見つからない。	女	40代
5	介護者の体調不良にもない、健康被害者への介護が以前に比べると十分に出来ない事の不安等	男	50代
5	介護者がみづから、自宅にいる事が多い	男	50代
5	外出先でおむつを替える為の横になるベットの横にならない	女	10代
5	病棟介護職員が減つたので、なるべく私達(保護者等)がやらねばと思ひ面会日も増える。抑制をはずして自由になる時間が必要なので面会数も増える。	男	30代
5	医師との信頼関係がうまく築けない。	女	40代
5	悪いという理由でもないため	男	50代
5	特に介護が必要ないため	男	60代
5	常に介護が必要ではないので	男	50代

注)内容につきましては、調査の趣旨に沿って要約または修正を行っています。

B票(社会活動を中心とした調査)からみた生活状況の概要
 男女別・年代別の「⑦-4 介護をしていく中で困ったことの解決方法」
 (1. 心身機能 2. 身体構造 3. 活動 4. 参加 5. 環境因子 6. その他)

区分	内 容	性別	年代
1	精神的に楽になった	男	20代
2	身体看護と自費と併用して(家で)1日をすごせる	女	10代
3	介護保険要介護1の認定と、デイサービス利用のアレンジ。	女	70代
3	人に聞いてもらうだけですつとす	女	40代
3	話すとお楽になる	男	20代
3	困ったことを人に話すとおそれですつとす。	女	40代
3	話を聞いてもらうと落ち着く	男	20代
3	人間関係のなかで人に聞いてもらうこと	女	40代
3	具体的ではないが、気持ちが楽になった	-	-
5	私以外の人が対応してくれた	女	80代
5	身内の者に頼んだり、公的な介護制度を利用した	女	60代
5	今回は身内の者に頼めたが、皆高齢の為公的な制度を利用出来ると良い	男	40代
5	障害をもつ娘が子供の方に時間を合わせる	女	40代
5	娘にお願ひした	男	60代
5	みんなで力をかりて、病院などはまわりました。	女	80代
5	スチューブンス・ジョンソンの会(SJS)会員各位の闘いを側聞(そくぶん)するにつけ、なんとしてもこの闘いの日々、持てる力を全力投球で生き延びてゆくこと、(視力回復)が望めないとしても、きょうのちからをあすにつなげなければならぬ。あすのた	女	70代
5	介護を娘に代わってもらった	男	60代
5	家族や友人の協力のおかげで何とかなっています	男	40代
5	親せき、ヘルパーさんが対処してくれました	女	80代
5	まわりの方々にたすけていただきました。	女	80代
5	身内の者に頼んだ	女	60代
5	娘に代わってもらった	男	60代
5	かわりに行ってくれています	女	80代
6	夕ごはんを少なめにし、食事を調整するようにした	男	10代
6	娘や嫁の都合がつかないのの仕事を休んだ	男	60代

注)内容につきましては、調査の趣旨に沿って要約または修正を行っています。

B票(社会活動を中心とした調査)からみた生活状況の概要
 男女別・年代別の「⑦-5 介護をしていく中で困ったことの解決すると考えられる方法」
 (1. 心身機能 2. 身体構造 3. 活動 4. 参加 5. 環境因子 6. その他)

区分	内 容	性別	年代
1	心(心配事)が、本人の前向きな姿勢で少し解消。	女	40代
1	困ったと思わないようにする(まだその程度の困ったことから)	-	-
1	ストレスが解消できる事ができればひとときでもイライラは忘れる事ができる	男	50代
1	ストレスを発散するために外出と考えるが、友人等が用事が増えて、家族以外で外出の機会がへった。	男	50代
1	毎日、生活していく上で、それでいいっぱいっばいなので、ふつとした時に思いつく事で解決している。	男	10代
2	SJSによる視力低下に、現代の医学は治療・方向を持たない。あくまでも維持	女	70代
2	健康被害者の視力回復。年々、見え方(光)がどんどん落ちていっている。経済的不安	男	50代
2	健康被害者の視力の回復	男	50代
2	視力回復はもろろんの事、他の症状の回復	男	50代
2	年令的なものだから、どうしようもない?	女	60代
2	本人の成長とともに体が大きくなっている	男	10代
2	目(視力)がよくなるような方向に進んでくればよいと思う	男	50代
3	患者の会で病院や護施設の情報交換をした	男	50代
5	インフルエンザにかかっている時は、ヘルパーさんも訪看さんも移ると悪いので、家に来てもらえないから、自分で看護するしか	女	60代
5	ガイドヘルパーに頼む。	-	-
5	週に2、3回のホームヘルパー	女	40代
5	職員を増やして、負担を軽くする	女	70代
5	同居又は、ヘルパーの助け	男	30代
5	ヘルパーを入れることで軽減できるだろうか。	女	70代
6	医学の進歩	男	10代
6	今の目の状態と医学では無理なのではないかと思う	女	60代
6	市や府が支給する障害者手当等、家で介護の場合は、支援センターへ渡すのでなく、直接本人に渡してもらった方が、介護人に渡す手当も直接こちらで渡すと、喜んでくれると思う。母は字も書けなくなってきた。	男	50代
6	身障者トイレに横になれるベット(いす等)が置かれていると助かる。ペピーベットでは無理なので。	女	40代
6	信頼できる医師を見つけない。	女	40代
6	介ゴ派遣等の費用等、障害者自身から金銭を手渡すと大変よくしてくれるが、施設からくる人は、えらそうにするだけで時間のロスになり、逆にジャマになる故、市や府が支給する金額は本人に渡してもらえたい。	女	40代
6	専門の医師が見つからない。	女	40代
6	出来あいのものを増やす。	女	60代
6	なし	男	40代
6	まだ、なんとか出来そうです	女	60代
6	難しい	女	30代
6	分からない	女	60代
1,2	健康被害者の視力回復。経済的に年金(障害基礎)だけの不安。	男	50代

注)内容につきましては、調査の趣旨に沿って要約または修正を行っています。

B票(社会活動を中心とした調査)からみられた生活状況の概要
 男女別・年代別の「⑧-1 主たる介護者を支えるようなもの」
 (1. 家族 2. 知人・友人 3. ヘルパー・ボランティア 4. 患者会 5. 公的な機関・制度 6. 趣味・外出など 7. その他)

区分	内容	性別	年代
1	夫に手伝ってもらう。	男	30代
1	家族内で支え合っている	男	60代
1	子供達が支えてくれた。(肉体的にも精神的にも)	男	70代
1	息子、娘に来てもらう	女	60代
1	私のかわりに母につきそっていただきました。	女	80代
2	一緒に散歩や体操に行ってくれた。一緒に食事に誘ってくれた。	女	70代
2	友人達と旅行に出掛けた	女	30代
2	友人と外出する事があった	男	50代
2	友人と寝泊りをしている	女	40代
2	友人とのおしゃべり	男	50代
2	友人との食事など	男	60代
3	ショートステイやデイサービス	男	10代
3	同行援護	男	40代
3	ヘルパーさんに預けられる間だけでも気持ちが休まる	-	-
3	ヘルパーさん派遣	女	80代
3	ヘルパーさんやデイサービスの方たち	男	10代
3	ホームヘルパーさん	男	10代
4	同じ障害を持つ友達とおしゃべり	-	-
4	介護者を含め皆で旅行や食事に行く	女	60代
4	患者の会で病院や介護施設の情報交換をした	女	60代
4	健康被害者の笑顔	男	50代
4	障害者を持つ親同士	男	20代
4	当事者との交流に支えられました	男	40代
5	区の緊急介護人制度や同行援護の利用で、時間的自由度が増えている。	女	70代
5	障害者認定をとり、申告を行う手続中	男	40代
5	市立福祉センターで相談した	男	60代
6	演奏会の出場。フアンクブゴコンサートへの旅行。北海道と仙台等。	女	40代
6	アルバイト	女	60代
6	1.文学研究会2.門徒会(浄土真宗大谷派)	女	70代
6	気分転換	男	40代
6	散歩	男	50代
6	散歩、買い物	男	50代
6	大学入学の旅行	女	40代
7	25年間の闘病、逆に言えば命は維持出来る。	女	70代
7	4月よりデイサービスを増やした。	男	10代

区分	内容	性別	年代
7	幸にしてSJSでないこと、老々介護ではあるが、SJS患者に若干あっても寄りそえること。	女	70代
7	話は聞いてもらっても高令者の介護と障害とは別で具体的に解決していない。	男	40代
7	本人が主体を意識してTENIに向かいあっている	女	70代
1,2	子供、友人	女	80代
1,2	姉妹や知人隣人	女	60代
1,2	友だち、下の弟のサッカー応援、韓ドラ	女	10代
1,2	私の話をよく聞いてくれました。	女	80代
1,3	学校の保護者、ヘルパー	女	10代
1,3	親戚、公的ヘルプ制度	女	80代
1,6	孫の体育大会。プチ旅行。プチ菜園。	女	40代
1,6	姉妹にコンサートにさそわれた	女	30代
2,3	友人、知人、ボランティアさんの理解のおかげで助けられました。	男	40代
2,3	友人、ヘルパーさん	女	10代
3,5	公的制度、ヘルパー派遣	女	80代

注)内容につきましては、調査の趣旨に沿って要約または修正を行っています。

B票(社会活動を中心とした調査)からみた生活状況の概要
 男女別・年代別の「⑨-2 介護者の社会参加・社会活動等のきっかけ」
 (1. 家族 2. 知人・友人等 3. 患者団体、同好会等 4. 情報誌や広告等 5. テレビ、ラジオ 6. インターネット 7. 自発的な活動 8. その他)

区分	内容	性別	年代
1	2人で旅行が…せいぜい	女	60代
1	GWに妻と温泉に行った。	女	40代
1	家族旅行	女	40代
1	妻の希望で旅行に行ったが、知らない場所ではすごく疲れる。	女	60代
2	クラブ活動の先生のすすめ、友人の誘い	女	40代
2	知人からの勧めがあった	男	60代
2	友人に誘われて	女	60代
3	1.余暇活動(家庭菜園)2.趣味活動(文学教室)3地域活動(墓地委員)いずれも十年選手	女	70代
7	運動は大変大切だと気づきました	女	30代
7	買物、散歩	男	50代
7	気分転換の為	男	50代
7	近所の散歩、買い物	男	50代
7	スポーツ(知人の勧め)	女	80代
7	体力的に余裕があったため。	女	60代
7	地域の小学校で卓球を楽しむ会に参加。	男	20代
7	本人の自覚	女	70代
7	もともとスポーツジムに通っていたため	男	60代
8	介護の制約ある中で、自分の人生を満足できるようにしたいから。	女	70代
8	心のゆとりを求めて。	女	40代
8	時間的、経済的、体力的、余裕があるから。	女	60代
8	自分の時間を作る余裕ができた	男	50代
8	定年(詳しくは現役時代の延長)	女	70代
8	夏休み	女	40代
8	発病25年、前から	女	70代
1,2	家族、友人に誘われて	女	40代

注)内容につきましては、調査の趣旨に沿って要約または修正を行っています。

B票(社会活動を中心とした調査)からみた生活状況の概要

男女別・年代別の「⑩-1 介護をしていく中で、新しい発見や気分転換などがはかれたこと」

(1. コンサートや映画等の観賞やスポーツ観戦 2. 旅行、外出 3. 趣味 4. 患者団体等の活動 5. 地域活動 6. その他)

区分	内容	性別	年代
1	コンサートに行った	女	10代
1	コンサートを通して地方のお友達が出来自宅に泊まりっこもしている。	女	40代
1	下の子のサッカーの応援が楽しませてもらう。	女	10代
1	好きなアーティストのコンサートに行った	女	10代
2	一緒に散歩に出掛ける事	男	50代
2	一緒に食事や旅行に行っで楽しむ	女	60代
2	お寺を継ぐ為大学の仏教の講義を通して学べるものがある。	女	40代
2	学校の保護者との交流	女	10代
2	季節ごとの草花を見て季節を感じられることが、気分転換になっている	女	60代
2	散歩で公園を通る時に、季節ごとの草花を見て季節を感じられることが、気分転換になっている	女	60代
2	外で友人と食事した。	-	-
2	外に出る機会が増え、他の当事者からの情報が得られてよかったです。	男	40代
2	通院した帰りに外食をたまにはと思った事	男	50代
2	天気の良い日の散歩に出かけた時	男	50代
2	友達とランチ、運動、おしゃべり等でストレスハッサン出来る。	女	40代
2	久しぶり友人と外出で気分転換となる	男	50代
2	友人達と家内同伴で海外旅行し、友人達の協力もあって夫婦ともenjoyできた。	女	70代
2	友人達とお茶会や食事会で相談もできる	男	60代
2	友人達との食事会など	男	60代
2	旅行、食事会	女	30代
2	旅行に行った。	男	30代
3	新しい植物を育て始めた。	女	60代
3	家に犬(柴犬)がいるので…。ワンちゃん仲間が通るたびにワンワン、クンクンと声を出してくれます。可愛いですよ。	男	50代
4	ある会での話し合い	女	30代
4	同じ環境の方々と話す共感しあえる	-	-
4	健康被害者と一緒に近所を散歩	男	50代
4	健康被害者のありがたい一言。天気の良い日に一緒に近所を散歩する時。	男	50代
4	情報交換など会話がはずみ励まされました。	男	40代
4	それぞれ病気を抱えている方達との交流	女	30代
5	地域活動で体操教室に行ってます。汗をかいやすつきりしてるから。健康面の話もきいて少しでも取りくんでので。	女	40代
6	新しい盲導犬が貸与され、楽しみが増えた。	女	70代
6	今まで通り。	男	10代
6	家族で笑える時間が少しでもある時	男	50代
6	家族の事情を総合的に見て、高令者(障害者(認知症))の相談も含めサポートセンターにも相談している	男	40代
6	感謝されお礼を言われた時	女	60代

区分	内容	性別	年代
6	近代医学が目を見はる進歩を見せているがSJS外来(某病院)の医療臨床はSJSを克服するに至っていない。何とぞ(数は少ないが)迷える小羊たちをDr.の努力でお救い願いたい。	女	70代
6	柴犬がとっても寄りそってくれる。とっても可愛いですよ。笑顔でいる事です。	男	50代
6	大学生になり、新しい友人が出来たことで会話の内容がふえた	女	40代
6	庭の花の手入れ	女	30代
6	花を育てる	女	60代
6	母親の主導権が80%位だったのが自分に移っている。	女	40代
6	パンフレット「生きる知恵袋」15部をパソコンで作成、友人に配布、それなりの反響を得た。	女	70代
6	本人が(治療方法は無いのであるが)視力を維持するために出来ることはなんでもする、という強い意志を持っている。(逆にそれがストレスとなって、障害も起こしている)	女	70代
6	三重大皮膚科、その他の整形外科、内科Dr.のSJS症候群への理解と指導	女	70代
1,2	友人達とのランチタイムを持つ。音声ガイドの映画と一緒に見て感動した。	女	70代
1,3	いずれの活動においても、人と接し話をしたり、一緒にスポーツや趣味を楽しむことが生きがいになっている。	男	60代
	注)内容につきましては、調査の趣旨に沿って要約または修正を行っています。	女	70代

C票(1年間取り組んできたサービス等の満足度を中心とした調査)からみた生活状況の概要
男女別・年代別の「②-1 通院時に注意している点」

参考15

内	容	性別	年代	備考
夫の車を利用		女	60代	
通院時には親同行交通タクシー利用公共交通使用		男	50代	
朝は駅まで主人に送ってもらい、長女と終点駅まで来て、長女は大学にその後母親である私が駅まで迎えに行って病院に入		女	40代	
盲導犬同伴		女	40代	
なし		男	20代	
一般のタクシーを利用する		男	60代	

注)内容につきましては、調査の趣旨に沿って要約または修正を行っています。

C票(1年間取り組んできたサービス等の満足度を中心とした調査)からみただ生活状況の概要
男女別・年代別の「②-2 治療を受けるときに注意している点」

参考16

内 容	性別	年代	備考
私はペニシリンによる副作用なので同剤にあたる薬は使用しないでもらう。注射や投薬のとき何の薬剤か、目的は何か必ず聞 PMDAが発行しているカードを見せる 新しいの薬はなるべく、のまない。(副作用のんでみないと出るかどうかかわからないと医者に言われた。) 注)内容につきましては、調査の趣旨に沿って要約または修正を行っています。	女	60代	
	男	50代	
	女	60代	

C票(1年間取り組んできたサービス等の満足度を中心とした調査)からみた生活状況の概要
男女別・年代別の「②-3 治療を受けるときに困ったこと」

参考17

内 容	性別	年代	備考
診療は拒まれないものの、他の専門院への紹介される。(希望していないが)	男	50代	
投薬に際し、多くの医師が過度に安全サイドのスタンスをとりがちである。	女	70代	
回復が見こめないこと。	女	60代	
以前はSJSを知らない医師もいたが(初診時)最近はないように思う	男	50代	
SJSを説明するのに大変です。又、副作用の年金認定されていないのに「心配ないですね(経済的)」と言われ…	女	60代	
診療を拒まれることはないのが、何も薬を出してもらえなかったことがある(例:インフルエンザ等)	女	60代	
弱い薬しか処方してくれない。(あまりきかない)	女	70代	
治療方法が無い、とお聞きしているのかどうかかわからずとも念を押して聞くことは失礼に当り聞き難い。	女	70代	
副作用のんでみないと出るかどうかかわからないと医者に言われた。	女	60代	

注)内容につきましては、調査の趣旨に沿って要約または修正を行っています。

C票(1年間取り組んできたサービス等の満足度を中心とした調査)からみた生活状況の概要
男女別・年代別の「②-4 その他注意している点」

参考18

内 容	性別	年代	備考
薬を飲んだ後に副作用の兆候がないか常に注意している。	女	40代	
特になし	女	60代	
肌が弱いので首周りに直接当るようなセーターや肌着は避ける	男	40代	
入院しなければならぬ時は、視力障害、常にせきが出る、つめがないので細かいことができない(時間がかかる)等、看護師さんや、同室の患者さんに理解してもらえず困った。1人部屋は高いのでつらいです。	女	60代	
症状が悪化して戻らない	男	40代	
昭和53年障害者になって、家に帰ってきてから、一度も医療を受けた事なく、この40年余り元気でよく喰べている。	女	40代	
使用してはいけないクスリは必ず伝える。	女	60代	

注)内容につきましては、調査の趣旨に沿って要約または修正を行っています。

C票(1年間取り組んできたサービス等の満足度を中心とした調査)からみた生活状況の概要
 男女別・年代別の「③-1 過去にあった困ったこと」

(1. 外出に関すること 2. 仕事に関すること 3. 日常生活に関すること 4. その他)

区分	内容	性別	年代	備考
1	地元のコンビニ来店時に、客扱いされなかった。	男	40代	
1	一人での外出が困難	男	50代	
3	目の痛みが増えた・生活の不安	男	50代	
3	65歳から重度障害者は、後期高齢者になること、保険料や、介護費用等、又、仕事もできなくなってきたの で、不安だし、困っている	女	60代	
3	視力が低下したため、仕事、日常生活に影響が出ている	男	50代	
3	常に介護が必要なため。	男	70代	
3	日常生活において、自分でできないことは、それぞれ、適所に相談し、サポートして頂きました。	女	50代	
3	目の痛みと息苦しさで、日常生活がづらい。	女	40代	
4	視力低下・眼圧が上がってきて下がりません	女	50代	
4	悪くなっているのを実感しているみたい。	女	60代	
4	胃のチューブが抜けてしまった。	-	-	
4	夫が不在の時、行動が制約される。健康維持の為に運動がしたいが、適当な施設が判らなかつた。	女	70代	
4	呼吸器機能の低下でADLが下がった。	-	-	
4	視力低下、呼吸機能低下	女	50代	
4	視力の混濁が進行しているように思える。	女	70代	
4	体調悪い時、公的機関からの手紙etc	女	80代	
4	体力的におとろえた	女	80代	
4	バギーに長い時間乗っていると具合が悪くなる時がある	-	-	
4	発症以来大学病院で複数の科で診てもらっているが、安定してきたことで診察を打ち切られる。(初診料が高い)	男	60代	
4	母の老化と、障害者が体重増え、介護大変。母より先に死なせるには、どうすればよいか、楽に死なせてやりたい。	女	40代	
4	発作の薬を合わすのが大変	-	-	

注)内容につきましても、調査の趣旨に沿って要約または修正を行っています。

C票(1年間取り組みんできたサービス等の満足度を中心とした調査)からみた生活状況の概要
男女別・年代別の「③-4 解決策(解決した方)」

(1. 心身機能 2. 身体構造 3. 活動 4. 参加 5. 環境因子 6. その他)

区分	内 容	性別	年代	備考
1	気持ちのゆとり	-	-	
3	ケアマネジャーの紹介で、介護予防に適した運動の出来る施設に通所出来るようになった。	女	70代	
3	日常生活において、自分でできないことは、それぞれ、適所に相談し、サポートして頂きました。	女	50代	
5	ホームヘルパーにたのむ	女	80代	
5	身内の者や 解決できた	女	60代	
5	たまたま主治医が自宅近くの病院に来られることになり、引き続きその病院で診てもらえることになった。	男	60代	
5	バギーの頭を下げる(フラットにする)	-	-	
5	家族の協力で解決した。	男	50代	
6	病院で主治医が処置。	-	-	

注)内容につきましては、調査の趣旨に沿って要約または修正を行っています。

C票(1年間取り組みできたサービス等の満足度を中心とした調査)からみた生活状況の概要
男女別・年代別の「③-5 解決策(解決していない方)」

(1. 心身機能 2. 身体構造 3. 活動 4. 参加 5. 環境因子 6. その他)

区分	内 容	性別	年代	備考
2	視力の回復、眼の不快感の軽減	男	50代	
2	視力低下が止まること、すこしでも見えること、よくなること、どんどん低下してはいるのではないか	女	70代	
3	来店拒否したコンビニ店員が働いている時間の来店を避ける	男	40代	
6	解決策が思い当たらない	男	50代	
6	ないと思う	女	80代	
6	ムリ	女	60代	
6	解決策なし	男	40代	
6	このような重度障害者は、楽に死なせてあげ、法律を作ってもらう事。きれいな事をうわの空で説いても仕方ない。母より先に楽に死なせてやる方法を考えている。(施設等は信用出来ない。入れられるのが、不ピンである。)	女	40代	
6	医学の進歩	女	60代	
6	解決する方法がない。	-	-	

注)内容につきましては、調査の趣旨に沿って要約または修正を行っています。

C票(1年間取り組んできたサービス等の満足度を中心とした調査)からみた生活状況の概要
 男女別・年代別の「④-1 満足度の理由」
 (1. 満足 2. やや満足 3. やや不満 4. 不満)

区分	内 容	性別	年代	備考
1	体調が安定しているから	男	40代	
2	旅行も出来たし、趣味の活動も出来たし、現状の能力に応じたレベルの生活を楽しめた。	女	70代	
2	自分で出来る事が減ったため	女	80代	
2	眼の症状が悪いながらも大きな変化がなく、おちついている。	女	60代	
2	子供達の成長と近所の友人の他に入院時に知り合った同じSJSの皆様と意見交換が出来る様になったこと	女	40代	
2	身内に迷惑をかけずに生活する事が出来る(経済的)	女	60代	
2	家族が助けてくれる。	女	50代	
2	日常生活において特に変化がみられないため。	男	60代	
2	なし	男	20代	
2	福祉制度が充実してきた。	男	60代	
3	一昨年より視力が低下しているため	男	50代	
3	外出する際、周囲に対して不安感や不便さを感じることもあるが、そのほかには特に不便さを感じずに過ごせたため	女	60代	
3	余暇活動で始めてスポーツ観戦ができて良かったが、仕事が無く生活に困窮している。	男	40代	
3	加齢とともに炎症などが治りにくくなった。	男	40代	
3	一人での外出が不安	女	70代	
4	生活する上で、365日、24時間、人の手を借りなければ生活ができないから。	男	60代	
4	著しい生活制限があり、やりたいと思いう事が出来ない。	女	40代	
4	相手の表情が理解がむずかしい事	女	60代	
4	思い通りに日常生活を送る事出来ない(時間がかかると、物にあたり時々ケガする。	女	80代	
4	眼の不快感が増えた	男	50代	
4	見たいものがみれない。見えない。	男	50代	
4	先行の不安、副作用なのに認定されていないこと、目の痛みや体の不調	女	60代	
4	不安定な眼の状態	女	50代	
4	見えない事がくやしい	男	50代	
4	見えないから、とくに足許!!!	女	70代	
4	行動範囲が病状により制限されているため。	-	-	
4	年を重ねるので、だんだん不安が大きくなる。	女	60代	

注)内容につきましては、調査の趣旨に沿って要約または修正を行っています。

C票(1年間取り組んできたサービス等の満足度を中心とした調査)からみただ生活状況の概要
男女別・年代別の「⑤ 日常生活を満足するために一番やりたいこと」

参考23

内 容	性別	年代	備考
レストラン等に食事を食べに行きたい	男	80代	
子供たちの成長した姿を見たい	男	60代	
就職又は起業	男	40代	
良い病院に行けること、副作用認定の制度(規定)が進化すること	女	60代	
人との対話をいかにも上手に出来る様になる為幅広い知識(雑学もよし)を得るべく努力しているそうです。	女	40代	
居宅の周囲をぐるぐるがせいいっぱいです。	女	70代	
自律した生活。できれば、誰かの(何かの)役に立ちたい	女	50代	
温泉旅行でのんびり、おいしい食事	女	60代	
抑制(両腕)頭部されている(24時間)	-	-	

注)内容につきましては、調査の趣旨に沿って要約または修正を行っています。

C票(1年間取り組みできたサービス等の満足度を中心とした調査)からみた生活状況の概要
 男女別・年代別の「⑤-2 一番やりたいことを実現できるかどうか」

(1. 経済的理由 2. 健康上の理由 3. 精神的理由 4. 家族や友人に関する理由 5. 周辺環境 6. その他)

区分	内容	性別	年代	備考
1	・今現在、視力回復は難しいから・経済的に難しい(障害年金のみ)・体力的に就労も難しい	男	50代	
1	経費がかかる、交通の便が悪い	女	60代	
1	時間、金銭的な問題	男	50代	
1	就職活動の成果が見られなかったり、起業するにも必要な人手、資金、場所と地域理解が得られない。	男	40代	
2	視力がもどらないから	男	60代	
2	日々の体調管理をしっかりと行う。	女	40代	
3	気分がのらなくなった為	女	80代	
3	状態が落ちついているから	-	-	
4	一緒に出かけてくれる友人や姉妹がいるから	女	60代	
4	移動する際の交通機関利用時にサポートしてくれる友人などの気を許せる人の同伴してくれれば実現できると思う	女	60代	
4	家族が協力してくれる	女	50代	
4	家族の協力があるので、可能	男	50代	
4	家族や友人のサポートがあるから。	女	70代	
4	点字教室の仲間が刺激となる。	男	60代	
4	母親が同行できるので	女	30代	
5	家は馴れているので安心できるので。一歩でも出ると外はわからない世界が広がって不安です。危くて、とても行動出来ません。	女	70代	
5	介護者がいないと外出出来ないため	女	80代	
5	介護保険のヘルパーでは対応できない	男	80代	
5	外出は不安だから。	男	50代	
5	団地で活動するのは、障害がさまざまなのでむずかしい。	-	-	
5	周りの人達(家族)が協力してくれるから。	女	40代	
6	活動中	女	50代	
6	患者会の活動を通して行なう為。	女	60代	
6	頑張ります	女	50代	
6	通所施設でつれてってくれる	-	-	
6	入院手続きに2ヶ月掛かる。	-	-	
6	年に2回は行く計画している。	女	60代	
6	人は言葉を使って自分を表現出来ると思っているから	女	40代	
6	古い制度を用いていること、病院等の情報が少ないこと	女	60代	
6	他に方法がない	-	-	
6	もし実現できたとしても、あまり見えないために充分に楽しむことができない気がする。	男	60代	
6	よく見えないため	女	70代	

注)内容につきましても、調査の趣旨に沿って要約または修正を行っています。

C票(1年間取り組みできたサービス等の満足度を中心とした調査)からみた生活状況の概要
男女別・年代別の「⑥ 日常生活で工夫したこと」

(1. 生活環境、家屋等の構造の工夫 2. サービスの活用 3. 補助器具等の活用 4. 生活習慣の工夫 5. 精神面の工夫 6. その他)

区分	内容	性別	年代	備考
1	家で段差のあるところに目印をつけておく。危ないので、軽い食器を使うようにしている	女	60代	
1	コードにカバーをかける	男	50代	
2	食品の賞味期限のチェックをホームヘルパー訪問時にもらっている。電子レンジや電磁調理器は点字表示のものを使用している	男	40代	
2	新しい盲導犬が来て、活動の質をあげるよう努力したい。	女	70代	
3	音声の出る電子レンジに変えた	男	50代	
4	上の不安からのがれるように、家事に気持ちを向ける。体はつらいけど仕事をがんばる	女	60代	
4	階段の数をかぞえながらのぼりおろす。	女	50代	
4	食事は出来るだけ添加物を使わない。購入する際は食品表示はチェックする。	男	50代	
6	今までと同じ	女	80代	
6	室内ダンス、自己流で踊る。	女	70代	
6	他人の話を自分の尺度で判断しないを心掛けています	女	40代	
6	特にありません	女	40代	
6	特にありません。	女	40代	
6	特になし	男	50代	
6	特になし	女	60代	
6	なし	男	20代	

注)内容につきましては、調査の趣旨に沿って要約または修正を行っています。

C票(1年間取り組んできたサービス等の満足度を中心とした調査)からみた生活状況の概要
 男女別・年代別の「⑧ 必要な福祉サービスなどについてご意見、ご要望」
 (1. 介護サービス(介助者関係) 2. 制度の充実 3. 施設面 4. その他)

区分	内 容	性別	年代	備考
1	自治体による格差が多くなっている。大阪では医療費の負担が多くなってきた。福祉サービスを受けるための書類の書き方が分かりにくい。当報告書もメール解答できるようにしてほしい。地元図書館、福祉センターでの代読・代筆サービスが受けられる機会を作ってほしい。自宅以外の実家においてもサポートを受けられるヘルパー制度を設置してほしい。	男	50代	
1	親が行っている事を、親で出来なくなったり時に代行してくれる人物があると良いと思う。	男	40代	
1	親が調子の悪い時に緊急に家へ来てくれるサービス	-	-	
1	介護タクシー情報	-	-	
1	ガイドヘルパーの数が不足している為か、急に家族不在の折など利用が困難な場合がかなりある。	女	80代	
1	家事援助の利用回数を増やしたい。	女	70代	
1	こちらから調べてたずねると色々な活動や情報を教えて下さるが、福祉側から直接的には教えてくれないので、もっと、情報を提供してもらいたいと思います。	女	40代	
1	サービスを受ける為の料金が高い。	男	60代	
1	自己負担なくサービスを利用できたら良い。	男	70代	
1	症状の悪化、日内変化、日による変化、福祉・医療の連携、新しい技術に期待	男	60代	
1	専任の看護士さんが欲しい。(1日間で良いので)	男	40代	
2	公共交通機関が不十分なので車での移動支援もお願いしたいです。	-	-	
2	ショートステイの人数制限があるので、急に預ける事ができない	男	40代	
2	配食サービス	-	-	
3	もう少し(仕事ができなくなった時)年を老いたら、一般の介護のように、国民年金だけでも、入所できるホームがあるといい。(難病者向け)病状によって、入院した場合、目が見えないので、トイレがついた個室等医療の関係にお願	女	60代	
3	津の視覚障害者協会に白杖相談で出掛けたのだが(自家用車)津は(約数十km)あまりにも遠い。ぐったり疲れる。	女	70代	
4	今のところ姉妹や子供達、友人に助けてもらっているのが福祉サービスは受けなくても大丈夫だと思う。	女	60代	
4	思いつかない	女	80代	
4	特にありません	女	40代	
4	特になし	男	50代	
4	ない	男	20代	
4	皆さんに助けていただき、感謝の気持です。	女	60代	
4	利用していないので特になし。	女	60代	

注)内容につきましても、調査の趣旨に沿って要約または修正を行っています。

C票(1年間取り組みできたサービス等の満足度を中心とした調査)からみた生活状況の概要

男女別・年代別の「⑨ 今必要な情報について具体的に知りたいこと」

(1. 医療・福祉サービス 2. 年金 3. 趣味・娯楽 4. 住環境 5. 社会活動・就職 6. 経済面 7. その他)

区分	内容	性別	年代	備考
1	IPS細胞での治療	男	40代	
1	SJSの目の治療について知りたい。救済制度の見直し等あるのかわからないのか知りたい。	女	60代	
1	眼科と呼吸器科の情報。	女	40代	
1	救済処置がどのようになっているのか？	女	80代	
1	最先端の医療	女	30代	
1	小児科を卒業してからの通院	-	-	
1	治療に関する情報が知りたい。	男	70代	
1	福祉サービスの内容が知りたい	男	70代	
4	健康づくりの食事、運動など	女	60代	
6	現在無職で、これから起業しようとしているので、NPOの立ち上げや運営に関すること。	男	40代	
6	入所施設がほとんどなく、グループホームもなかなか増えない。親亡きあと、どうなるか心配。	-	-	
7	加入出来る保険等を知りたい	男	50代	

注)内容につきましては、調査の趣旨に沿って要約または修正を行っています。

V 用語の解説

【用語の解説】

1 独立行政法人医薬品医療機器総合機構

概要

医薬品医療機器総合機構は、平成13年に閣議決定された特殊法人等整理合理化計画を受けて、国立医薬品食品衛生研究所医薬品医療機器審査センターと医薬品副作用被害救済・研究振興調査機構および財団法人医療機器センターの一部の業務を統合し、独立行政法人医薬品医療機器総合機構法に基づき平成16年4月1日に設立された。

当機構は、医薬品の副作用や生物由来製品を介した感染等による健康被害に対して、迅速な救済を図り（健康被害救済）、医薬品や医療機器等の品質、有効性および安全性について、治験前から承認までを一貫した体制で指導・審査し（承認審査）、市販後における安全性に関する情報の収集、分析、提供を行う（安全対策）ことを通じて、国民保健の向上に貢献することを目的としている。

名 称：独立行政法人 医薬品医療機器総合機構

Pharmaceuticals and Medical Devices Agency (PMDA)

設 立：平成16年4月1日

法人の種別：非公務員型独立行政法人

2 医薬品副作用被害救済制度

創設：昭和55年5月1日

医薬品を適正に使用したにもかかわらず発生した副作用により入院治療が必要な程度の疾病や障害等の健康被害を受けた方に対して各種の副作用救済給付を行い、被害者の迅速な救済を図ることを目的とし、医薬品医療機器総合機構法に基づく公的制度として設けられた。

救済給付に必要な費用は、医薬品の製造販売業者がその社会的責任に基づいて納付する拠出金が原資となっている。

3 保健福祉事業

保健福祉事業は、昭和54年10月に医薬品副作用被害救済基金（現医薬品医療機器総合機構）が設立される際、救済制度の目的が医薬品の副作用による健康被害の迅速な救済を図ることにより、この目的の達成には、健康被害者について救済給付の支給以外に保健福祉事業を行う必要のある場合が考えられることから法制化された。

当初、事業内容としては、医薬品の副作用による健康被害の治療研究等が考えられていた。

具体的には、救済給付を行った死亡、障害等重篤の事例等について、早期診断、治療等に関する研究を行うことにより、救済給付の受給者及び今後発生する健康被害者の治療に役立てること。

根拠 独立行政法人医薬品医療機器総合機構法（平成 14 年 12 月 20 日 法律第 192 号）
第三条 独立行政法人医薬品医療機器総合機構（以下「機構」という。）は、医薬品の副作用又は生物由来製品を介した感染等による健康被害の迅速な救済を図り、並びに医薬品等の品質、有効性及び安全性の向上に資する審査等の業務を行い、もって国民保健の向上に資することを目的とする。

第四条～第十四条 略

第十五条 機構は、第三条の目的を達成するため、次の業務を行う。

一 医薬品の副作用による健康被害の救済に関する次に掲げる業務

イ 医薬品の副作用による疾病、障害又は死亡につき、医療費、医療手当、障害年金、障害児養育年金、遺族年金、遺族一時金及び葬祭料の給付（以下「副作用救済給付」という。）を行うこと。

ロ 次条第一項第一号及び第二号に掲げる給付の支給を受ける者並びに同項第三号に掲げる給付の支給を受ける者に養育される同号に規定する十八歳未満の者について保健福祉事業を行うこと。

ハ～ニ 略

二～五 略

2 略

4 ライ症候群【英字】（Reye's syndrome）

インフルエンザや水ぼうそう等のウイルス性疾患にかかった小児に、アスピリン等のサリチル酸系を投与すると、その後嘔吐、意識障害、けいれん等の急性症状を起こす。予後は悪く死亡率は高い。

5 S J S（スティーブンス・ジョンソン症候群【英字】（Stevens-Johnson syndrome））

皮膚粘膜眼症候群。皮膚粘膜等に発生する高熱性、炎症性の疾患。全身倦怠、食欲不振につづき結膜炎、口内炎、外陰部の炎症を伴う。気管支炎をおこすこともある。原因は不明であるが薬物、ウイルス等が考えられる。

6 QOL（生活の質）【英字】（quality of life）

一般に生活を物質的や技術的で量的側面からではなく、内容としての質的側面から捉え、生活者自身の満足感、幸福感、安心感、安定感等の諸要因のことをいう。医療、福祉、政策、環境等の広い分野で使われ、ADL、IADL、労働問題、情報保障、自己選択、自己決定、自己実現、障害や差別の改善等がある。生活環境を整え、健康で文化的な生活の向上を目指していて、価値観も含む。

7 ADL【英字】（activities of daily living）

日常生活動作の事。人間が毎日の生活を送るための基本的動作の事。

8 IADL【英字】（instrumental activities of daily living）

手段的日常生活動作の事。ADLが食事、入浴、排泄等の日常的の基本動作であるのに対し、IADLは電話の使い方、買い物、食事の支援、家事、洗濯、移動、外出、服薬の管理、金銭の管理の八項目で構成されておりADLで使用する動作を応用した動作が必要な活動を指す。

9 訪問介護（ホームヘルプ）

高齢者、障害者、難病患者等を対象に、家庭等にホームヘルパーを派遣し、入浴、排せつ、食事等の介護、調理、洗濯、掃除等の家事や生活等に関する相談、助言等日常生活上の世話をを行うサービス。巡回型と滞在型がある。

10 訪問入浴介護

介護保険の給付対象となる居宅サービスの1つで、在宅の要介護者等の居宅を訪問して行われる入浴の介護のことを指す。

11 訪問看護

居宅で介護を受ける要介護者・要支援者に、看護師、准看護師、保健師、理学療法士、作業療法士等が訪問して、必要な診療の補助を行うことを指す。

12 訪問リハビリテーション

要介護者等の居宅において、心身の機能の維持回復を図り、日常生活の自立を助けるために行われる理学療法、作業療法、その他必要なりハビリテーションを指す。

13 居宅療養管理指導

医師、歯科医師、薬剤師等が利用者宅を訪問し、療養上の管理や指導を行う介護保険の居宅サービスのひとつ。

14 通所介護（デイサービス）

在宅の高齢者等に施設に通ってもらい、生活指導・機能訓練・食事・入浴・健康チェック等のさまざまなサービスを日帰りで提供するサービス。

15 通所リハビリテーション（デイケア）

精神症状や問題行動が激しい痴呆性老人を対象とするデイケアで、生活機能の回復への訓練や指導、家族に対する介護指導を行う。

1 6 短期入所（ショートステイ）

居宅で暮らす要介護者について、介護を行う者の疾病その他の理由により、老人短期入所施設、特別養護老人ホーム、障害者支援施設等の福祉施設に短期間入所させ入浴、排泄、食事等の介護その他の日常生活上の世話および機能訓練を行うことである。

1 7 移送サービス

交通機関の利用が難しい高齢者や障害者を対象に、運転・介助等を行う送迎サービス。

1 8 同行援護

障害者自立支援法の地域生活支援事業において、視覚障害者が外出する際、その障害者に同行し、移動に必要な情報の提供や移動の援護等を行うこと。

1 9 就労移行支援

就労を希望する 65 歳未満の障害者に対して、生産活動、職場体験その他の活動の機会の提供、その他の就職に必要な知識及び能力の向上の為に必要な訓練、求職活動に関する支援、その適性に応じた職場の開拓、就職後における職場への定着の為に必要な相談、その他の必要な支援を行うこと。

2 0 就労継続支援 A 型

障害により通常の事業所に雇用されることが困難であって、雇用契約に基づく就労が可能である者に対して行う雇用契約の締結等による就労の機会の提供および生産活動の機会の提供その他の就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練その他の必要な支援事業のこと。

2 1 就労継続支援 B 型

障害により通常の事業所に雇用されることが困難であって、雇用契約に基づく就労が困難である者に対して行う就労の機会の提供及び生産活動の機会の提供その他の就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練その他の必要な支援事業のこと。

VI 保健福祉事業の一環として実施する調査研究報告書
(生活状況調査票)

※記入しないでください。

保健福祉事業の一環として実施する調査研究事業報告書 (SJS 等用)

第4・四半期分（平成30年1月～平成30年3月）

調査票記入者氏名		本人との関係	

提出方法

この保健福祉事業の一環として実施する調査研究事業報告書は、切り離さず基本情報及びA票（毎月記入用）とB票（四半期ごと記入用）とC票（年1回3月末記入用）と併せて4月1日から4月10日の間に返送願います。

問い合わせ先 独立行政法人医薬品医療機器総合機構

健康被害救済部企画管理課

〒100-0013 東京都千代田区霞が関 3-3-2

TEL:03-3506-9460

FAX:03-3506-9439

記入例

1. 健康被害者情報

基本情報

(ふりがな) きこう たろう
氏 名 機構 太郎 性別 (男) 女

生年月日 (大正) 昭和 30年00月00日
(平成)

自宅住所

(〒100-0013)

東京都千代田区霞が関0-00-0

[電話番号(00)0000-0000]

[FAX番号(00)0000-0000]

2. 家族構成

同居家族全員を記入してください。

月末日現在

副作用被害者本人との続柄をお答え下さい。	年齢	主に介護をしている方に○を付けてください。
(記入例) 母	(記入例) 60	(記入例) 主に介護をしている
父	65	主に介護をしている
		主に介護をしている
		主に介護をしている
		主に介護をしている
		主に介護をしている
		主に介護をしている

3. 障害の種類・程度

視力障害

1級

級

1. 健康被害者情報

基本情報

(ふりがな)

氏名 _____ 性別 男 女

生年月日 大正 _____ 年 月 日
昭和 _____
平成 _____

自宅住所
(〒 _____)

[電話番号 (_____) _____]
[FAX番号 (_____) _____]

2. 家族構成

同居家族全員を記入してください。

3月末日現在

副作用被害者本人との続柄をお答え下さい。	年齢	主に介護をしている方に○を付けてください。
(記入例) 母	(記入例) 60	(記入例) 主に介護をしている
		主に介護をしている
		主に介護をしている
		主に介護をしている
		主に介護をしている
		主に介護をしている
		主に介護をしている

3. 障害の種類・程度

級

級

記入例

A票

(SJS等用)

生活状況調査票

毎月記入

月末日現在

答えられる範囲でお答え下さい。

(1. 点眼液の利用状況)

現在使用している点眼液はどれですか。

- | | | | | | |
|---------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|----------|----|----|
| ① ソフトサンティア | <input checked="" type="radio"/> 右眼 | <input checked="" type="radio"/> 左眼 | ② クラビット | 右眼 | 左眼 |
| ③ ヒアレイン | 右眼 | 左眼 | ④ フルメトロン | 右眼 | 左眼 |
| ⑤ 0.1%ヒアレインミニ | 右眼 | 左眼 | ⑥ リンデロン | 右眼 | 左眼 |
| ⑦ 0.3%ヒアレインミニ | 右眼 | 左眼 | ⑧ 血清点眼 | 右眼 | 左眼 |
| ⑨ その他眼科処方薬 (内服薬を含む) | | | | | |
| (処方薬 | | |) 右眼 | 左眼 | |
| (処方薬 | | |) 右眼 | 左眼 | |
| ⑩ 涙点プラグ | <input checked="" type="radio"/> 右眼 | 左眼 | | | |

(2. 福祉サービス)

福祉サービスの利用状況についてお聞きます。

現在、受けている福祉サービスはどれですか。あてはまるものに○を付けて下さい。

(複数回答可)

- ① 障害者総合支援法に基づく福祉サービス
→ (3. 障害者総合支援法に基づく福祉サービス) へ
- ② 介護保険制度に基づく福祉サービス
→ (4. 介護保険制度に基づく福祉サービス) へ
- ③ 上記①, ②以外の福祉サービス

具体的にお書き下さい:

・遠距離の眼科に通う時の宿泊施設の利用 (ボランティア運営)

A 票

生活状況調査票

毎月記入

1 月末日現在

答えられる範囲でお答え下さい。

(1. 点眼液の利用状況)

現在使用している点眼液はどれですか。

① ソフトサンティア	右眼	左眼	② クラビット	右眼	左眼	
③ ヒアレイン	右眼	左眼	④ フルメトロン	右眼	左眼	
⑤ 0.1%ヒアレインミニ	右眼	左眼	⑥ リンデロン	右眼	左眼	
⑦ 0.3%ヒアレインミニ	右眼	左眼	⑧ 血清点眼	右眼	左眼	
⑨ その他眼科処方薬 (内服薬を含む)						
(処方薬)	右眼	左眼
(処方薬)	右眼	左眼
⑩ 涙点プラグ	右眼	左眼				

(2. 福祉サービス)

福祉サービスの利用状況についてお聞きします。
 現在、受けている福祉サービスはどれですか。あてはまるものに○を付けて下さい。
 (複数回答可)

- ① 障害者総合支援法に基づく福祉サービス
 → (3. 障害者総合支援法に基づく福祉サービス) へ
- ② 介護保険制度に基づく福祉サービス
 → (4. 介護保険制度に基づく福祉サービス) へ
- ③ 上記①, ②以外の福祉サービス

具体的に書き下さい:

記入例

(3. 障害者総合支援法に基づく福祉サービス)

福祉サービスの利用状況についてお聞きします。
各項目の今月の健康被害者の状況に最も良く当てはまる数字を1つ選んで○を付けて下さい。
(複数回答可)

① 同行援護 月に 0 日 (回)	満足 やや満足 やや不満 不満 利用していない ①・・・・②・・・・③・・・・④ ⑤
受けているサービス内容	上記の理由 必要がない
② 就労移行支援 月に 0 回	満足 やや満足 やや不満 不満 利用していない ①・・・・②・・・・③・・・・④ ⑤
受けているサービス内容	上記の理由 必要がない
③ 就労継続支援A型 月に 0 回	満足 やや満足 やや不満 不満 利用していない ①・・・・②・・・・③・・・・④ ⑤
受けているサービス内容	上記の理由 必要がない
④ 就労継続支援B型 月に 0 回	満足 やや満足 やや不満 不満 利用していない ①・・・・②・・・・③・・・・④ ⑤
受けているサービス内容	上記の理由 必要がない
⑤ 上記以外のサービス 月に 0 回 (サービス名：)	満足 やや満足 やや不満 不満 利用していない ①・・・・②・・・・③・・・・④ ⑤
(サービス名：)	上記の理由 必要がない

次頁へ続く↓

(3. 障害者総合支援法に基づく福祉サービス)

福祉サービスの利用状況についてお聞きします。
 各項目の今月の健康被害者の状況に最も良く当てはまる数字を1つ選んで○を付けて下さい。
 (複数回答可)

① 同行援護 月に 日(回)	満足 やや満足 やや不満 不満 利用していない ①.....②.....③.....④ ⑤
受けているサービス内容	上記の理由
② 就労移行支援 回	満足 やや満足 やや不満 不満 利用していない ①.....②.....③.....④ ⑤
受けているサービス内容	上記の理由
③ 就労継続支援A型 回	満足 やや満足 やや不満 不満 利用していない ①.....②.....③.....④ ⑤
受けているサービス内容	上記の理由
④ 就労継続支援B型 回	満足 やや満足 やや不満 不満 利用していない ①.....②.....③.....④ ⑤
受けているサービス内容	上記の理由
⑤ 上記以外のサービス 月に 回	満足 やや満足 やや不満 不満 利用していない ①.....②.....③.....④ ⑤
(サービス名:)	上記の理由

次頁へ続く↓

記入例

(4. 介護保険制度に基づく福祉サービス)

福祉サービスの利用状況についてお聞きします。
各項目の今月の健康被害者の状況に最も良く当てはまる数字を1つ選んで○を付けて下さい。
(複数回答可)

① 訪問介護 月に 0 日 (回)	満足 やや満足 やや不満 不満 利用していない ①…………②…………③…………④ ⑤
介護内容 1. 身体介護中心型 2. 生活援助中心型 3. 通院等乗降介助 4. その他 ()	上記の理由 必要がない
② 訪問入浴介護 月に 0 日 (回)	満足 やや満足 やや不満 不満 利用していない ①…………②…………③…………④ ⑤
	上記の理由 必要がない
③ 訪問看護 月に 0 日 (回)	満足 やや満足 やや不満 不満 利用していない ①…………②…………③…………④ ⑤
看護内容	上記の理由 必要がない
④ 訪問リハビリ 月に 0 回	満足 やや満足 やや不満 不満 利用していない ①…………②…………③…………④ ⑤
リハビリ内容	上記の理由 施設のリハビリに通っている
⑤ 居宅療養管理指導 月に 0 回	満足 やや満足 やや不満 不満 利用していない ①…………②…………③…………④ ⑤
指導内容	上記の理由 必要がない

次頁へ続く↓

(4. 介護保険制度に基づく福祉サービス)

福祉サービスの利用状況についてお聞きします。 各項目の今月の健康被害者の状況に最も良く当てはまる数字を1つ選んで○を付けて下さい。 (複数回答可)	
① 訪問介護 月に 日 (回)	満足 やや満足 やや不満 不満 利用していない ①.....②.....③.....④ ⑤
介護内容 1. 身体介護中心型 2. 生活援助中心型 3. 通院等乗降介助 4. その他 ()	上記の理由
② 訪問入浴介護 月に 日 (回)	満足 やや満足 やや不満 不満 利用していない ①.....②.....③.....④ ⑤
	上記の理由
③ 訪問看護 月に 日 (回)	満足 やや満足 やや不満 不満 利用していない ①.....②.....③.....④ ⑤
看護内容	上記の理由
④ 訪問リハビリ 月に 回	満足 やや満足 やや不満 不満 利用していない ①.....②.....③.....④ ⑤
リハビリ内容	上記の理由
⑤ 居宅療養管理指導 月に 回	満足 やや満足 やや不満 不満 利用していない ①.....②.....③.....④ ⑤
指導内容	上記の理由

次頁へ続く↓

記入例

⑥ 通所介護 月に 8 回	満足 やや満足 やや不満 不満 利用していない ①.....②.....③.....④ ⑤
介護内容 入浴 食事介助	上記の理由 職員が親切である
⑦ 通所リハビリ 月に 8 回	満足 やや満足 やや不満 不満 利用していない ①.....②.....③.....④ ⑤
リハビリ内容 運動機能を訓練	上記の理由 効果が現れない
⑧ 短期入所 月に 0 回	満足 やや満足 やや不満 不満 利用していない ①.....②.....③.....④ ⑤
入所内容 1. 短期入所療養介護 2. 短期入所生活介護 (ショートステイ) 3. その他 ()	上記の理由 必要がない
⑨ 送迎サービス 月に 8 回	満足 やや満足 やや不満 不満 利用していない ①.....②.....③.....④.....⑤
サービス内容 施設への送迎	上記の理由 月に利用できる回数を増やしてほしい
⑩ 上記以外の福祉サービス 月に 0 回	満足 やや満足 やや不満 不満 利用していない ①.....②.....③.....④ ⑤
サービス内容 :	上記の理由 どのようなサービスがあるかわからない

⑥ 通所介護 月に 回	満足 やや満足 やや不満 不満 利用していない ①・・・・②・・・・③・・・・④ ⑤
介護内容	上記の理由
⑦ 通所リハビリ 月に 回	満足 やや満足 やや不満 不満 利用していない ①・・・・②・・・・③・・・・④ ⑤
リハビリ内容	上記の理由
⑧ 短期入所 月に 回	満足 やや満足 やや不満 不満 利用していない ①・・・・②・・・・③・・・・④ ⑤
入所内容 1. 短期入所療養介護 2. 短期入所生活介護 (ショートステイ) 3. その他 ()	上記の理由
⑨ 送迎サービス 月に 回	満足 やや満足 やや不満 不満 利用していない ①・・・・②・・・・③・・・・④ ⑤
サービス内容	上記の理由
⑩ 上記以外の福祉サービス 月に 回	満足 やや満足 やや不満 不満 利用していない ①・・・・②・・・・③・・・・④ ⑤
サービス内容：	上記の理由

記入例

A票

(S J S等用)

生活状況調査票

毎月記入

月末日現在

答えられる範囲でお答え下さい。

(1. 点眼液の利用状況)

現在使用している点眼液はどれですか。

- | | | | | | |
|---------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|----------|----|----|
| ① ソフトサンティア | <input checked="" type="radio"/> 右眼 | <input checked="" type="radio"/> 左眼 | ② クラビット | 右眼 | 左眼 |
| ③ ヒアレイン | 右眼 | 左眼 | ④ フルメトロン | 右眼 | 左眼 |
| ⑤ 0.1%ヒアレインミニ | 右眼 | 左眼 | ⑥ リンデロン | 右眼 | 左眼 |
| ⑦ 0.3%ヒアレインミニ | 右眼 | 左眼 | ⑧ 血清点眼 | 右眼 | 左眼 |
| ⑨ その他眼科処方薬 (内服薬を含む) | | | | | |
| (処方薬 | | |) 右眼 | 左眼 | |
| (処方薬 | | |) 右眼 | 左眼 | |
| ⑩ 涙点プラグ | <input checked="" type="radio"/> 右眼 | 左眼 | | | |

(2. 福祉サービス)

福祉サービスの利用状況についてお聞きます。

現在、受けている福祉サービスはどれですか。あてはまるものに○を付けて下さい。

(複数回答可)

- ① 障害者総合支援法に基づく福祉サービス
→ (3. 障害者総合支援法に基づく福祉サービス) へ
- ② 介護保険制度に基づく福祉サービス
→ (4. 介護保険制度に基づく福祉サービス) へ
- ③ 上記①, ②以外の福祉サービス

具体的にお書き下さい:

・遠距離の眼科に通う時の宿泊施設の利用 (ボランティア運営)

A 票

生活状況調査票

毎月記入

2月末日現在

答えられる範囲でお答え下さい。

(1. 点眼液の利用状況)

現在使用している点眼液はどれですか。

① ソフトサンティア	右眼	左眼	② クラビット	右眼	左眼
③ ヒアレイン	右眼	左眼	④ フルメトロン	右眼	左眼
⑤ 0.1%ヒアレインミニ	右眼	左眼	⑥ リンデロン	右眼	左眼
⑦ 0.3%ヒアレインミニ	右眼	左眼	⑧ 血清点眼	右眼	左眼
⑨ その他眼科処方薬 (内服薬を含む)					
(処方薬)	右眼 左眼
(処方薬)	右眼 左眼
⑩ 涙点プラグ	右眼	左眼			

(2. 福祉サービス)

福祉サービスの利用状況についてお聞きします。
 現在、受けている福祉サービスはどれですか。あてはまるものに○を付けて下さい。
 (複数回答可)

- ① 障害者総合支援法に基づく福祉サービス
 → (3. 障害者総合支援法に基づく福祉サービス) へ
- ② 介護保険制度に基づく福祉サービス
 → (4. 介護保険制度に基づく福祉サービス) へ
- ③ 上記①, ②以外の福祉サービス

具体的に書き下さい:

記入例

(3. 障害者総合支援法に基づく福祉サービス)

福祉サービスの利用状況についてお聞きします。
各項目の今月の健康被害者の状況に最も良く当てはまる数字を1つ選んで○を付けて下さい。
(複数回答可)

① 同行援護 月に 0 日(回)	満足 やや満足 やや不満 不満 利用していない ①.....②.....③.....④ ⑤
受けているサービス内容	上記の理由 必要がない
② 就労移行支援 0 回	満足 やや満足 やや不満 不満 利用していない ①.....②.....③.....④ ⑤
受けているサービス内容	上記の理由 必要がない
③ 就労継続支援A型 0 回	満足 やや満足 やや不満 不満 利用していない ①.....②.....③.....④ ⑤
受けているサービス内容	上記の理由 必要がない
④ 就労継続支援B型 0 回	満足 やや満足 やや不満 不満 利用していない ①.....②.....③.....④ ⑤
受けているサービス内容	上記の理由 必要がない
⑤ 上記以外のサービス 月に 0 回 (サービス名:)	満足 やや満足 やや不満 不満 利用していない ①.....②.....③.....④ ⑤
(サービス名:)	上記の理由 必要がない

次頁へ続く↓

(3. 障害者総合支援法に基づく福祉サービス)

福祉サービスの利用状況についてお聞きします。
 各項目の今月の健康被害者の状況に最も良く当てはまる数字を1つ選んで○を付けて下さい。
 (複数回答可)

① 同行援護 月に 日 (回)	満足 やや満足 やや不満 不満 利用していない ①.....②.....③.....④ ⑤
受けているサービス内容	上記の理由
② 就労移行支援 回	満足 やや満足 やや不満 不満 利用していない ①.....②.....③.....④ ⑤
受けているサービス内容	上記の理由
③ 就労継続支援A型 回	満足 やや満足 やや不満 不満 利用していない ①.....②.....③.....④ ⑤
受けているサービス内容	上記の理由
④ 就労継続支援B型 回	満足 やや満足 やや不満 不満 利用していない ①.....②.....③.....④ ⑤
受けているサービス内容	上記の理由
⑤ 上記以外のサービス 月に 回	満足 やや満足 やや不満 不満 利用していない ①.....②.....③.....④ ⑤
(サービス名 :)	上記の理由

次頁へ続く↓

記入例

(4. 介護保険制度に基づく福祉サービス)

福祉サービスの利用状況についてお聞きします。
各項目の今月の健康被害者の状況に最も良く当てはまる数字を1つ選んで○を付けて下さい。
(複数回答可)

① 訪問介護 月に 0 日 (回)	満足 やや満足 やや不満 不満 利用していない ①・・・・②・・・・③・・・・④ ⑤
介護内容 1. 身体介護中心型 2. 生活援助中心型 3. 通院等乗降介助 4. その他 ()	上記の理由 必要がない
② 訪問入浴介護 月に 0 日 (回)	満足 やや満足 やや不満 不満 利用していない ①・・・・②・・・・③・・・・④ ⑤
	上記の理由 必要がない
③ 訪問看護 月に 0 日 (回)	満足 やや満足 やや不満 不満 利用していない ①・・・・②・・・・③・・・・④ ⑤
看護内容	上記の理由 必要がない
④ 訪問リハビリ 月に 0 回	満足 やや満足 やや不満 不満 利用していない ①・・・・②・・・・③・・・・④ ⑤
リハビリ内容	上記の理由 施設のリハビリに通っている
⑤ 居宅療養管理指導 月に 0 回	満足 やや満足 やや不満 不満 利用していない ①・・・・②・・・・③・・・・④ ⑤
指導内容	上記の理由 必要がない

次頁へ続く↓

(4. 介護保険制度に基づく福祉サービス)

福祉サービスの利用状況についてお聞きします。 各項目の今月の健康被害者の状況に最も良く当てはまる数字を1つ選んで○を付けて下さい。 (複数回答可)	
① 訪問介護 月に 日 (回)	満足 やや満足 やや不満 不満 利用していない ①・・・・②・・・・③・・・・④ ⑤
介護内容 1. 身体介護中心型 2. 生活援助中心型 3. 通院等乗降介助 4. その他 ()	上記の理由
② 訪問入浴介護 月に 日 (回)	満足 やや満足 やや不満 不満 利用していない ①・・・・②・・・・③・・・・④ ⑤
	上記の理由
③ 訪問看護 月に 日 (回)	満足 やや満足 やや不満 不満 利用していない ①・・・・②・・・・③・・・・④ ⑤
看護内容	上記の理由
④ 訪問リハビリ 月に 回	満足 やや満足 やや不満 不満 利用していない ①・・・・②・・・・③・・・・④ ⑤
リハビリ内容	上記の理由
⑤ 居宅療養管理指導 月に 回	満足 やや満足 やや不満 不満 利用していない ①・・・・②・・・・③・・・・④ ⑤
指導内容	上記の理由

次頁へ続く↓

記入例

⑥ 通所介護 月に 8 回	満足 やや満足 やや不満 不満 利用していない ①・・・・②・・・・③・・・・④ ⑤
介護内容 入浴 食事介助	上記の理由 職員が親切である
⑦ 通所リハビリ 月に 8 回	満足 やや満足 やや不満 不満 利用していない ①・・・・②・・・・③・・・・④ ⑤
リハビリ内容 運動機能を訓練	上記の理由 効果が現れない
⑧ 短期入所 月に 0 回	満足 やや満足 やや不満 不満 利用していない ①・・・・②・・・・③・・・・④ ⑤
入所内容 1. 短期入所療養介護 2. 短期入所生活介護 (ショートステイ) 3. その他 ()	上記の理由 必要がない
⑨ 送迎サービス 月に 8 回	満足 やや満足 やや不満 不満 利用していない ①・・・・②・・・・③・・・・④ ⑤
サービス内容 施設への送迎	上記の理由 月に利用できる回数を増やしてほしい
⑩ 上記以外の福祉サービス 月に 0 回	満足 やや満足 やや不満 不満 利用していない ①・・・・②・・・・③・・・・④ ⑤
サービス内容 :	上記の理由 どのようなサービスがあるかわからない

⑥ 通所介護 月に 回	満足 やや満足 やや不満 不満 利用していない ①・・・・②・・・・③・・・・④ ⑤
介護内容	上記の理由
⑦ 通所リハビリ 月に 回	満足 やや満足 やや不満 不満 利用していない ①・・・・②・・・・③・・・・④ ⑤
リハビリ内容	上記の理由
⑧ 短期入所 月に 回	満足 やや満足 やや不満 不満 利用していない ①・・・・②・・・・③・・・・④ ⑤
入所内容 1. 短期入所療養介護 2. 短期入所生活介護 (ショートステイ) 3. その他 ()	上記の理由
⑨ 送迎サービス 月に 回	満足 やや満足 やや不満 不満 利用していない ①・・・・②・・・・③・・・・④ ⑤
サービス内容	上記の理由
⑩ 上記以外の福祉サービス 月に 回	満足 やや満足 やや不満 不満 利用していない ①・・・・②・・・・③・・・・④ ⑤
サービス内容：	上記の理由

記入例

A票

(S J S等用)

生活状況調査票

毎月記入

月末日現在

答えられる範囲でお答え下さい。

(1. 点眼液の利用状況)

現在使用している点眼液はどれですか。

- | | | | | | |
|---------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|----------|----|----|
| ① ソフトサンティア | <input checked="" type="radio"/> 右眼 | <input checked="" type="radio"/> 左眼 | ② クラビット | 右眼 | 左眼 |
| ③ ヒアレイン | 右眼 | 左眼 | ④ フルメトロン | 右眼 | 左眼 |
| ⑤ 0.1%ヒアレインミニ | 右眼 | 左眼 | ⑥ リンデロン | 右眼 | 左眼 |
| ⑦ 0.3%ヒアレインミニ | 右眼 | 左眼 | ⑧ 血清点眼 | 右眼 | 左眼 |
| ⑨ その他眼科処方薬 (内服薬を含む) | | | | | |
| (処方薬 | | |) 右眼 | 左眼 | |
| (処方薬 | | |) 右眼 | 左眼 | |
| ⑩ 涙点プラグ | <input checked="" type="radio"/> 右眼 | 左眼 | | | |

(2. 福祉サービス)

福祉サービスの利用状況についてお聞きます。

現在、受けている福祉サービスはどれですか。あてはまるものに○を付けて下さい。

(複数回答可)

- ① 障害者総合支援法に基づく福祉サービス
→ (3. 障害者総合支援法に基づく福祉サービス) へ
- ② 介護保険制度に基づく福祉サービス
→ (4. 介護保険制度に基づく福祉サービス) へ
- ③ 上記①, ②以外の福祉サービス

具体的にお書き下さい:

・遠距離の眼科に通う時の宿泊施設の利用 (ボランティア運営)

A 票

生活状況調査票

毎月記入

3月末日現在

答えられる範囲でお答え下さい。

(1. 点眼液の利用状況)

現在使用している点眼液はどれですか。

① ソフトサンティア	右眼	左眼	② クラビット	右眼	左眼
③ ヒアレイン	右眼	左眼	④ フルメトロン	右眼	左眼
⑤ 0.1%ヒアレインミニ	右眼	左眼	⑥ リンデロン	右眼	左眼
⑦ 0.3%ヒアレインミニ	右眼	左眼	⑧ 血清点眼	右眼	左眼
⑨ その他眼科処方薬 (内服薬を含む)					
(処方薬)	右眼 左眼
(処方薬)	右眼 左眼
⑩ 涙点プラグ	右眼	左眼			

(2. 福祉サービス)

福祉サービスの利用状況についてお聞きします。
 現在、受けている福祉サービスはどれですか。あてはまるものに○を付けて下さい。
 (複数回答可)

- ① 障害者総合支援法に基づく福祉サービス
 → (3. 障害者総合支援法に基づく福祉サービス) へ
- ② 介護保険制度に基づく福祉サービス
 → (4. 介護保険制度に基づく福祉サービス) へ
- ③ 上記①, ②以外の福祉サービス

具体的に書き下さい:

記入例

(3. 障害者総合支援法に基づく福祉サービス)

福祉サービスの利用状況についてお聞きします。
各項目の今月の健康被害者の状況に最も良く当てはまる数字を1つ選んで○を付けて下さい。
(複数回答可)

<p>① 同行援護 月に 0 日(回)</p>	<p>満足 やや満足 やや不満 不満 利用していない ①・・・・②・・・・③・・・・④ ⑤</p>
<p>受けているサービス内容</p>	<p>上記の理由</p> <p style="text-align: center;">必要がない</p>
<p>② 就労移行支援 月に 0 回</p>	<p>満足 やや満足 やや不満 不満 利用していない ①・・・・②・・・・③・・・・④ ⑤</p>
<p>受けているサービス内容</p>	<p>上記の理由</p> <p style="text-align: center;">必要がない</p>
<p>③ 就労継続支援A型 月に 0 回</p>	<p>満足 やや満足 やや不満 不満 利用していない ①・・・・②・・・・③・・・・④ ⑤</p>
<p>受けているサービス内容</p>	<p>上記の理由</p> <p style="text-align: center;">必要がない</p>
<p>④ 就労継続支援B型 月に 0 回</p>	<p>満足 やや満足 やや不満 不満 利用していない ①・・・・②・・・・③・・・・④ ⑤</p>
<p>受けているサービス内容</p>	<p>上記の理由</p> <p style="text-align: center;">必要がない</p>
<p>⑤ 上記以外のサービス 月に 0 回</p>	<p>満足 やや満足 やや不満 不満 利用していない ①・・・・②・・・・③・・・・④ ⑤</p>
<p>(サービス名：)</p>	<p>上記の理由</p> <p style="text-align: center;">必要がない</p>

次頁へ続く↓

(3. 障害者総合支援法に基づく福祉サービス)

福祉サービスの利用状況についてお聞きします。
 各項目の今月の健康被害者の状況に最も良く当てはまる数字を1つ選んで○を付けて下さい。
 (複数回答可)

① 同行援護 月に 日 (回)	満足 やや満足 やや不満 不満 利用していない ①.....②.....③.....④ ⑤
受けているサービス内容	上記の理由
② 就労移行支援 回	満足 やや満足 やや不満 不満 利用していない ①.....②.....③.....④ ⑤
受けているサービス内容	上記の理由
③ 就労継続支援A型 回	満足 やや満足 やや不満 不満 利用していない ①.....②.....③.....④ ⑤
受けているサービス内容	上記の理由
④ 就労継続支援B型 回	満足 やや満足 やや不満 不満 利用していない ①.....②.....③.....④ ⑤
受けているサービス内容	上記の理由
⑤ 上記以外のサービス 月に 回	満足 やや満足 やや不満 不満 利用していない ①.....②.....③.....④ ⑤
(サービス名 :)	上記の理由

次頁へ続く↓

記入例

(4. 介護保険制度に基づく福祉サービス)

福祉サービスの利用状況についてお聞きします。
 各項目の今月の健康被害者の状況に最も良く当てはまる数字を1つ選んで○を付けて下さい。
 (複数回答可)

① 訪問介護	満足 やや満足 やや不満 不満 利用していない ①.....②.....③.....④ (5)
月に 0 日 (回)	
介護内容 1. 身体介護中心型 2. 生活援助中心型 3. 通院等乗降介助 4. その他 ()	上記の理由 必要がない
② 訪問入浴介護	満足 やや満足 やや不満 不満 利用していない ①.....②.....③.....④ (5)
月に 0 日 (回)	
	上記の理由 必要がない
③ 訪問看護	満足 やや満足 やや不満 不満 利用していない ①.....②.....③.....④ (5)
月に 0 日 (回)	
看護内容 ()	上記の理由 必要がない
④ 訪問リハビリ	満足 やや満足 やや不満 不満 利用していない ①.....②.....③.....④ (5)
月に 0 回	
リハビリ内容 ()	上記の理由 施設のリハビリに通っている
⑤ 居宅療養管理指導	満足 やや満足 やや不満 不満 利用していない ①.....②.....③.....④ (5)
月に 0 回	
指導内容 ()	上記の理由 必要がない

次頁へ続く↓

(4. 介護保険制度に基づく福祉サービス)

福祉サービスの利用状況についてお聞きします。 各項目の今月の健康被害者の状況に最も良く当てはまる数字を1つ選んで○を付けて下さい。 (複数回答可)	
① 訪問介護 月に 日 (回)	満足 やや満足 やや不満 不満 利用していない ①.....②.....③.....④ ⑤
介護内容 1. 身体介護中心型 2. 生活援助中心型 3. 通院等乗降介助 4. その他 ()	上記の理由
② 訪問入浴介護 月に 日 (回)	満足 やや満足 やや不満 不満 利用していない ①.....②.....③.....④ ⑤
	上記の理由
③ 訪問看護 月に 日 (回)	満足 やや満足 やや不満 不満 利用していない ①.....②.....③.....④ ⑤
看護内容	上記の理由
④ 訪問リハビリ 月に 回	満足 やや満足 やや不満 不満 利用していない ①.....②.....③.....④ ⑤
リハビリ内容	上記の理由
⑤ 居宅療養管理指導 月に 回	満足 やや満足 やや不満 不満 利用していない ①.....②.....③.....④ ⑤
指導内容	上記の理由

次頁へ続く↓

記入例

⑥ 通所介護 月に 8 回	満足 やや満足 やや不満 不満 利用していない ① ② ③ ④ ⑤
介護内容 入浴 食事介助	上記の理由 職員が親切である
⑦ 通所リハビリ 月に 8 回	満足 やや満足 やや不満 不満 利用していない ① ② ③ ④ ⑤
リハビリ内容 運動機能を訓練	上記の理由 効果が現れない
⑧ 短期入所 月に 0 回	満足 やや満足 やや不満 不満 利用していない ① ② ③ ④ ⑤
入所内容 1. 短期入所療養介護 2. 短期入所生活介護 (ショートステイ) 3. その他 ()	上記の理由 必要がない
⑨ 送迎サービス 月に 8 回	満足 やや満足 やや不満 不満 利用していない ① ② ③ ④ ⑤
サービス内容 施設への送迎	上記の理由 月に利用できる回数を増やしてほしい
⑩ 上記以外の福祉サービス 月に 0 回	満足 やや満足 やや不満 不満 利用していない ① ② ③ ④ ⑤
サービス内容 :	上記の理由 どのようなサービスがあるかわからない

⑥ 通所介護 月に 回	満足 やや満足 やや不満 不満 利用していない ①・・・・②・・・・③・・・・④ ⑤
介護内容	上記の理由
⑦ 通所リハビリ 月に 回	満足 やや満足 やや不満 不満 利用していない ①・・・・②・・・・③・・・・④ ⑤
リハビリ内容	上記の理由
⑧ 短期入所 月に 回	満足 やや満足 やや不満 不満 利用していない ①・・・・②・・・・③・・・・④ ⑤
入所内容 1. 短期入所療養介護 2. 短期入所生活介護 (ショートステイ) 3. その他 ()	上記の理由
⑨ 送迎サービス 月に 回	満足 やや満足 やや不満 不満 利用していない ①・・・・②・・・・③・・・・④ ⑤
サービス内容	上記の理由
⑩ 上記以外の福祉サービス 月に 回	満足 やや満足 やや不満 不満 利用していない ①・・・・②・・・・③・・・・④ ⑤
サービス内容：	上記の理由

記入例

(S J S等用)

B票

生活状況調査票

4半期毎記入

期	月～ 月分	平成	年	月末日現在
---	-------	----	---	-------

答えられる範囲でお答えください。

(日常生活)

◎以下の質問に回答していただける方についてお答え下さい。
(いずれか1つに○を付けてください。)

- ① 健康被害を受けた本人
2. 本人の意向を聞いて介護者が記入
3. 本人の意向をくみとり介護者が記入
4. 介護者が回答

① 健康被害者が過去3ヶ月間に外出しましたか。(いずれか1つに○を付けて下さい。)

1. ほぼ毎日
2. 週に4から5回
3. 週に2から3回
- ④ 月に2から3回
5. まったく外出していない

①-1 外出された方にお聞きします。

主に誰の介助を受けて外出しましたか。(該当するもの全てに○を付けてください。)

1. 介助なし
2. 配偶者
3. 親
- ④ 子供
5. その他の家族
6. 親戚
7. ホームヘルパー
8. 隣人・知人
9. 雇人
10. ボランティア
11. その他 ()

② 外出するうえで、または、外出しようとするうえで、困ることや不満に思うことはありますか。

1. ない
- ② ある

②-1 上記②で「ある。」とお答えいただいた方にお聞きします。

困ること又は不満に思うことの具体的なものは何ですか。

(該当するもの全てに○を付けてください。)

1. 介助者がいない
- ② 経費がかかる
3. 人の目が気にかかる
- ④ 人と話をすることが困難
5. 外出に必要な情報が得られない
- ⑥ 電車・バス・タクシーなどの乗物の利用が不便
7. 道路や駅などの公共の場所の利用が不便
8. 利用する建物の設備(階段、トイレ、エレベーター等)の利用が不便
- ⑨ 人の混雑や車に身の危険を感じる
10. 駅などにおける人間関係のトラブル
11. その他 ()

次頁へ続く↓

B票

生活状況調査票

4半期毎記入

IV期	1月～3月分	平成30年3月末日現在
-----	--------	-------------

答えられる範囲でお答えください。

(日常生活)

◎以下の質問に回答していただける方についてお答え下さい。
(いずれか1つに○を付けてください。)

1. 健康被害を受けた本人
2. 本人の意向を聞いて介護者が記入
3. 本人の意向をくみとり介護者が記入
4. 介護者が回答

① 健康被害者が過去3ヶ月間に外出しましたか。(いずれか1つに○を付けて下さい。)

1. ほぼ毎日 2. 週に4から5回 3. 週に2から3回 4. 月に2から3回
5. まったく外出していない

①-1 外出された方にお聞きします。
主に誰の介助を受けて外出しましたか。(該当するもの全てに○を付けてください。)

1. 介助なし 2. 配偶者 3. 親 4. 子供 5. その他の家族
6. 親戚 7. ホームヘルパー 8. 隣人・知人 9. 雇人
10. ボランティア 11. その他 ()

② 外出するうえで、または、外出しようとするうえで、困ることや不満に思うことはありますか。

1. ない
2. ある

②-1 上記②で「ある。」とお答えいただいた方にお聞きします。
困ること又は不満に思うことの具体的なものは何ですか。
(該当するもの全てに○を付けてください。)

1. 介助者がいない
2. 経費がかかる
3. 人の目が気にかかる
4. 人と話をすることが困難
5. 外出に必要な情報が得られない
6. 電車・バス・タクシーなどの乗物の利用が不便
7. 道路や駅などの公共の場所の利用が不便
8. 利用する建物の設備(階段、トイレ、エレベーター等)の利用が不便
9. 人の混雑や車に身の危険を感じる
10. 駅などにおける人間関係のトラブル
11. その他 ()

次頁へ続く↓

記入例

② - 2 外出するうえで工夫したことは何ですか。(該当するもの全てに○を付けてください。)

【外出前の準備について】

1. 予め、交通機関(時刻や乗り換えなど)や経路について調べておく
- ② 介助者を依頼する(同行支援・行動支援など)
3. コースを事前に決めておく
4. その他()

【服装・持ち物について】(該当するもの全てに○を付けてください。)

- ① 目立つ服装をした
2. 目の保護のためサングラス、帽子を着用した
3. 白杖の使用
4. 両手が使えるよう、リュックサックを使用した
5. その他()

【移動手段について】(該当するもの全てに○を付けてください。)

1. 自家用車を利用(家族、友人・知人による送迎)
2. 介護タクシーを利用
- ③ 公共交通機関を利用
4. その他()

【上記以外に外出するうえで何か工夫したことがありましたらお書きください。】

③ 健康被害者が過去3ヶ月間に余暇活動、趣味、学習、スポーツや社会参加(活動)などをしましたか。

- ① まったくしていない
2. 参加(活動)した

③ - 1 まったくしていないとお答えになった方にお聞きます。

余暇活動、趣味、学習、スポーツや社会参加(活動)をしなかった理由は何ですか。
(該当するもの1つに○を付けて下さい。)

- ① 介助者がいなかった
2. 時間的・経済的余裕がなかった
3. 体力的に余裕がなかった
4. その他()

③ - 2 参加(活動)したとお答えになった方にお聞きます。

余暇活動、趣味、学習、スポーツや社会参加(活動)をするきっかけについてお書きください。

③ - 3 参加(活動)した方にお聞きます。そればどのような内容でしたか。

(該当するもの全てに○を付けてください。)

1. コンサートや映画、スポーツなどの鑑賞・見学
2. スポーツ教室、大会などへの参加
3. 旅行・キャンプ・つりなどの活動
4. 趣味の同好会活動
5. ボランティアなどの社会活動
6. 障害者団体の活動
7. 地域活動
8. パソコンを利用した社会参加
9. 友達との遊び
10. その他()

次頁に続く↓

<p>② - 2 外出するうえで工夫したことは何ですか。（該当するもの全てに○を付けてください。）</p> <p>【外出前の準備について】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 予め、交通機関（時刻や乗り換えなど）や経路について調べておく 2. 介助者を依頼する（同行支援・行動支援など） 3. コースを事前に決めておく 4. その他（)
<p>【服装・持ち物について】（該当するもの全てに○を付けてください。）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 目立つ服装をした 2. 目の保護のためサングラス、帽子を着用した 3. 白杖の使用 4. 両手が使えるよう、リュックサックを使用した 5. その他（)
<p>【移動手段について】（該当するもの全てに○を付けてください。）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自家用車を利用（家族、友人・知人による送迎） 2. 介護タクシーを利用 3. 公共交通機関を利用 4. その他（)
<p>【上記以外に外出するうえで何か工夫したことがありましたらお書きください。】</p>
<p>③ 健康被害者が過去3ヶ月間に余暇活動、趣味、学習、スポーツや社会参加（活動）などをしましたか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. まったくしていない 2. 参加（活動）した
<p>③ - 1 まったくしていないとお答えになった方にお聞きします。</p> <p>余暇活動、趣味、学習、スポーツや社会参加（活動）をしなかった理由は何ですか。（該当するもの1つに○を付けて下さい。）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 介助者がいなかった 2. 時間的・経済的余裕がなかった 3. 体力的に余裕がなかった 4. その他（)
<p>③ - 2 参加（活動）したとお答えになった方にお聞きします。</p> <p>余暇活動、趣味、学習、スポーツや社会参加（活動）をするきっかけについてお書きください。</p>
<p>③ - 3 参加（活動）した方にお聞きします。そればどのような内容でしたか。（該当するもの全てに○を付けてください。）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. コンサートや映画、スポーツなどの鑑賞・見学 2. スポーツ教室、大会などへの参加 3. 旅行・キャンプ・つりなどの活動 4. 趣味の同好会活動 5. ボランティアなどの社会活動 6. 障害者団体の活動 7. 地域活動 8. パソコンを利用した社会参加 9. 友達との遊び 10. その他（)

次頁に続く↓

記入例

<p>④ 屋内での生活で工夫していることはありますか。</p> <p>① ある 2. ない</p>
<p>④-1 あるとお答えになった方にお聞きします。</p> <p>屋内での生活でどのような工夫をされていますか。</p>
<p>【家の造り・動線・物の配置に関するもの】（該当するもの全てに○をつけてください。）</p> <p>1. 通路や床に物を置かない</p> <p>2. よく使う物は、同じ場所に置く</p> <p>③ 段差がないように敷物などで調整した</p> <p>4. 移動の妨げにならないよう、部屋の扉は開けたままにしておく</p> <p>5. その他（ ）</p>
<p>【補助用具・音声の活用に関するもの】（該当するもの全てに○をつけてください。）</p> <p>① 拡大読書器・ルーペの活用</p> <p>2. 音声ガイドや朗読サービスの活用</p> <p>3. その他（ ）</p>
<p>【衛生面・乾燥対策に関するもの】（該当するもの全てに○をつけてください。）</p> <p>1. 乾燥予防のため加湿器を利用している（台数を増やした）</p> <p>② こまめな温度調節</p> <p>3. ハウスダストの徹底した除去（気管支炎など呼吸器系疾患の原因となるため）</p> <p>4. その他（ ）</p>
<p>【区別方法に関するもの】（該当するもの全てに○を付してください。）</p> <p>1. 点字シールを付ける</p> <p>2. カラーテープで目印をつける</p> <p>③ 室内の動線に、カラーテープや蛍光塗料で目印を付ける</p> <p>4. その他（ ）</p>
<p>④-2 上記以外に、屋内での生活で工夫したことがありましたらお書き下さい。</p> <p>・ 食器などの整理整頓をしやすい棚の配置</p> <p>・ 扉はすべて開けておく</p>

次頁に続く↓

<p>④ 屋内での生活で工夫していることはありますか。</p> <p>1. ある 2. ない</p>
<p>④-1 あるとお答えになった方にお聞きします。</p> <p>屋内での生活でどのような工夫をされていますか。</p>
<p>【家の造り・動線・物の配置に関するもの】（該当するもの全てに○を付けてください。）</p> <p>1. 通路や床に物を置かない</p> <p>2. よく使う物は、同じ場所に置く</p> <p>3. 段差がないように敷物などで調整した</p> <p>4. 移動の妨げにならないよう、部屋の扉は開けたままにしておく</p> <p>5. その他（)</p>
<p>【補助用具・音声の活用に関するもの】（該当するもの全てに○を付けてください。）</p> <p>1. 拡大読書器・ルーペの活用</p> <p>2. 音声ガイドや朗読サービスの活用</p> <p>3. その他（)</p>
<p>【衛生面・乾燥対策に関するもの】（該当するもの全てに○を付けてください。）</p> <p>1. 乾燥予防のため加湿器を利用している（台数を増やした）</p> <p>2. こまめな温度調節</p> <p>3. ハウスダストの徹底した除去（気管支炎など呼吸器系疾患の原因となるため）</p> <p>4. その他（)</p>
<p>【区別方法に関するもの】（該当するもの全てに○を付けてください。）</p> <p>1. 点字シールを付ける</p> <p>2. カラーテープで目印をつける</p> <p>3. 室内の動線に、カラーテープや蛍光塗料で目印を付ける</p> <p>4. その他（)</p>
<p>④-2 上記以外に、屋内での生活で工夫したことがありましたらお書き下さい。</p>

次頁に続く↓

記入例

◎以下の質問に回答していただける方についてお答えください。

(いずれか1つに○をつけてください。)

- ① 健康被害を受けた人
 2. 本人の意向を聞いて介護者が記入
 3. 本人の意向をくみとり介護者が記入
 4. 介護者が回答

⑤ 日常生活についてお聞きします。

(各項目の過去3ヶ月間の健康被害者の状況に最も良く当てはまる数字を1つ選んで○を付けてください。)

⑤-1 ものがみえにくいために、新聞や本を読むことはどのくらい不自由ですか。	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="text-align: center;">まったく 不自由 はない</td> <td style="text-align: center;">あまり 不自由 はない</td> <td style="text-align: center;">とても 不自由</td> <td style="text-align: center;">見えにくい のでやめた</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">①.....</td> <td style="text-align: center;">②.....</td> <td style="text-align: center;">③.....</td> <td style="text-align: center;">④</td> </tr> </table>	まったく 不自由 はない	あまり 不自由 はない	とても 不自由	見えにくい のでやめた	①.....	②.....	③.....	④
まったく 不自由 はない	あまり 不自由 はない	とても 不自由	見えにくい のでやめた						
①.....	②.....	③.....	④						
⑤-2 目や、目のまわりの痛みや不快感の程度はどのくらいですか。	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="text-align: center;">まったく ない</td> <td style="text-align: center;">かすかに ある</td> <td style="text-align: center;">中くらい ある</td> <td style="text-align: center;">かなり ある</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">①.....</td> <td style="text-align: center;">②.....</td> <td style="text-align: center;">③.....</td> <td style="text-align: center;">④</td> </tr> </table>	まったく ない	かすかに ある	中くらい ある	かなり ある	①.....	②.....	③.....	④
まったく ない	かすかに ある	中くらい ある	かなり ある						
①.....	②.....	③.....	④						
⑤-3 ものが見えにくいために、物事を思いどおりにやりとげられないことがありますか。	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="text-align: center;">ない</td> <td style="text-align: center;">ある</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">①.....</td> <td style="text-align: center;">②</td> </tr> </table>	ない	ある	①.....	②				
ない	ある								
①.....	②								
⑤-4 物事を思いどおりにやりとげられないために、イライラすることがありますか。	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="text-align: center;">ない</td> <td style="text-align: center;">ある</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">①.....</td> <td style="text-align: center;">②</td> </tr> </table>	ない	ある	①.....	②				
ない	ある								
①.....	②								

⑤-5 視力以外の状況はございますか。(該当するもの全てに○をつけてください。)

【皮膚や爪に関する症状】

- ① 皮膚のかゆみ、乾燥
 2. 癬痕が残る
 3. 爪の変更、剥離
 4. その他 ()

【内臓機能に関する症状】

1. 高血圧
 2. 粘膜不全(粘膜部分からの出血等)
 ③ 心肺機能の低下・異常
 4. 肝機能の低下・異常
 5. 腎機能の低下・異常
 6. その他 ()

【聴覚・呼吸機能に関する症状】

1. 音声が聞き取りにくい(難聴)
 2. 気管支炎、ぜん息
 ③ アレルギー性鼻炎
 4. その他 ()

次頁に続く↓

◎以下の質問に回答していただける方についてお答えください。
(いずれか1つに○をつけてください。)

- 健康被害を受けた人
- 本人の意向を聞いて介護者が記入
- 本人の意向をくみとり介護者が記入
- 介護者が回答

⑤ 日常生活についてお聞きします。
(各項目の過去3ヶ月間の健康被害者の状況に最も良く当てはまる数字を1つ選んで○を付けてください。)

⑤-1 ものがみえにくいために、新聞や本を読むことはどのくらい不自由ですか。	まったく不自由はない ①.....	あまり不自由はない ②.....	とても不自由 ③.....	見えにくいのでやめた ④.....
⑤-2 目や、目のまわりの痛みや不快感の程度はどのくらいですか。	まったくない ①.....	かすかにある ②.....	中くらいある ③.....	かなりある ④.....
⑤-3 ものが見えにくいために、物事を思いどおりにやりとげられないことがありますか。	ない ①.....	ある ②.....		
⑤-4 物事を思いどおりにやりとげられないために、イライラすることがありますか。	ない ①.....	ある ②.....		

⑤-5 視力以外の状況はございますか。(該当するもの全てに○をつけてください。)

【皮膚や爪に関する症状】
1. 皮膚のかゆみ、乾燥
2. 癬痕が残る
3. 爪の変更、剥離
4. その他 ()

【内臓機能に関する症状】
1. 高血圧
2. 粘膜不全(粘膜部分からの出血等)
3. 心肺機能の低下・異常
4. 肝機能の低下・異常
5. 腎機能の低下・異常
6. その他 ()

【聴覚・呼吸機能に関する症状】
1. 音声聞き取りにくい(難聴)
2. 気管支炎、ぜん息
3. アレルギー性鼻炎
4. その他 ()

次頁に続く↓

記入例

【眼科領域（視力障害以外）に関する症状】

- ① さかさまつげ
2. ドライアイ（涙が出ないなど）
3. 角膜の炎症
4. その他（ ）

【口腔に関する症状】

1. 口内炎
2. 味覚障害
- ③ ③ 口の中が乾く（乾きやすい）
4. その他（ ）

【精神的な症状】

- ① ① 不安障害
2. 睡眠障害
3. うつ
4. その他（ ）

【視力以外の症状で上記に掲げたほかにごございましたら、お書きください。】

次頁へ続く↓

【眼科領域（視力障害以外）に関する症状】

1. さかさまつけ
2. ドライアイ（涙が出ないなど）
3. 角膜の炎症
4. その他（ ）

【口腔に関する症状】

1. 口内炎
2. 味覚障害
3. 口の中が乾く（乾きやすい）
4. その他（ ）

【精神的な症状】

1. 不安障害
2. 睡眠障害
3. うつ
4. その他（ ）

【視力以外の症状で上記に掲げたほかにごございましたら、お書きください。】

次頁へ続く↓

記入例

(主たる介護者の状況)

◎以下の質問に回答していただける方についてお答えください。

(いずれか1つに○を付けてください。)

- ① 主として介護をしている配偶者
 2. 主として介護をしている親
 3. 主として介護をしている兄弟姉妹
 4. その他 ()

⑥ お答えいただいた方の健康状態について
 (3ヶ月間のあなたの状況に最も良く当てはまる数字を1つ選んで○を付けてください。)

たいへん	まあ	やや	たいへん
良好	良好	悪い	悪い
①	②	③	④

⑥-1 その理由は何ですか。

常に介護が必要なため

⑦ この1年間に介護をしていく中で、
 困ったことが、

- ① 増えた 2. 減った
 3. 変わらない 4. 困ったことはない

⑦-1 困ったことがあった方にお聞きします。それはどんなことですか。

急な用事の際、すぐに代わりの介護者が見つからなかった

⑦-2 誰かに相談しましたか。(該当するもの全てに○を付けてください。)(複数回答可)
 ※選択肢1, 2, 3, 11を選択する場合は、カッコの中のアルファベットに○を付けてください。

1. 親 (a 父親 b 母親) 2. 配偶者 (a 夫 b 妻)
 3. 子供 (a 息子 b 娘 c 娘の夫 d 息子の妻)
 4. 兄弟姉妹 5. 祖父母 6. 友人・知人 7. 会社の上司・同僚
 8. 学校の先生 9. 医師 10. 看護師・保健師
 11. 公的機関の職員等 (a 身体障害者更生相談所 b 福祉事務所 c 市(区)役所 d 民生委員 e 身体障害者相談員)
 12. 医薬品医療機器総合機構(PMDA)の保健福祉相談窓口
 13. 障害者の団体(親、家族の会を含む)
 14. 障害者相談支援センター(相談支援事業者を含む)※1 15. 地域包括支援センター※2
 16. その他 ()
 17. 相談する人はいない

※1: 障害者相談支援センターとは、在宅や地域で生活する障害のある方やその家族のための相談窓口で、各市区町村に設置されている。

※2: 介護保険法で定められた、地域住民の保健・福祉・医療の向上、虐待防止、介護予防マネジメントなどを総合的に行う機関で、各市区町村に設置されている。

次頁へ続く↓

(主たる介護者の状況)

◎以下の質問に回答していただける方についてお答えください。

(いずれか1つに○を付けてください。)

1. 主として介護をしている配偶者
2. 主として介護をしている親
3. 主として介護をしている兄弟姉妹
4. その他 ()

⑥ お答えいただいた方の健康状態について
(3ヶ月間のあなたの状況に最も良く当てはまる数字を1つ選んで○を付けてください。)

たいへん	まあ	やや	たいへん
良好	良好	悪い	悪い
①	②	③	④

⑥-1 その理由は何ですか。

⑦ この1年間に介護をしていく中で、
困ったことが、

1. 増えた
2. 減った
3. 変わらない
4. 困ったことはない

⑦-1 困ったことがあった方にお聞きします。それはどんなことですか。

⑦-2 誰かに相談しましたか。(該当するもの全てに○を付けてください。)(複数回答可)
※選択肢1, 2, 3, 11を選択する場合は、カッコの中のアルファベットに○を付けてください。

1. 親 (a 父親 b 母親)
2. 配偶者 (a 夫 b 妻)
3. 子供 (a 息子 b 娘 c 娘の夫 d 息子の妻)
4. 兄弟姉妹
5. 祖父母
6. 友人・知人
7. 会社の上司・同僚
8. 学校の先生
9. 医師
10. 看護師・保健師
11. 公的機関の職員等 (a 身体障害者更生相談所 b 福祉事務所 c 市(区)役所 d 民生委員 e 身体障害者相談員)
12. 医薬品医療機器総合機構(PMDA)の保健福祉相談窓口
13. 障害者の団体(親、家族の会を含む)
14. 障害者相談支援センター(相談支援事業者を含む)※1
15. 地域包括支援センター※2
16. その他 ()
17. 相談する人はいない

※1: 障害者相談支援センターとは、在宅や地域で生活する障害のある方やその家族のための相談窓口で、各市区町村に設置されている。

※2: 介護保険法で定められた、地域住民の保健・福祉・医療の向上、虐待防止、介護予防マネジメントなどを総合的に行う機関で、各市区町村に設置されている。

次頁へ続く↓

⑦-3 解決策はありましたか。	1. 解決した	2. していない
⑦-4 解決したと答えた方にお聞きします。それは、どのような方法で解決しましたか。		
⑦-5 していないと答えた方にお聞きします。それはどのような方法で解決できると思いますか。		
⑧ 主たる介護者を支えるようなものがありましたか。 (公的制度、友人・知人、ボランティア等)	1. あった	2. なかった
⑧-1 それは具体的にどのようなものですか。		
⑨ 介護者等が過去3ヶ月間に余暇活動、趣味、学習、スポーツや社会参加(活動)などをしましたか。 1. まったくしていない 2. 参加(活動)した		
⑨-1 まったくしていないとお答えになった方にお聞きします。 余暇活動、趣味、学習、スポーツや社会参加(活動)をしなかった理由は何ですか。 (該当するもの1つに○を付けて下さい) 1. 時間的・経済的余裕がなかった 2. 体力的に余裕がなかった 3. その他 ()		
⑨-2 参加(活動)したとお答えになった方にお聞きします。 余暇活動、趣味、学習、スポーツや社会参加(活動)をするきっかけについてお書きください。		
⑨-3 参加(活動)した方にお聞きします。それはどのような内容でしたか。 (該当するもの全てに○を付けてください。) 1. コンサートや映画、スポーツなどの鑑賞・見学 2. スポーツ教室、大会などへの参加 3. 旅行・キャンプ・釣りなどの活動 4. 趣味の同好会活動 5. ボランティアなどの社会活動 6. 障害者団体の活動 7. 地域活動 8. パソコンを利用した社会参加 9. 友達との遊び 10. その他 ()		
⑩介護をして途中で、新しい発見や気分転換などはかれましたか。	1. あった	2. なかった
⑩-1 あったと答えた方にお聞きします。それはどのようなこと又はどのようなときですか。		

記入例

(SJS等用)

C票

生活状況調査票

年1回3月末記入

3月末日現在

答えられる範囲でお答えください。

(治療状況)

◎以下の質問に回答していただける方についてお答えください。(いずれか1つに○を付けてください。)

- 健康被害を受けた本人
- 本人の意向を聞いて介護者が記入
- 本人の意向をくみとり介護者が記入
- 介護者が回答

① 健康被害を受けた方の治療状況
(SJS等、副作用による健康被害に関する治療についてお答え下さい。)

① 入院中
(いつから入院していますか： から)
② 通院中(往診含む) (月に 2回)

② 副作用の疾患以外で治療を受けるときに注意していることはありますか。

②-1 通院時に注意している点について、該当するもの全てに○をつけてください。

- 事前に交通機関(時刻や乗り換え)やルートを確認しておく
- 通院時にはヘルパー等に同行を依頼する。(一人では外出しない)
- 家族などによる送迎(公共交通機関の利用を避ける)
- 介護タクシーの利用
- その他

具体的にお書きください：

②-2 治療を受けるときに注意している点について、該当するもの全てに○をつけてください。

- 既往歴(SJSであることなど)を告げる
- お薬手帳を持参
- 自らが受けている医療について分からないことは、医師、薬剤師、看護師などの医療スタッフに聞くようにしている
- その他

具体的にお書きください：

PMDAが発行しているカードを見せる

②-3 治療を受けるときに、何か困ったことはありましたか。

- SJSについて、医師が理解していない(又はSJSを知らない)
- SJSであることを告げたら、診療を拒まれた
- その他

具体的にお書きください：

次頁へ続く↓

C票

生活状況調査票

年1回3月末記入

3月末日現在

答えられる範囲でお答えください。

(治療状況)

◎以下の質問に回答していただける方についてお答えください。(いずれか1つに○を付けてください。)

1. 健康被害を受けた本人
2. 本人の意向を聞いて介護者が記入
3. 本人の意向をくみとり介護者が記入
4. 介護者が回答

① 健康被害を受けた方の治療状況
(SJS等、副作用による健康被害に関する治療についてお答え下さい。)

- ① 入院中
(いつから入院していますか： から)
- ② 通院中 (往診含む) (月に 回)

② 副作用の疾患以外で治療を受けるときに注意していることはありますか。

②-1 通院時に注意している点について、該当するもの全てに○をつけてください。

1. 事前に交通機関(時刻や乗り換え)やルートを確認しておく
2. 通院時にはヘルパー等に同行を依頼する。(一人では外出しない)
3. 家族などによる送迎(公共交通機関の利用を避ける)
4. 介護タクシーの利用
5. その他

具体的にお書きください：

②-2 治療を受けるときに注意している点について、該当するもの全てに○をつけてください。

1. 既往歴(SJSであることなど)を告げる
2. お薬手帳を持参
3. 自らが受けている医療について分からないことは、医師、薬剤師、看護師などの医療スタッフに聞くようにしている
4. その他

具体的にお書きください：

②-3 治療を受けるときに、何か困ったことはありましたか。

1. SJSについて、医師が理解していない(又はSJSを知らない)
2. SJSであることを告げたら、診療を拒まれた
3. その他

具体的にお書きください：

次頁へ続く↓

記入例

②-4 その他注意している点がございましたら、お書き下さい。

(日常生活)

◎以下の質問に回答していただける方についてお答えください。(いずれか1つに○を付けてください。)

- ①. 健康被害を受けた本人
2. 本人の意向を聞いて介護者が記入
3. 本人の意向をくみとり介護者が記入
4. 介護者が回答

③ この1年間で困ったことが、

- | | |
|----------|-------------|
| ①. 増えた | 2. 減った |
| 3. 変わらない | 4. 困ったことはない |

③-1 困ったことがあった方にお聞きします。それはどんなことですか。

買い物や散歩などで外出する際に、介助者が必要なこと

③-2 誰かに相談しましたか。(該当するもの全てに○を付けてください。)(複数回答可)
※選択肢1, 2, 3, 11を選択する場合は、カッコの中のアルファベットに○を付けてください。

1. 親 (a 父親 b 母親)
2. 配偶者 (a 夫 b 妻)
3. 子供 (a 息子 b 娘 c 娘の夫 d 息子の妻)
4. 兄弟姉妹
5. 祖父母
6. 友人・知人
7. 会社の上司・同僚
8. 学校の先生
9. 医師
10. 看護師・保健師
11. 公的機関の職員等 (a 身体障害者更生相談所 b 福祉事務所 c 市(区)役所 d 民生委員 e 身体障害者相談員)
12. 医薬品医療機器総合機構(PMDA)の保健福祉相談窓口
13. 障害者の団体(親、家族の会を含みます)
14. 障害者相談支援センター(相談支援事業者を含む)※1
15. 地域包括支援センター※2
16. その他 ()
17. 相談する人はいない

※1: 障害者相談支援センターとは、在宅や地域で生活する障害のある方やその家族のための相談窓口で、各市区町村に設置されている。

※2: 介護保険法で定められた、地域住民の保健・福祉・医療の向上、虐待防止、介護予防マネジメントなどを総合的に行う機関で、各市区町村に設置されている。

次頁へ続く↓

②-4 その他注意している点がございましたら、お書き下さい。

(日常生活)

◎以下の質問に回答していただける方についてお答えください。(いずれか1つに○を付けてください。)

1. 健康被害を受けた本人
2. 本人の意向を聞いて介護者が記入
3. 本人の意向をくみとり介護者が記入
4. 介護者が回答

③ この1年間で困ったことが、

- | | |
|----------|-------------|
| 1. 増えた | 2. 減った |
| 3. 変わらない | 4. 困ったことはない |

③-1 困ったことがあった方にお聞きします。それはどんなことですか。

③-2 誰かに相談しましたか。(該当するもの全てに○を付けてください。)(複数回答可)
※選択肢1, 2, 3, 11を選択する場合は、カッコの中のアルファベットに○を付けてください。

- | | | | |
|-------------------------------|------------------|-------------|-------------|
| 1. 親 (a 父親 b 母親) | 2. 配偶者 (a 夫 b 妻) | | |
| 3. 子供 (a 息子 b 娘 c 娘の夫 d 息子の妻) | | | |
| 4. 兄弟姉妹 | 5. 祖父母 | 6. 友人・知人 | 7. 会社の上司・同僚 |
| 8. 学校の先生 | 9. 医師 | 10. 看護師・保健師 | |
11. 公的機関の職員等 (a 身体障害者更生相談所 b 福祉事務所 c 市(区)役所 d 民生委員 e 身体障害者相談員)
12. 医薬品医療機器総合機構(PMDA)の保健福祉相談窓口
13. 障害者の団体(親、家族の会を含みます)
14. 障害者相談支援センター(相談支援事業者を含む)※1
15. 地域包括支援センター※2
16. その他()
17. 相談する人はいない

※1: 障害者相談支援センターとは、在宅や地域で生活する障害のある方やその家族のための相談窓口で、各市区町村に設置されている。

※2: 介護保険法で定められた、地域住民の保健・福祉・医療の向上、虐待防止、介護予防マネジメントなどを総合的に行う機関で、各市区町村に設置されている。

次頁へ続く↓

記入例

<p>③-3 解決策はありましたか。</p>	<p>①. 解決した 2. していない</p>
<p>③-4 解決したと答えた方にお聞きします。それはどのような方法で解決しましたか。</p> <p>身内の者やヘルパーの方に同伴してもらうことで、解決できた</p>	
<p>③-5 していないと答えた方にお聞きします。それは、どのような方法で解決できると思いますか。</p>	
<p>④ 過去1年間の日常生活の満足度を教えてください。（最も良く当てはまる数字を1つ選んで○を付けてください。）</p>	<p>満足 やや満足 やや不満 不満</p> <p>①.....②.....③.....④</p>
<p>④-1 その満足度の理由は何ですか。</p> <p>外出する際、周囲に対して不安感や不便さを感じることもあるが、そのほかは特に不便さを感じずに過ごせたため</p>	
<p>⑤ 日常生活を満足するために、一番やりたいことは何ですか。最も良く当てはまるものを1つ選んで○を付けてください。</p> <p>1. コンサートや映画鑑賞、スポーツ観戦 2. 旅行・外出 ③. 趣味</p> <p>4. 社会活動・団体活動（患者会の活動も含む）</p> <p>5. その他</p> <p>（具体的に書きください：</p>	
<p>⑤-1 実現できそうですか。 （最も良く当てはまる数字を1つ選んで○を付けてください。）</p>	<p>出来る やや出来る あまり出来 出来ない と思う と思う ないと思う と思う</p> <p>①.....②.....③.....④</p>
<p>⑤-2 その理由は何ですか。</p> <p>移動する際の交通機関利用時にサポートしてくれる友人などの気を許せる人が同伴してくれれば、実現できると思う</p>	
<p>⑥ 日常生活で工夫したことがありましたら書きください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家で段差のあるところに目印をつけておく ・危ないので、軽い食器を使うようにしている 	

次頁へ続く↓

③-3 解決策はありましたか。	1. 解決した 2. していない
③-4 解決したと答えた方にお聞きします。それはどのような方法で解決しましたか。	
③-5 していないと答えた方にお聞きします。それは、どのような方法で解決できると思いますか。	
④ 過去1年間の日常生活の満足度を教えてください。（最も良く当てはまる数字を1つ選んで○を付けてください。）	満足 やや満足 やや不満 不満 ①.....②.....③.....④
④-1 その満足度の理由は何ですか。	
<p>⑤ 日常生活を満足するために、一番やりたいことは何ですか。最も良く当てはまるものを1つ選んで○を付けてください。</p> <p>1. コンサートや映画鑑賞、スポーツ観戦 2. 旅行・外出 3. 趣味 4. 社会活動・団体活動（患者会の活動も含む） 5. その他</p> <p>（具体的に書きください：</p>	
⑤-1 実現できそうですか。（最も良く当てはまる数字を1つ選んで○を付けてください。）	出来る やや出来る あまり出来 出来ない と思う と思う ないと思う と思う ①.....②.....③.....④
⑤-2 その理由は何ですか。	
⑥ 日常生活で工夫したことがありましたら書きください。	

次頁へ続く↓

記入例

⑦ 健康被害者が今後やってみたい余暇活動、趣味、学習、スポーツや社会活動などについて、該当するもの全てに○を付けてください。（複数回答可）

1. コンサートや映画、スポーツなどの鑑賞・見学
2. スポーツ教室、大会などへの参加
3. 旅行・キャンプ・つりなどの活動
4. 趣味の同好会活動
5. ボランティアなどの社会活動
6. 障害者団体の活動
7. 地域活動
8. パソコンを利用した社会活動
9. 友達との遊び
10. その他（ スキューバダイビングなどのマリンスポーツ ）
11. 特になし

⑦-1 その情報はどこから得ますか。該当するもの全てに○を付けて下さい。（複数回答可）

- | | |
|--|------------------|
| 1. 新聞 | 2. テレビ |
| 3. ラジオ | 4. 一般図書 |
| 5. 雑誌 | 6. 録音・点字図書 |
| 7. 自治体広報 | 8. インターネット・情報サイト |
| <input checked="" type="checkbox"/> 9. 家族・友人 | |
| 10. その他 | |

(

)

(福祉サービス)

◎以下の質問に回答していただける方についてお答えください。（いずれか1つに○を付けてください。）

1. 健康被害を受けた本人
2. 本人の意向を聞いて介護者が記入
3. 本人の意向をくみとり介護者が記入
4. 介護者が回答

⑧ 必要な福祉サービスなどについてご意見、ご要望などがありましたら自由にお書きください。

福祉サービスを受けるために必要な書類が多すぎる

次頁へ続く↓

⑦ 健康被害者が今後やってみたい余暇活動、趣味、学習、スポーツや社会活動などについて、該当するもの全てに○を付けてください。（複数回答可）

1. コンサートや映画、スポーツなどの鑑賞・見学
2. スポーツ教室、大会などへの参加
3. 旅行・キャンプ・つりなどの活動
4. 趣味の同好会活動
5. ボランティアなどの社会活動
6. 障害者団体の活動
7. 地域活動
8. パソコンを利用した社会活動
9. 友達との遊び
10. その他（)
11. 特にない

⑦-1 その情報はどこから得ますか。該当するもの全てに○を付けて下さい。（複数回答可）

- | | |
|----------|------------------|
| 1. 新聞 | 2. テレビ |
| 3. ラジオ | 4. 一般図書 |
| 5. 雑誌 | 6. 録音・点字図書 |
| 7. 自治体広報 | 8. インターネット・情報サイト |
| 9. 家族・友人 | |
| 10. その他 | |
- ()

(福祉サービス)

◎以下の質問に回答していただける方についてお答えください。（いずれか1つに○を付けてください。）

1. 健康被害を受けた本人
2. 本人の意向を聞いて介護者が記入
3. 本人の意向をくみとり介護者が記入
4. 介護者が回答

⑧ 必要な福祉サービスなどについてご意見、ご要望などがありましたら自由にお書きください。

次頁へ続く↓

記入例

(必要な情報)

◎以下の質問に回答していただける方についてお答えください。(いずれか1つに○を付けてください。)

1. 健康被害を受けた本人
2. 本人の意向を聞いて介護者が記入
3. 本人の意向をくみとり介護者が記入
4. 介護者が回答

◎今、必要な情報についてお聞かせください。(該当するもの全てに○を付けてください。また、その内容について具体的に知りたいことをお書きください。)(複数回答可)

1. 福祉サービス
2. 医療
3. 年金
4. 住まい
5. 就職
6. NPO活動など
7. 健康づくり
8. 趣味・娯楽
9. 相談・資産・運用
10. 学校教育・幼稚園・保育園
11. その他 ()
12. 特にない

◎具体的に知りたいこと。

治療に関する情報が知りたい

◎-1 その情報はどこから得ますか。該当するもの全てに○を付けてください。(複数回答可)

1. 新聞
2. テレビ
3. ラジオ
4. 一般図書
5. 雑誌
6. 録音・点字図書
7. 自治体広報
8. インターネット・情報サイト
9. 家族・友人
10. その他 ()

(必要な情報)

◎以下の質問に回答していただける方についてお答えください。(いずれか1つに○を付けてください。)

1. 健康被害を受けた本人
2. 本人の意向を聞いて介護者が記入
3. 本人の意向をくみとり介護者が記入
4. 介護者が回答

⑨ 今、必要な情報についてお聞かせください。(該当するもの全てに○を付けてください。また、その内容について具体的に知りたいことをお書きください。)(複数回答可)

1. 福祉サービス
2. 医療
3. 年金
4. 住まい
5. 就職
6. NPO活動など
7. 健康づくり
8. 趣味・娯楽
9. 相談・資産・運用
10. 学校教育・幼稚園・保育園
11. その他 ()
12. 特にない

◎具体的に知りたいこと。

[]

⑨-1 その情報はどこから得ますか。該当するもの全てに○を付けてください。(複数回答可)

1. 新聞
2. テレビ
3. ラジオ
4. 一般図書
5. 雑誌
6. 録音・点字図書
7. 自治体広報
8. インターネット・情報サイト
9. 家族・友人
10. その他 ()

※記入しないでください。

保健福祉事業の一環として実施する調査研究事業報告書
(ライ症候群等用)

第4・四半期分(平成30年1月~平成30年3月)

調査票記入者氏名	本人との関係
----------	--------

提出方法

この保健福祉事業の一環として実施する調査研究事業報告書は、切り離さず基本情報及びA票(毎月記入用)とB票(四半期ごと記入用)とC票(年1回3月末記入用)と併せて4月1日から4月10日の間に返送願います。

問い合わせ先 独立行政法人医薬品医療機器総合機構
健康被害救済部企画管理課

〒100-0013 東京都千代田区霞が関 3-3-2

TEL:03-3506-9460

FAX:03-3506-9439

1. 健康被害者情報
(ふりがな)

氏名 _____ 性別 男 女

基本情報

大正
生年月日 昭和 _____ 年 _____ 月 _____ 日
平成 _____

自宅住所 (〒 _____)

[電話番号 () _____]
[FAX番号 () _____]

2. 家族構成

同居家族全員を記入してください。 3月末日現在

副作用被害者本人との続柄をお答え下さい。	年齢	主に介護をしている方に○を付けてください。
(記入例) 母	(記入例) 60	(記入例) <input checked="" type="checkbox"/> 主に介護をしている
		主に介護をしている
		主に介護をしている
		主に介護をしている
		主に介護をしている
		主に介護をしている

3. 障害の種類・程度

_____ 級

_____ 級

記入例

1. 健康被害者情報
(ふりがな) 氏名 まごろう たろう 性別 男 女
機構 太郎

基本情報

生年月日 昭和 30年00月00日
平成 _____

自宅住所
(〒 100-0013)
東京都千代田区霞が関 0-0-0

[電話番号 (00) 0000-0000]
[FAX番号 (00) 0000-0000]

2. 家族構成
同居家族全員を記入してください。 月末日現在

副作用被害者本人との続柄をお答え下さい。	年齢	主に介護をしている方に○を付けてください。
(記入例) 母	(記入例) 60	(記入例) <input checked="" type="checkbox"/> 主に介護をしている
父	65	<input checked="" type="checkbox"/> 主に介護をしている
		主に介護をしている
		主に介護をしている
		主に介護をしている
		主に介護をしている

3. 障害の種類・程度

_____ **1**級

_____ 級

生活状況調査票

1 月末日現在

A 票

毎月記入

答えられる範囲でお答え下さい。
(福祉サービス)

福祉サービスの利用状況についてお聞きします。
各項目の今月の健康被害者の状況に最も良く当てはまる数字を1つ選んで○を付けて下さい。
(複数回答可)

①訪問介護 介護内容	月に 日 (回)	満足 ①.....②.....③.....④.....⑤	やや満足	やや不満	不満	利用していない
上記の理由						
1. 身体介護中心型 2. 生活援助中心型 3. 通院等乗降介助 4. その他 []						
②訪問入浴介護 介護内容	月に 日 (回)	満足 ①.....②.....③.....④.....⑤	やや満足	やや不満	不満	利用していない
上記の理由						
③訪問看護 看護内容	月に 日 (回)	満足 ①.....②.....③.....④.....⑤	やや満足	やや不満	不満	利用していない
上記の理由						

④訪問リハビリ リハビリ内容	月に 回	満足 ①.....②.....③.....④.....⑤	やや満足	やや不満	不満	利用していない
上記の理由						
⑤居宅療養管理指導 指導内容	月に 回	満足 ①.....②.....③.....④.....⑤	やや満足	やや不満	不満	利用していない
上記の理由						
⑥通所介護 介護内容	月に 回	満足 ①.....②.....③.....④.....⑤	やや満足	やや不満	不満	利用していない
上記の理由						
⑦通所リハビリ リハビリ内容	月に 回	満足 ①.....②.....③.....④.....⑤	やや満足	やや不満	不満	利用していない
上記の理由						

次頁へ続く↓

⑧短期入所 入所内容 月に 回 1. 短期入所療養介護 2. 短期入所生活介護 （ショートステイ） 3. その他 []	満足 やや満足 やや不満足 不満 利用していない ①・・・②・・・③・・・④・・・⑤ 上記の理由
⑨送迎サービス サービス内容 月に 回 上記の理由	満足 やや満足 やや不満足 不満 利用していない ①・・・②・・・③・・・④・・・⑤ 上記の理由
⑩上記以外の福祉サービス 月に 回 (サービス名) サービス名： サービス内容：	満足 やや満足 やや不満足 不満 利用していない ①・・・②・・・③・・・④・・・⑤ 上記の理由

記入要領

この報告書は、調査研究対象者が答えられる範囲で回答し、切り離さず、生活状況調査票A票（毎月記入用）、B票（四半期毎記入用）及びC票（年1回3月末記入用）と併せて、4月1日から4月10日までの間に提出してください。

記入例

(マイ福祉時間)

生活状況調査票

月末日現在

※記入される範囲では書き下さない。
 利用サービスは項目状況に応じて目録を記入し、利用サービス項目の欄に記入し、各項目の今月の利用回数及び利用日数を1の欄で記入してください。
 (複数回答可)

サービス内容	回数	利用日数	満足	やや満足	やや不満足	不満	利用していない
①生活介護 1. 身体介護中心型 2. 生活援助中心型 3. 通所介護併設型 4. その他 []	8回	8日					
②訪問介護	0回	0日					
③訪問入浴介護	0回	0日					
④訪問看護	0回	0日					
⑤訪問介護 介護付	0回	0日					
⑥訪問介護 介護付 入浴、食事介助	8回	8日					
⑦訪問介護 介護付 介護付付保	8回	8日					
⑧訪問介護 介護付 看護付	0回	0日					

サービス内容	回数	利用日数	満足	やや満足	やや不満足	不満	利用していない
①訪問介護 介護付 看護付	0回	0日					
②訪問介護 介護付 看護付	0回	0日					
③訪問介護 介護付 看護付	0回	0日					
④訪問介護 介護付 看護付	0回	0日					
⑤訪問介護 介護付 看護付	0回	0日					
⑥訪問介護 介護付 看護付	0回	0日					
⑦訪問介護 介護付 看護付	0回	0日					
⑧訪問介護 介護付 看護付	0回	0日					

生活状況調査票

2月末日現在

A票

毎月記入

答えられる範囲でお答え下さい。
(福祉サービス)

福祉サービスの利用状況についてお聞きします。
各項目の今月の健康被害者の状況に最も当てる数字を1つ選んで○を付けて下さい。
(複数回答可)

①訪問介護 介護内容 1. 身体介護中心型 2. 生活援助中心型 3. 通院等乗降介助 4. その他 〔 〕	月に 日 (回)	満足 ①.....②.....③.....④.....⑤ 上記の理由	やや満足 ②.....③.....④.....⑤	やや不満 ③.....④.....⑤	不満 ④.....⑤	利用していない ⑤
②訪問入浴介護 介護内容	月に 日 (回)	満足 ①.....②.....③.....④.....⑤ 上記の理由	やや満足 ②.....③.....④.....⑤	やや不満 ③.....④.....⑤	不満 ④.....⑤	利用していない ⑤
③訪問看護 看護内容	月に 日 (回)	満足 ①.....②.....③.....④.....⑤ 上記の理由	やや満足 ②.....③.....④.....⑤	やや不満 ③.....④.....⑤	不満 ④.....⑤	利用していない ⑤

④訪問リハビリ リハビリ内容	月に 回	満足 ①.....②.....③.....④.....⑤ 上記の理由	やや満足 ②.....③.....④.....⑤	やや不満 ③.....④.....⑤	不満 ④.....⑤	利用していない ⑤
⑤居宅療養管理指導 指導内容	月に 回	満足 ①.....②.....③.....④.....⑤ 上記の理由	やや満足 ②.....③.....④.....⑤	やや不満 ③.....④.....⑤	不満 ④.....⑤	利用していない ⑤
⑥通所介護 介護内容	月に 回	満足 ①.....②.....③.....④.....⑤ 上記の理由	やや満足 ②.....③.....④.....⑤	やや不満 ③.....④.....⑤	不満 ④.....⑤	利用していない ⑤
⑦通所リハビリ リハビリ内容	月に 回	満足 ①.....②.....③.....④.....⑤ 上記の理由	やや満足 ②.....③.....④.....⑤	やや不満 ③.....④.....⑤	不満 ④.....⑤	利用していない ⑤

次頁へ続く↓

記入要領
この報告書は、調査研究対象者が答えられる範囲で回答し、切り離さず、生活状況調査票A票（毎月記入用）、B票（四半期毎記入用）及びC票（年1回3月末記入用）と併せて、4月1日から4月10日までの間に提出してください。

記入例

⑧短期入所 入所内容 1. 短期入所療養介護 2. 短期入所生活介護 (シヨートステイ) 3. その他 []	月に 回 満足 やや満足 やや不満足 不満 利用していない ①・・・②・・・③・・・④・・・⑤ 上記の理由
⑨送迎サービス サービス内容	月に 回 満足 やや満足 やや不満足 不満 利用していない ①・・・②・・・③・・・④・・・⑤ 上記の理由
⑩上記以外の福祉サービス (サービス名) サービス名： サービス内容：	月に 回 満足 やや満足 やや不満足 不満 利用していない ①・・・②・・・③・・・④・・・⑤ 上記の理由

生活状況調査票 月末日現在 各項目の今月の利用者数を1の欄まで記入してください。 各項目の今月の利用者数を1の欄まで記入してください。	
①短期入所 サービス内容 1. 身体介護 2. 生活援助 3. 通所介護 4. その他 []	月に 回 満足 やや満足 やや不満足 不満 利用していない ①・・・②・・・③・・・④・・・⑤ 上記の理由 必要と感ぜない
②訪問介護 サービス内容 必要と感ぜない	月に 回 満足 やや満足 やや不満足 不満 利用していない ①・・・②・・・③・・・④・・・⑤ 上記の理由 必要と感ぜない
③訪問看護 サービス内容 必要と感ぜない	月に 回 満足 やや満足 やや不満足 不満 利用していない ①・・・②・・・③・・・④・・・⑤ 上記の理由 必要と感ぜない
④居宅介護 サービス内容 必要と感ぜない	月に 回 満足 やや満足 やや不満足 不満 利用していない ①・・・②・・・③・・・④・・・⑤ 上記の理由 必要と感ぜない
⑤介護施設 サービス内容 必要と感ぜない	月に 回 満足 やや満足 やや不満足 不満 利用していない ①・・・②・・・③・・・④・・・⑤ 上記の理由 必要と感ぜない
⑥介護施設 サービス内容 必要と感ぜない	月に 回 満足 やや満足 やや不満足 不満 利用していない ①・・・②・・・③・・・④・・・⑤ 上記の理由 必要と感ぜない
⑦介護施設 サービス内容 必要と感ぜない	月に 回 満足 やや満足 やや不満足 不満 利用していない ①・・・②・・・③・・・④・・・⑤ 上記の理由 必要と感ぜない

生活状況調査票

3 月末日現在

A 票

毎月記入

答えられる範囲でお答え下さい。
(福祉サービス)

福祉サービスの利用状況についてお聞きします。
各項目の今月の健康被害者の状況に最も当てる数字を1つ選んで○を付けて下さい。
(複数回答可)

①訪問介護 介護内容 1. 身体介護中心型 2. 生活援助中心型 3. 通院等乗降介助 4. その他 []	月に 日 (回)	満足 ①.....②.....③.....④.....⑤ 上記の理由	やや満足 ②.....③.....④.....⑤	やや不満 ③.....④.....⑤	不満 ④.....⑤	利用していない ⑤
②訪問入浴介護 介護内容	月に 日 (回)	満足 ①.....②.....③.....④.....⑤ 上記の理由	やや満足 ②.....③.....④.....⑤	やや不満 ③.....④.....⑤	不満 ④.....⑤	利用していない ⑤
③訪問看護 看護内容	月に 日 (回)	満足 ①.....②.....③.....④.....⑤ 上記の理由	やや満足 ②.....③.....④.....⑤	やや不満 ③.....④.....⑤	不満 ④.....⑤	利用していない ⑤

④訪問リハビリ リハビリ内容	月に 回	満足 ①.....②.....③.....④.....⑤ 上記の理由	やや満足 ②.....③.....④.....⑤	やや不満 ③.....④.....⑤	不満 ④.....⑤	利用していない ⑤
⑤居宅療養管理指導 指導内容	月に 回	満足 ①.....②.....③.....④.....⑤ 上記の理由	やや満足 ②.....③.....④.....⑤	やや不満 ③.....④.....⑤	不満 ④.....⑤	利用していない ⑤
⑥通所介護 介護内容	月に 回	満足 ①.....②.....③.....④.....⑤ 上記の理由	やや満足 ②.....③.....④.....⑤	やや不満 ③.....④.....⑤	不満 ④.....⑤	利用していない ⑤
⑦通所リハビリ リハビリ内容	月に 回	満足 ①.....②.....③.....④.....⑤ 上記の理由	やや満足 ②.....③.....④.....⑤	やや不満 ③.....④.....⑤	不満 ④.....⑤	利用していない ⑤

次頁へ続く↓

記入要領
この報告書は、調査研究対象者が答えられる範囲で回答し、切り離さず、生活状況調査票A票（毎月記入用）、B票（四半期毎記入用）及びC票（年1回3月末記入用）と併せて、4月1日から4月10日までの間に提出してください。

記入例

⑧短期入所 入所内容 1. 短期入所療養介護 2. 短期入所生活介護 (ショートステイ) 3. その他 []	月に 回 満足 やや満足 やや不満足 不満 利用していない ① ② ③ ④ ⑤ 上記の理由
⑨送迎サービス サービス内容	月に 回 満足 やや満足 やや不満足 不満 利用していない ① ② ③ ④ ⑤ 上記の理由
⑩上記以外の福祉サービス (サービス名 サービス名 サービス内容)	月に 回 満足 やや満足 やや不満足 不満 利用していない ① ② ③ ④ ⑤ 上記の理由

(マイ(転居時専用))

生活状況調査票

月末日現在

※記入される範囲では書き下さない。
居住サービス(利用状況)については調査票A票、B票、C票のいずれか1つの欄で必ず記入してください。
各項目の今月の利用回数(利用日数)は記入欄の数字を1つ進んで記入してください。

①利用状況
月: 8月(8日) 満足 やや満足 やや不満足 不満 利用していない
① ② ③ ④ ⑤
上記の理由

②送迎サービス
月: 9月(9日) 満足 やや満足 やや不満足 不満 利用していない
① ② ③ ④ ⑤
上記の理由

③短期入所
月: 9月(9日) 満足 やや満足 やや不満足 不満 利用していない
① ② ③ ④ ⑤
上記の理由

④送迎サービス
月: 9月(9日) 満足 やや満足 やや不満足 不満 利用していない
① ② ③ ④ ⑤
上記の理由

⑤短期入所
月: 9月(9日) 満足 やや満足 やや不満足 不満 利用していない
① ② ③ ④ ⑤
上記の理由

⑥訪問介護
月: 9月(9日) 満足 やや満足 やや不満足 不満 利用していない
① ② ③ ④ ⑤
上記の理由

⑦訪問介護
月: 9月(9日) 満足 やや満足 やや不満足 不満 利用していない
① ② ③ ④ ⑤
上記の理由

⑧訪問介護
月: 9月(9日) 満足 やや満足 やや不満足 不満 利用していない
① ② ③ ④ ⑤
上記の理由

⑨訪問介護
月: 9月(9日) 満足 やや満足 やや不満足 不満 利用していない
① ② ③ ④ ⑤
上記の理由

⑩訪問介護
月: 9月(9日) 満足 やや満足 やや不満足 不満 利用していない
① ② ③ ④ ⑤
上記の理由

生活状況調査票

B票

4半期毎記入

IV期	1月～3月分	平成29年3月末日現在
-----	--------	-------------

答えられる範囲でお答えください。

(日常生活)

◎以下の質問に回答していただける方についてお答え下さい。

(いずれか1つに○を付けてください。)

- 健康被害を受けた本人
- 本人の意向を聞いて介護者が記入
- 本人の意向をくみとり介護者が記入
- 介護者が回答

① 健康被害者が過去3ヶ月間に外出しましたか。(いずれか1つに○を付けて下さい。)
(外出には通園・通学を含みます。以下の質問も同じ。)

- ほぼ毎日
- 週に4から5回
- 週に2から3回
- 月に2から3回
- まったく外出していない

①-1 外出された方にお聞きします。
主に誰の介助を受けて外出しましたか。(該当するもの全てに○を付けてください。)

- 介助なし
- 配偶者
- 親
- 子供
- その他の家族
- 親戚
- ホームヘルパー
- 隣人・知人
- 雇人
- ボランティア
- その他 ()

② 外出するうえで、または、外出しようとするうえで、困ることや不満に思うことはありませんか。

- ない
- ある

②-1 困ることや不満に思うことがある。とお答えいただいた方にお聞きします。
(該当するもの全てに○を付けてください。)

- 介助者がいない
- 経費がかかる
- 人の目が気にかかる
- 人と話をすることが困難
- 外出に必要な情報が得られない
- 電車・バス・タクシーなどの乗物の利用が不便
- 道路や駅などの公共の場所の利用が不便
- 利用する建物の設備(階段、トイレ、エレベーター等)の利用が不便
- 人の混雑や車に身の危険を感じる
- 駅などにおける人間関係のトラブル
- その他 ()

②-2 外出するうえで工夫したことは何ですか。

③ 健康被害者が過去3ヶ月間に余暇活動、趣味、学習、スポーツや社会参加(活動)などを行いましたか。

- まったくしていない
- 参加(活動)した

③-1 参加(活動)した方にお聞きします。それはどのような内容でしたか。
(該当するもの全てに○を付けてください。)

- コンサートや映画、スポーツなどの鑑賞・見学
- スポーツ教室、大会などへの参加
- 旅行・キャンプ・つりなどの活動
- 趣味の同好会活動
- ボランティアなどの社会活動
- 障害者団体の活動
- 地域活動
- パソコンを利用した社会参加
- 友達との遊び
- その他 ()

④ 屋内での生活で工夫したことがありますらお書きください。

次頁に続く↓

(主たる介護者の状況)

<p>⑥以下の質問に回答していただけた方についてお答えください。 (いずれか1つに○を付けてください。)</p> <p>1. 主として介護をしている配偶者 2. 主として介護をしている親 3. 主として介護をしている兄弟姉妹 4. その他 ()</p>		<p>たいへん 良好 ①.....②.....③.....④</p> <p>やや 悪い ③.....④</p> <p>たいへん 悪い ④</p>
<p>⑥ お答えいただいた方の健康状態について (3ヶ月間のあなたの状況に最も良く当てはまる数字を1つ選んで○を付けてください。)</p>		
<p>⑥-1 その理由は何か。</p>		
<p>⑦ この1年間に介護をしていく中で、 困ったことが</p>		<p>1. 増えた 2. 減った 3. 変わらない 4. 困ったことはない</p>
<p>⑦-1 <u>困ったことがあった方</u>にお聞きします。それはどんなことですか。</p>		
<p>⑦-2 誰かに相談しましたか。(該当するものに○を付けてください。)(複数回答可) ※選択肢1, 2, 3, 11を選択する場合は、カッコの中のアルファベットに○を付けてください。</p> <p>1. 親 (a 父親 b 母親) 2. 配偶者 (a 夫 b 妻) 3. 子供 (a 息子 b 娘 c 娘の夫 d 息子の妻) 4. 兄弟姉妹 5. 祖父母 6. 友人・知人 7. 会社の上司・同僚 8. 学校の先生 9. 医師 10. 看護師・保健師 11. 公的機関の職員等 (a 身体障害者更生相談所 b 福祉事務所 c 市 (区) 役所 d 民生委員 e 身体障害者相談員) 12. 医薬品医療機器総合機構 (PMDA) の保健福祉相談窓口 13. 障害者の団体 (親、家族の会を含む) 14. 障害者相談支援センター (相談支援事業者を含む) ※1 15. 地域包括支援センター ※2 16. その他 () 17. 相談する人はいない</p> <p>※1: 障害者相談支援センターとは、在宅や地域で生活する障害のある方やその家族のための相談窓口で、各市町村に設置されている。 ※2: 介護保険法で定められた、地域住民の保健・福祉・医療の向上、虐待防止、介護予防マネジメントなどを総合的に行う機関で、各市町村に設置されている。</p>		

<p>⑦-3 解決策はありましたか。</p>	<p>1. 解決した 2. していない</p>
<p>⑦-4 解決したと答えた方にお聞きします。それは、どのような方法で解決しましたか。</p>	<p>⑦-5 していないと答えた方にお聞きします。それはどのような方法で解決できると思いますか。</p>
<p>⑧ 主たる介護者を支えるようなものがありましたか。 (公的制度、友人・知人、ボランティア等)</p>	<p>1. あった 2. なかった</p>
<p>⑧-1 それは具体的にどのようなものですか。</p>	<p>⑨ 介護者等が過去3ヶ月間に余暇活動、趣味、学習、スポーツや社会参加 (活動) などを行いましたか。</p> <p>1. まったくしていない 2. 参加 (活動) した</p> <p>⑨-1 参加 (活動) した方にお聞きします。それはどのような内容でしたか。 (該当するもの全てに○を付けてください。)</p> <p>1. コンサートや映画、スポーツなどの鑑賞・見学 2. スポーツ教室、大会などへの参加 3. 旅行・キャンプ・つりなどの活動 4. 趣味の同好会活動 5. ボランティアなどの社会活動 6. 障害者団体の活動 7. 地域活動 8. パソコンを利用した社会参加 9. 友達との遊び 10. その他 ()</p> <p>⑩ 介護をしていく中で、新しい発見や気分転換などはありましたか。</p> <p>1. あった 2. なかった</p>
<p>⑨-1 あったと答えた方にお聞きします。それはどのようなこと又はどのようなときですか。</p>	

生活状況調査票

C票

年1回3月末記入

3月末日現在

答えられる範囲でお答えください。

(治療状況)

◎以下の質問に回答していただける方についてお答えください。(いずれか1つに○を付けてください。)

- 1. 健康被害を受けた本人
- 2. 本人の意向を聞いて介護者が記入
- 3. 本人の意向をくみとり介護者が記入
- 4. 介護者が回答

① 健康被害を受けた方の治療状況

① 入院中 (いつから入院していますか： 月から 回)
② 通院中 (往診含む)

◎ 副作用の疾患以外で治療を受けることに注意していることはありませんか。

◎-1 通院時に注意している点について、該当するもの全てに○をつけてください。

- 1. 事前に交通機関(時刻や乗り換え)やルートを確認しておく
- 2. 通院時にはヘルパー等に同行を依頼する(一人では外出しない)
- 3. 家族などによる送迎(公共交通機関の利用を避ける)
- 4. 介護タクシーの利用
- 5. その他

具体的にお書きください：

◎-2 治療を受けるときに注意している点について、該当するもの全てに○をつけてください。

- 1. 既往歴を告げる
- 2. お薬手帳を持参
- 3. 自らが受けている医療について分からないことは、医師、薬剤師、看護師などの医療スタッフに聞くようにしている
- 4. その他

具体的にお書きください：

◎-3 その他注意している点

(日常生活)

◎以下の質問に回答していただける方についてお答えください。(いずれか1つに○を付けてください。)

- 1. 健康被害を受けた本人
- 2. 本人の意向を聞いて介護者が記入
- 3. 本人の意向をくみとり介護者が記入
- 4. 介護者が回答

◎ この1年間で困ったことが、

- 1. 増えた
- 2. 減った
- 3. 変わらない
- 4. 困ったことはない

◎-1 困ったことがあった方にお聞きします。それはどんなことですか。

◎-2 誰かに相談しましたか。(該当するもの全てに○を付けてください。)(複数回答可)
※選択肢1, 2, 3, 11を選択する場合は、カッコの中の7桁がベクトルに○を付けてください。

- 1. 親 (a 父親 b 母親)
- 2. 配偶者 (a 夫 b 妻)
- 3. 子供 (a 息子 b 娘 c 娘の夫 d 息子の妻)
- 4. 兄弟姉妹
- 5. 祖父母
- 6. 友人・知人
- 7. 会社の上司・同僚
- 8. 学校の先生
- 9. 医師
- 10. 看護師・保健師
- 11. 公的機関の職員等 (a 身体障害者更生相談所 b 福祉事務所 c 市(区)役所 d 民生委員 e 身体障害者相談員)
- 12. 医薬品医療機器総合機構(PMDA)の保健福祉相談窓口
- 13. 障害者の団体(親、家族の会を含みます)
- 14. 障害者相談支援センター(相談支援事業者を含む)※1
- 15. 地域包括支援センター※2
- 16. その他()
- 17. 相談する人はいない

※1：障害者相談支援センターとは、在宅や地域で生活する障害のある方やその家族のための相談窓口で、各市区町村に設置されている。

※2：介護保険法で定められた、地域住民の保健・福祉・医療の向上、虐待防止、介護予防マネジメントなどを総合的に行う機関で、各市区町村に設置されている。

◎-3 解決策はありましたか。

- 1. 解決した
- 2. していない

◎-4 解決したと答えた方にお聞きします。それはどのような方法で解決しましたか。

◎-5 していないと答えた方にお聞きします。それは、どのような方法で解決できると思いますか。

<p>④ 過去1年間の日常生活の満足度を教えてください。(最も良く当てはまる数字を1つ選んで○を付けてください。)</p>	<p>満足 やや満足 やや不満 不満 ①.....②.....③.....④</p>
<p>④-1 その満足度の理由は何か。</p>	
<p>⑤ 日常生活を満足するために、一番やりたいことは何ですか。最も良く当てはまるものを1つ選んで○を付けてください。</p> <p>1. コンサートや映画鑑賞、スポーツ観戦 2. 旅行・外出 3. 趣味 4. 社会活動・団体活動(患者会の活動も含む) 5. その他</p> <p>具体的に書きください：</p>	
<p>⑤-1 実現できそうですか。(最も良く当てはまる数字を1つ選んで○を付けてください。)</p>	<p>出来る やや出来る あまり出来 出来ない と思う と思う ないと思う と思う ①.....②.....③.....④</p>
<p>⑤-2 その理由は何か。</p>	
<p>⑥ 日常生活で工夫したことがありますか。書きください。</p> <p>⑦ 健康被害者が今後やってみたい余暇活動、趣味、学習、スポーツや社会活動などについて、該当するもの全てに○を付けてください。(複数回答可)</p> <p>1. コンサートや映画、スポーツなどの鑑賞・見学 2. スポーツ教室、大会などへの参加 3. 旅行・キャンプ・つりなどの活動 4. 趣味の同好会活動 5. ボランティアなどの社会活動 6. 障害者団体の活動 7. 地域活動 8. パソコンを利用した社会活動 9. 友達との遊び 10. その他() 11. 特にない</p>	
<p>⑦-1 その情報はどこから得ますか。該当するもの全てに○を付けて下さい。(複数回答可)</p> <p>1. 新聞 2. テレビ 3. ラジオ 4. 一般図書 5. 雑誌 6. 録音・点字図書 7. 自治体広報 8. インターネット・情報サイト 9. 家族・友人 10. その他()</p>	

(福祉サービス)

⑥以下の質問に回答していただける方についてお答えください。(いずれか1つに○を付けてください。)

1. 健康被害を受けた本人
2. 本人の意向を聞いて介護者が記入
3. 本人の意向をくみとり介護者が記入
4. 介護者が回答

⑧ 必要な福祉サービスなどについてご意見、ご要望などがありましたら自由にお書きください。

(必要な情報)

⑥以下の質問に回答していただける方についてお答えください。(いずれか1つに○を付けてください。)

1. 健康被害を受けた本人
2. 本人の意向を聞いて介護者が記入
3. 本人の意向をくみとり介護者が記入
4. 介護者が回答

⑨ 今、必要な情報についてお聞かせください。(該当するもの全てに○を付けてください。また、その内容について具体的に知りたいことをお書きください。)(複数回答可)

1. 福祉サービス
2. 医療
3. 年金
4. 住まい
5. 就職
6. NPO活動など
7. 健康づくり
8. 趣味・娯楽
9. 相談・資産・運用
10. 学校教育・幼稚園・保育園
11. その他()
12. 特にない

◎具体的に知りたいこと。

⑨-1 その情報はどこから得ますか。該当するもの全てに○を付けてください。(複数回答可)

1. 新聞 2. テレビ
3. ラジオ 4. 一般図書
5. 雑誌 6. 録音・点字図書
7. 自治体広報 8. インターネット・情報サイト
9. 家族・友人
10. その他()

VII 健康状態報告書(診断書様式)

※記入しないでください。

健康状態報告書

提出方法

この健康状態報告書は10月1日から12月末日までの間に病院又は診療所で証明してください。

なお、保健福祉事業の一環として実施する調査研究事業報告書と併せて1月1日から1月10日の間に返送願います。

問い合わせ先 独立行政法人医薬品医療機器総合機構
健康被害救済部企画管理課
〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-3-2
TEL 03-3506-9460
FAX 03-3506-9439

健康状態報告書

患者氏名		男・女	生年月日	昭和 平成	年	月	日	カルテNo.
------	--	-----	------	----------	---	---	---	--------

(測定日： 年 月 日)

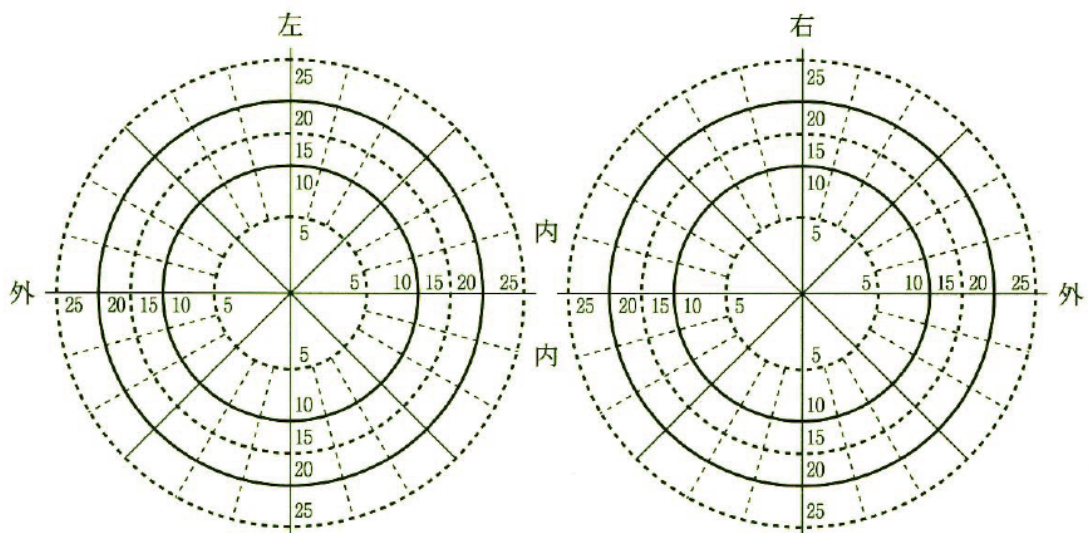
① 視 力 (視力測定の際の照度は200ルクスとします。)

	裸 眼	矯 正	矯正眼鏡
右 眼			D
左 眼			D

② 所 見 (必要なときは適宜図示してください。)

前 眼 部 所 見	中 間 透 光 体 所 見	眼 底 所 見
右	右	右
左	左	左

③ 視 野 (傷病から視野障害を測定する必要があると認めた場合には測定してください。)



④ QOL（生活の質）の改善のために医学的に行えることについてご意見がありましたら具体的にお書きください。（眼科医の視点からのQOL改善について）

⑤ その他に呼吸機能障害、運動機能障害等の症状がある方の現況（眼科医の視点から）

平成 年 月 日

病院又は診療所の名称

診療担当科名
医師氏名

印

所在地 〒

電話番号

※記入しないでください。

健康状態報告書

提出方法

この健康状態報告書は10月1日から12月末日までの間に病院又は診療所で証明してください。

なお、保健福祉事業の一環として実施する調査研究事業報告書と併せて1月1日から1月10日の間に返送願います。

問い合わせ先 独立行政法人医薬品医療機器総合機構
健康被害救済部企画管理課
〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-3-2
TEL 03-3506-9460
FAX 03-3506-9439

健康状態報告書

患者氏名		男・女	生年月日	昭和 平成	年 月 日	カルテNo.
------	--	-----	------	----------	-------	--------

① 一般身体所見として特記すべき事項

② 知的障害に関わる所見

③ 神経学的所見

- 起立：可能 ・ 介助があれば可能 ・ 不可能
- 歩行：可能 ・ 介助があれば可能 ・ 不可能
- 四肢の運動機能：自発運動可能 ・ 自発運動不可能
- 深部腱反射：正常 ・ 亢進 ・ 低下
- 筋トーン：正常 ・ 亢進 ・ 低下
- その他の神経学的所見

④ 日常生活状況（現在入院中・入所中・その他）

ア 全般的状況について（家庭及び家庭以外の者と対人関係についても具体的に記載してください。）

イ 知的障害に関連した日常生活能力について（該当するものを選んで、いずれか1つを○で囲んでください。）ここで言う知的障害とは、病的体験・欠陥・痴呆・知能遅滞・性格変化等をいいます。

- (ア) 社会生活は普通にできる。
- (イ) 家庭内での日常生活は普通にできるが、社会生活はできない。
- (ウ) 家庭内での単純な日常生活はできるが、時に応じて介護が必要である。
- (エ) 身のまわりのことはかろうじてできるが、適当な介護が必要である。
- (オ) 身のまわりのことは全くできない。

ウ 運動機能障害に関連した日常生活能力について（該当するものを選んで、いずれか一つを○で囲んでください。）

- | | |
|----------------------|-------------------------|
| ●食事 | ひとりでできる・介助があればできる・経管栄養等 |
| ●用便（月経）の始末 | ひとりでできる・介助があればできる・オムツ |
| ●入浴・洗面・衣服の着脱 | ひとりでできる・介助があればできる |
| ●簡単な買物 | ひとりでできる・介助があればできる・できない |
| ●家族との話 | 通じる　　・少しは通じる　　・通じない |
| ●家族以外の者との話 | 通じる　　・少しは通じる　　・通じない |
| ●刃物・火等の危険 | わかる　　・少しはわかる　　・わからない |
| ●戸外での危険（交通事故等）から身を守る | 守れる　　・不十分ながら守れる・守れない |
| ●その他（ | ） |

⑤ QOL（生活の質）の改善のために医学的に行えることについてご意見がありましたら具体的にお書きください。

平成 年 月 日

病院又は診療所の名称

診療担当科名
医師氏名

印

所在地 〒

電話番号